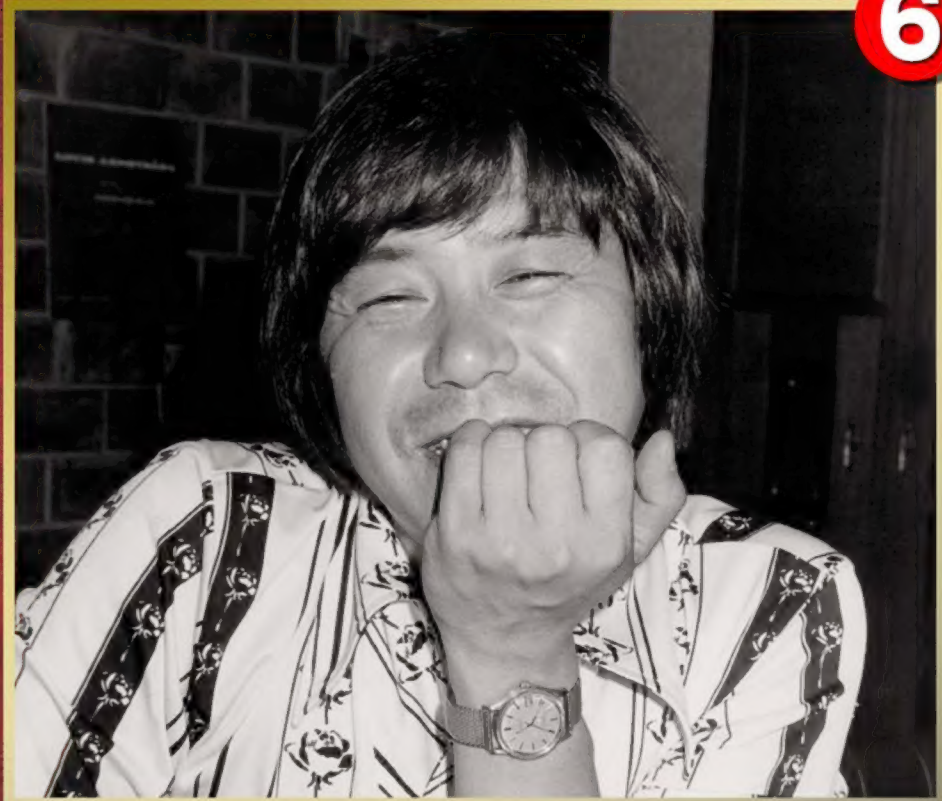


AKATSUKA FUJIO'S MANGA COMPLETE WORKS ON DVD-ROMS

赤塚不二夫漫画大全集(164)

レッツラゴン

6



赤塚不二夫

SHOGAKUKAN



赤塚不二夫漫画大全集(164)

レッツラゴン

6



AKATSUKA FUJIO'S
MANGA COMPLETE WORKS
ON DVD-ROMS

赤塚不二夫

SHOGAKUKAN

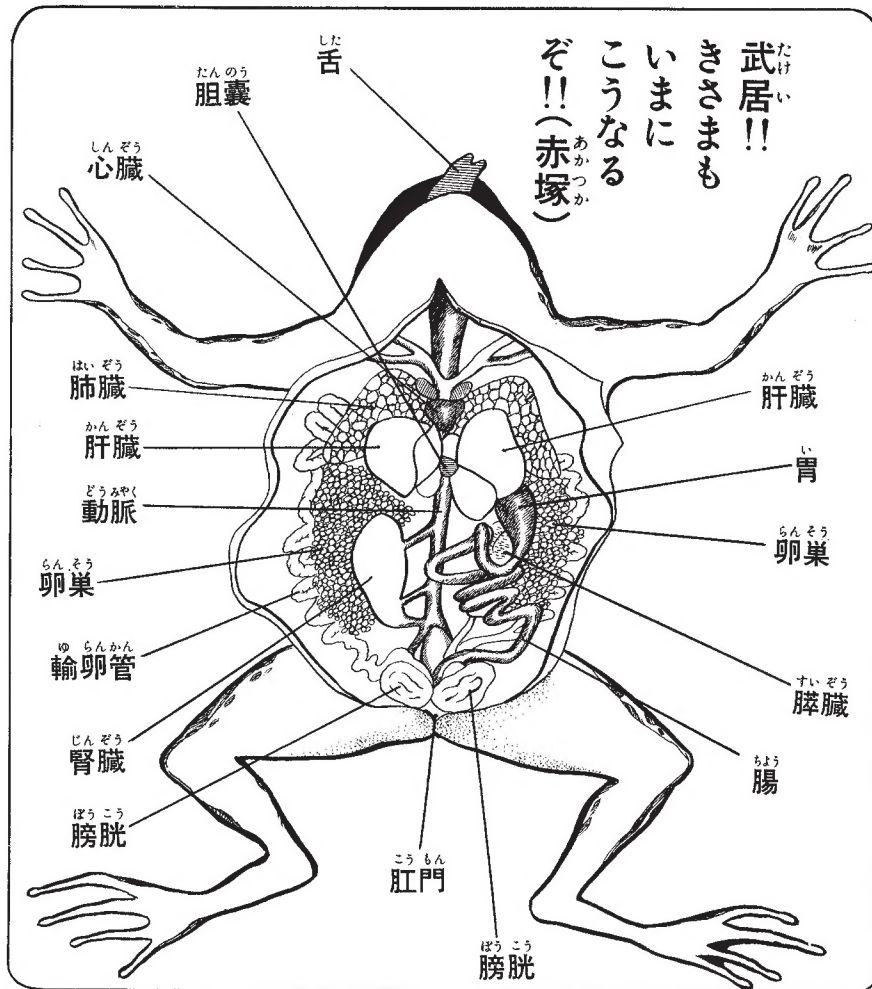
レッツラゴン

6

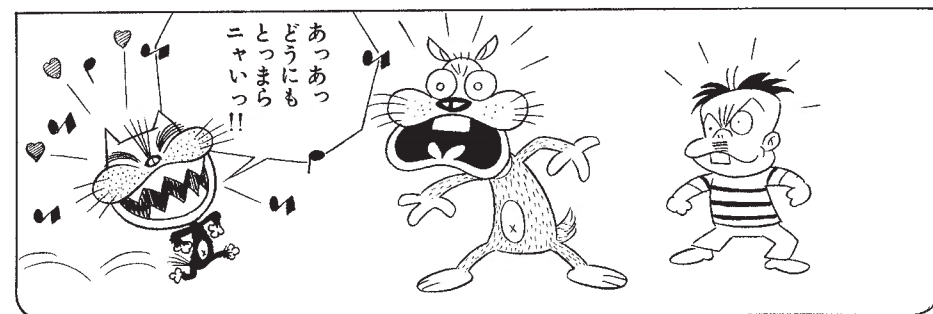
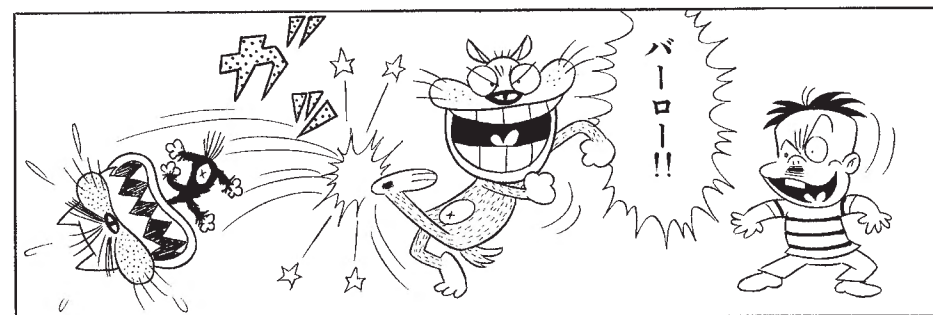
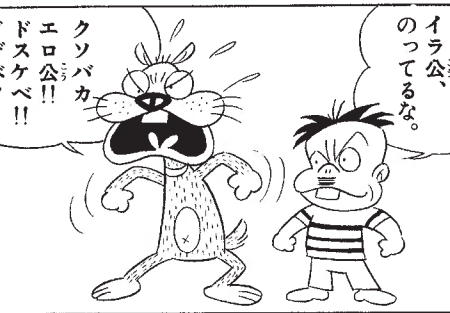
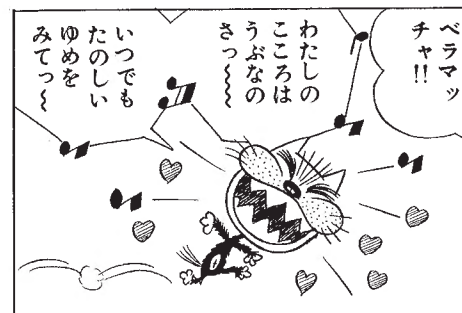
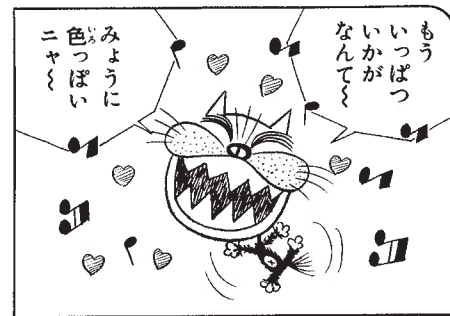
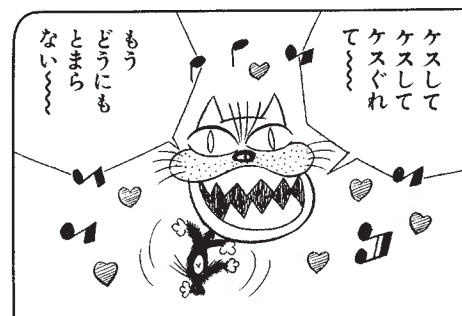
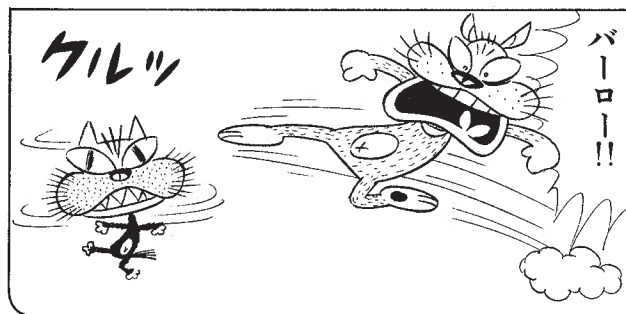
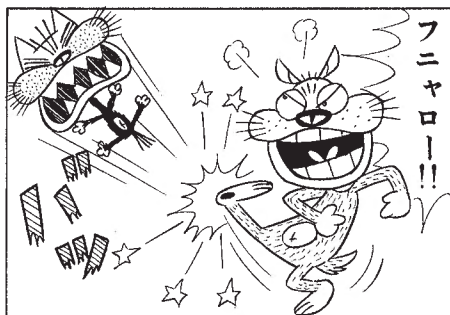
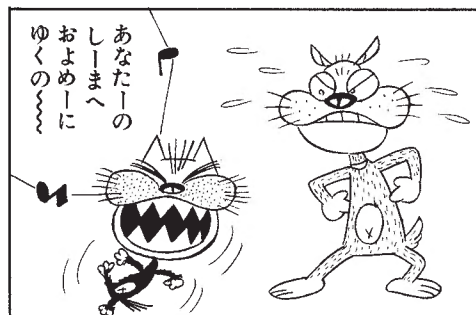
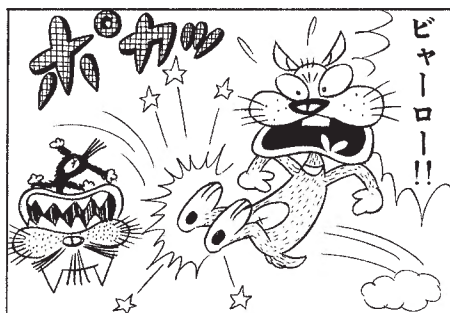
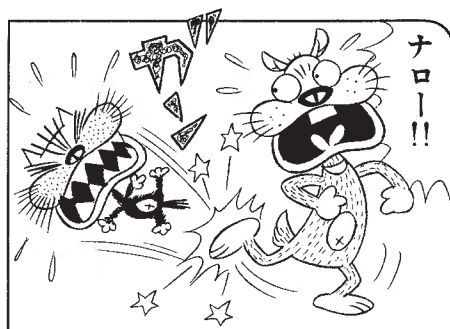
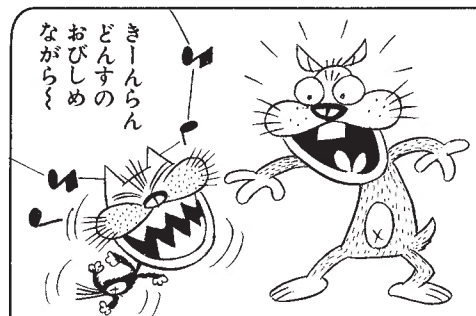
レ ッ ツ ラ ゴ ン イラ公の初恋

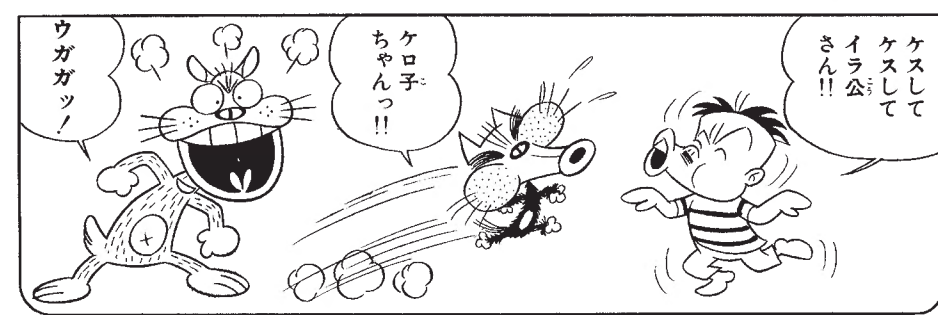
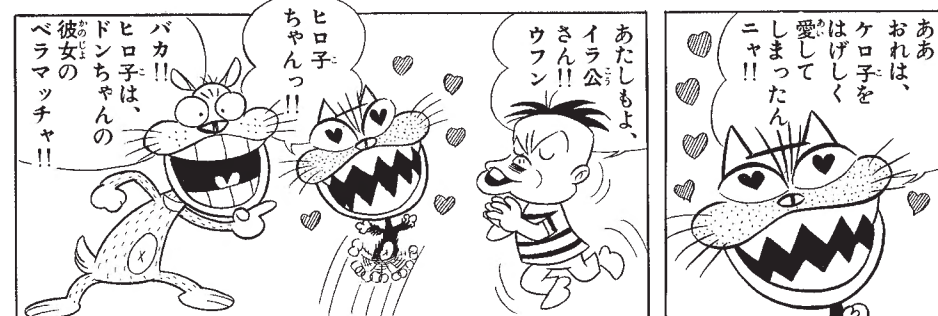
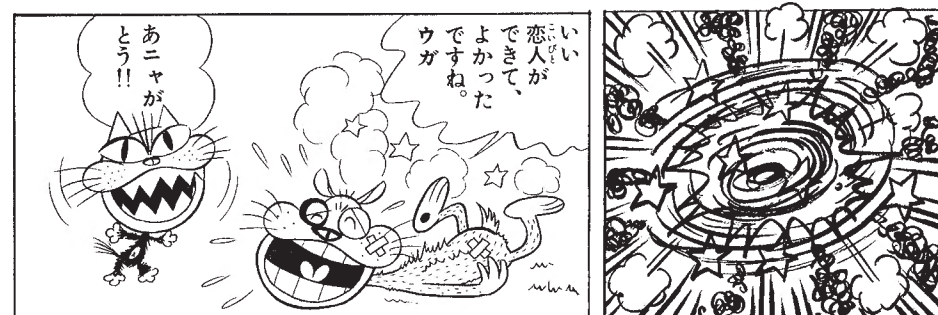
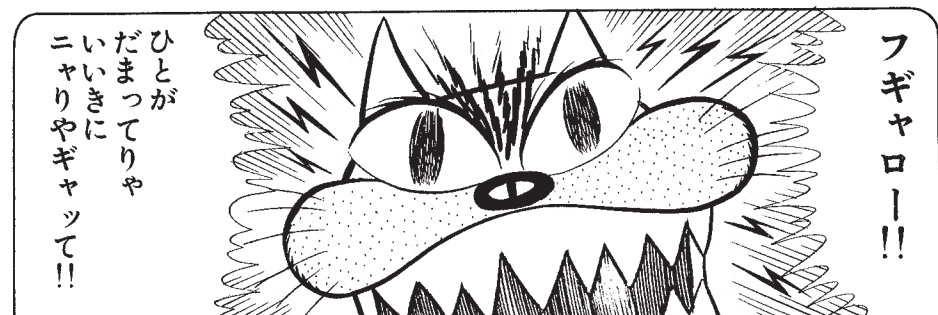
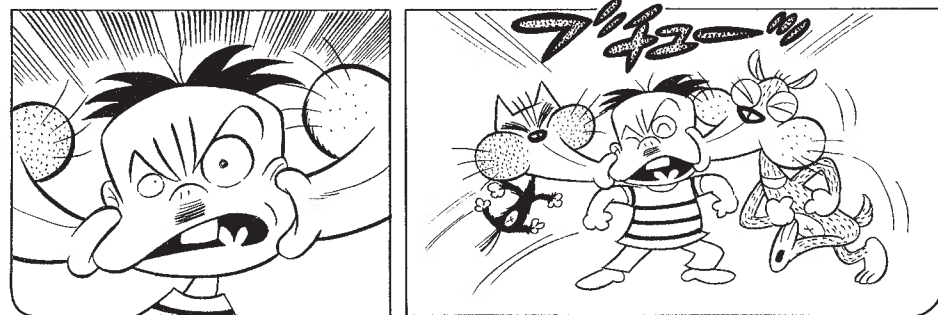
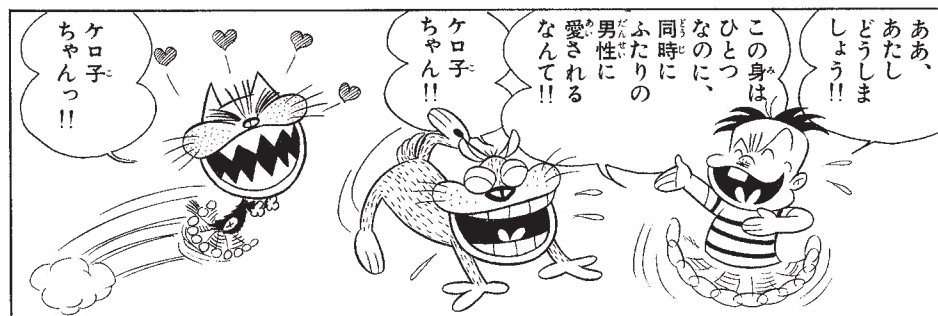
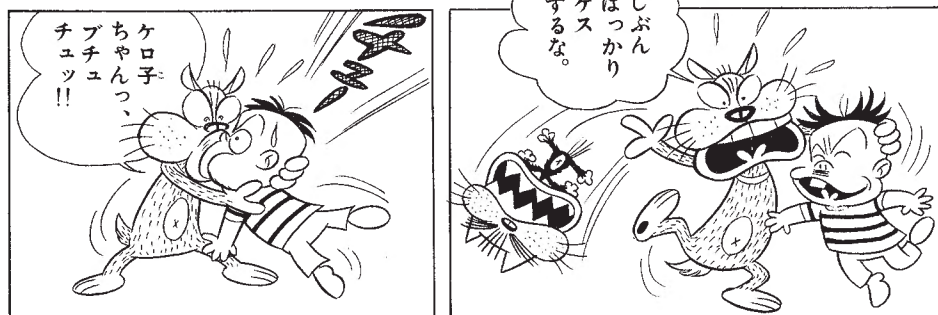
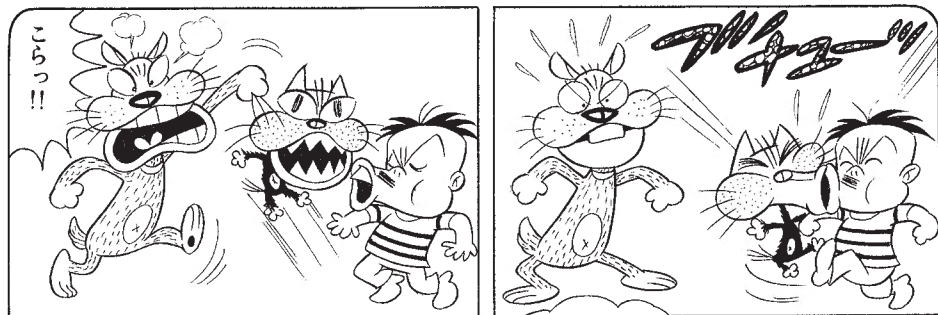
CONTENTS

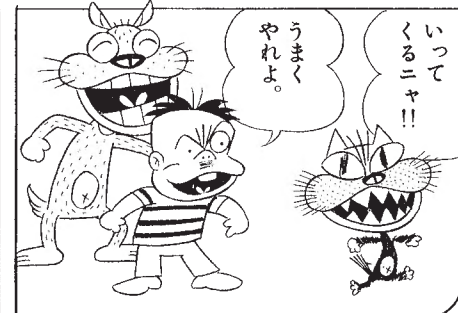
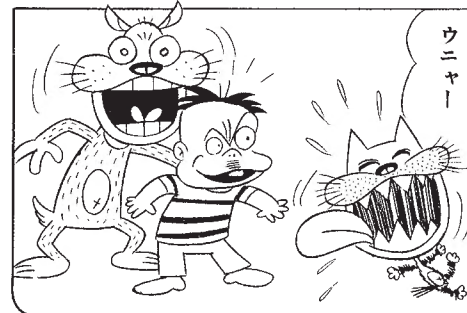
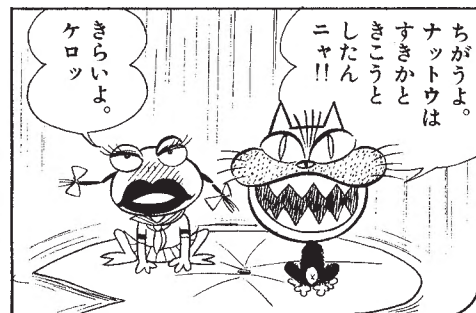
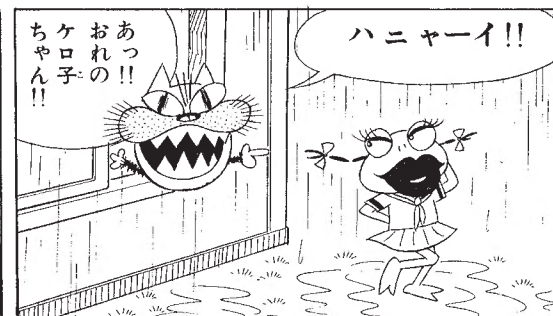
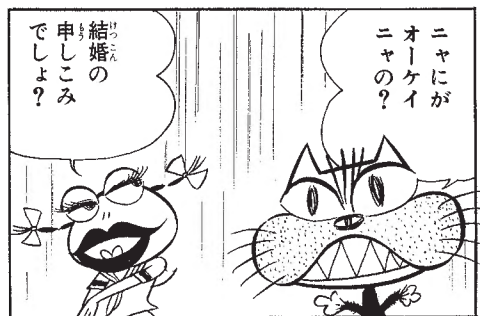
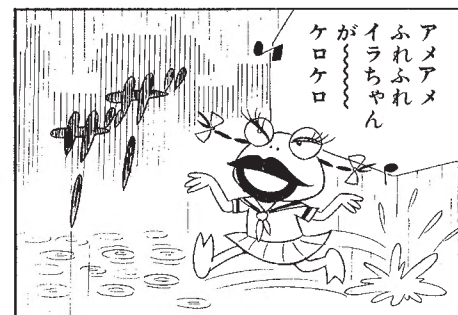
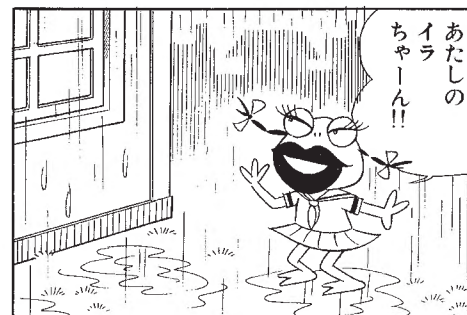
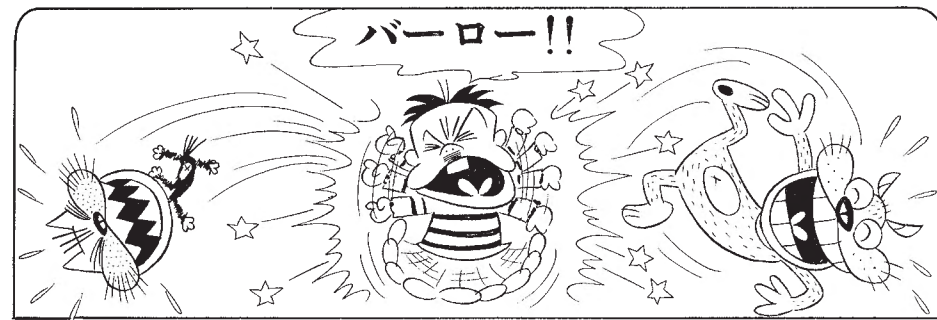
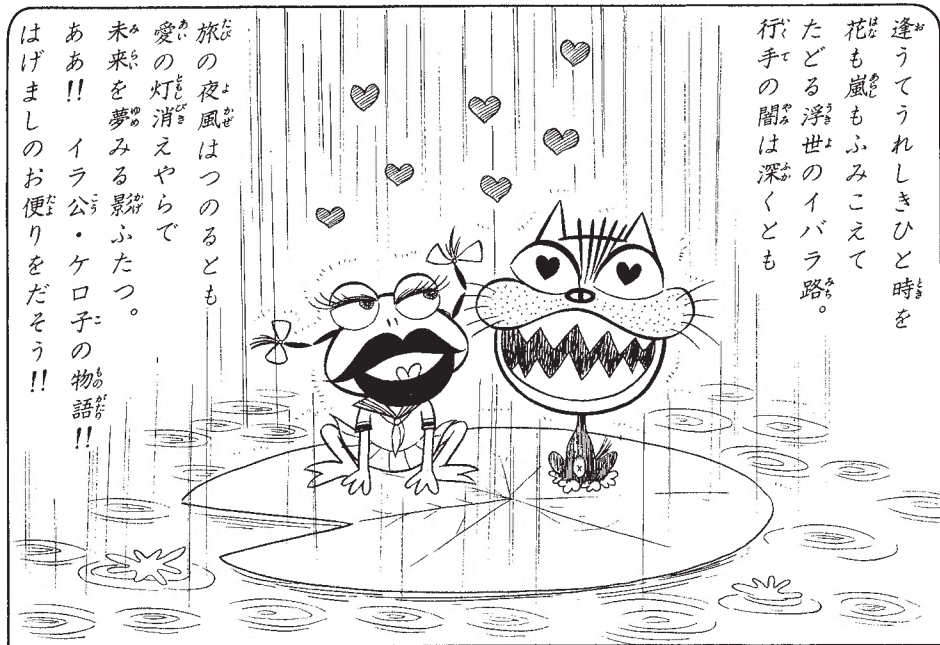
イラ公の初恋	3
新婚イラ公	18
交番佐渡おけさ	43
ドキンタマ	58
四匹のバンダ	73
父なき子	93
石息子	108
男はつらいよ	123
警察日記	138
スベールの日曜日	157
続ああ無情	172
衆議院選挙	187

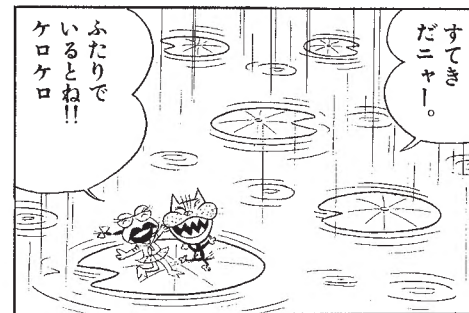
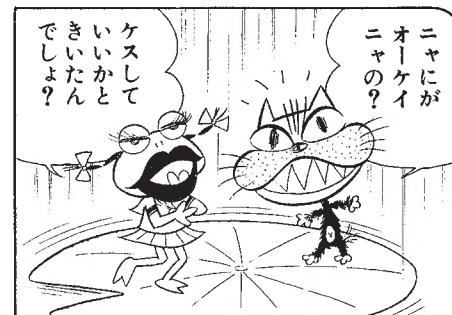
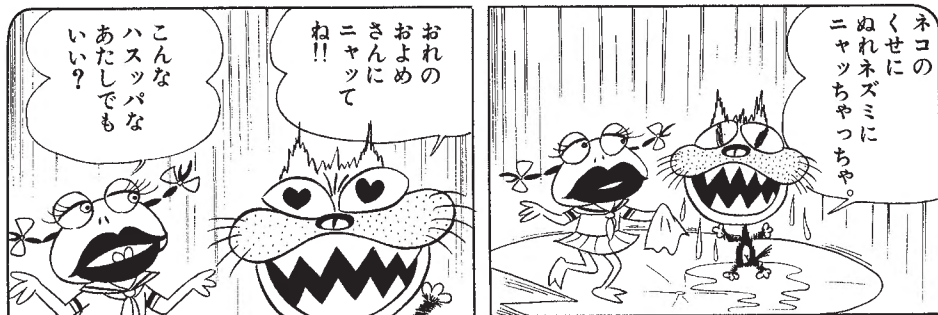


AKATSUKA FUJIO'S
MANGA COMPLETE WORKS
ON DVD-ROMS

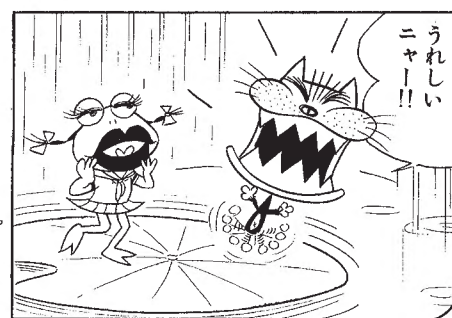
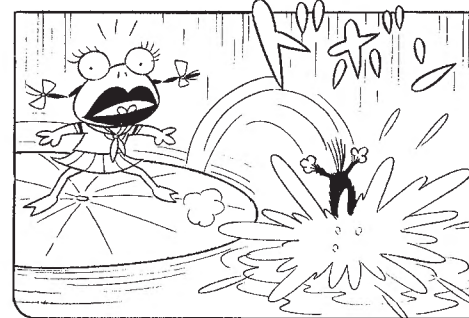
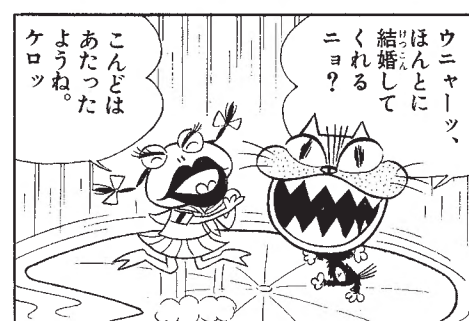
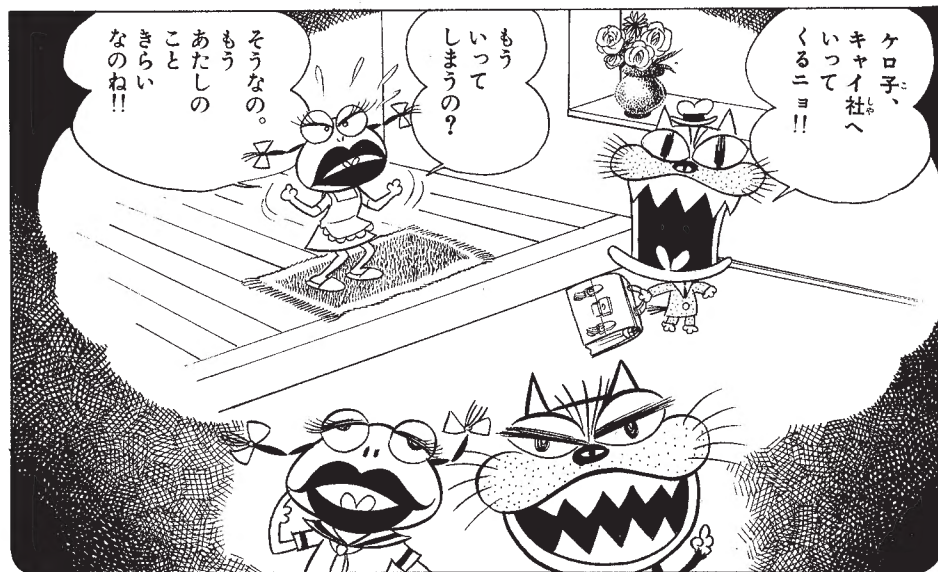


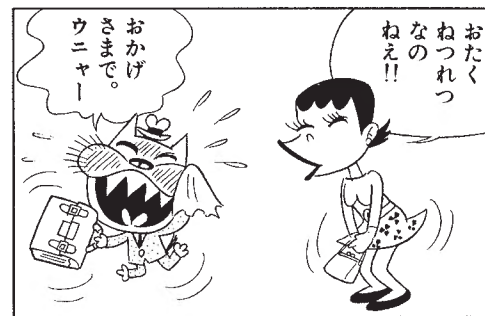
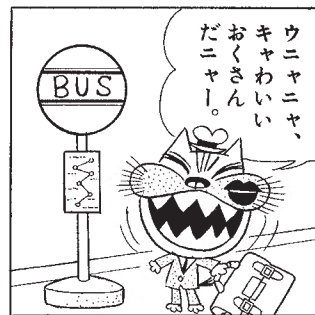
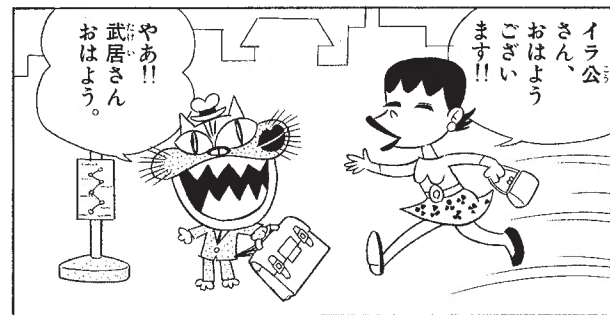
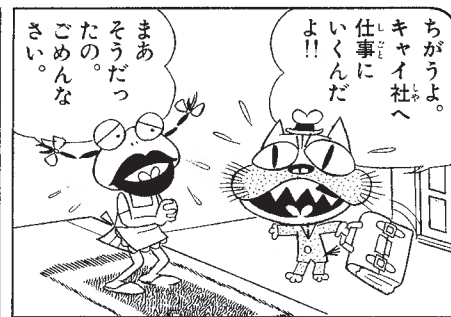
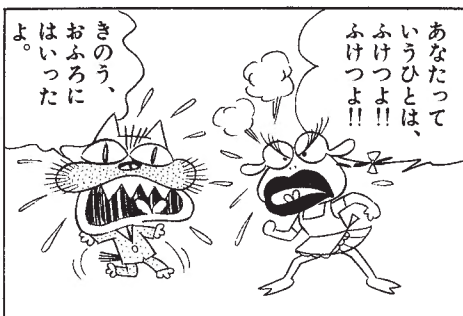
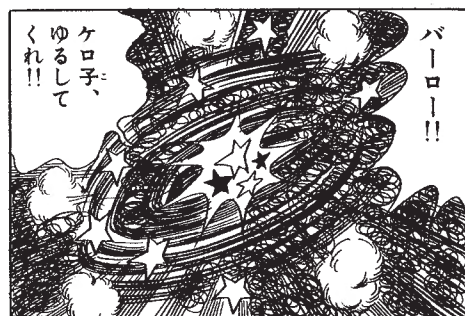
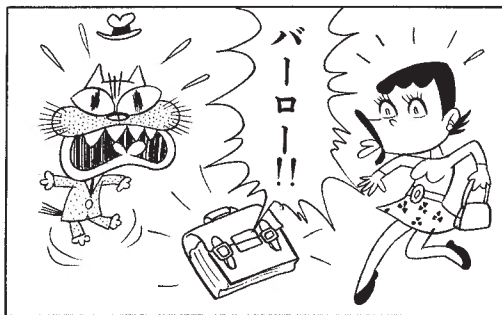
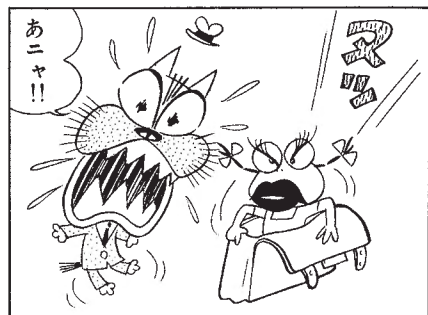
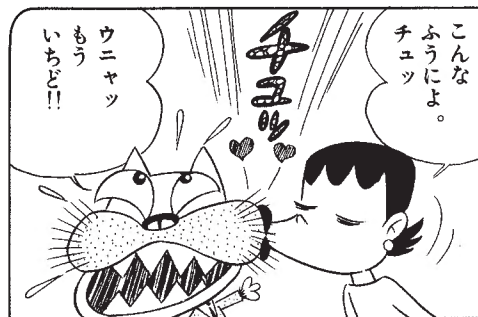


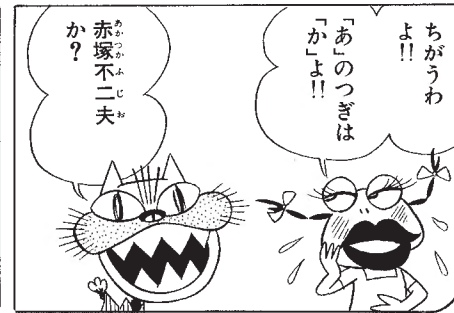
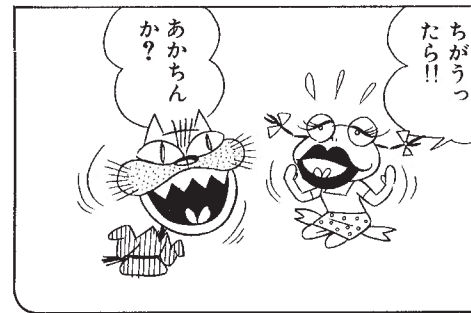
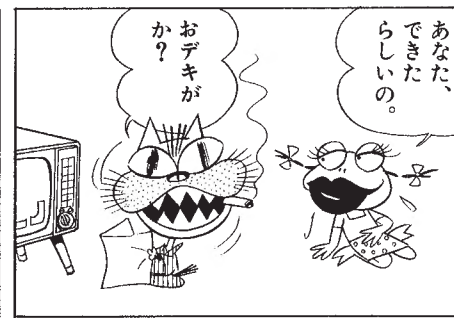
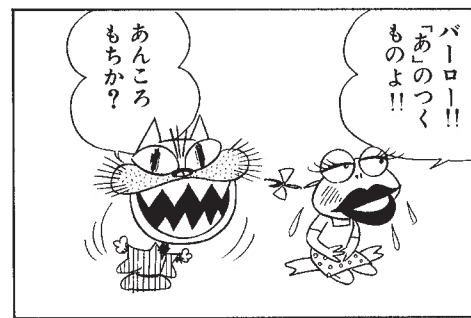
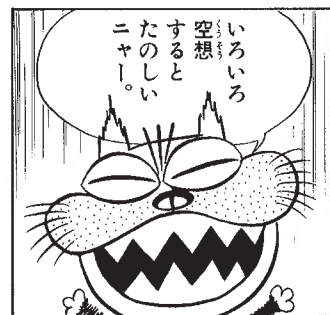
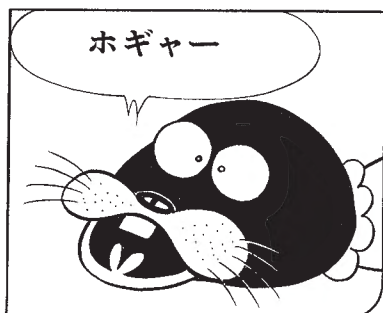
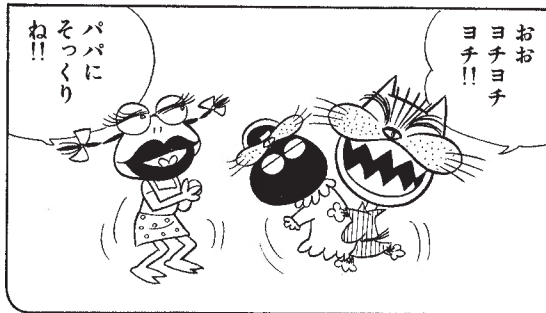
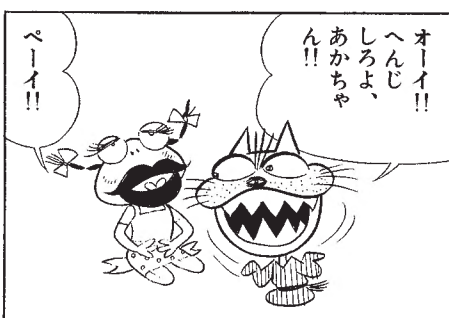
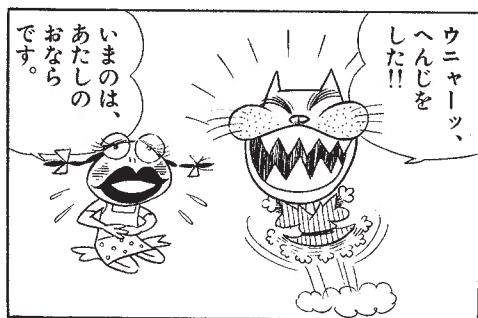
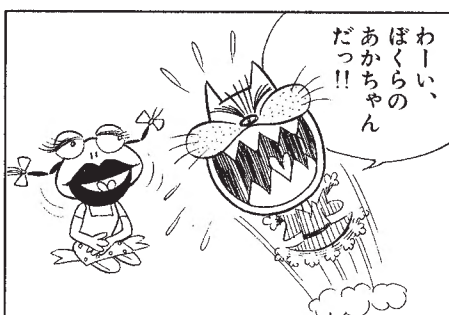
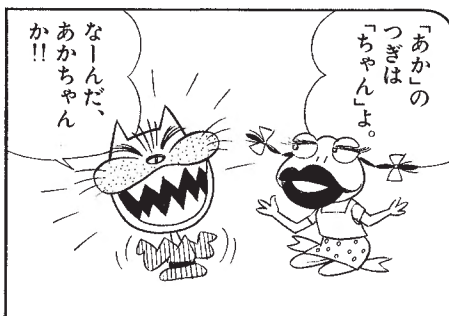
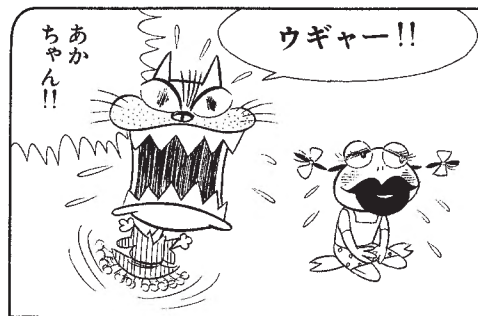


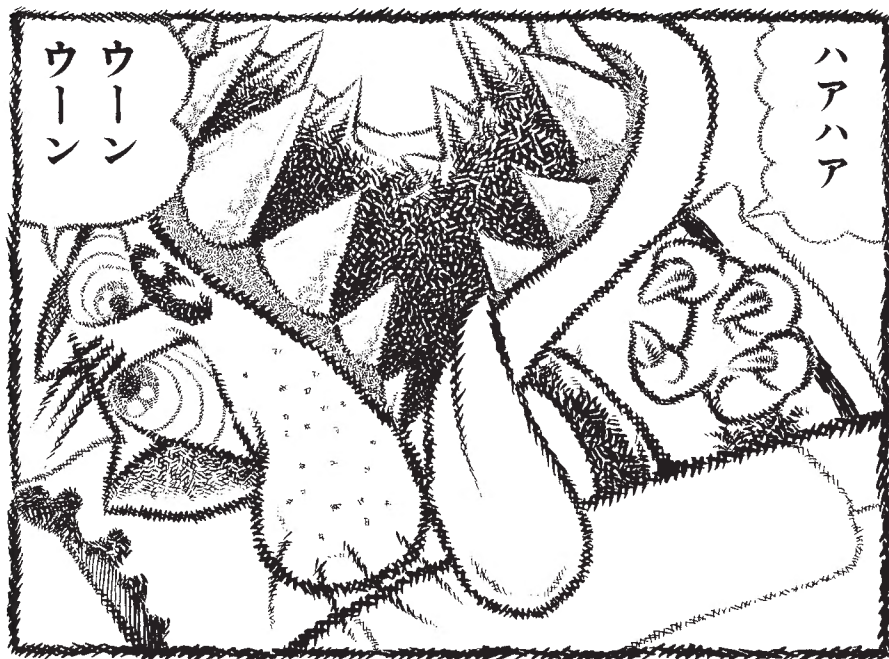


おれたちの新婚生活は、どんニヤンかニヤー?



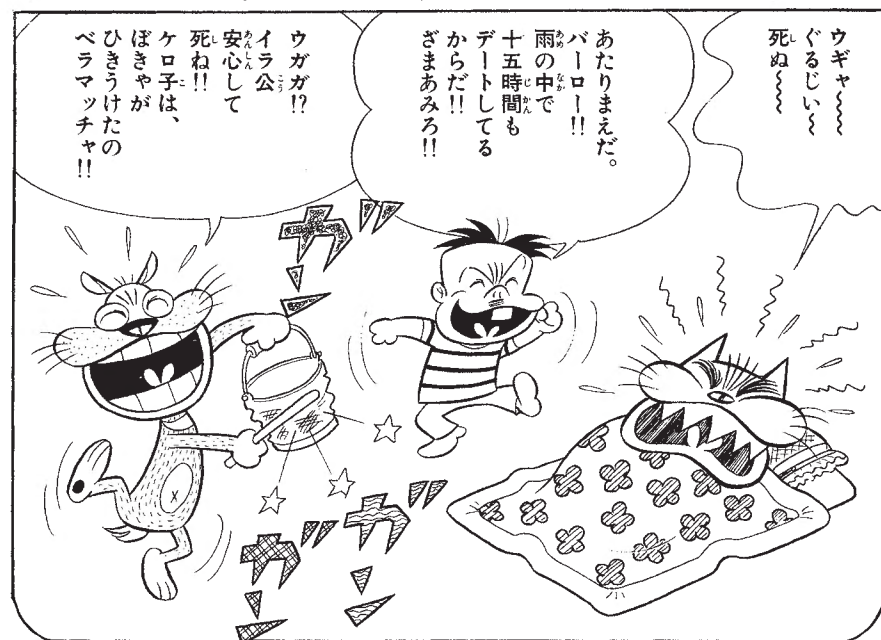






ウー
ン

ハア
ハア



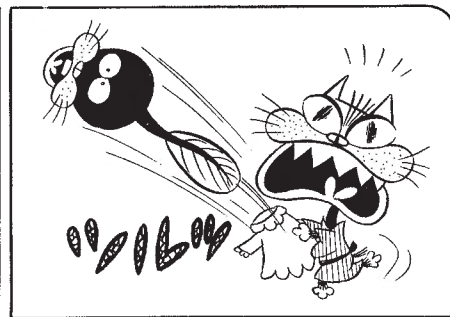
ウギヤ〜
ぐるじい〜
死ぬ〜

あたりまえだ。
バーロー!!
雨の中で
十五時間
デートして
からだ!!
ざまあみろ!!

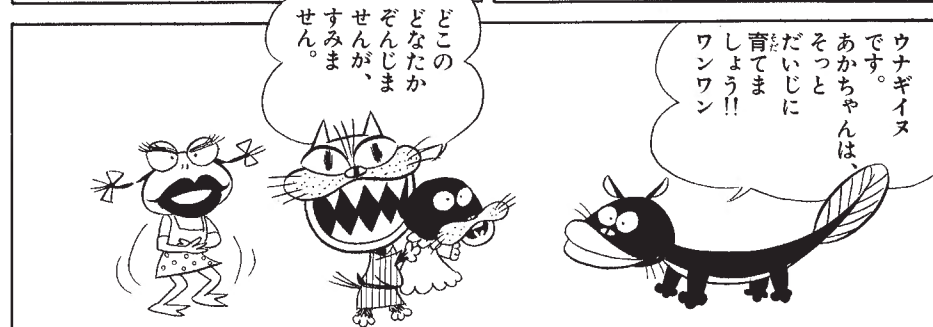
ウガガ!!
イラ公
安心して
死ね!!
ケロ子は、
ぼきやが
ひきうけたの
ベラマツチャ!!



オット!!

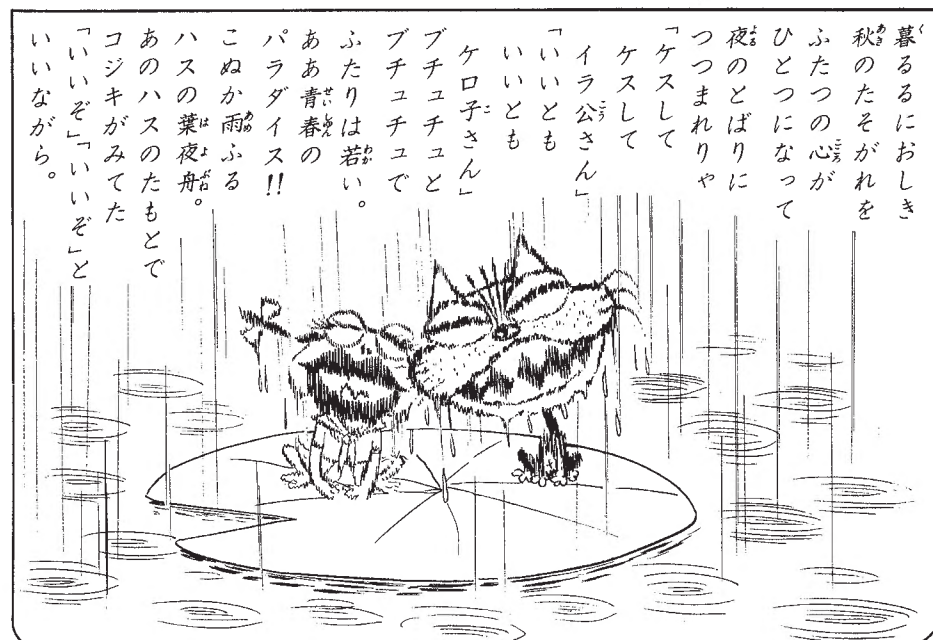


ワッ
ワッ
ワッ



どこの
どなたか
せんじま
せんが、
すみま
せん。

ウナギイヌ
です。
あかちゃん、
そつと
だいに
育てま
しょう!!
ワン
ワン

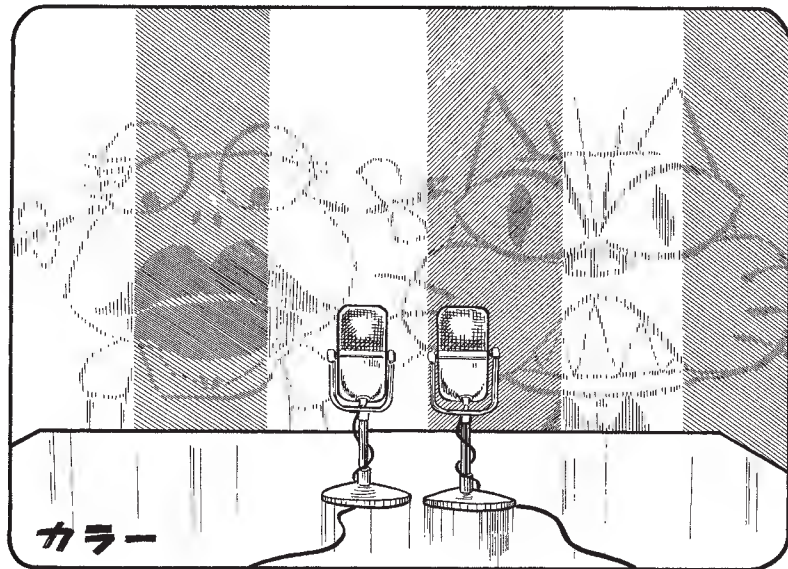


暮るるにおしき
秋のたそがれを
ふたつの心が
ひとつになって
夜のどばりに
つつまれりや
「ケスして
ケスして
イラ公さん」
「いいとも
いいとも
ケロ子さん」
「ブチュチュと
ブチュチュと
ふたりは若い。
ああ青春の
パラダイス!!
こぬか雨ふる
ハスの葉夜舟。
あのハスのたもとで
コジキがみてた
「いいぞ」「いいぞ」と
いいながら。

☆おわび☆

右のタイトルページで新婚ホヤホヤだとイラ公がいらっしゃいますが、このふたりは9月25日に結婚し、9月26日に離婚しました。したがって新婚のもようをお伝えできなくなったことをおわびいたします。

みニヤさまの
ご期待をうらぎって
申し訳ございません。
この「スターキー夜」の
番組をかりまして
おわびいたしニヤす。
離婚の理由は、
おれがコロンビア
トップを好きだと
いったら、
ケロ子はライトの
ほうが好きだと
いったので、
別れることに
ニヤりました。
これから
よろしく
おねがいいたし
ニヤす。



新婚イラ公



赤塚不二夫と 武居記者の 愛の往復書簡



拝啓 武居記者様

九月十五日(敬老の日)に
あなたは「バーロー!!」休
日に原稿とりなどさせやがっ
て!!」と怒り狂っておいでにな
りましたね。

ぼくは、ほんとうにすまな
いと思い、シュークリームと
コーヒーを出しました。
するとあなたは
「バーロー!! こんなウシの
クツや、ドブの水などのめる
か!! ビールを出せ!!」とお
つしやいましたね。
「すみませんビール切らして
るんです」と、ぼくがあやま

ると、
「じゃこのタバコをもらつと
くぞ!!」と、ぼくが買い置き
していたロング・ピースを十
個、一個はポケットに、あと
はカバンに入れましたね。

そんなことはどうでもいい
ことなんです。
これから、お話するのはあ
なたが帰られたあとのこと
についてです。
あなたが「レッツラ・ゴン」
の原稿をひったくるように持
って帰られたあと、あなたの
すわっていたソファアをみて、

ぼくは気絶しそうになりまし
た。
買ったばかりのソファアが三
十センチもカミソリのような
もので切りさいてあったから
です。
あのとき部屋にいたのは、ぼ
くと、武居さん、あなたとの
ふたりきりでした。

あなたをうたがうわけでは
ありませんが、うたがわない
わけにはいきません。
ひとつ気になることは、
あなたがカミソリを出し
「どうだ、いいカミソリだろ
う。さっき買ったんだ。何で
も切れるぞ!!」とおつしやつ
たことです。

ソファアを切った武居さん
!! 犯人はあなたですか?
返事をください。

赤塚不二夫



バカ塚へ!!

ガタガタいうと
連載切るぞ!!

バーロー!!

月のとつても青い夜
書齋にて

武居記者



前略 武居記者様

あなたは「恥」という
ことを知らないんです
か?
ご返事ください!!

赤塚不二夫

恥
はじ
です!!

アホ塚へ!!

そんなの知ってて
たまるか
バーロー!!

すだく虫の音に耳を
かたむけながら

武居記者

武居記者様

ソファアの件はあきらめ
ます。
ひとつおねがいがあり
ます。
どうかぼくの仕事部屋の
じゅうたんの上にツバを
はきちらすのだけは
やめていただきたいの
です。
おねがいします!!

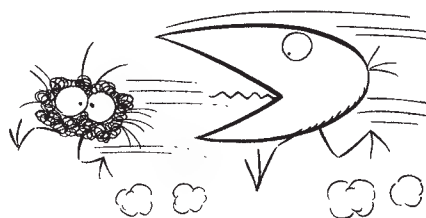
赤塚不二夫

赤塚くん!!

出るもののはしかたが
ないんだよ!!
よけいな心配をしな
いで、しめきりをキ
チンと守りたまえ!!

ロココ風の喫茶店で
エクレーアをたべながら

武居記者



ぼくの大事な
武居記者さま

ソファアの件も
あきらめました。
どうか「レッツラ・ゴン」の
連載をやめないで
ください。
おねがいします。

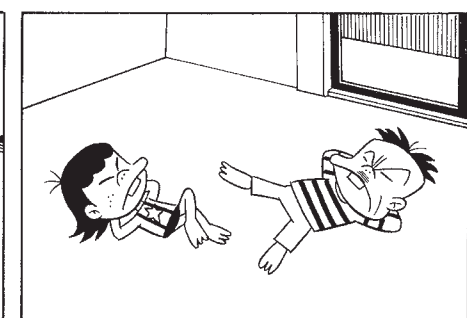
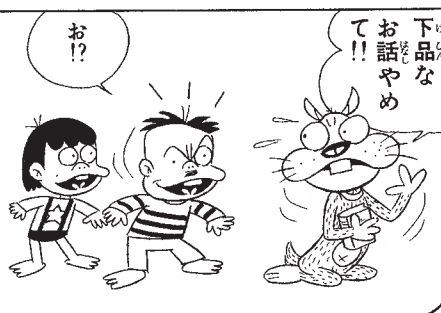
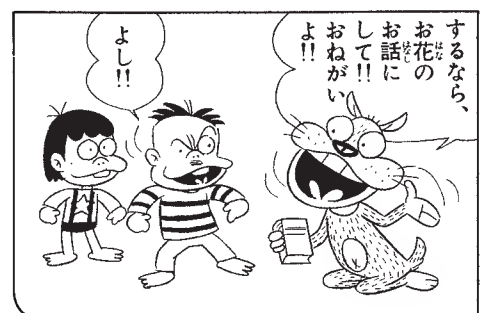
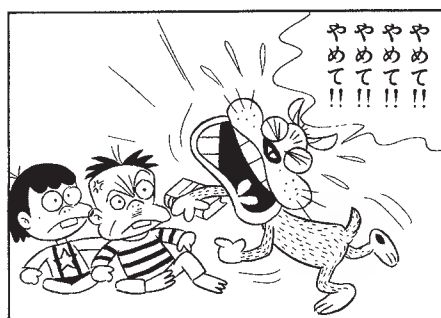
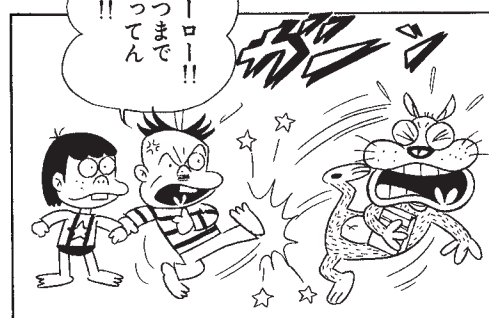
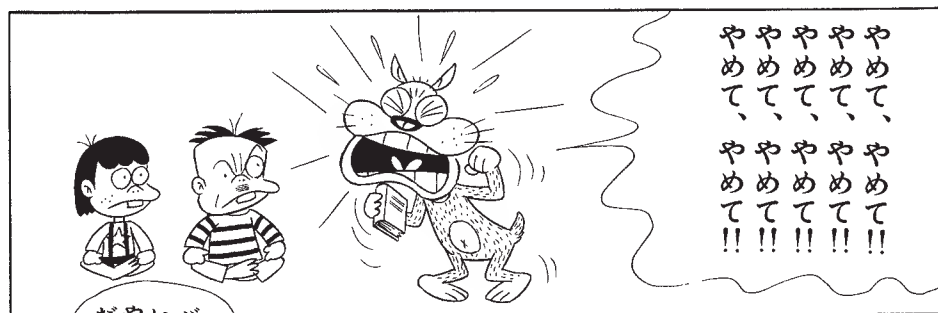
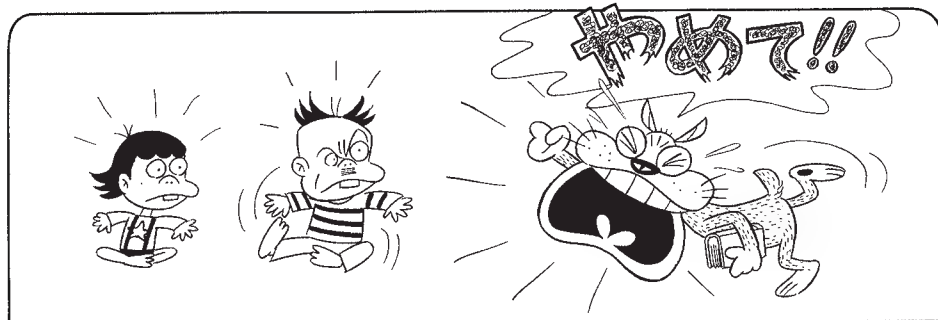
あなたの赤塚不二夫

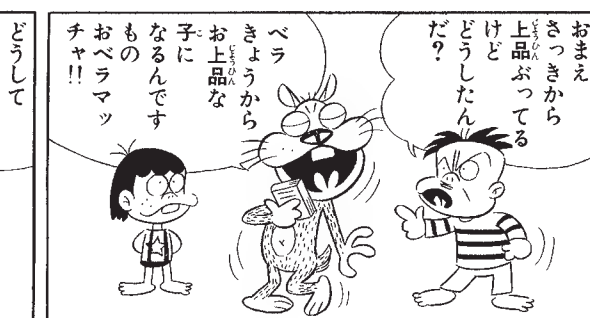
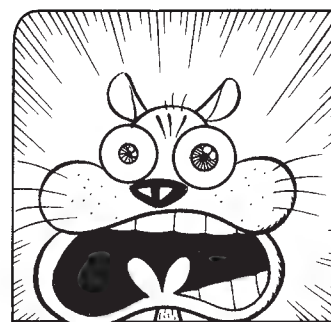
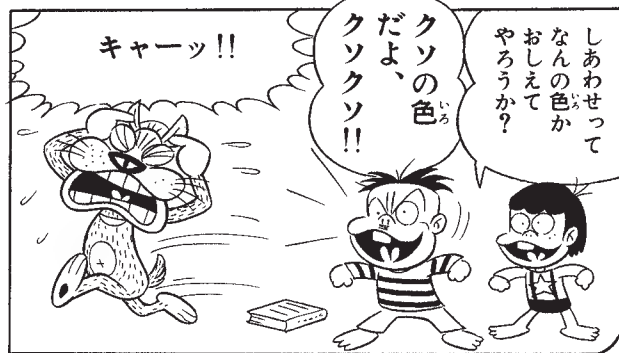
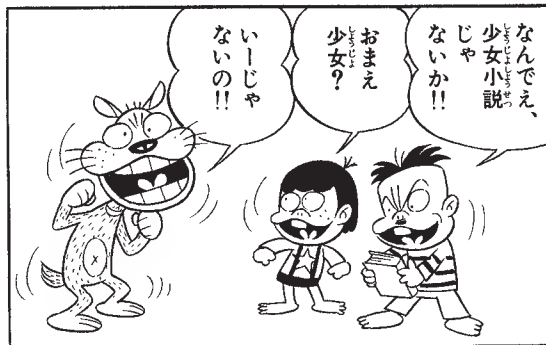
かわいい赤塚くん

きみはすなおで
いい子だね。
とろできみがきていた
シマのセーター。ぼくの
ほうがにあうと思う。
こんどいったとき、
そつとぼくのカバンに
入れなさい。

ベートペンの「運命」を
ききながら

武居記者







まあ!!



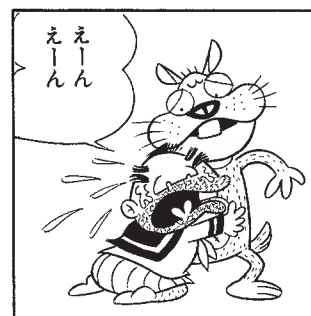
わたし
おとうさまの
日記を
見ちゃったの。
おねえ
さまは、
おとう
さまと
おかあ
さまの
子では
ないん
ですって!!



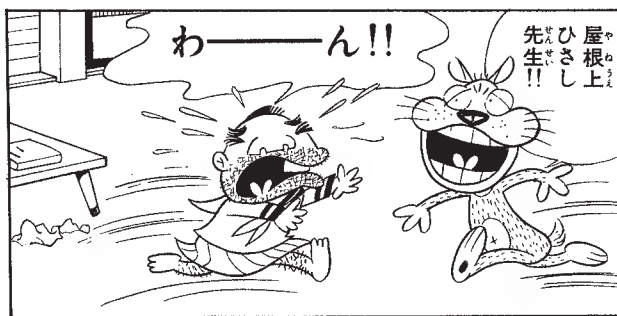
ああ!!
わたしって
秘密の氷に
とざされた
つめたい
身の上
だったのね



あたしは
みなし子
だったの
ね!!

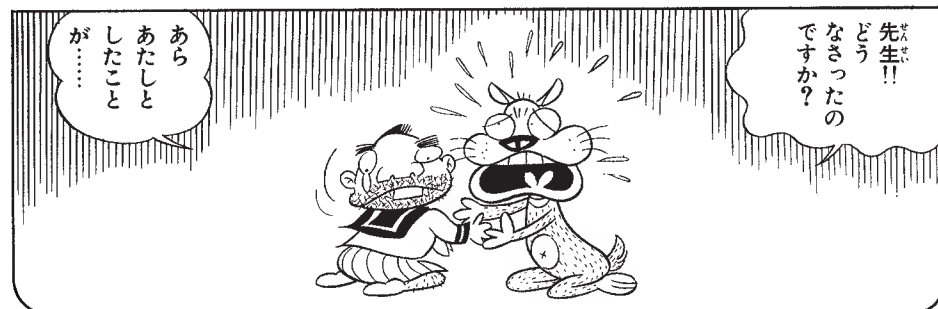


えーん



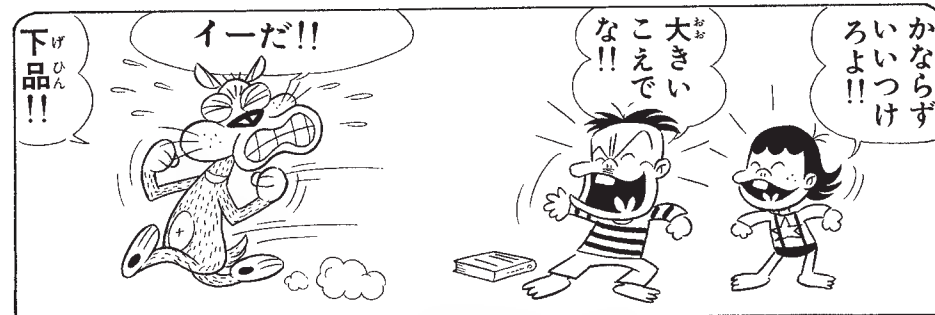
わ——ん!!

屋根上
ひさし
先生!!



あら
あたしと
したこと
が……

先生!!
どう
なさったの
ですか?



イーだ!!

下品!!

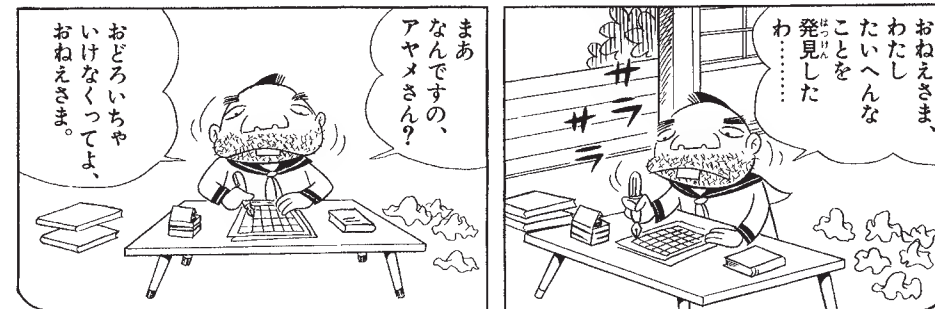
大きい
こえで
な!!

かならず
いいつけ
ろよ!!



一つちがいの
姉妹 スミレと
アヤメが
おりました。

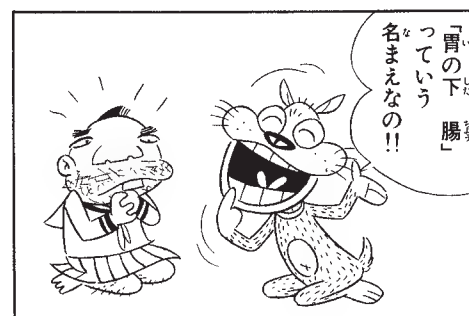
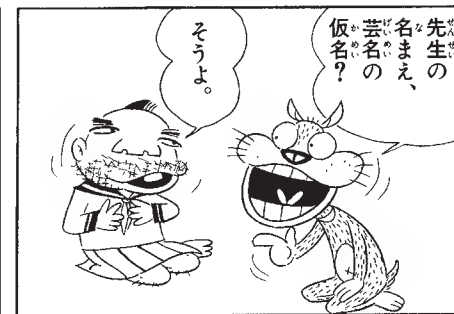
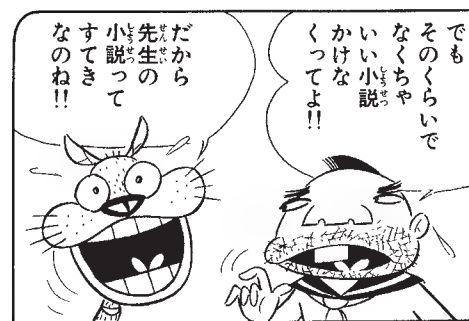
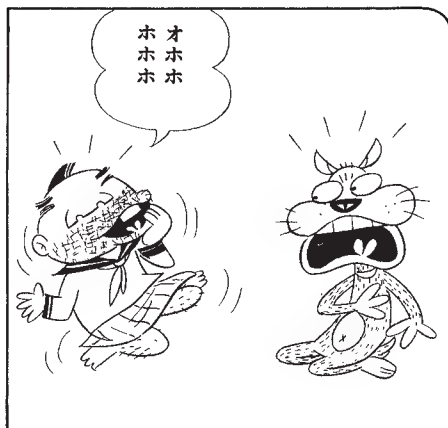
スミレが白
ユリならば、
アヤメは赤い
バラの花
吹く風よ
花園に……

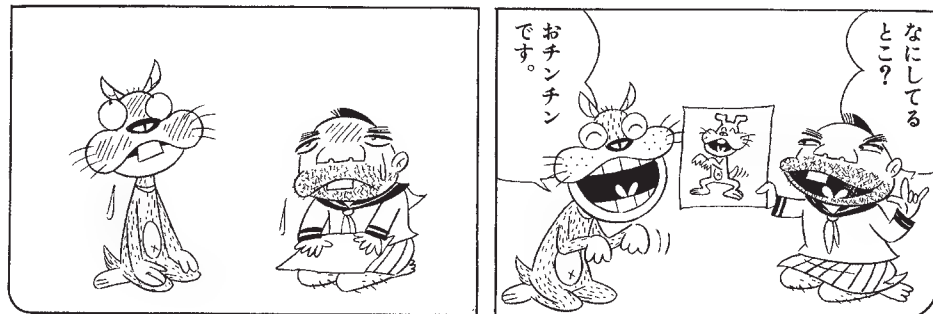
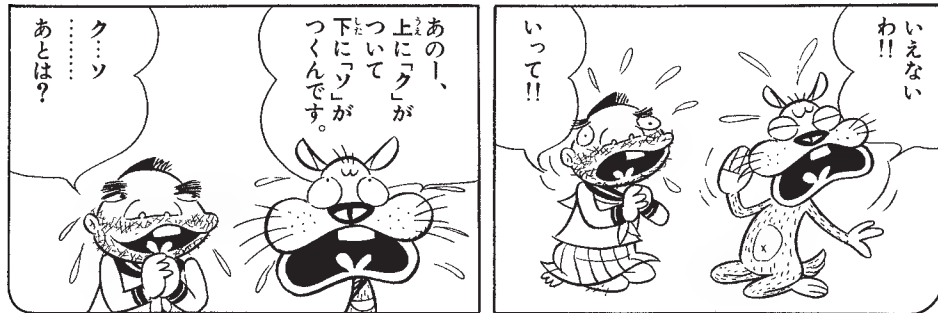


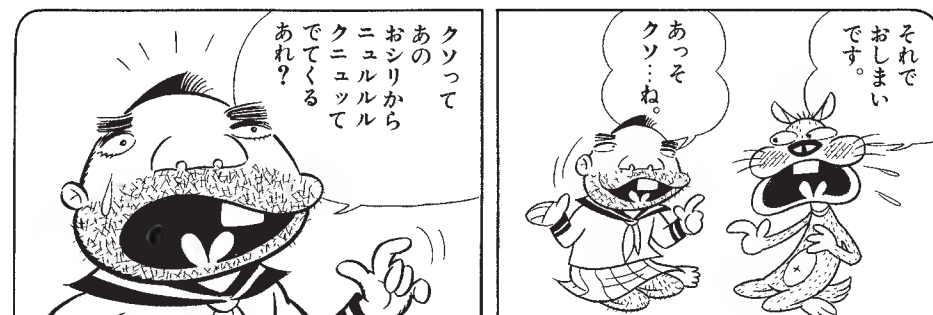
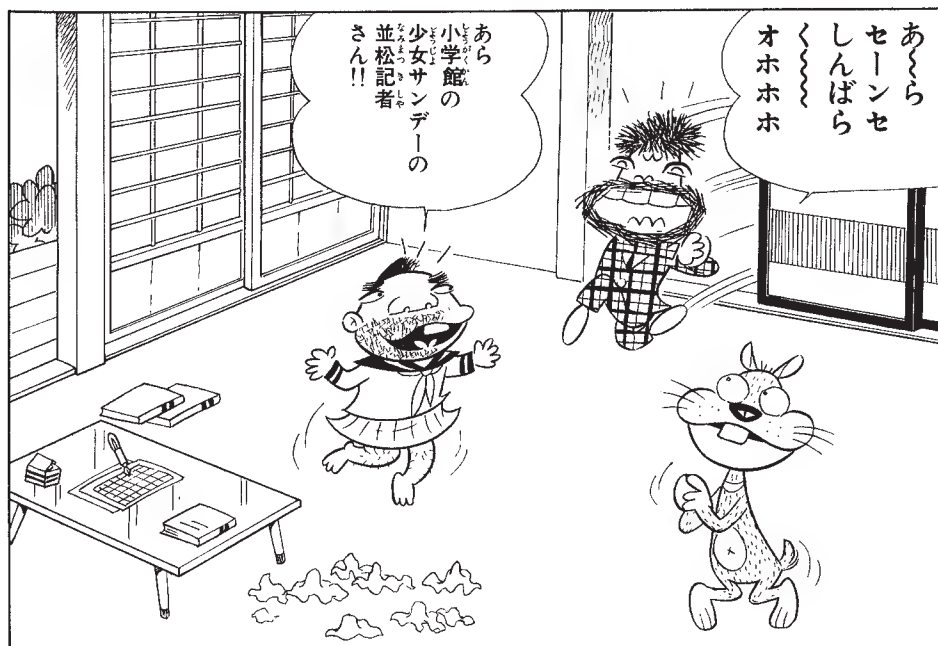
まあ
なんですの、
アヤメさん?

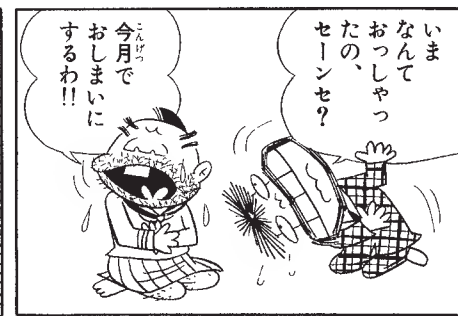
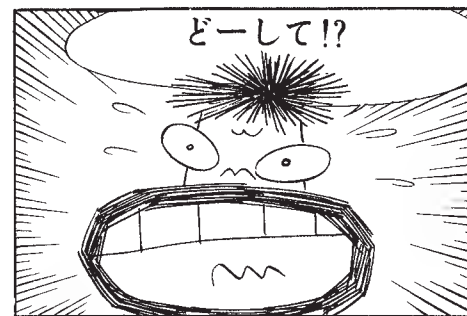
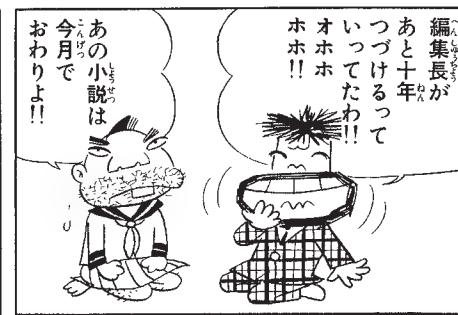
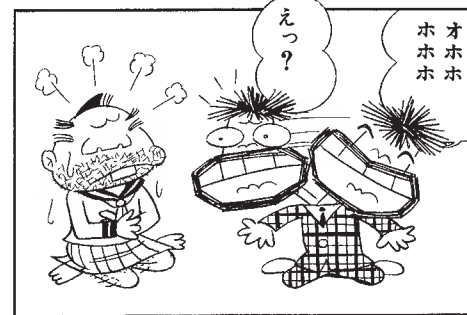
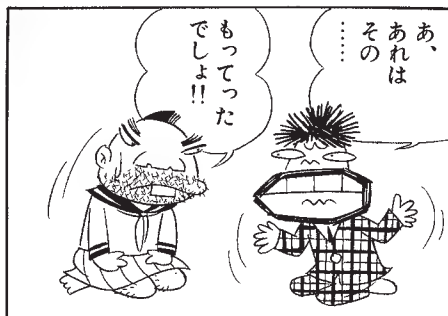
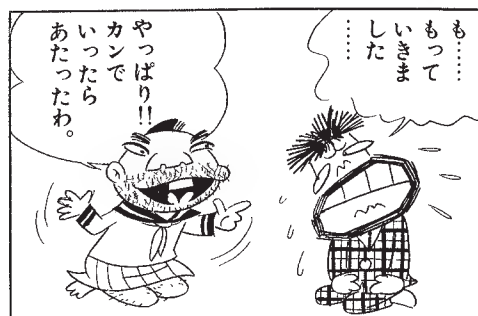
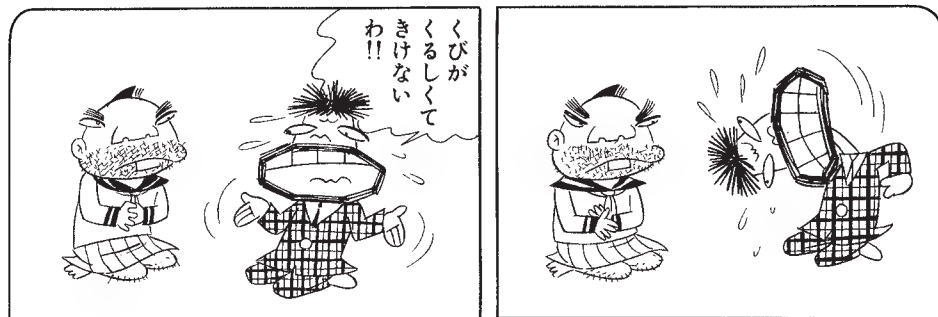
おどろいちゃ
いけなくってよ、
おねえさま。

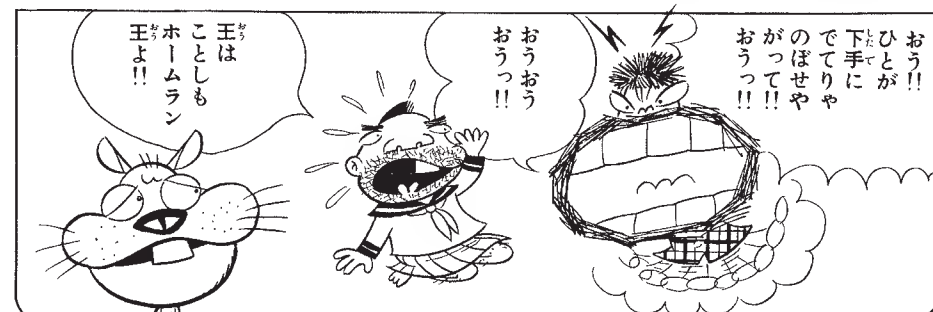
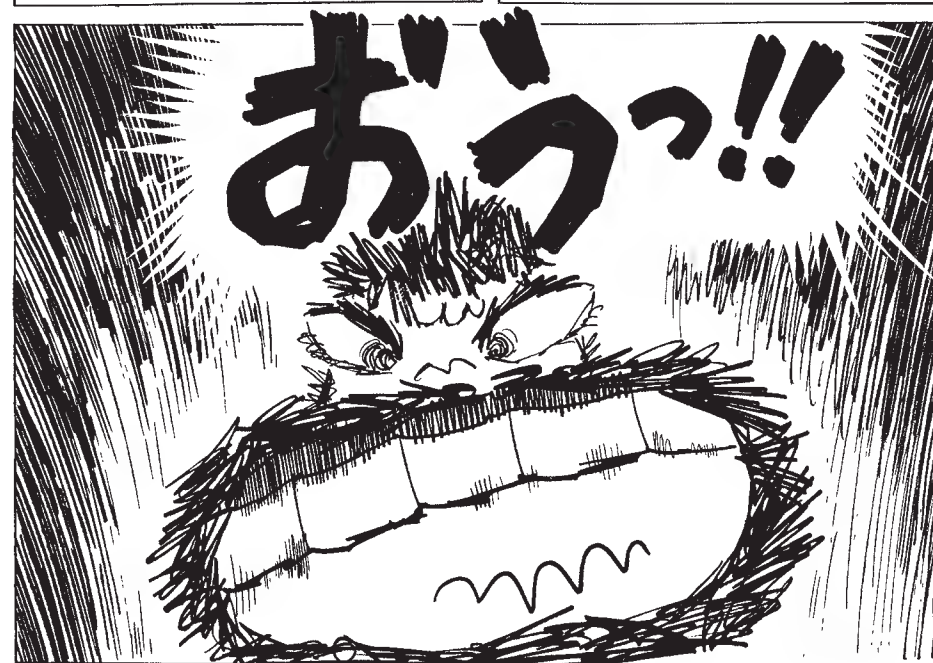
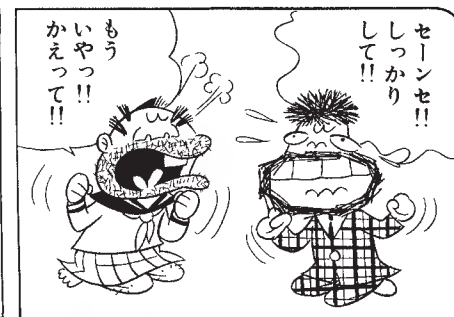
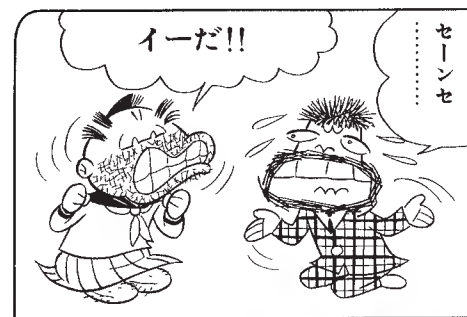
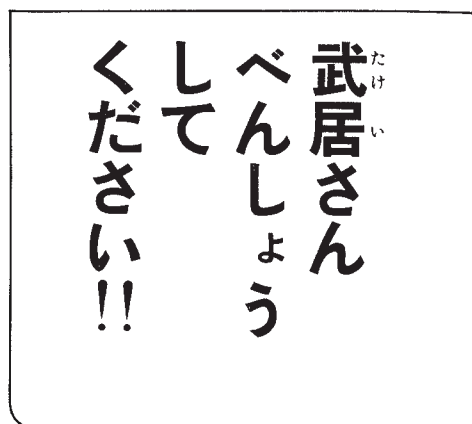
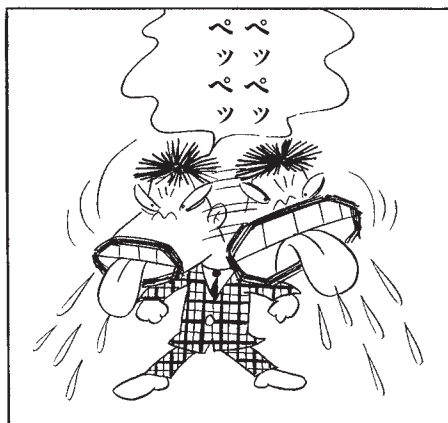
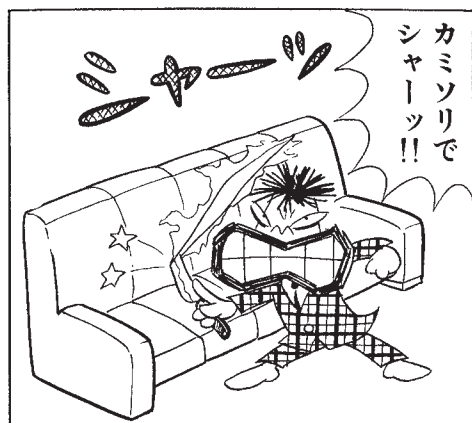
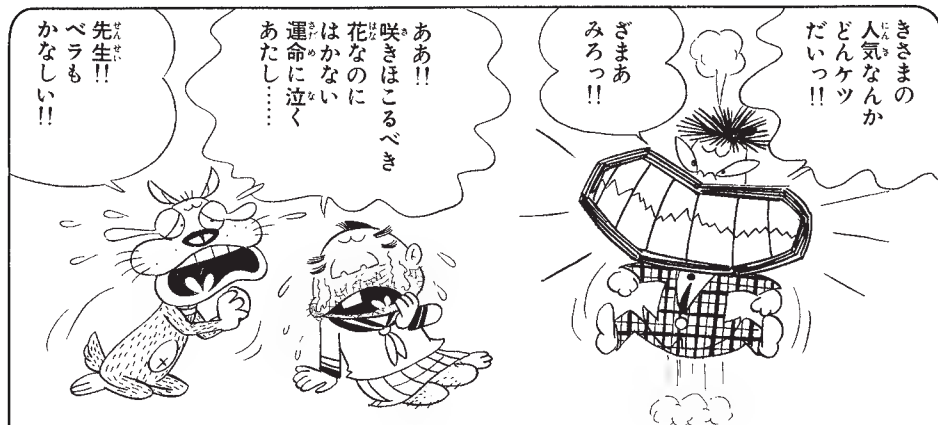
おねえさま、
わたし
たいへんな
ことを
発見した
わ……

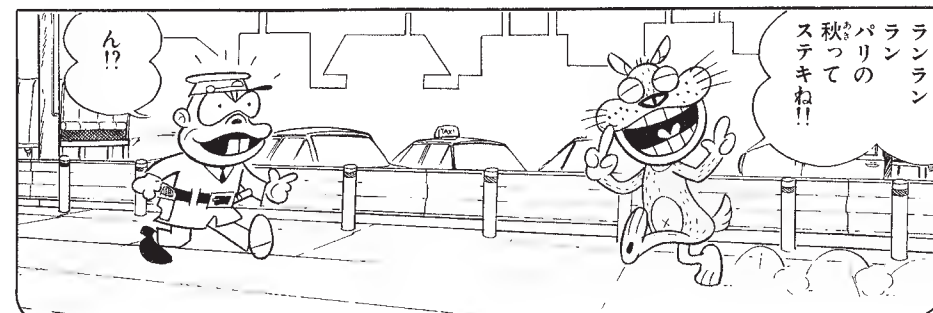
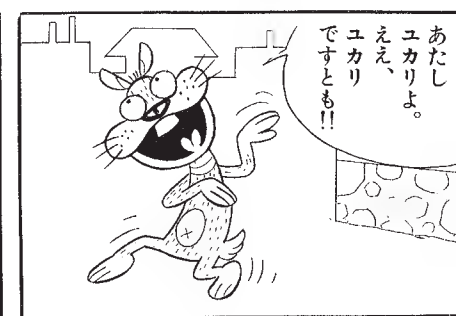
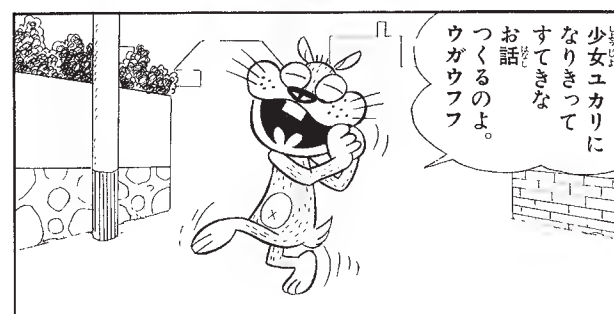
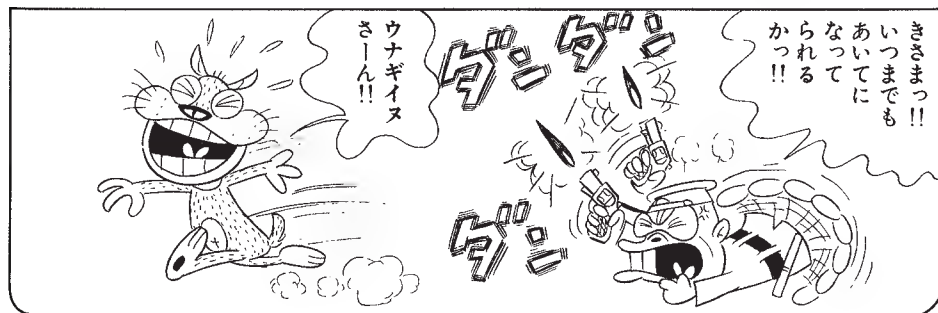
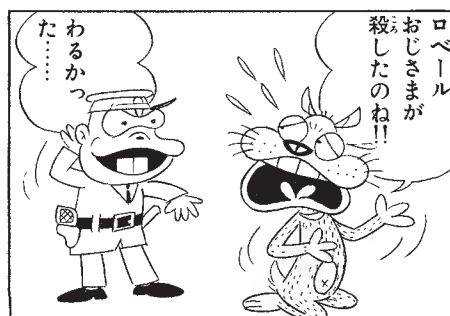
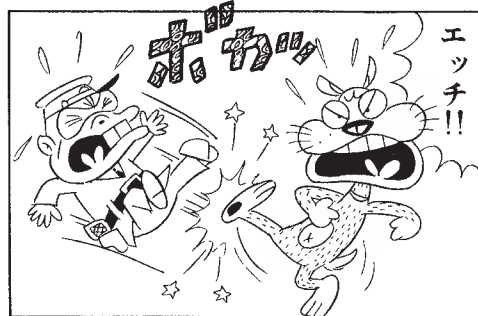
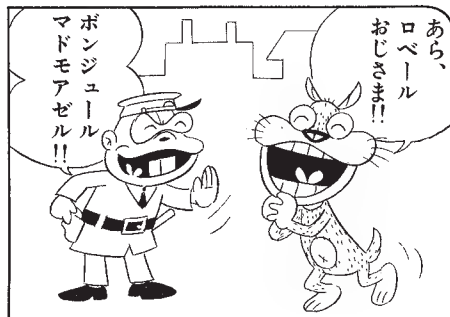
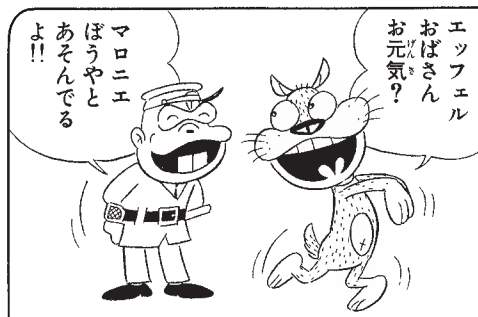


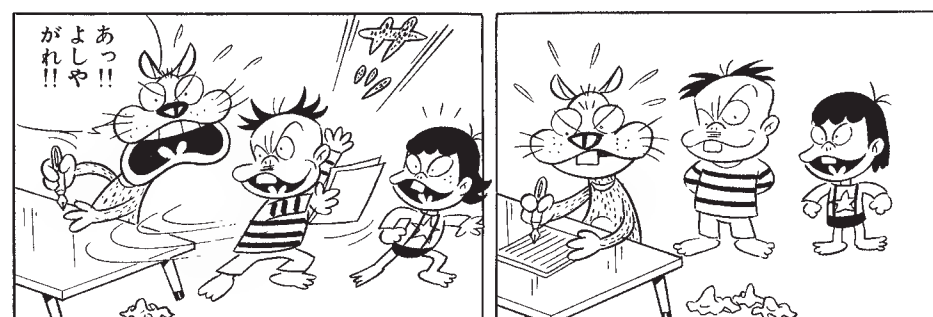
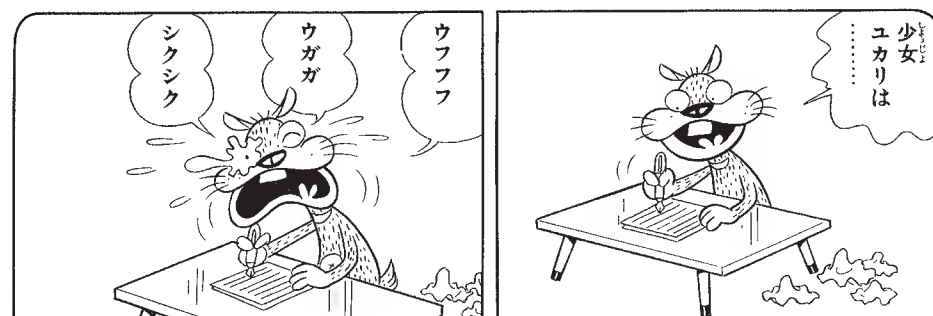
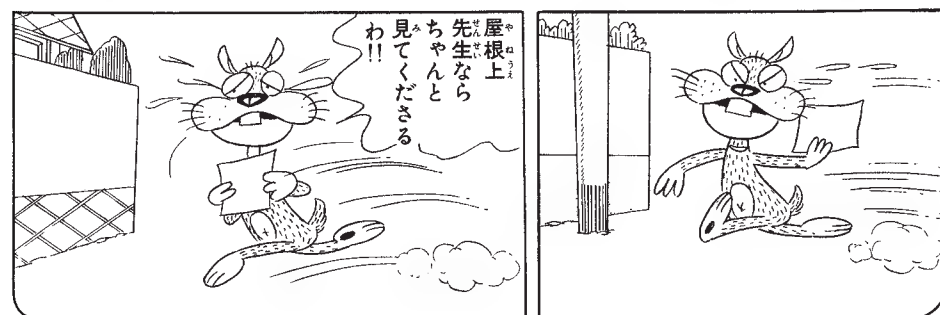
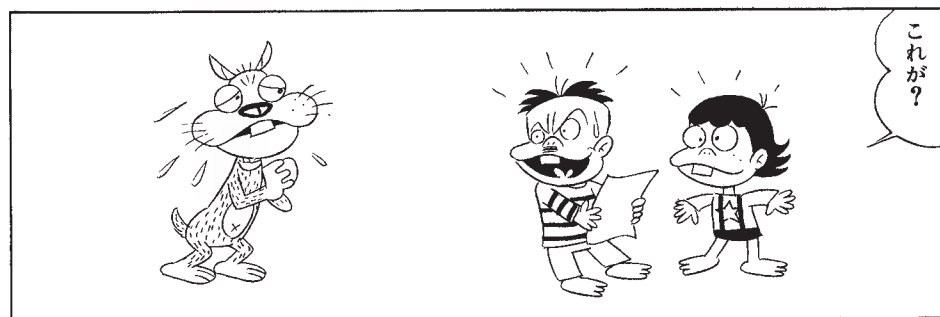












少女ユカリはフランスパンがス
ールスルみずむしカイカイのや
やまちゃんビルはサンドリゅんま
いきだぞうきんたまにはみせる。
少女ユカリのぐそのごとききみ
なりきちがいんきんたむしめ。
少女ユカタのきみはスキのか
んざしめざしくいたしんでれう。
きようはいてんきすしょうさギ
なにみてはねるんぺんたコかいな
少女ユカリがないて南の空へ
とんでゆかアノネオッサンゆしゃ
かなわんよ

つつく

レ ツ ツ ラ ゴ ン 交番佐渡おけさ

(ある日電話で——)

「もしもし、赤塚か? おれだよ。
武居記者さまだよ!!
あんな、おれはきょうから
きさまの担当記者じゃ
なくなるよ。元気でな!!
バーロー!! あばよ!!」

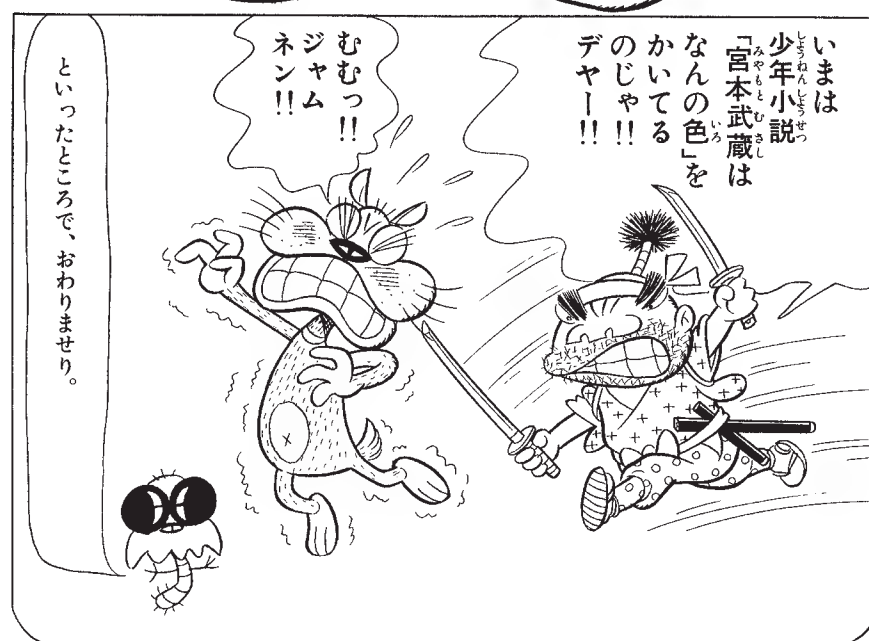
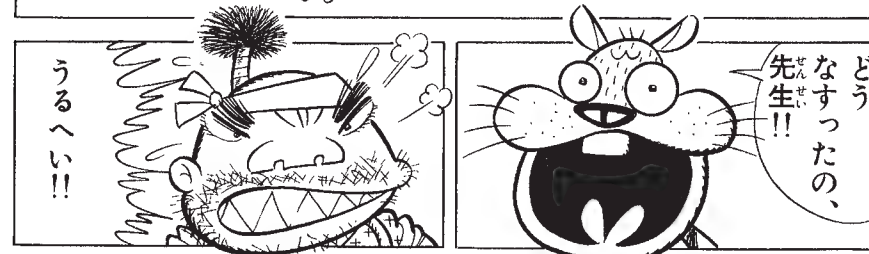
「わーっ!! ほんと?
武居のバカヤロ!! アホ!!
死んじまえっ、デカバナ!!」

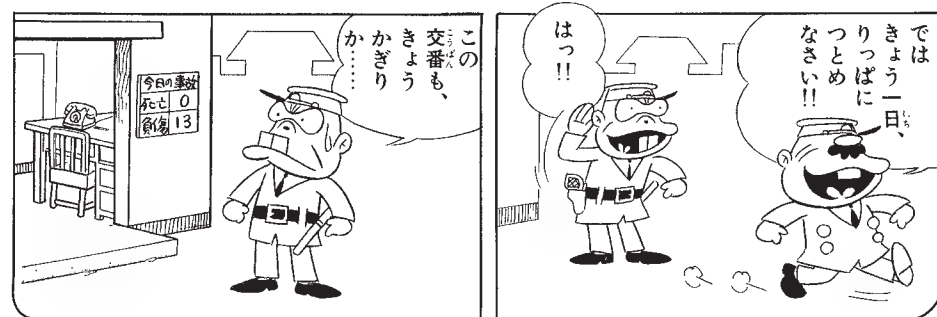
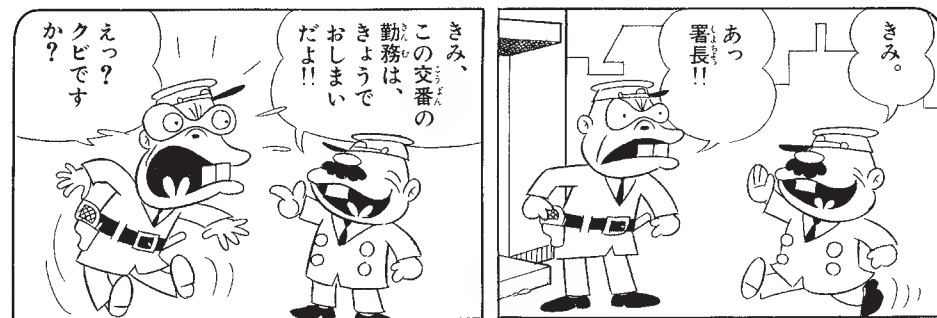
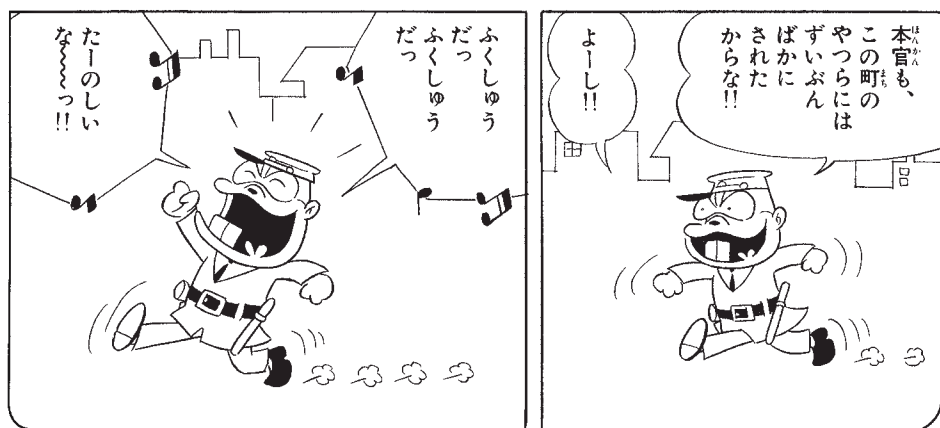
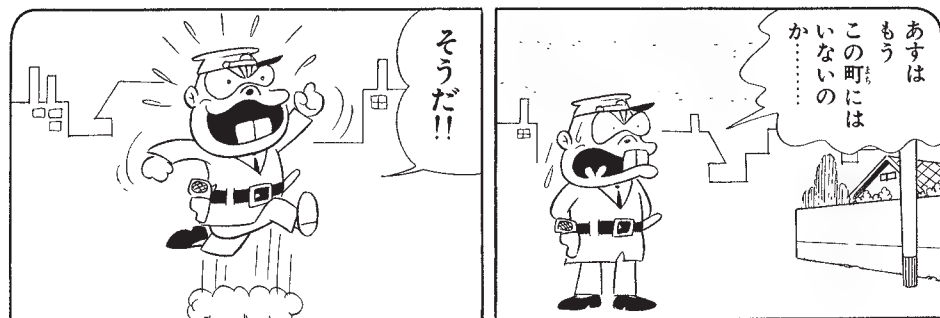
(ガチャン!!)

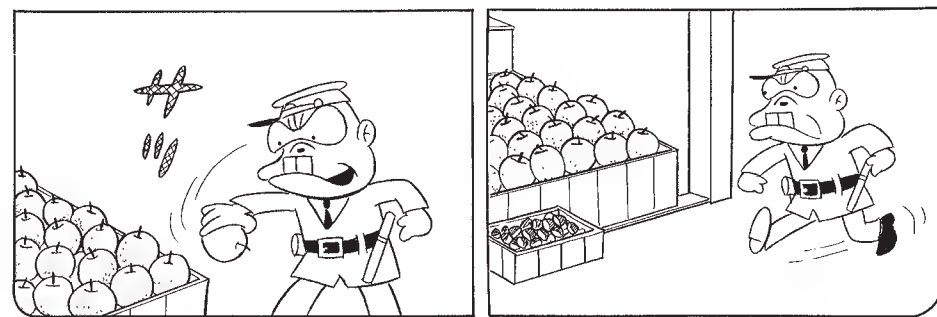
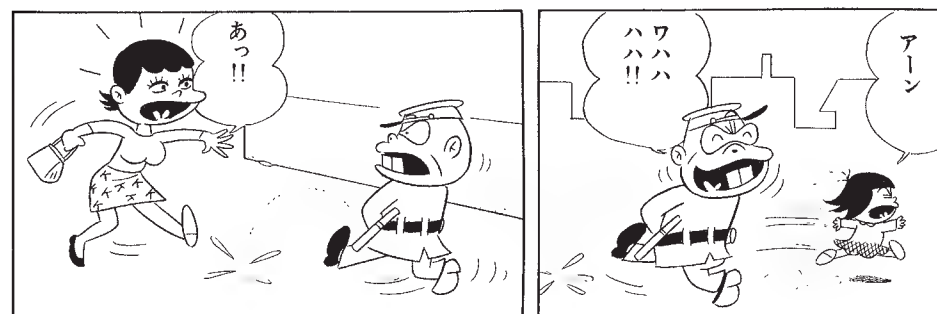
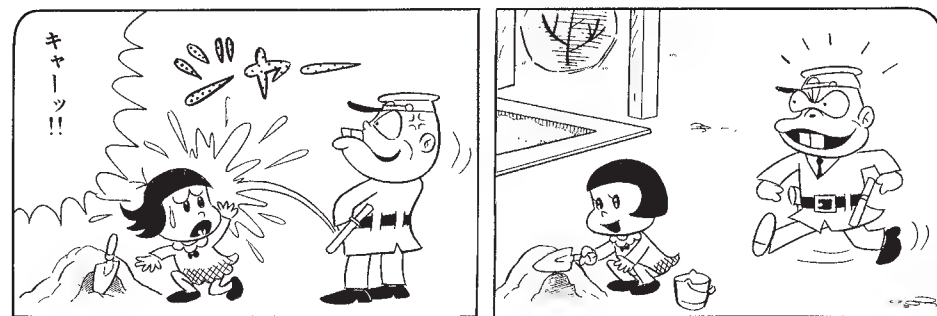
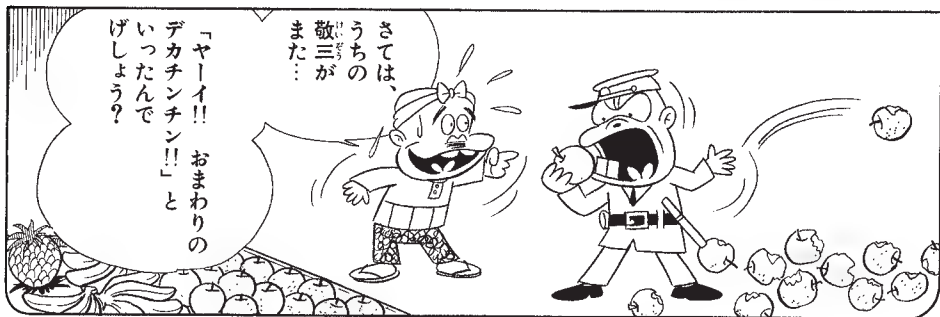
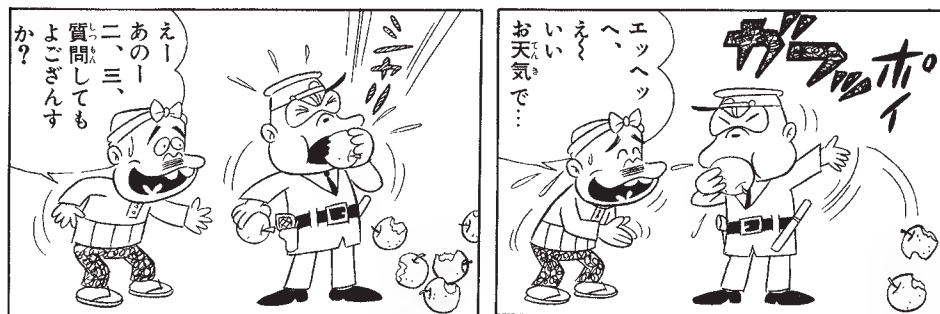
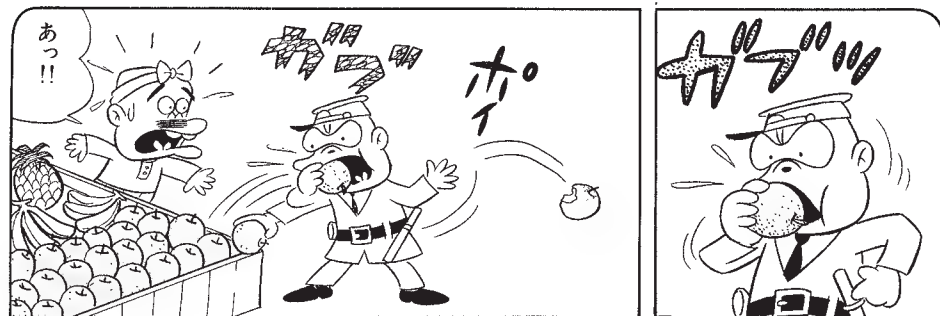
三十分後

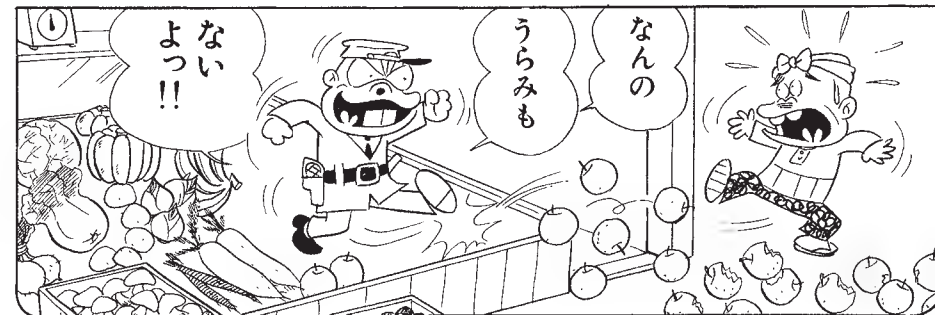
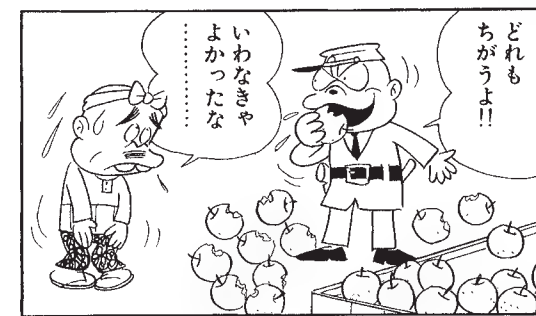
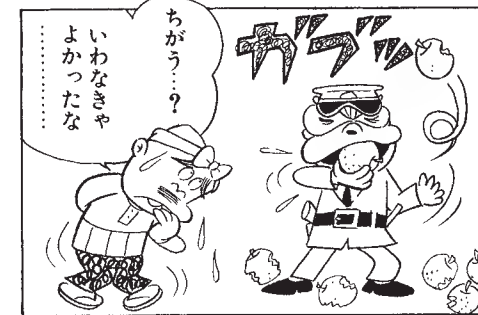
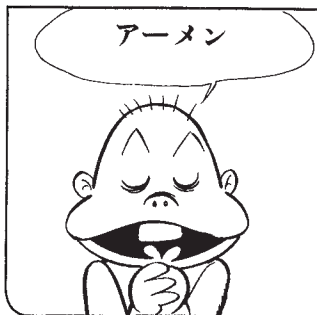
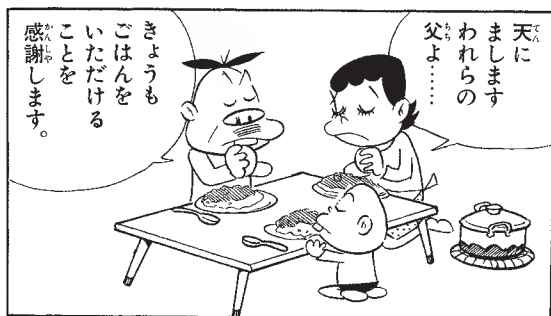
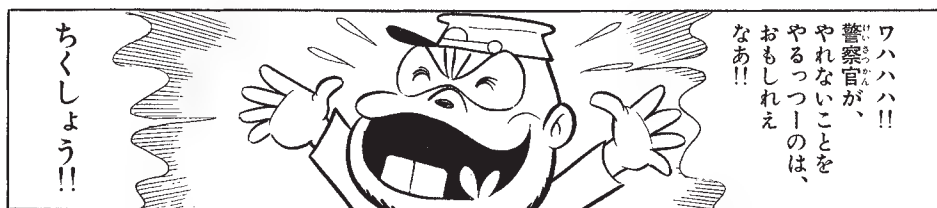
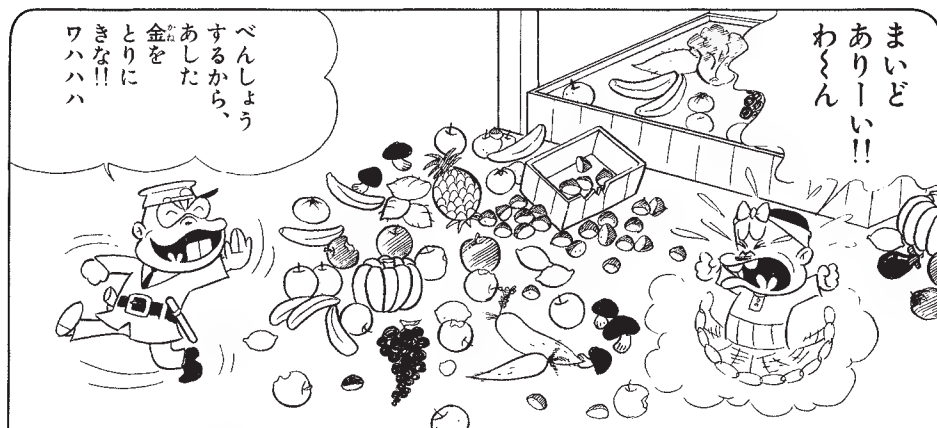
武居「おう!! 来たぜ赤塚。
さっきのことはウソだよ。
バーロー!! おれはずーっと
まだまだきさまの担当
だよ。バーロー!!」

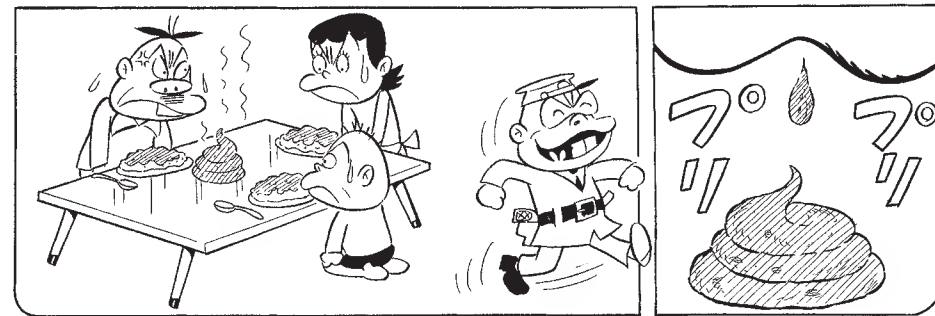
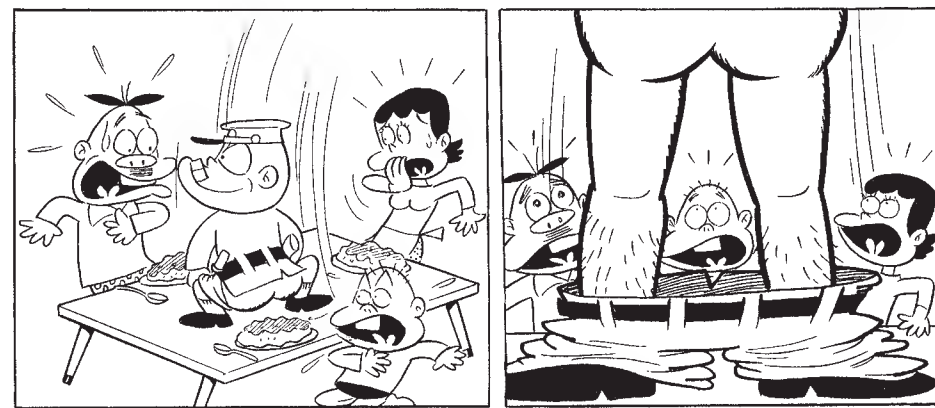
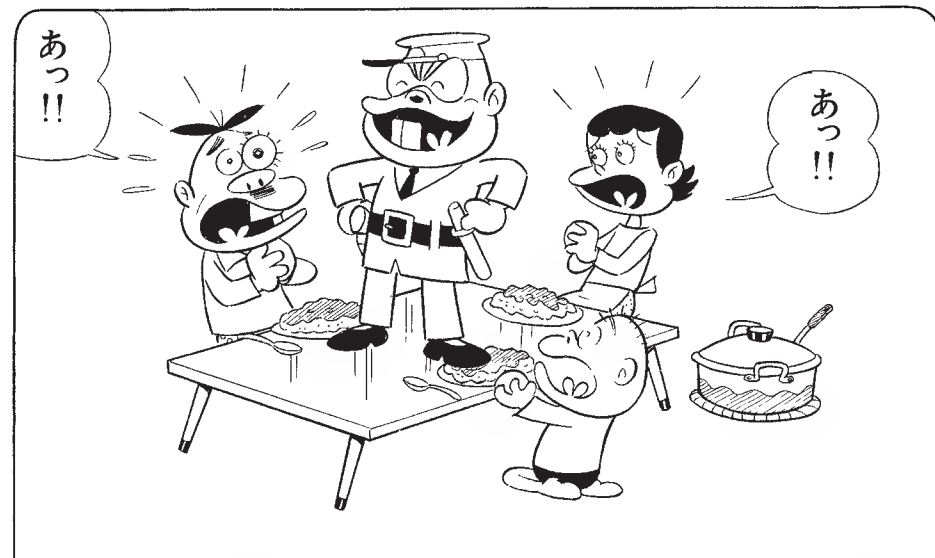
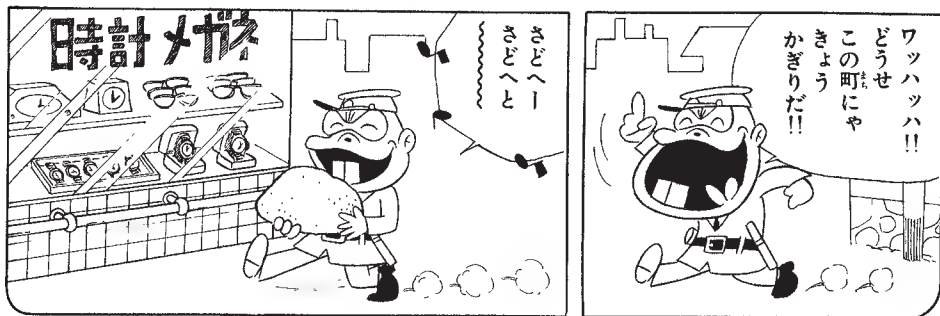
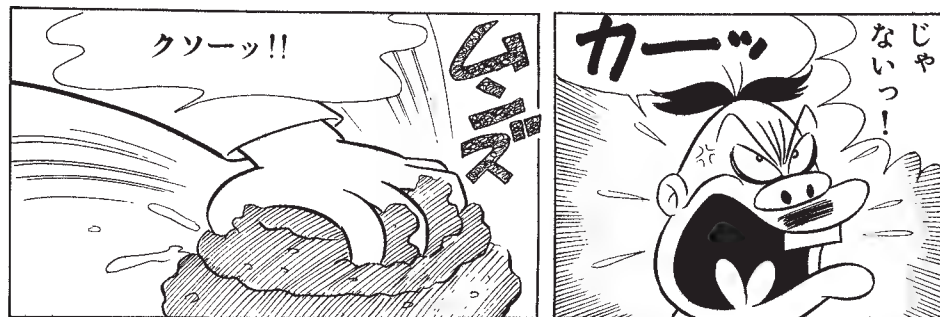
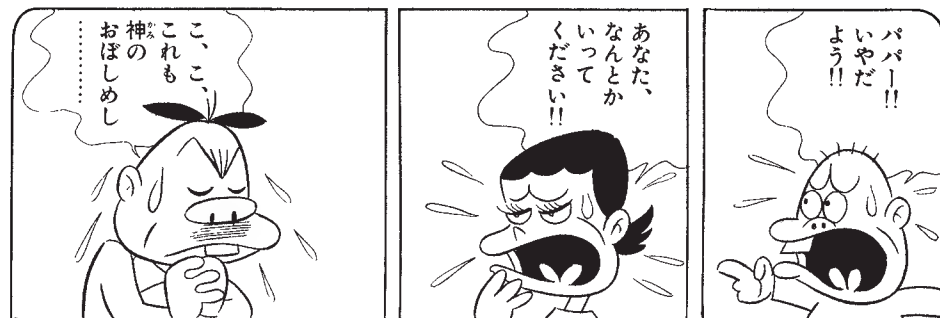
赤塚「ゲーツ!! タ、ケ、イ、さんっ!!」
(赤塚はげしく武居にだきつく!!)

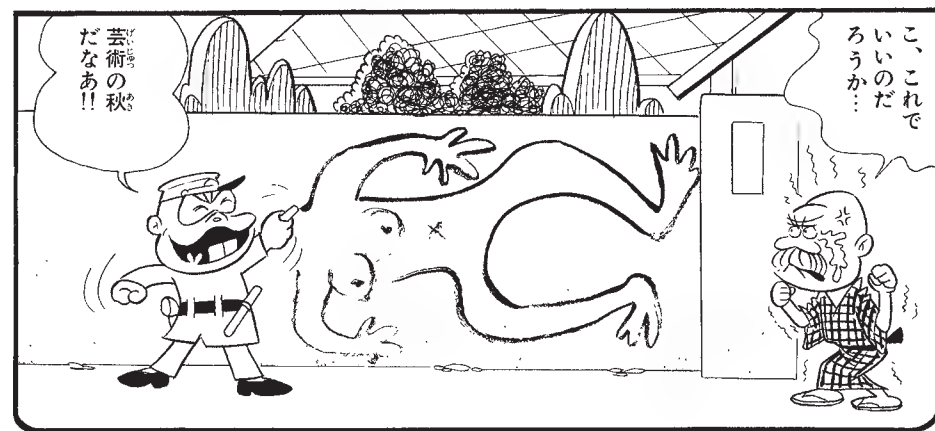
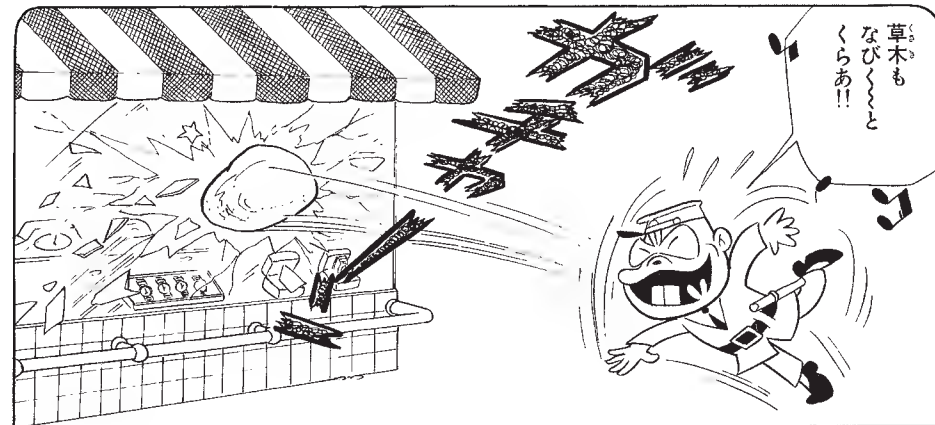
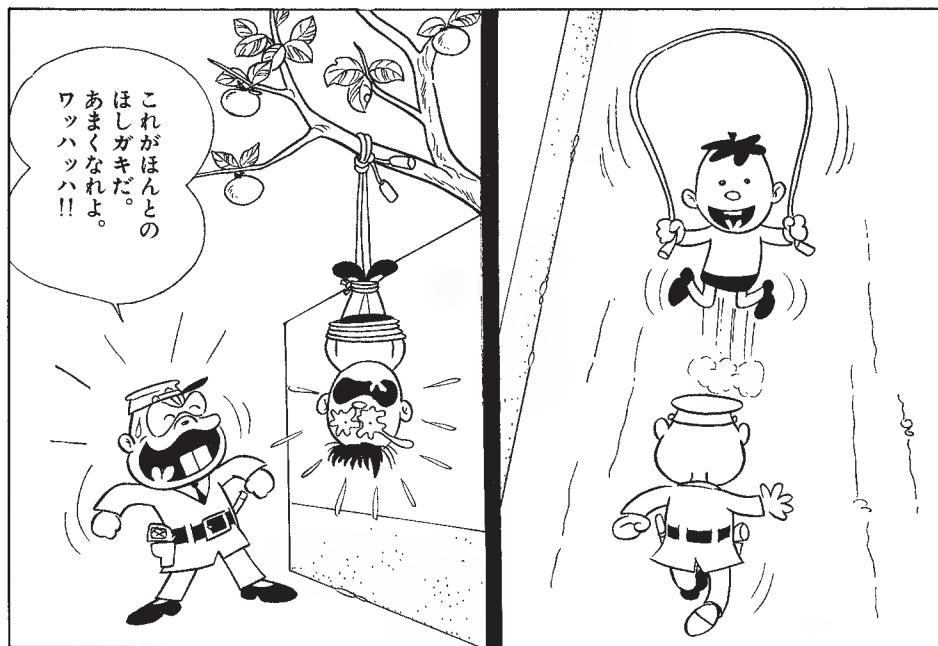
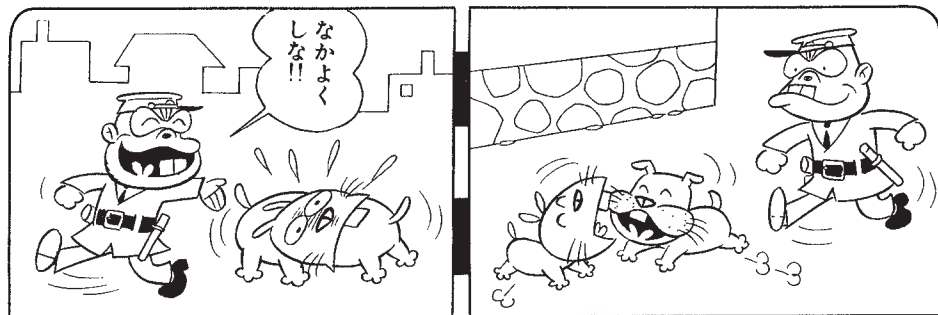


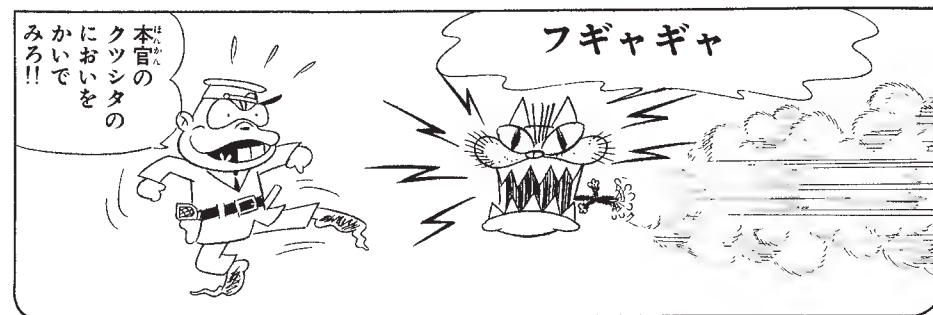
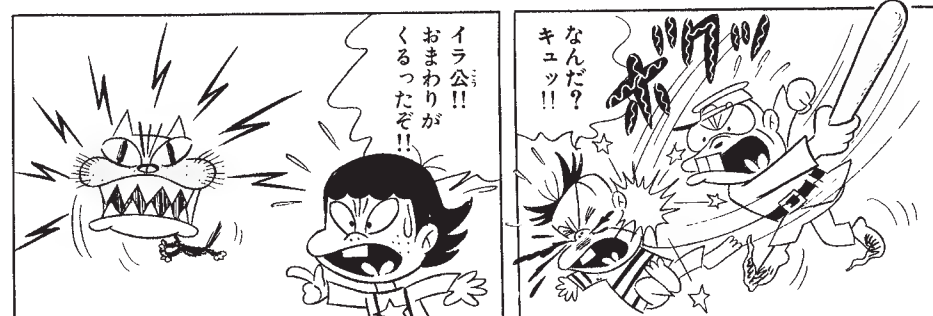
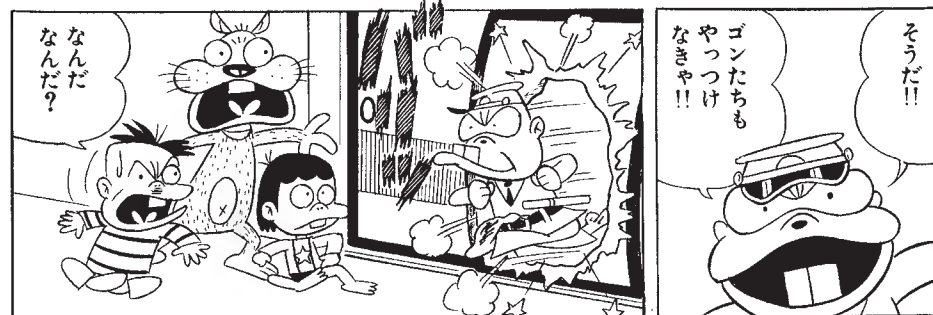
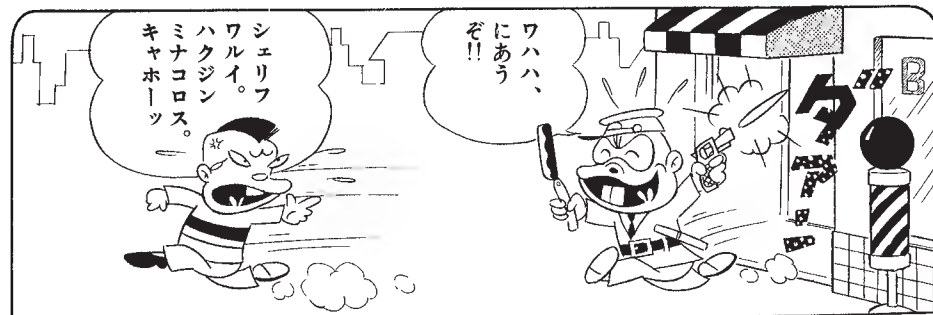
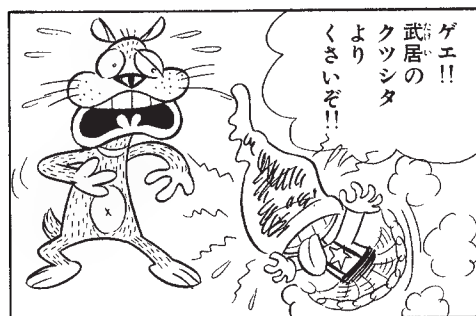
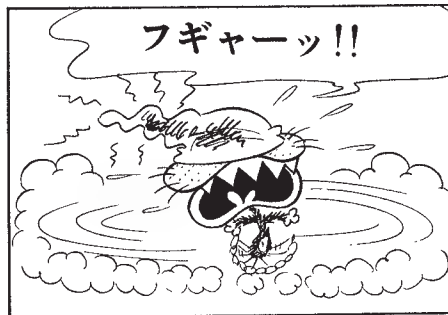
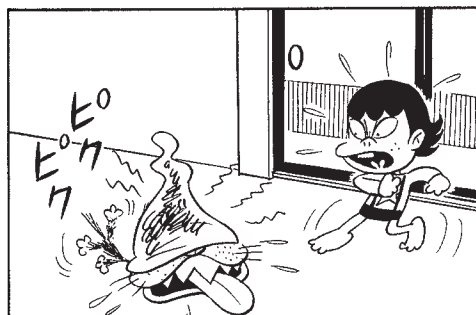
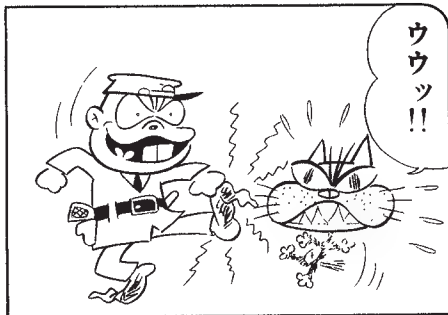
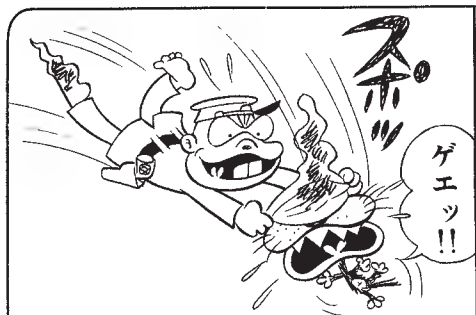


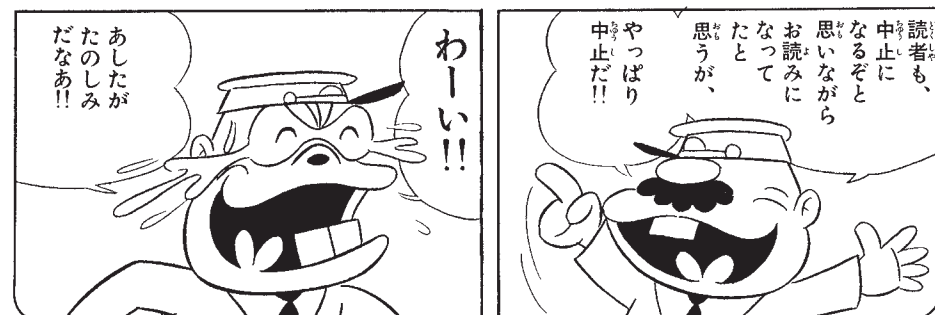
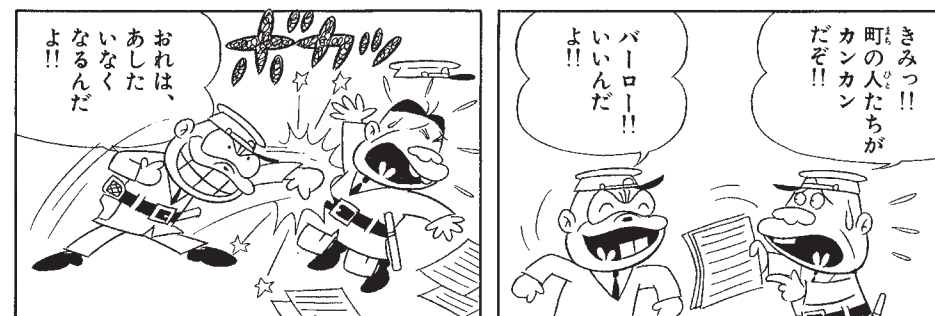
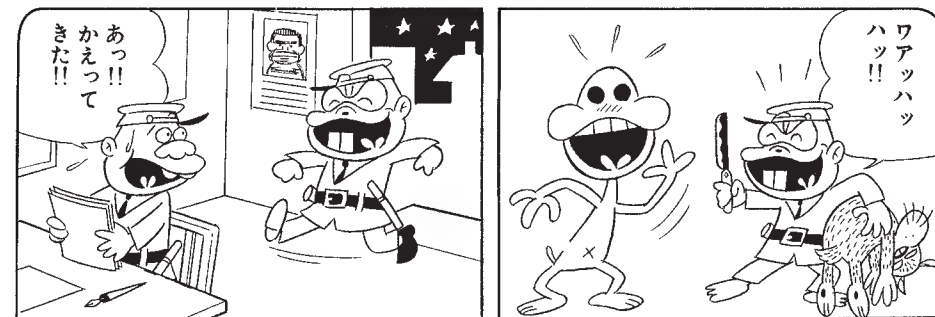








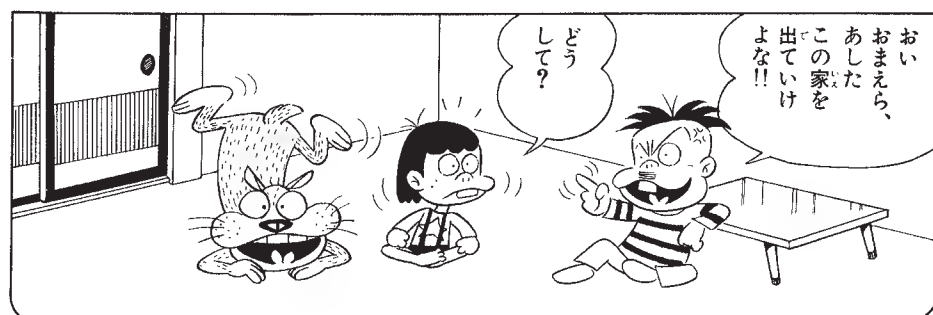
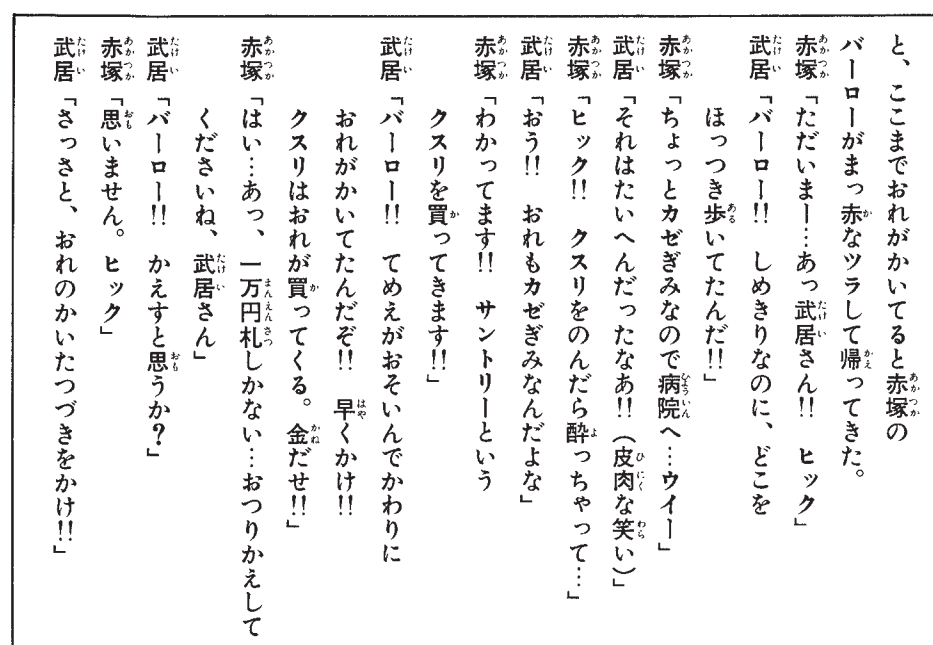
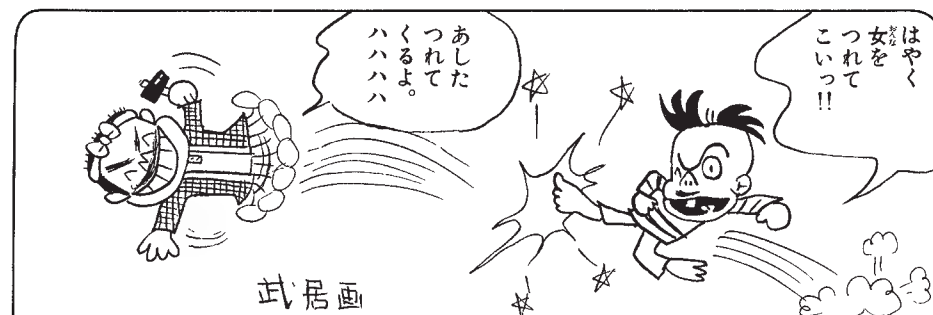
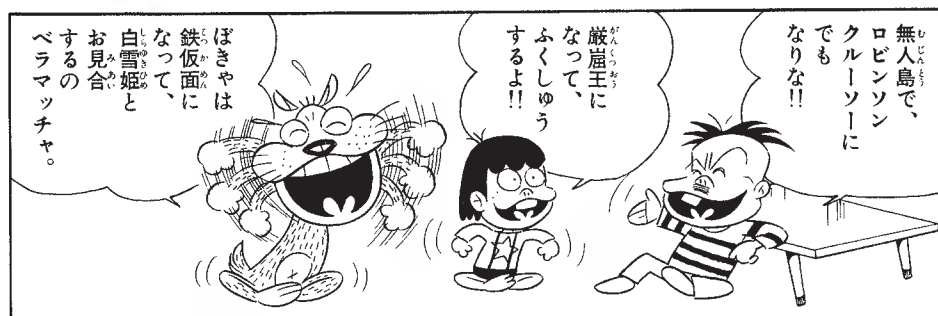
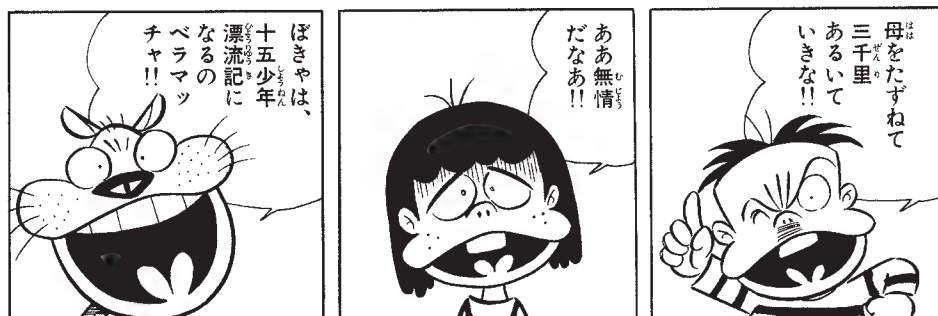


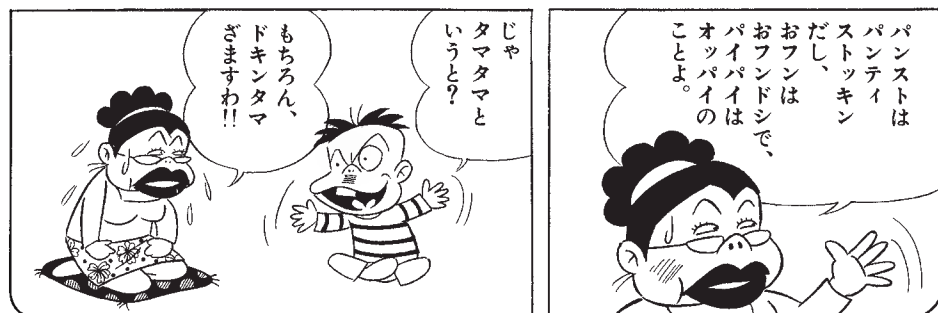
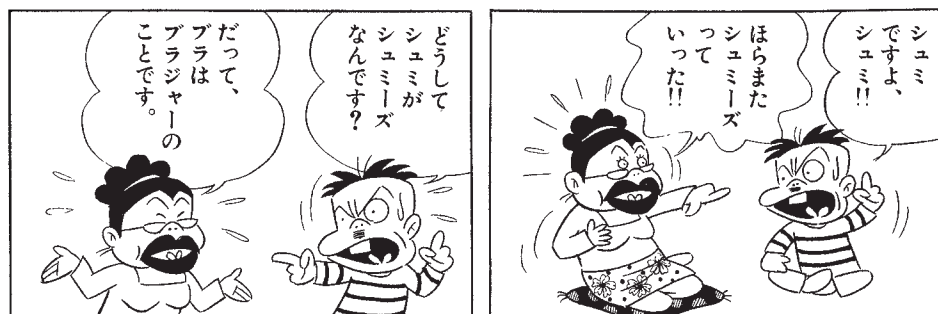
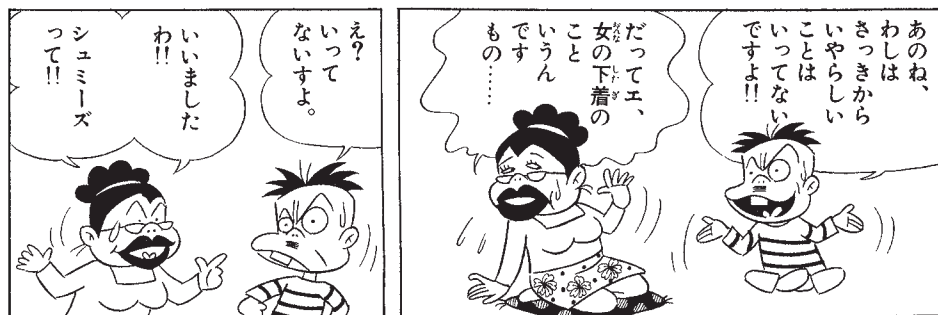


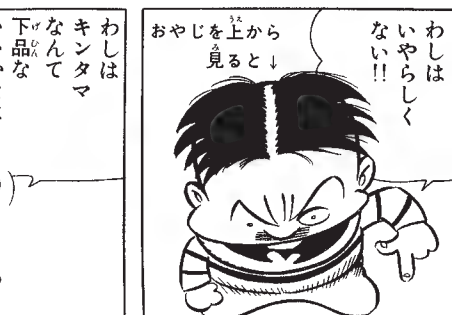
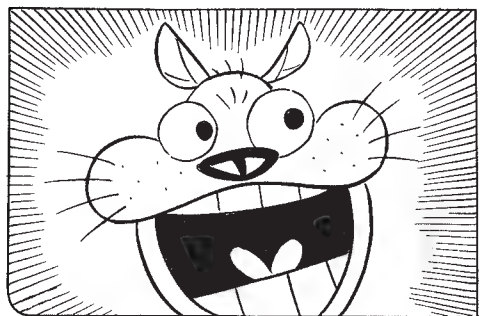
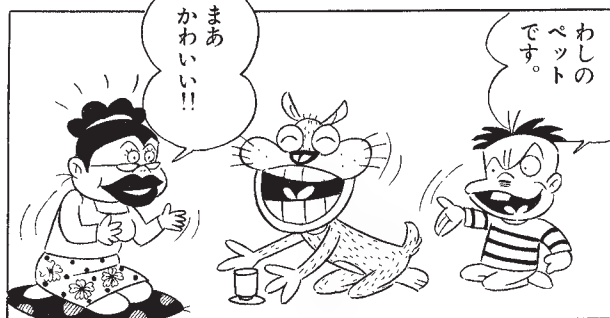
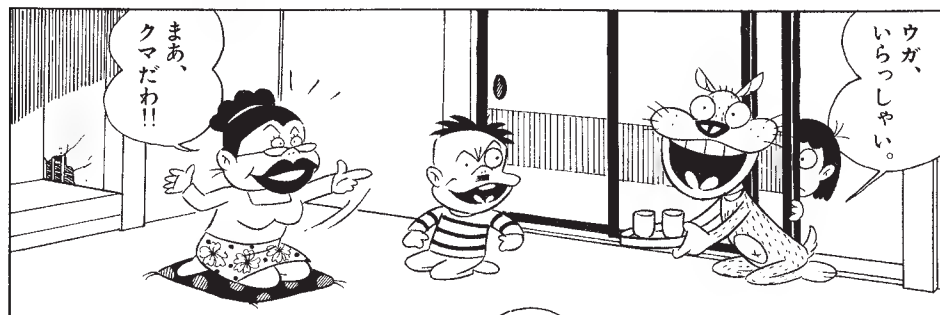
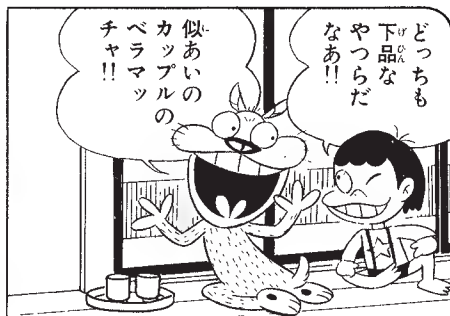


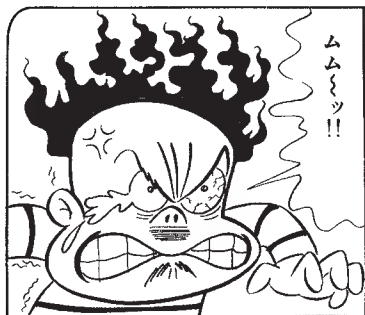
ドキンタマ



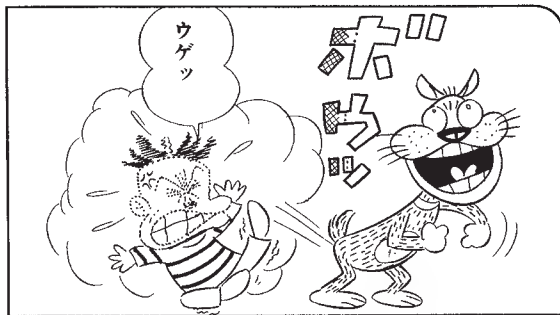






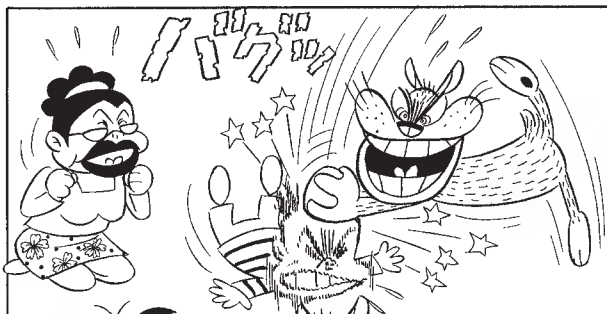


ムムッ!!

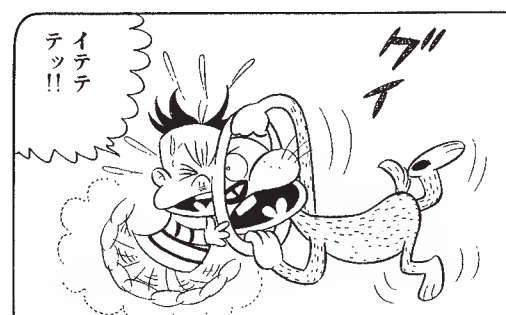
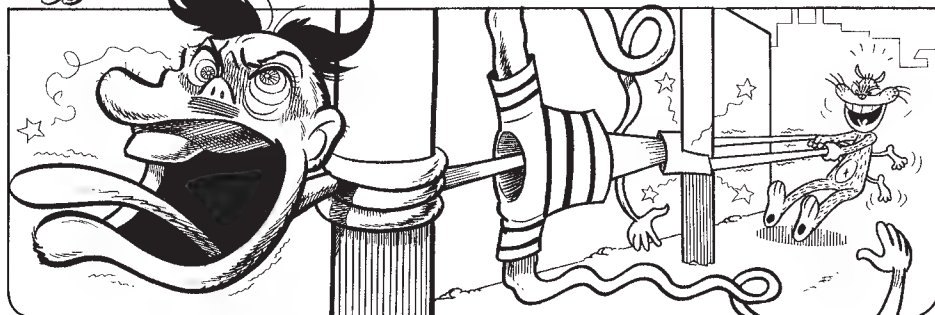
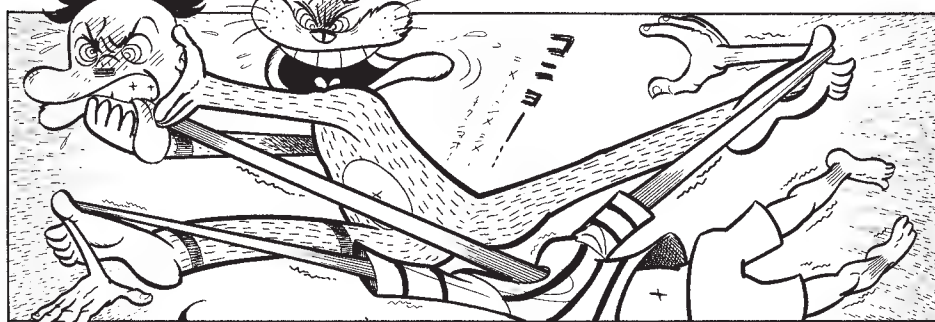


ウゲッ

ボウッ

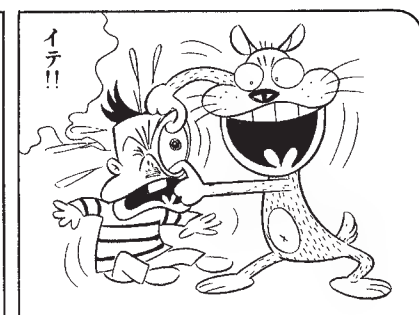


クマちゃん
がんばって!!

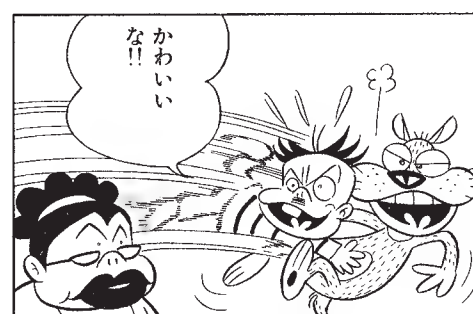


イテテ
テッ!!

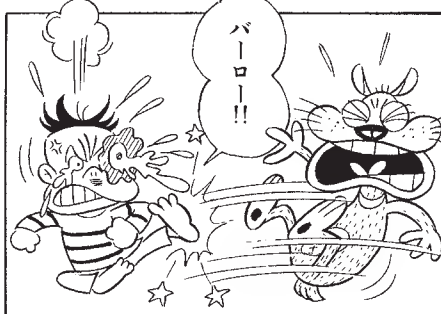
グッ



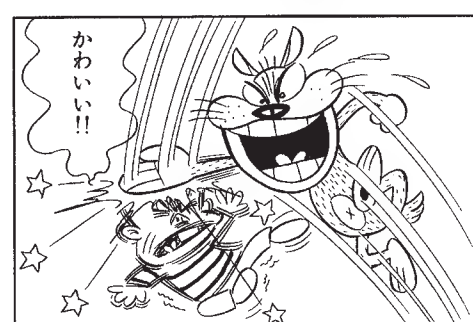
イテ!!



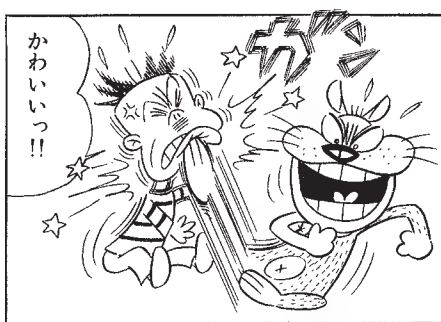
かわいい
な!!



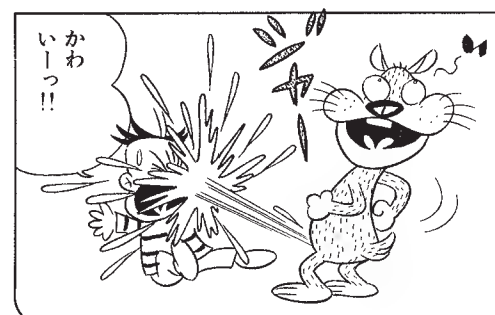
バーロー!!



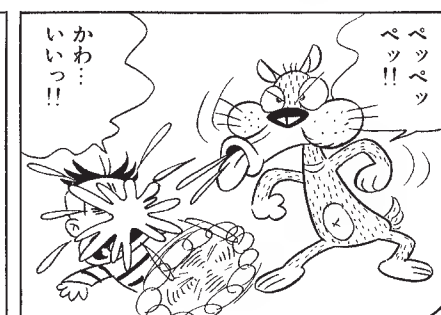
かわいい!!



かわいい!!

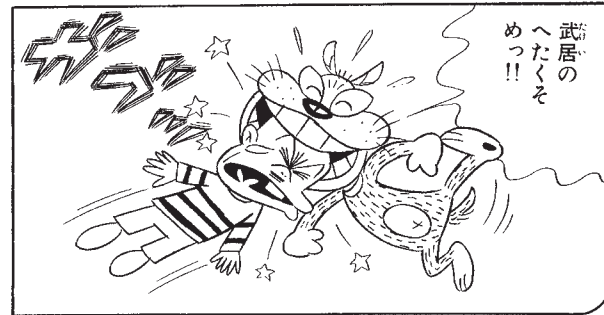
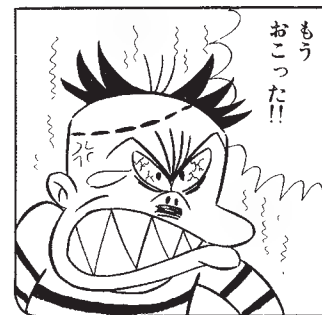
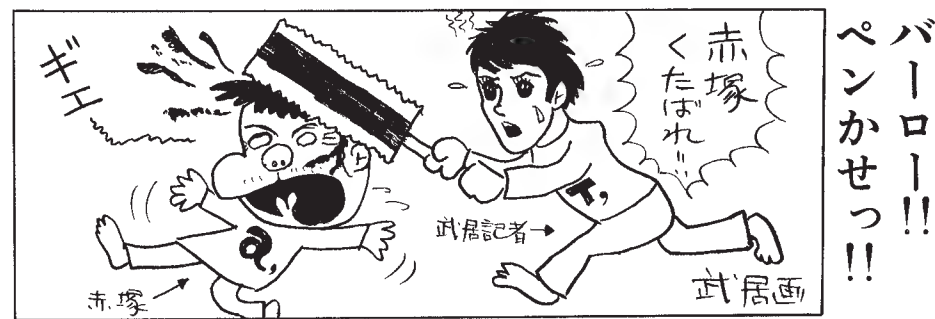
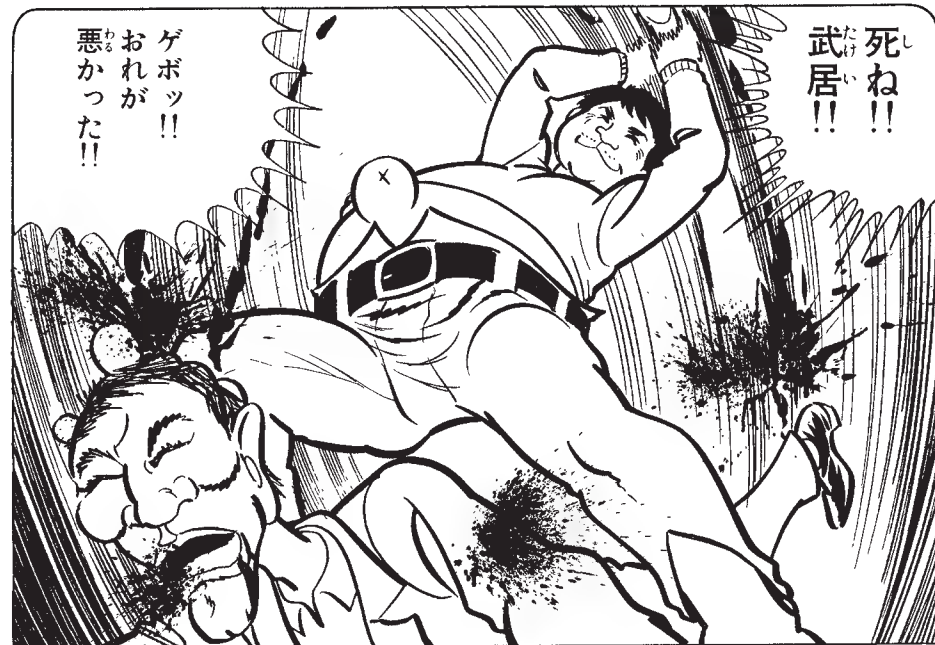
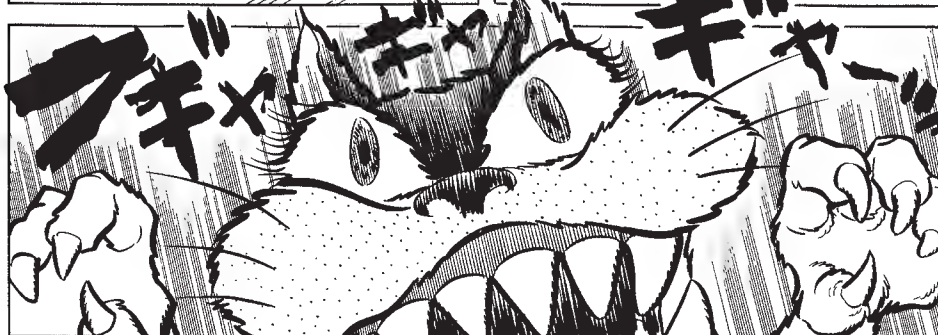
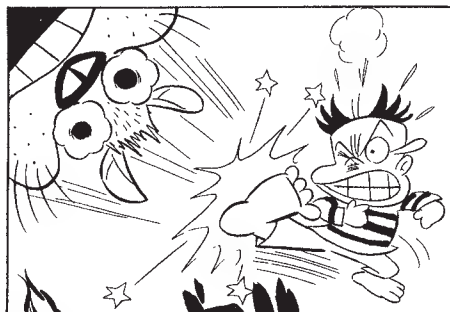
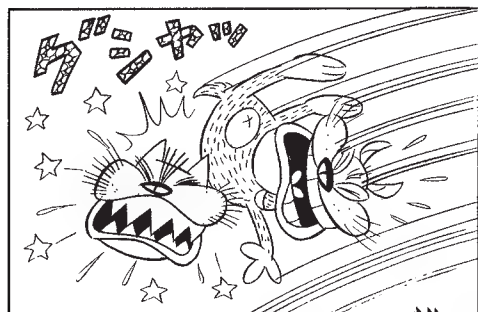
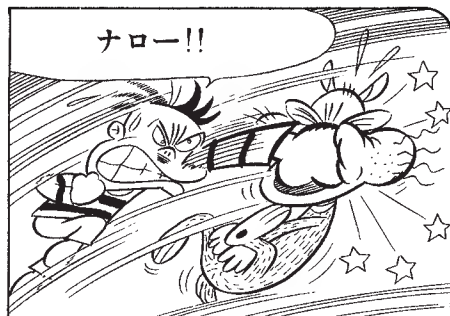
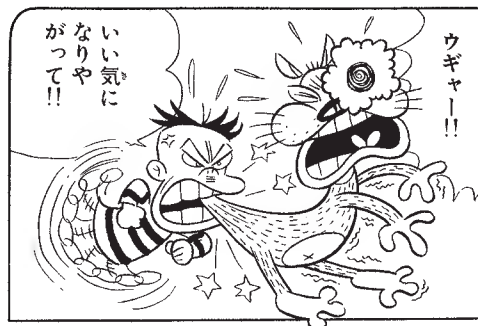


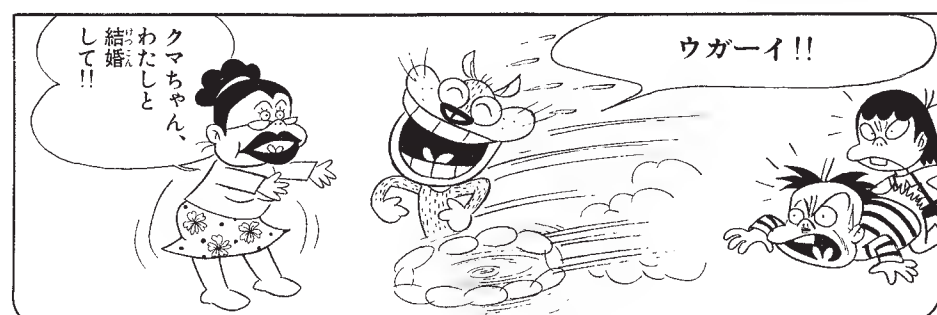
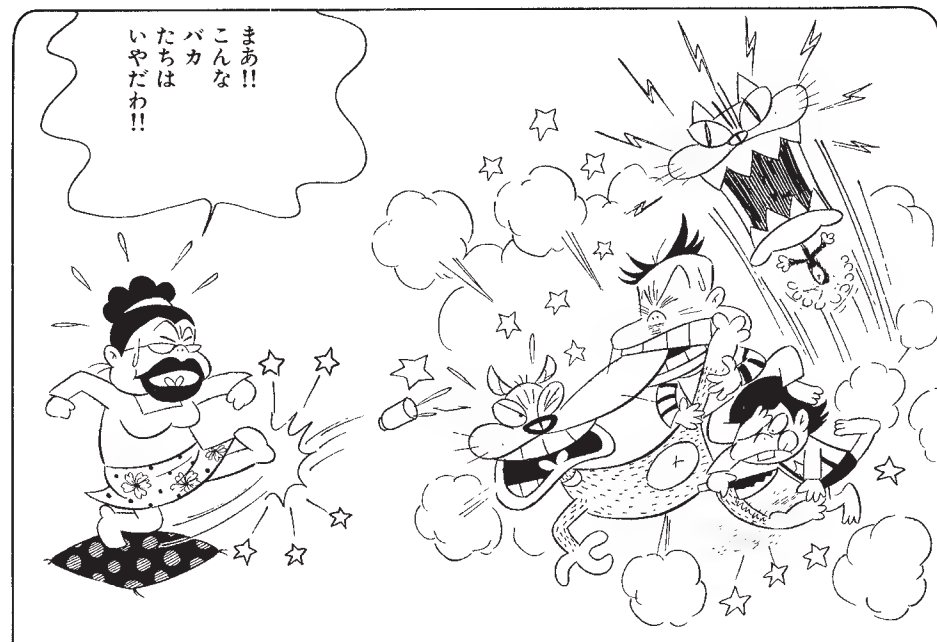
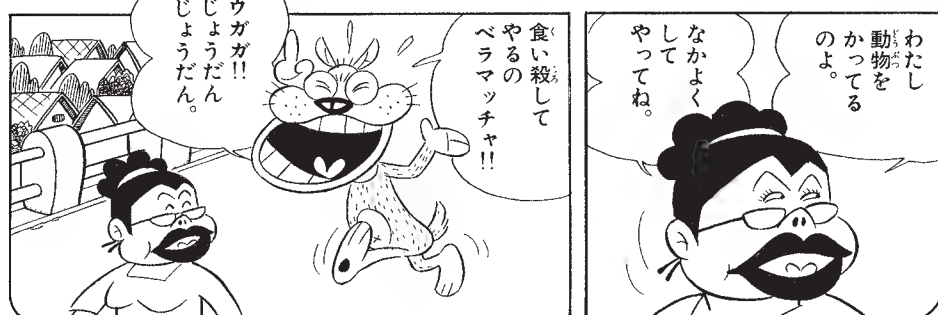
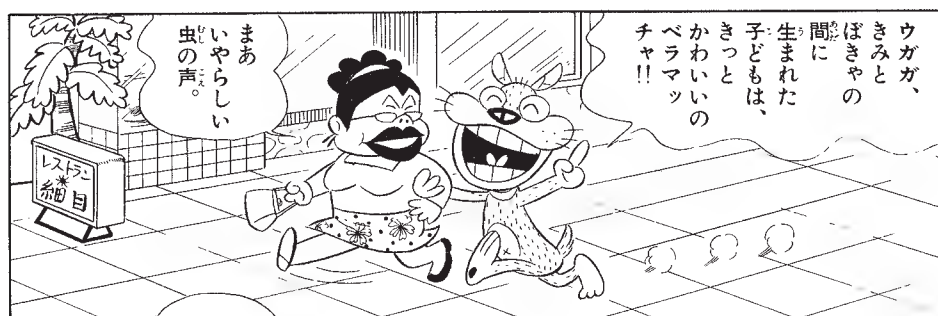
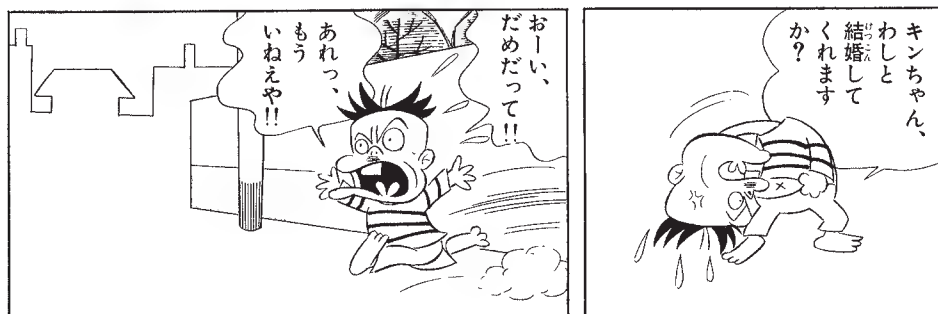
かわ
い!!



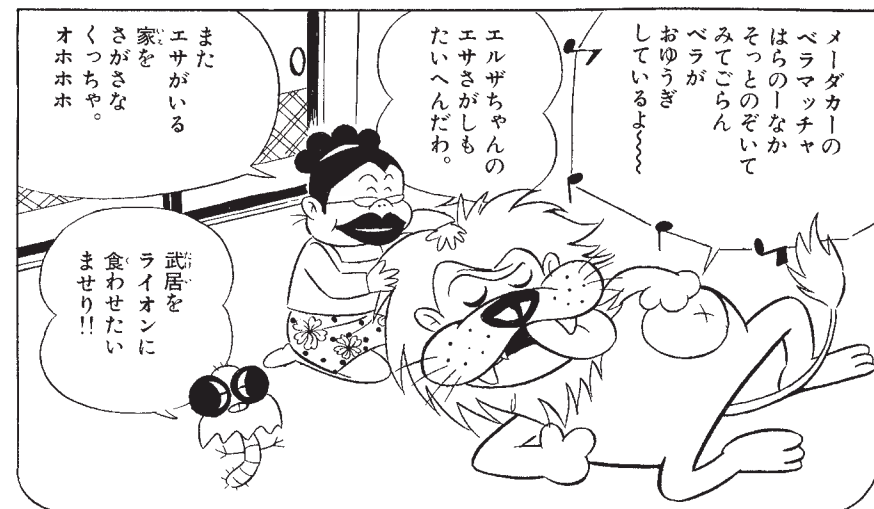
かわ
い!!

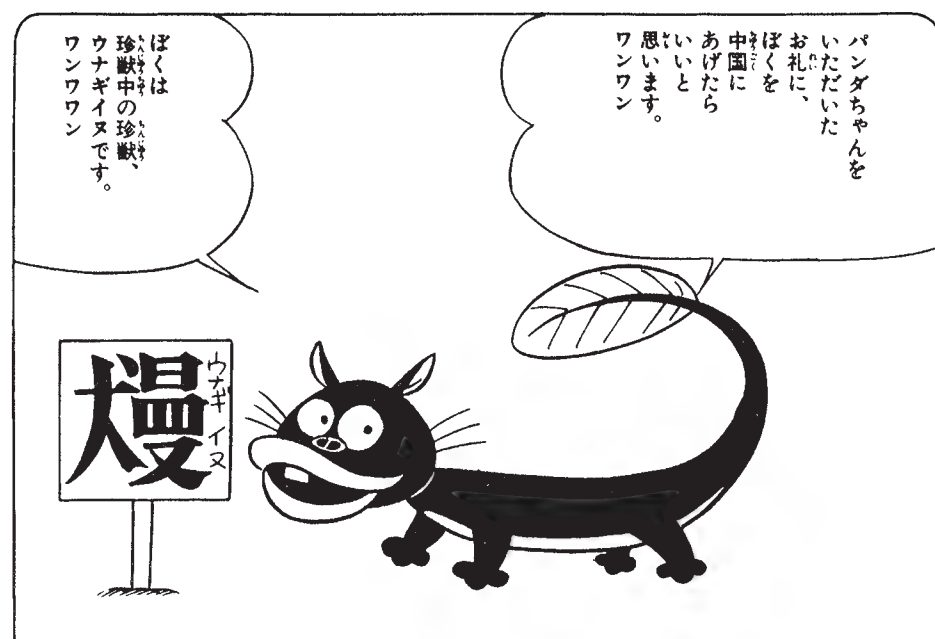
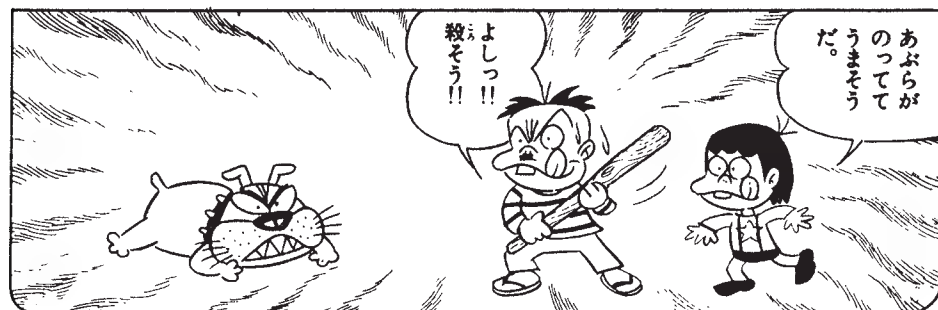
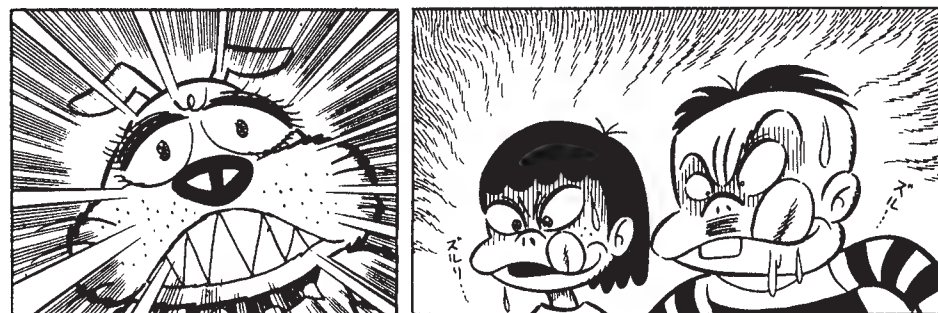
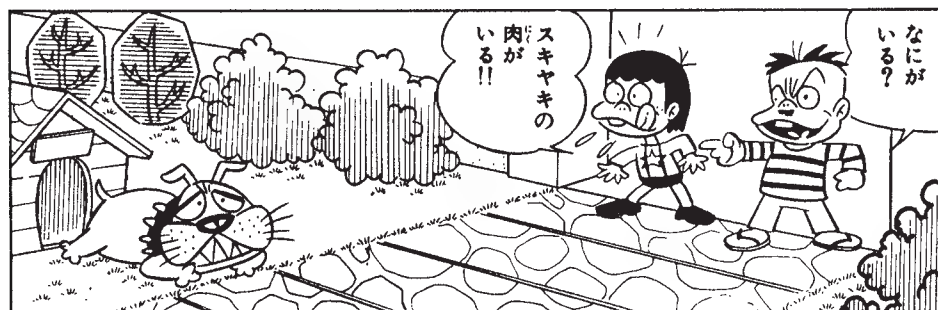
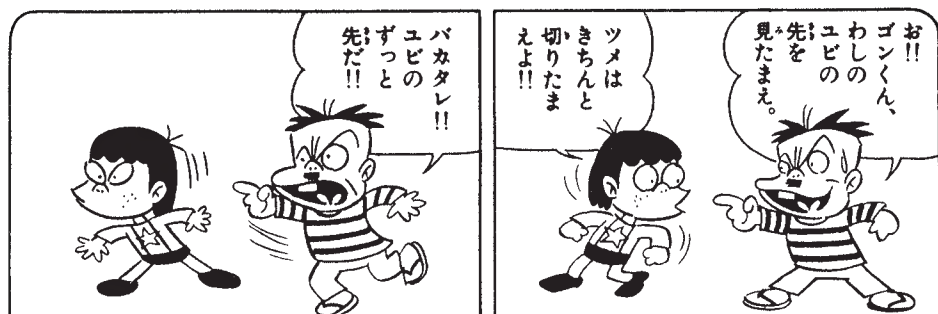
ペッ
ペッ
ペッ!!

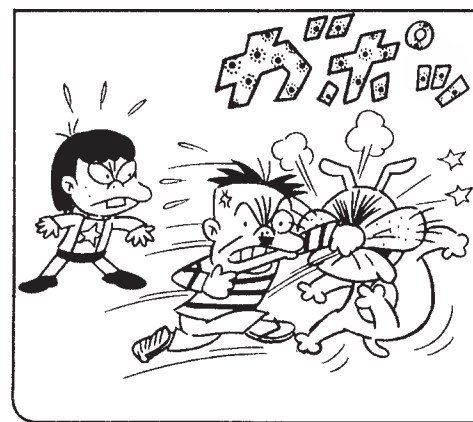
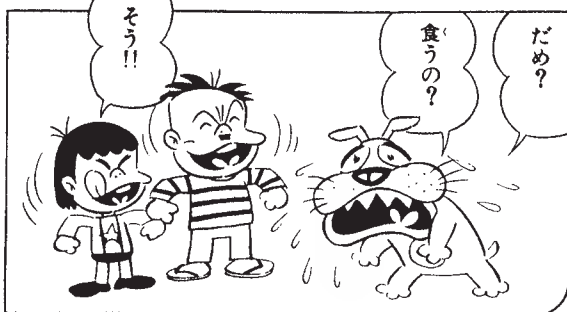
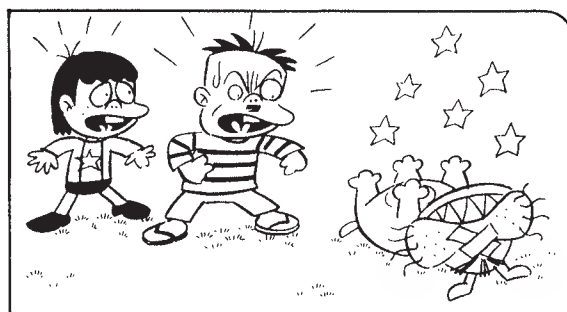


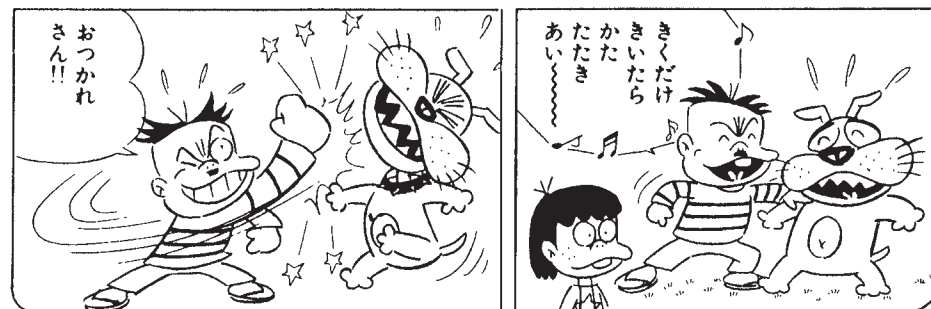
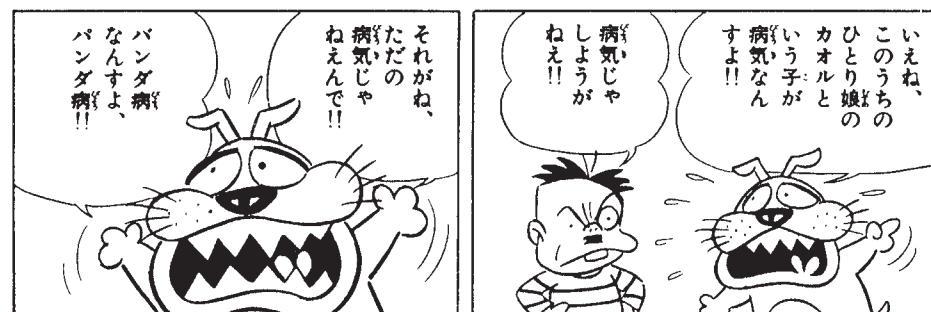
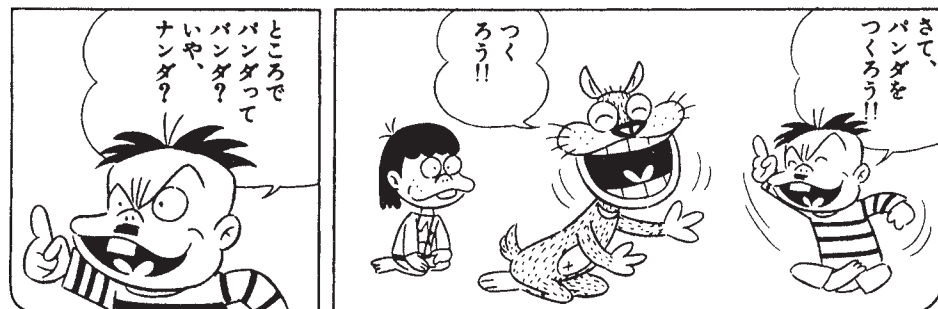
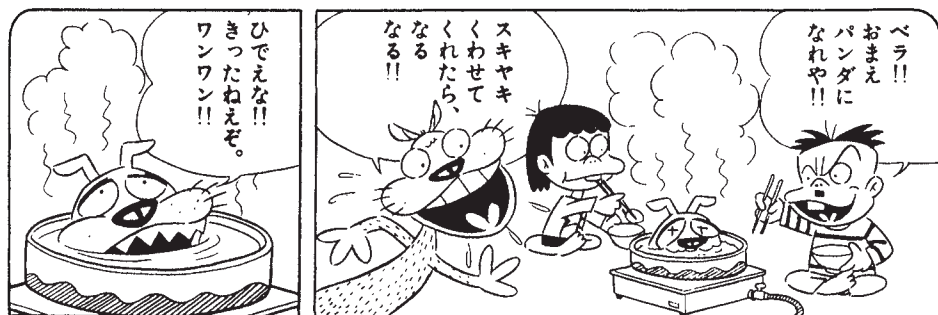


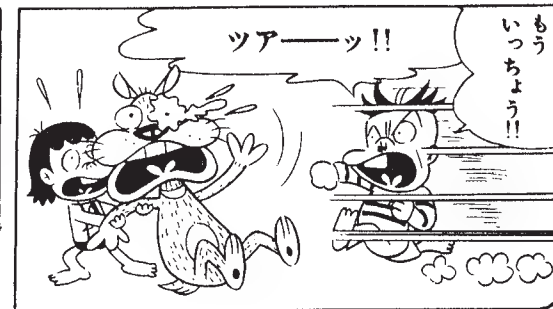
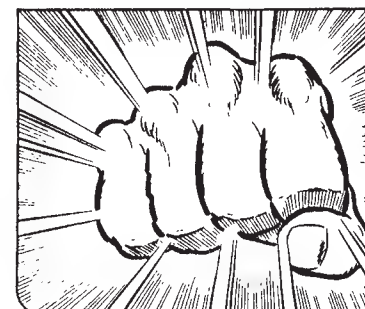
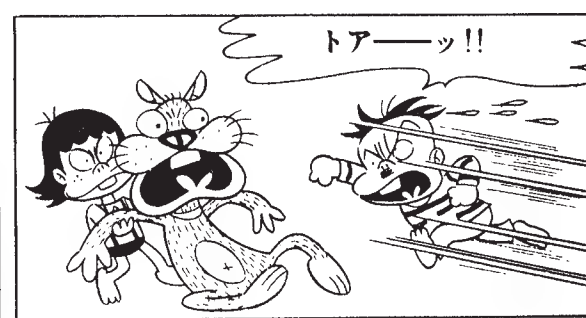
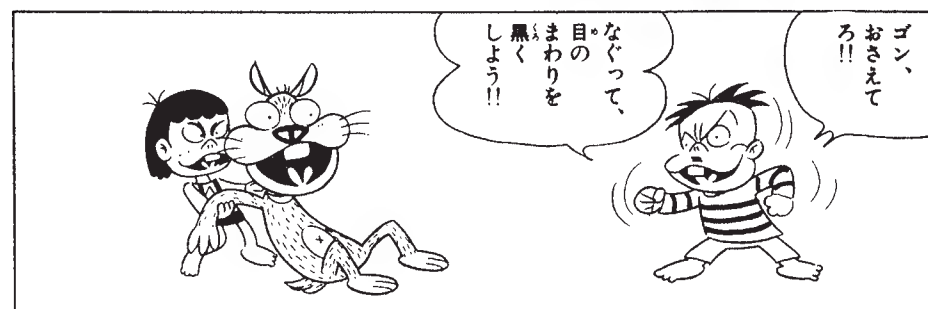
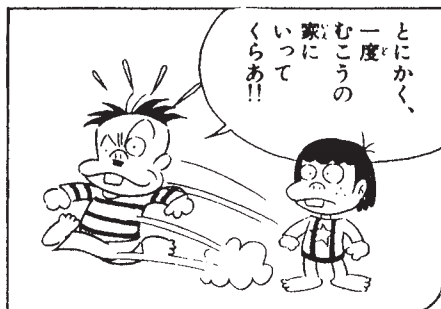
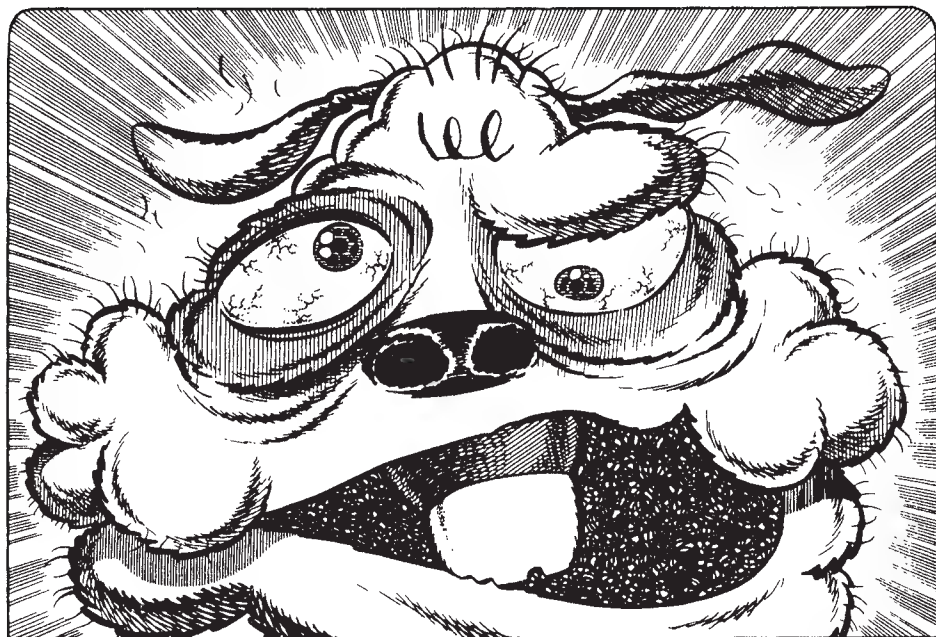
レ ツ ッ ラ ゴ ン 四匹のパンダ

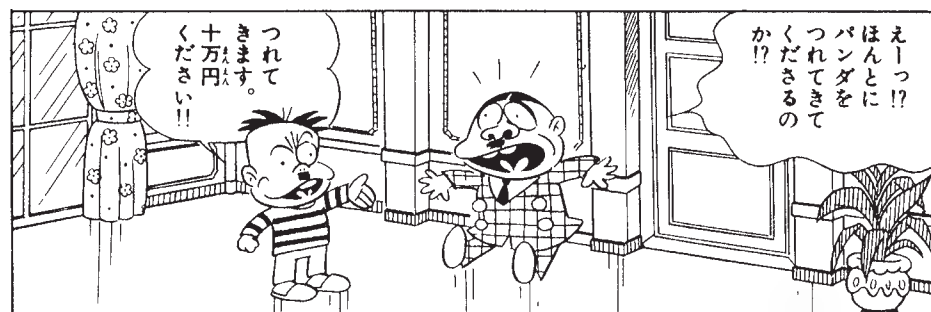
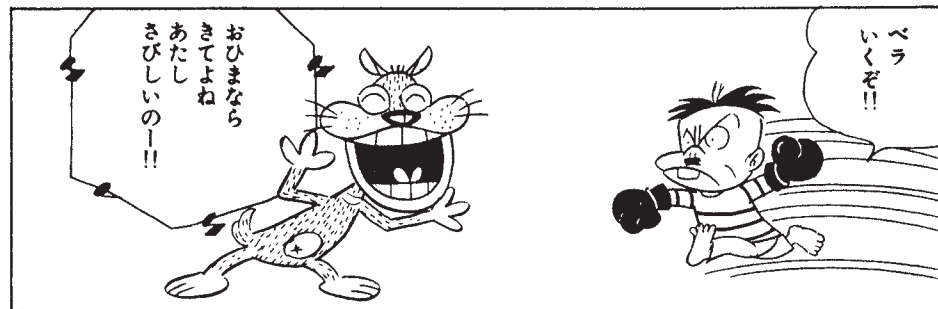
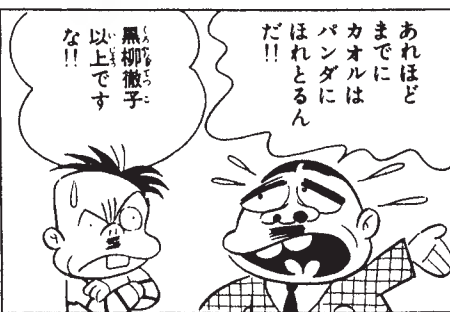
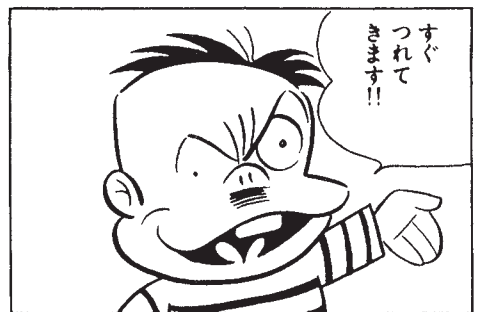
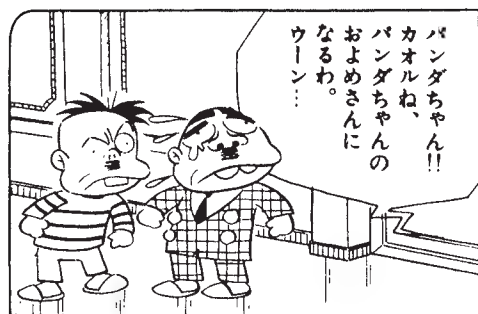


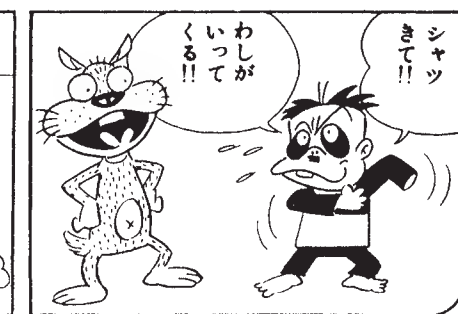
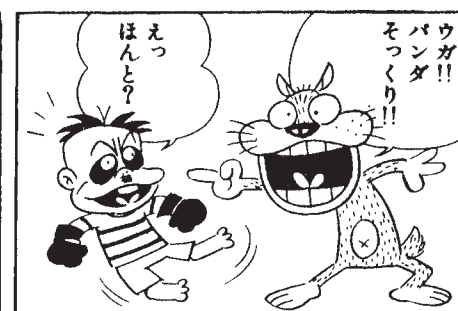
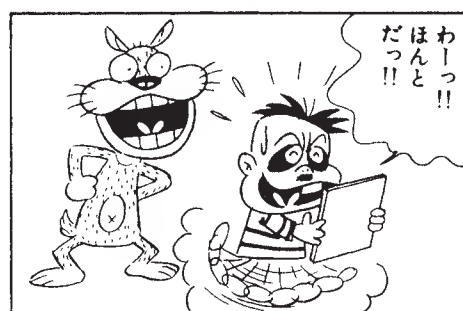
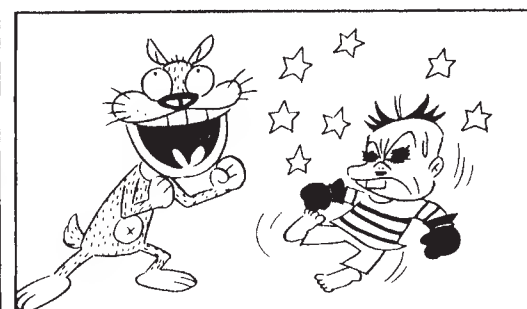
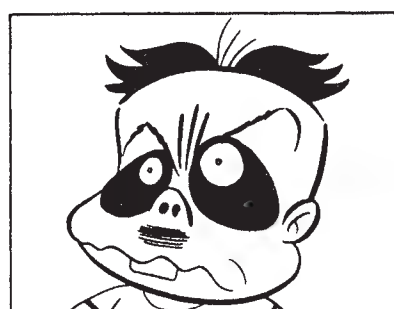
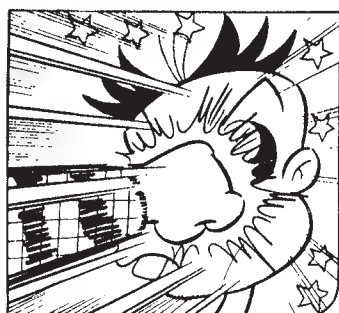
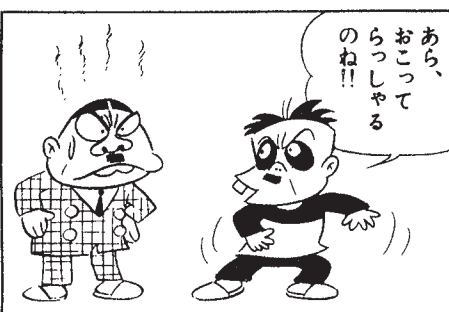
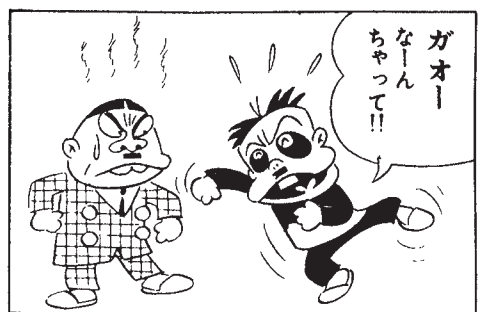
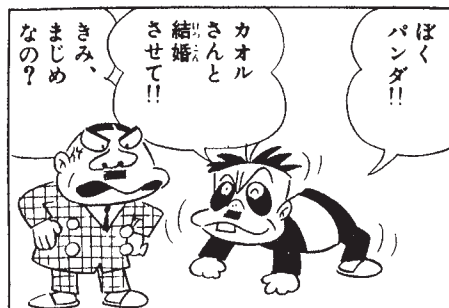
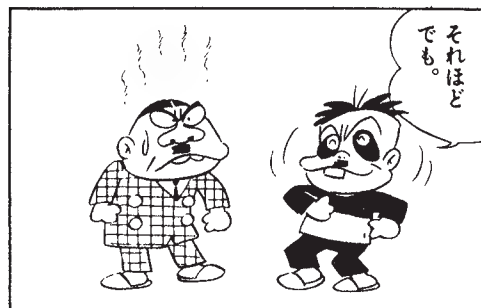
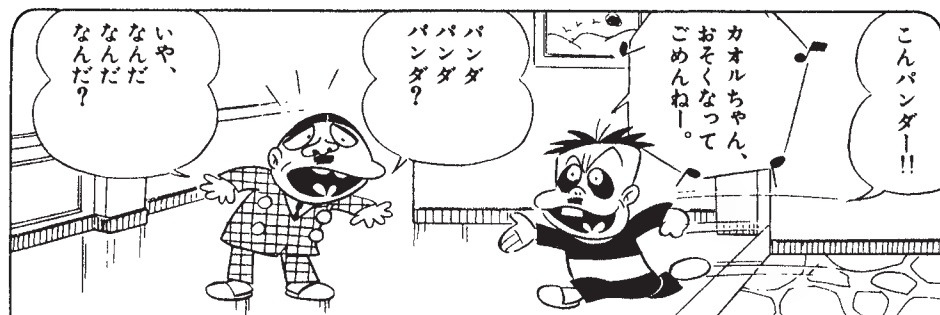


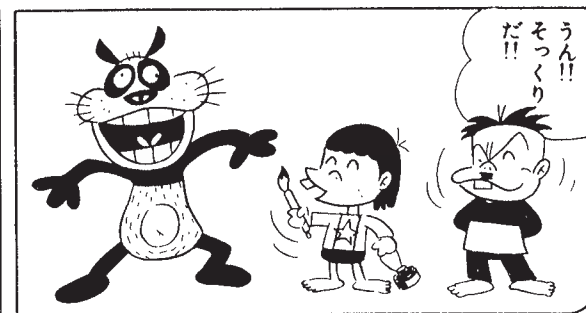
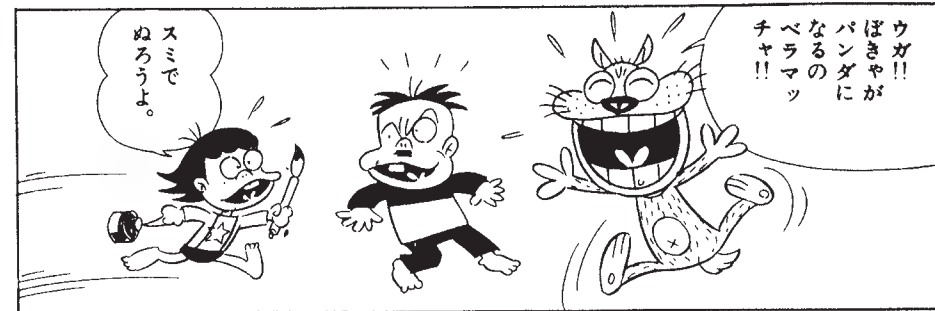
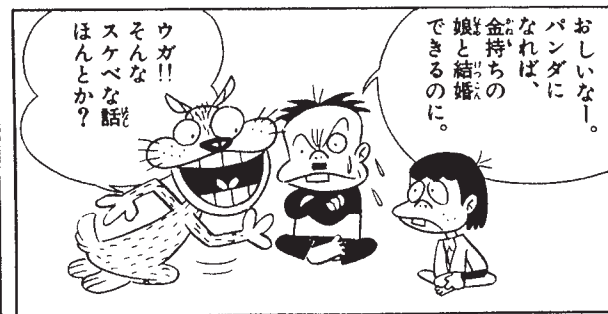
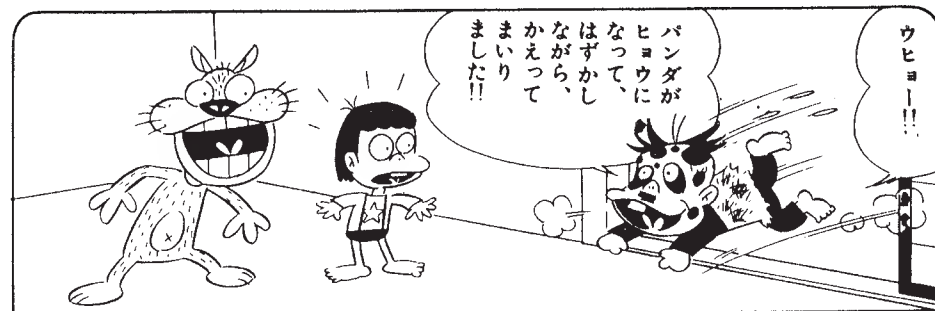
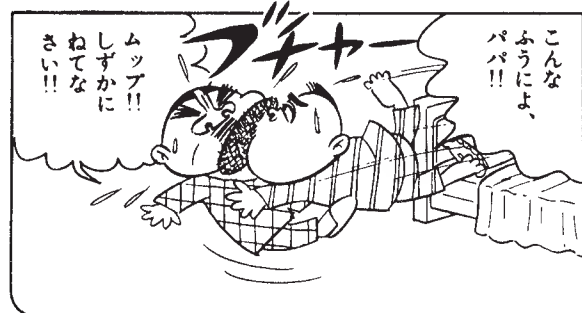
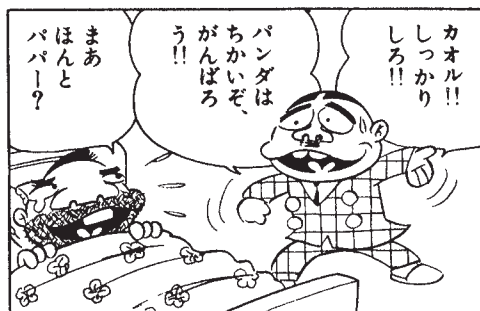
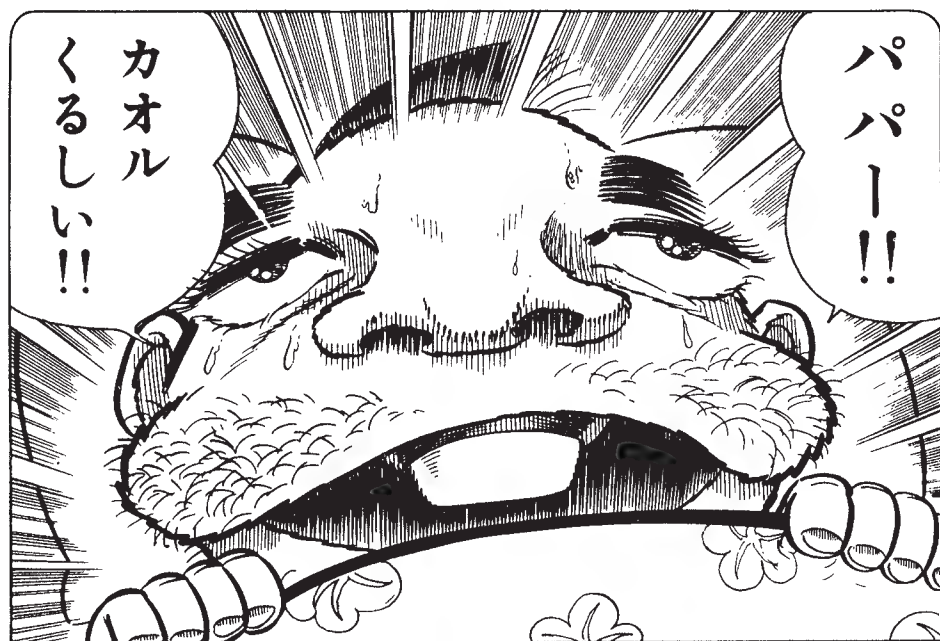


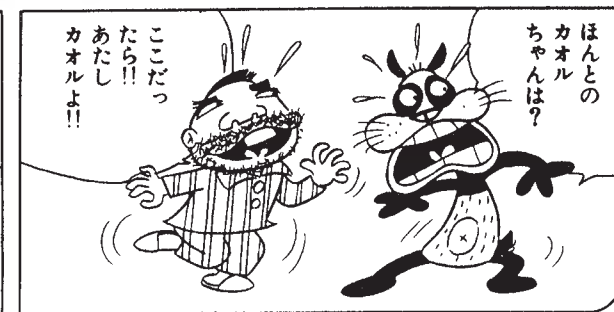
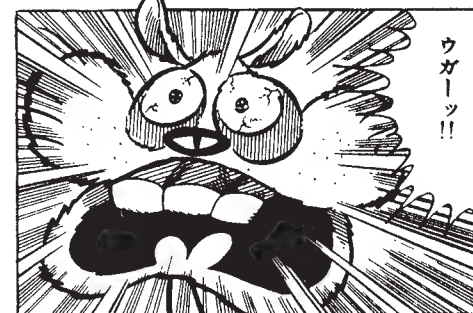
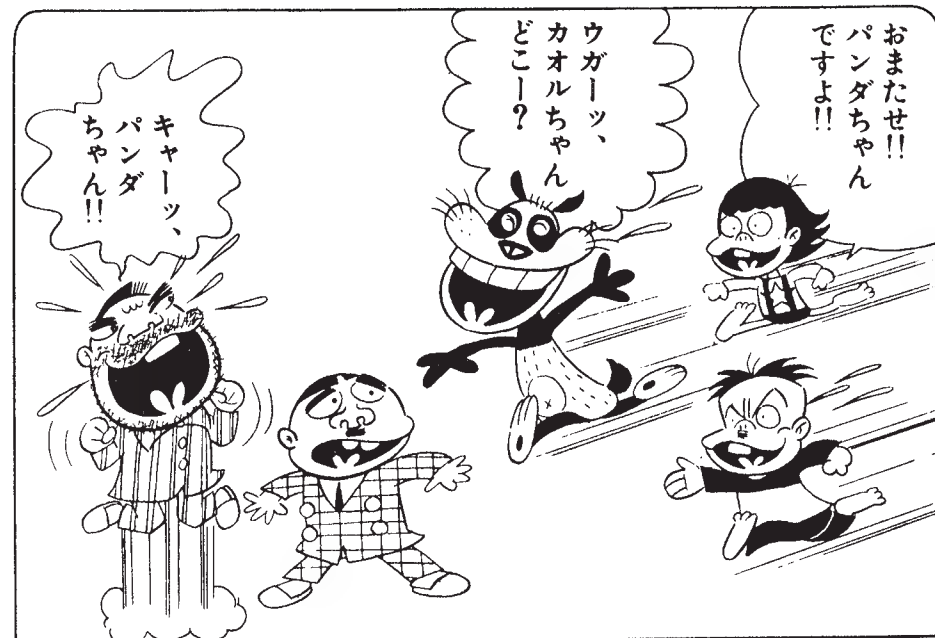
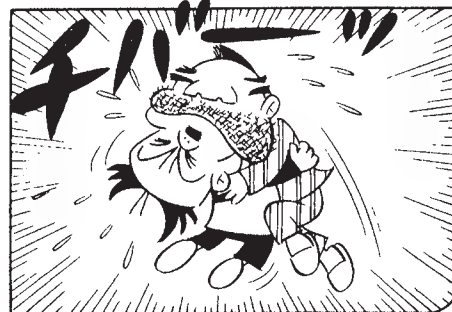
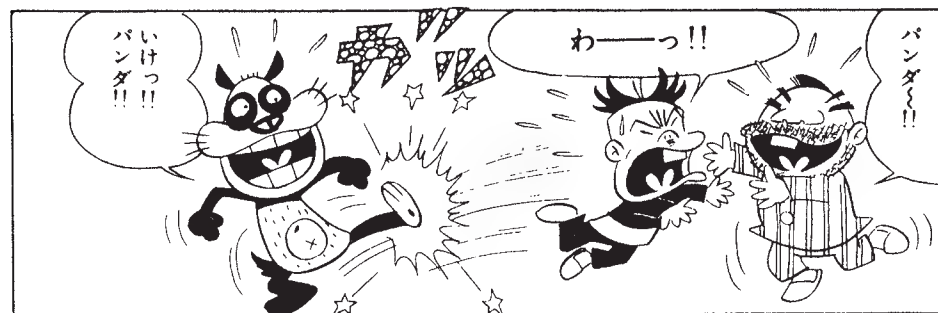
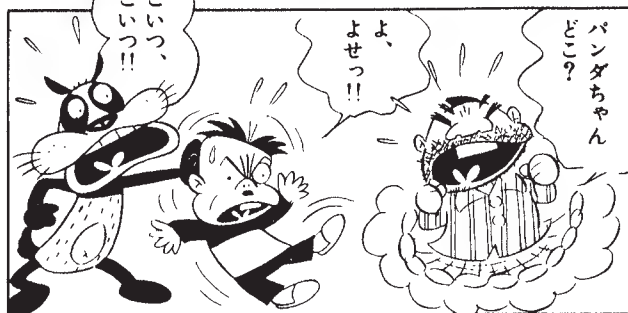
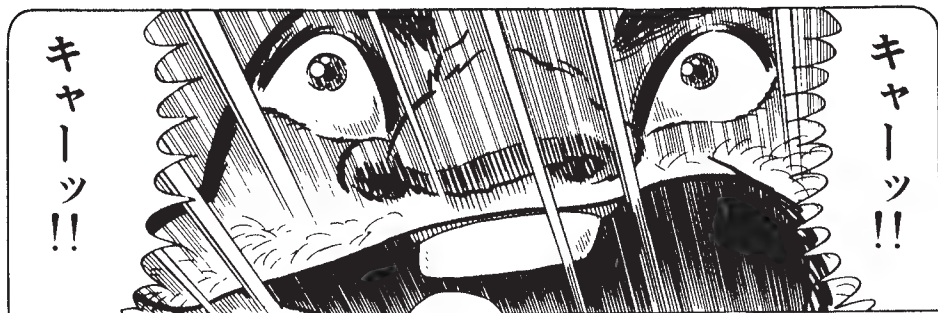


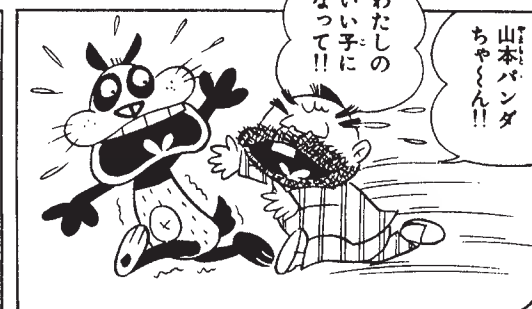
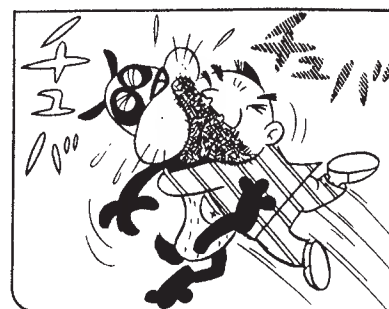
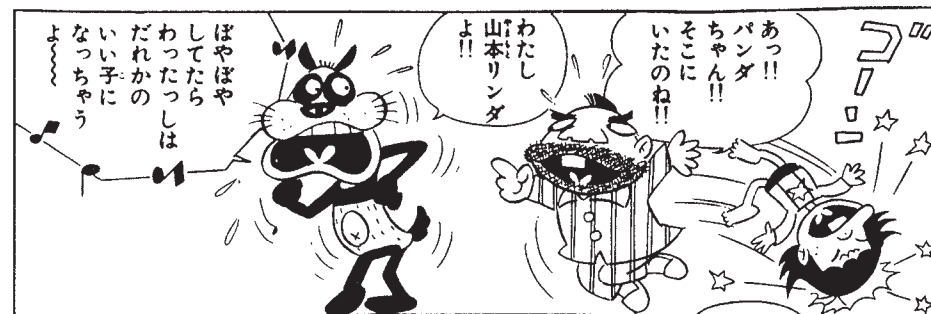
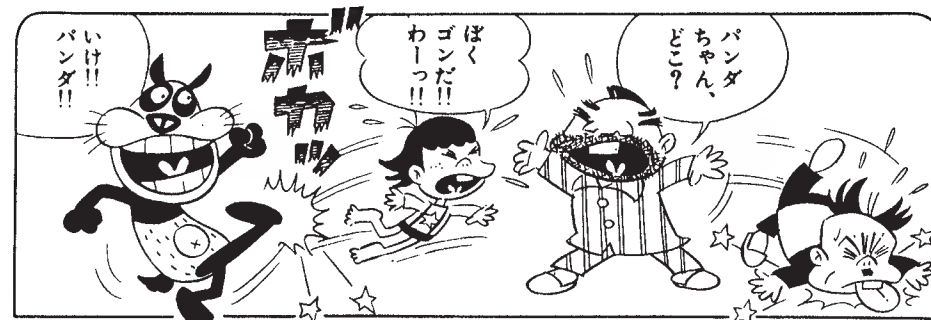
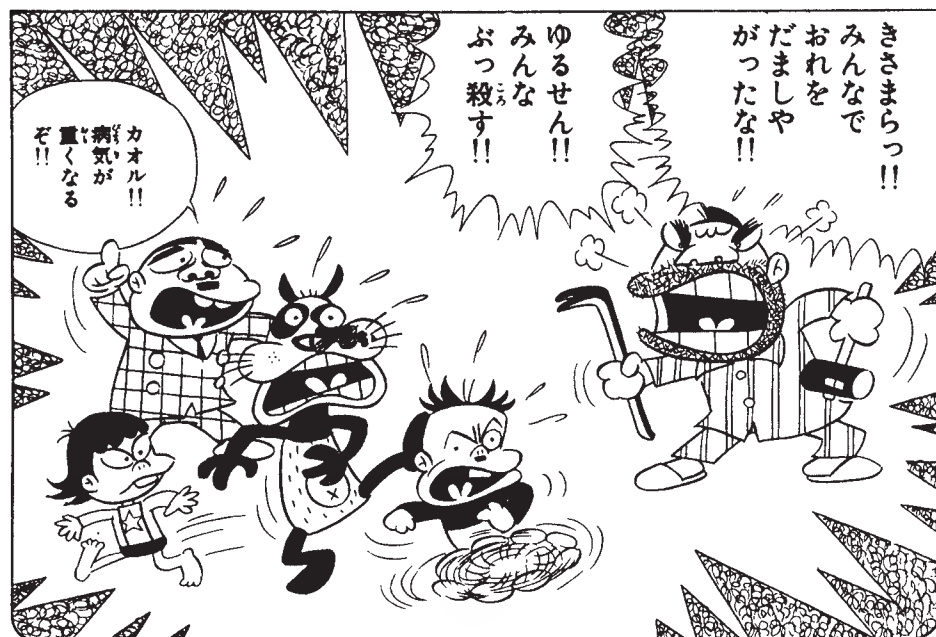
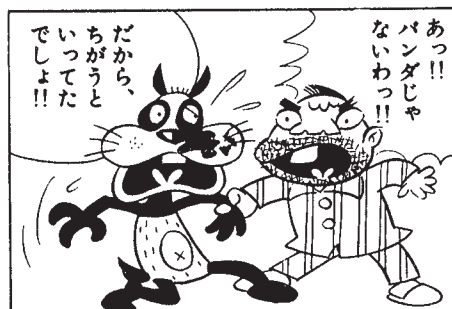




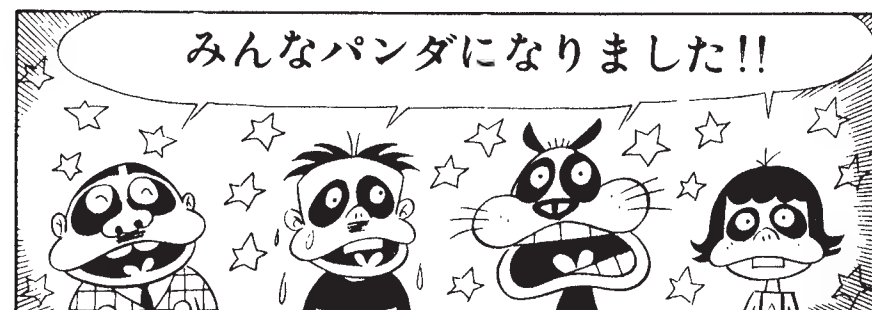
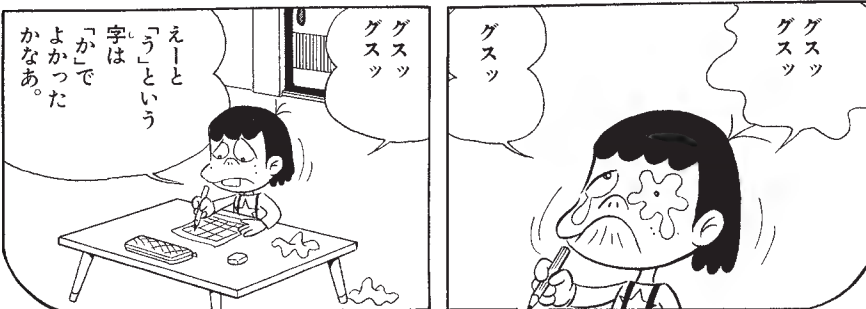








93



父なまこ子 レッツラゴン作

はいけい、ぼくのお父さんはほんとの父ではないのである。お母さんはぼくが生まれる3年もまえに死にじやた。でもぼくはまけないで生きている。マコトとけんかしたけどまけないでつよく生きてるのです。父は毎日おサレをのんでムチでぼくをぶちます。



生まれて母の名を知らず
ほんとの父の名を知らず
わたしはさびしい親なき子。



父は、ぼくの名を知らず、父の名はタケイといっ
た。ぼくはちがうと思う。タケイはバカタケ
イとい、てみんなにくまれてるからです。
ぼくの名はきつとやさしい人だと思ふ。
こないだの夏のフスキの夜、父に山のむこう
の10里をはなれたタバコ屋にシガーを買い
にいかされました。足がシモヤケになって足

かくさそ来たのでシリツして足を切てしま
ました。でもぼくは父をうらまない。ぼくは
男だ。それにぼくがこんなに大きくなるまでそ
だててくれたオンは海よりもふかく井戸より
もあさいからなのです。

でも、いやなことが一つあります。それは
父はとて下品なのだ。おサケをのむとすぐ
ドキンタマタマタマゲタネ、ゾウのキンタマ100グ
ラム、アリのキンタマ3グラム、ミミズのキン
タマ0グラム、アーポコチンチンと歌うからで
す。おもさをはかたこともないのにへいきで
歌うのはいけないことだと思う。ぼくはゾウ
のキンタマは300グラムあると思う。

きょうも父にトンカチで

ぶたれました。でも父上も

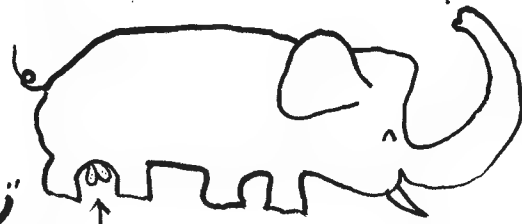
ぎといやなことがあるんで

しよう。ぼくのことをぶっても

いい。それで父の気もちがスツキリ

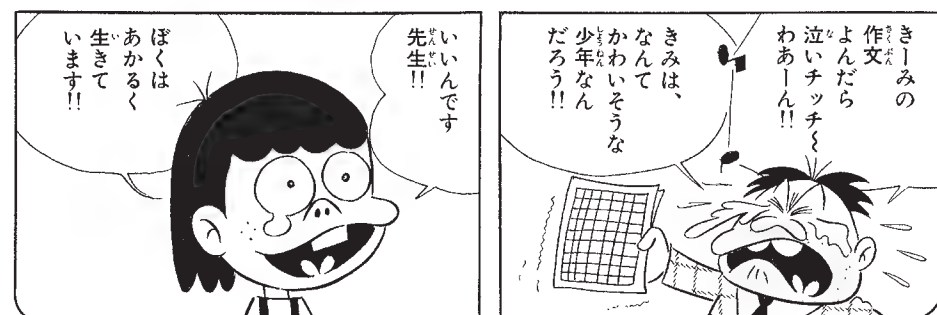
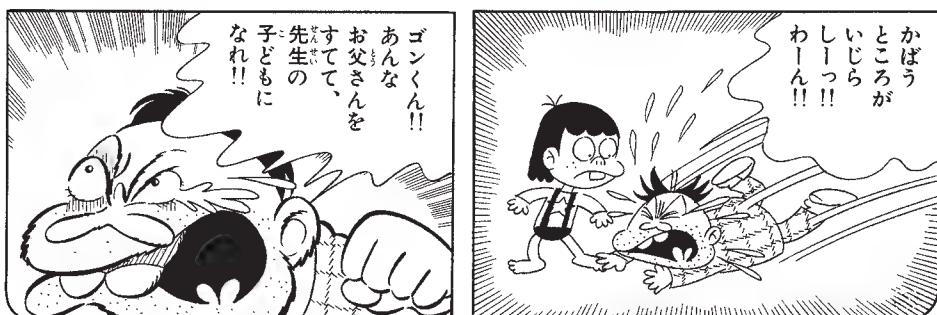
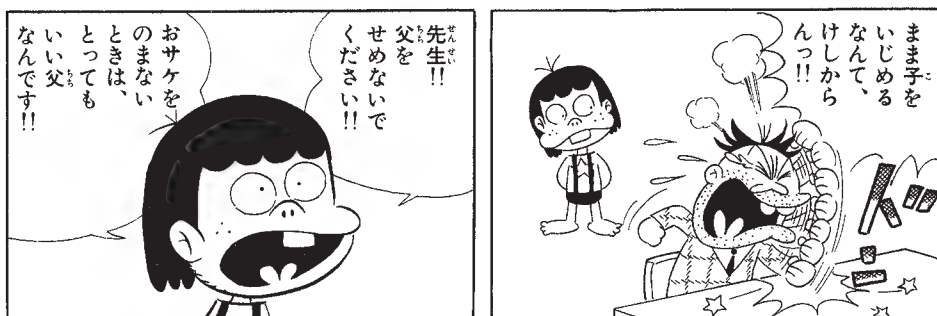
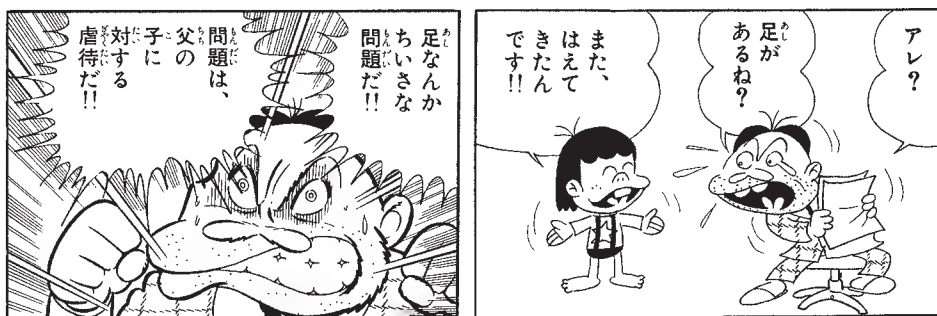
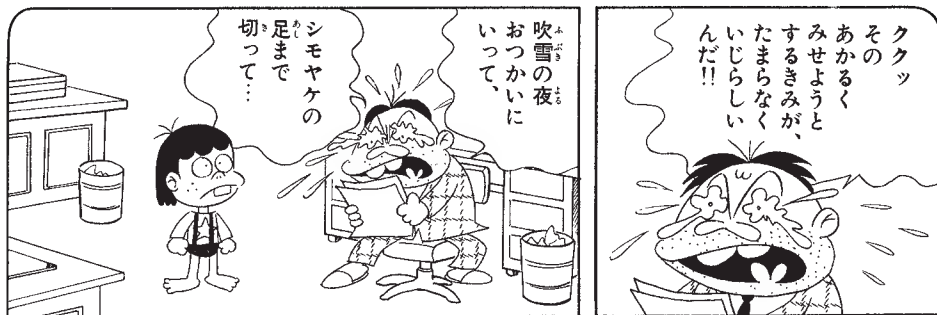
するのならぼくは死んでもいい。

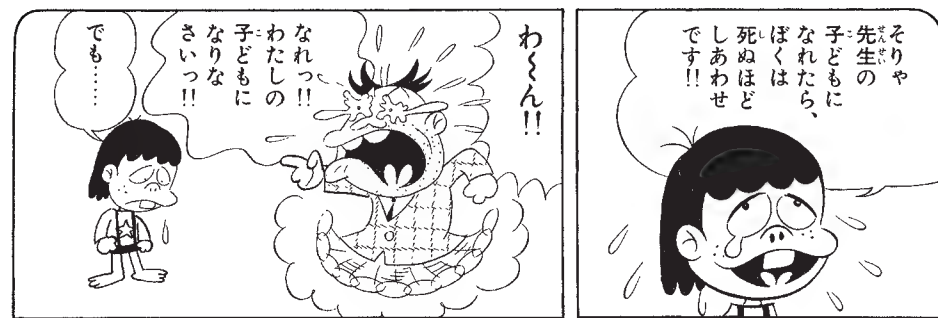
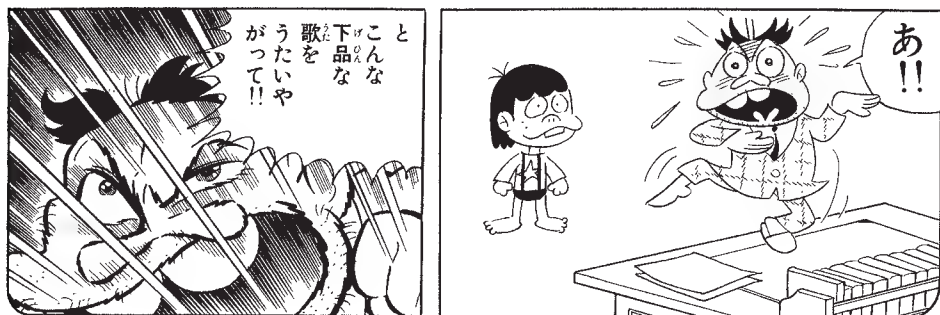
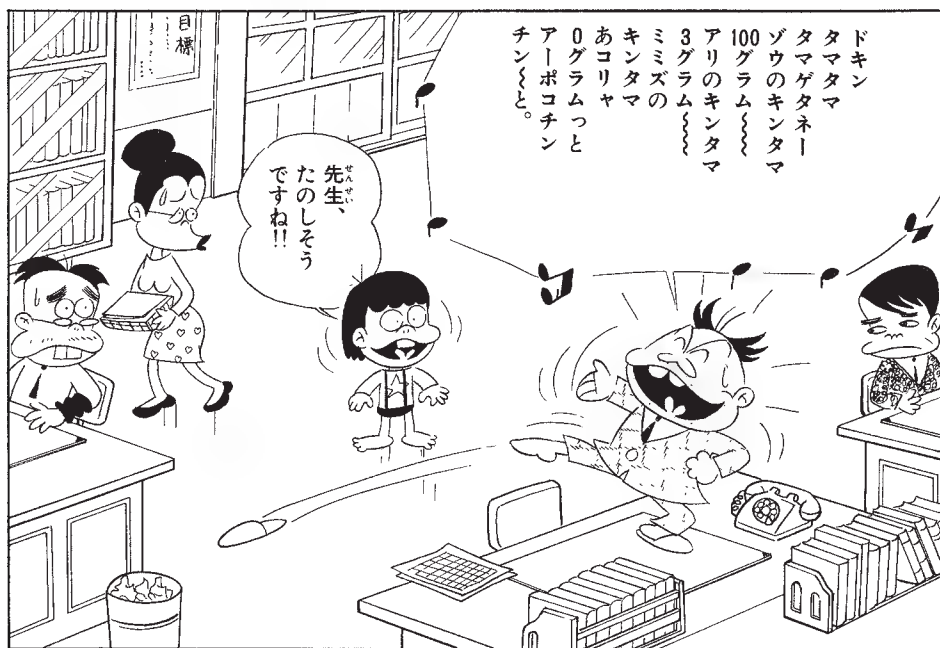
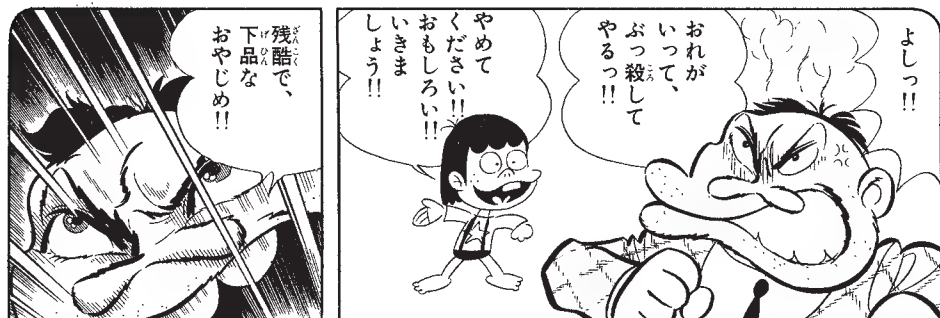
いまのぼくの父は日本一のお父さんでウすり。

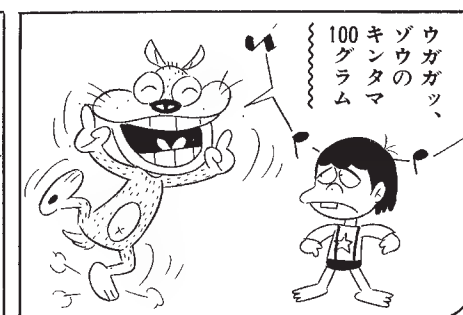
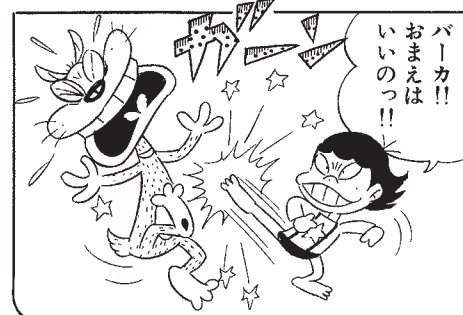
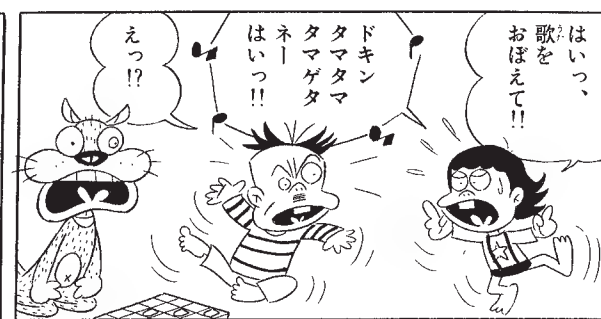
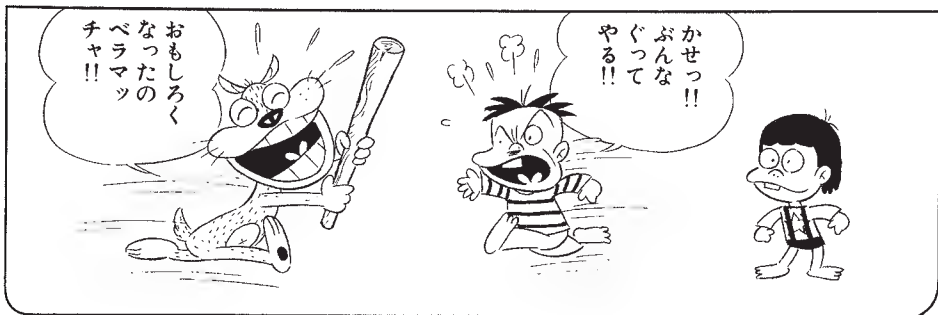


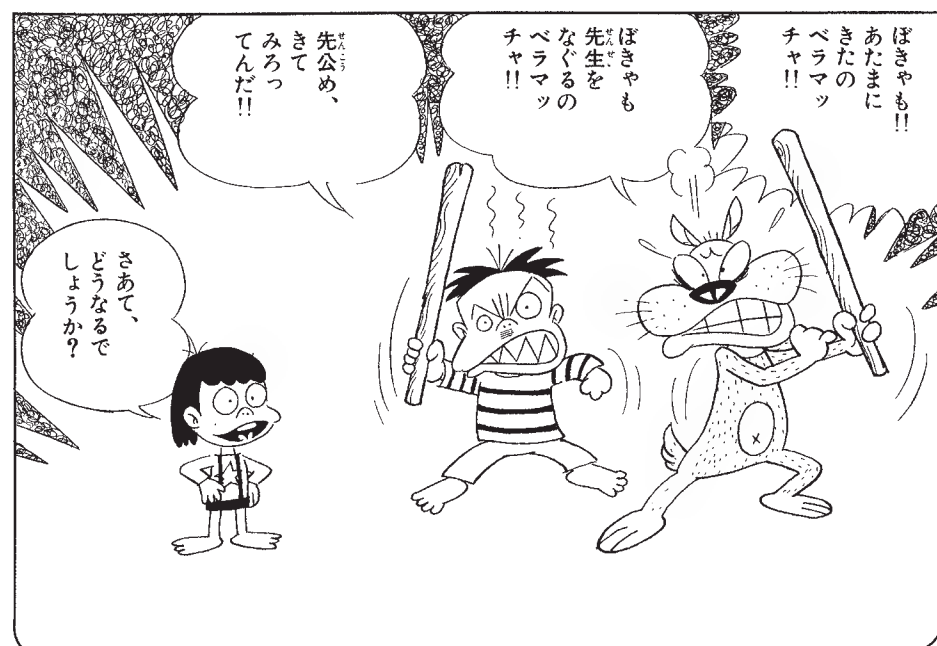
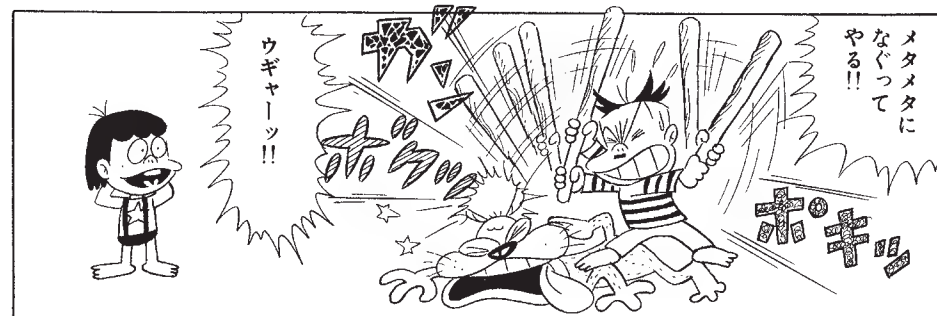
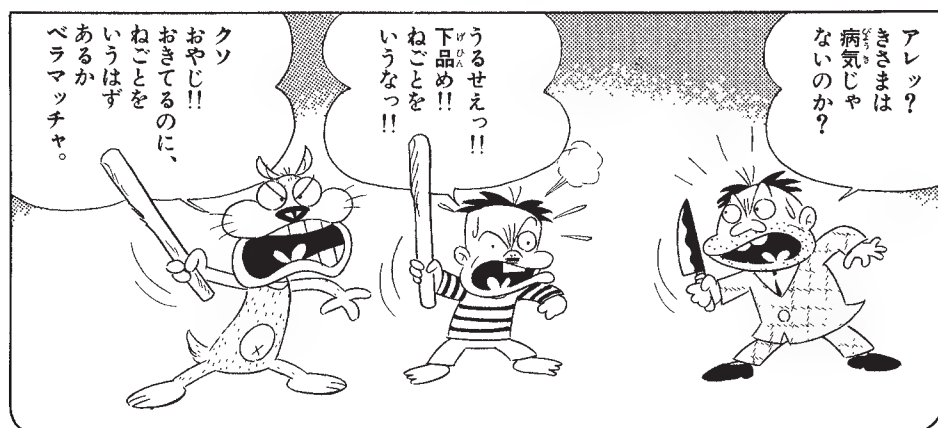
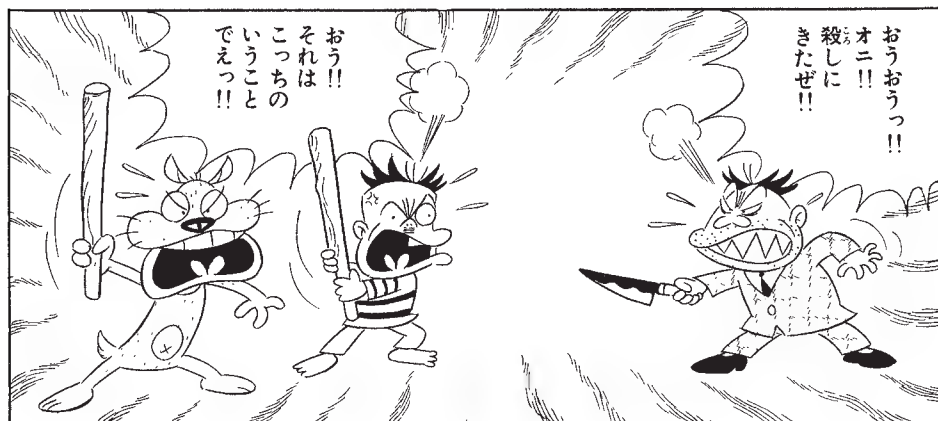
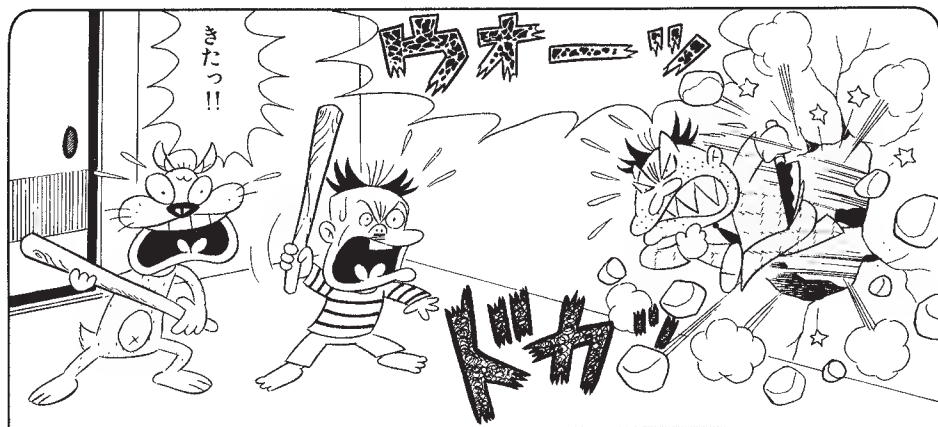
ゾウの
キンタマ
300グラム

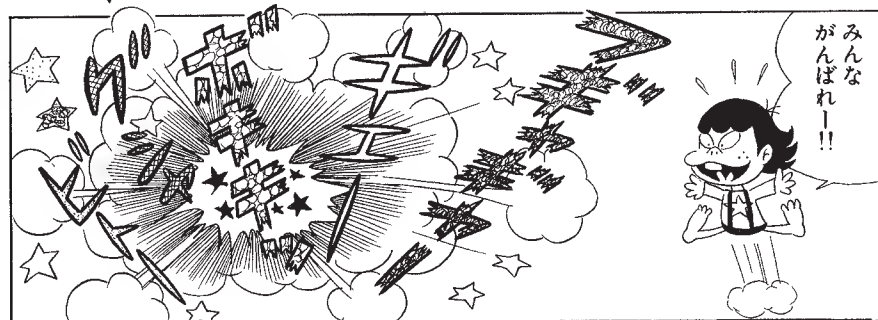
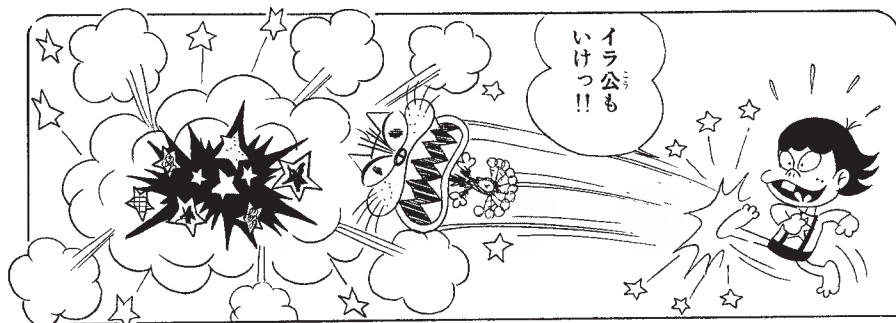
ミミズにキンタマない



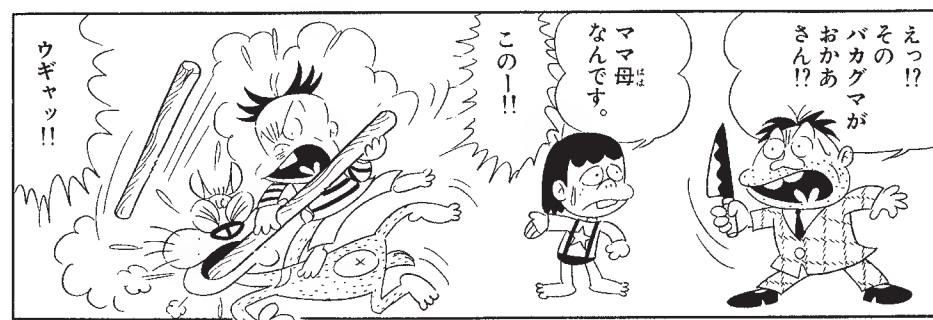
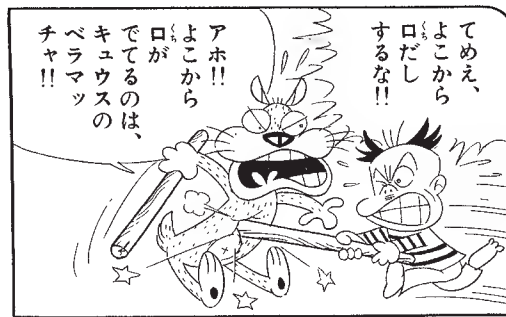








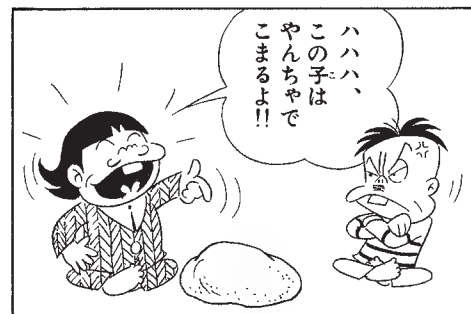
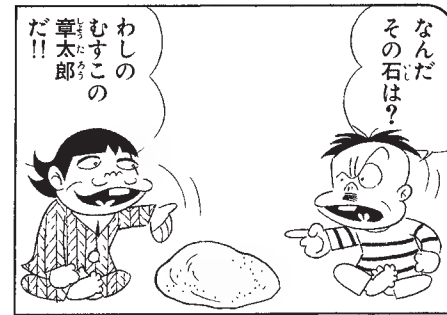
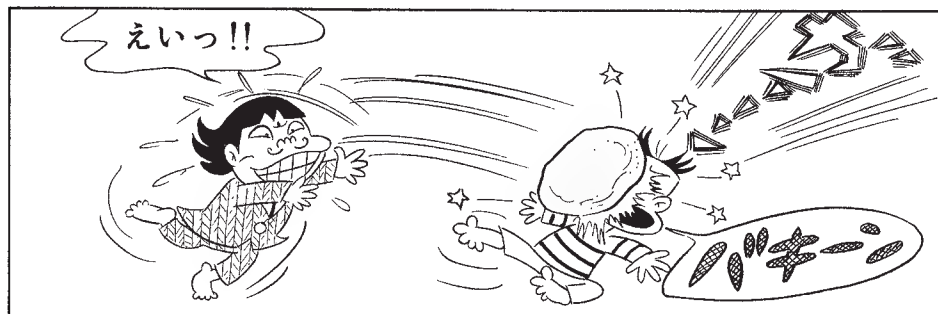
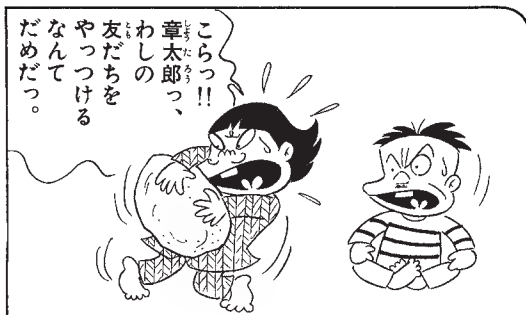
たたかひ
戦いすんで日がくれて——

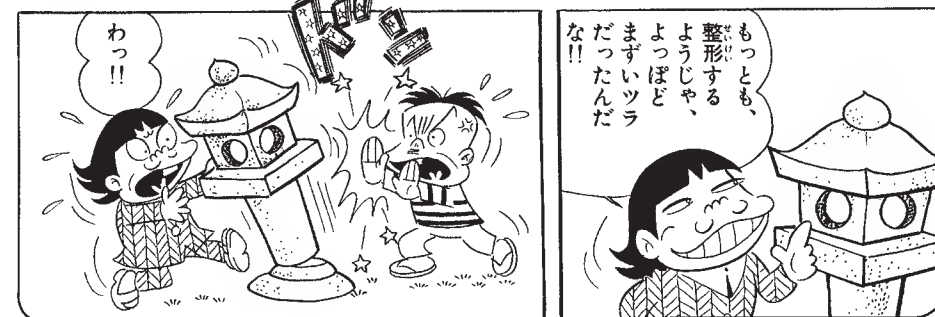
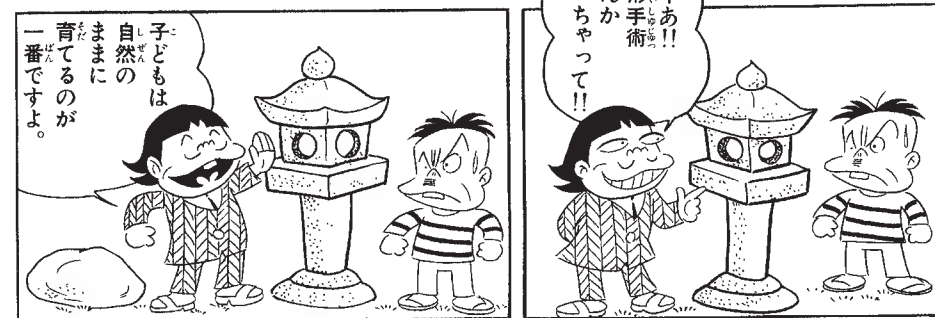
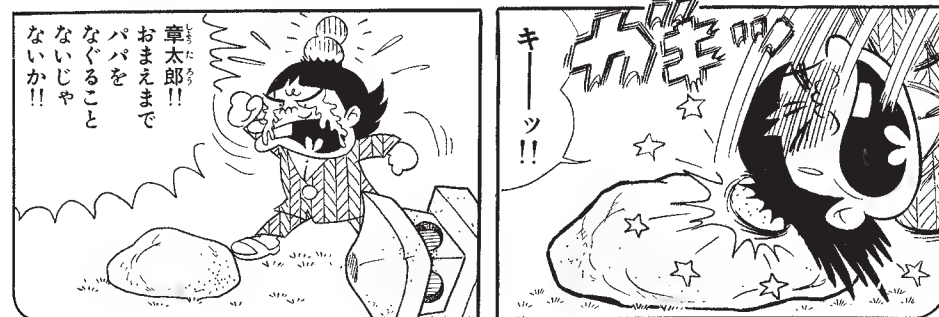
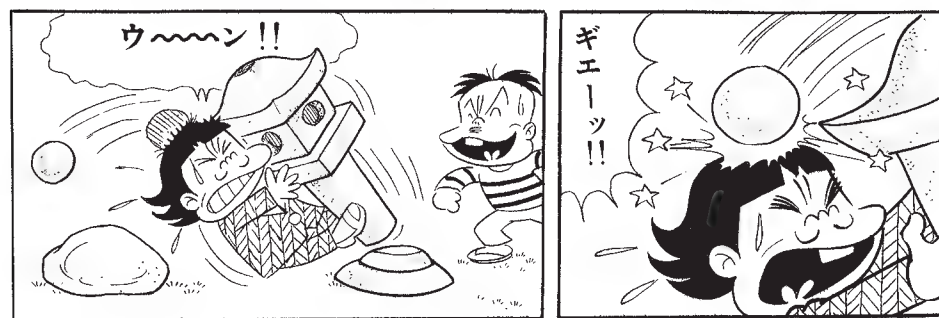
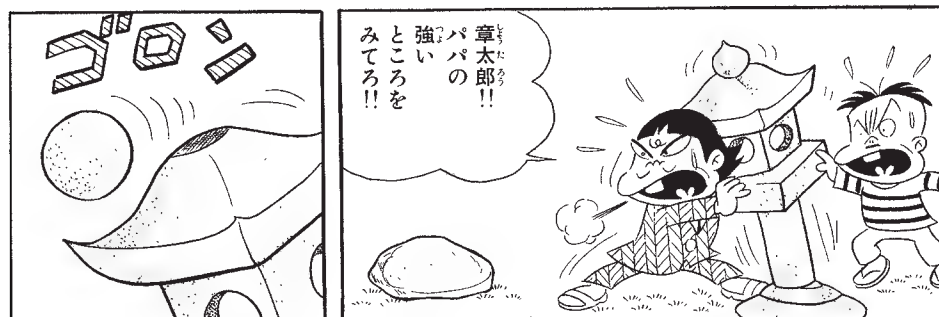
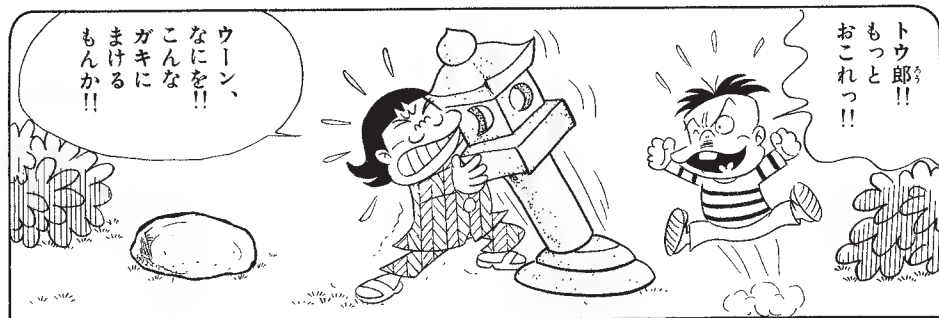


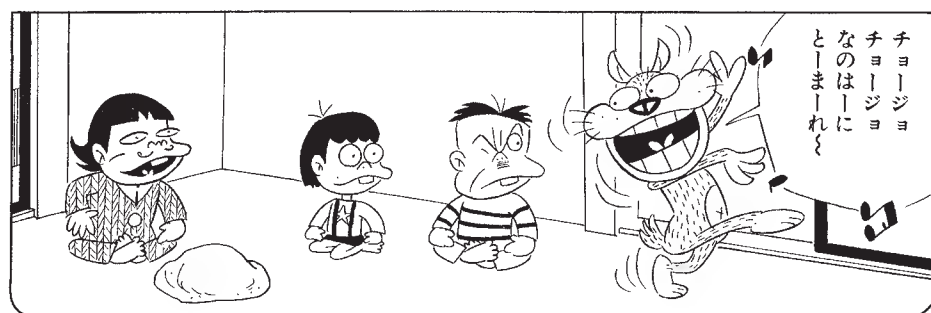
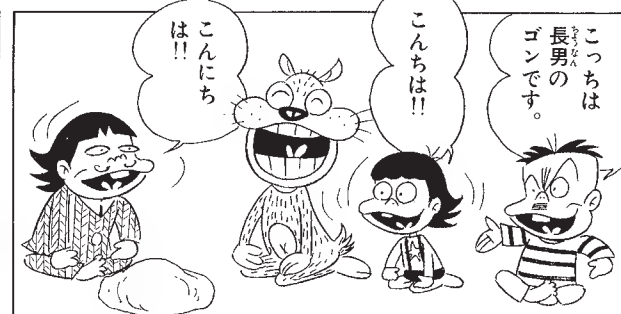
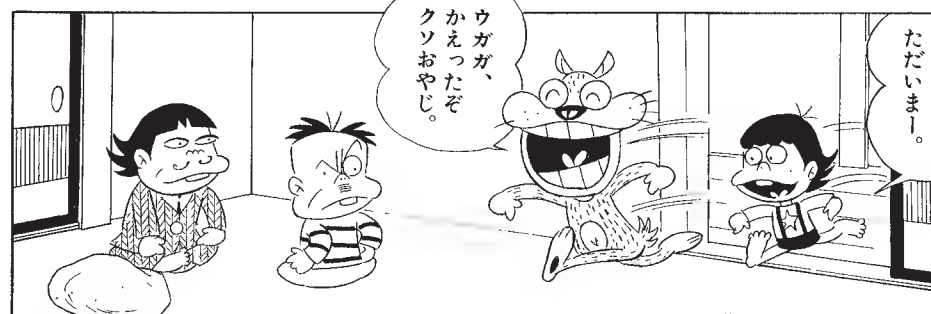
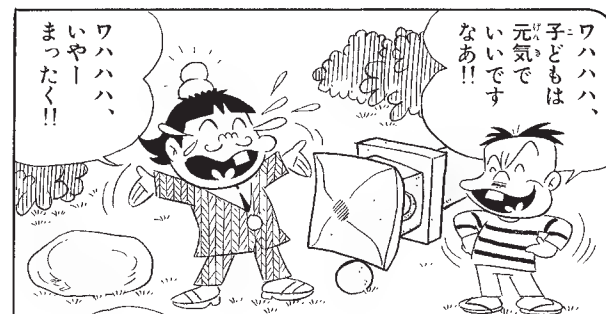
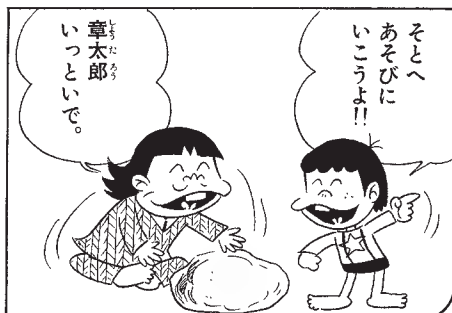
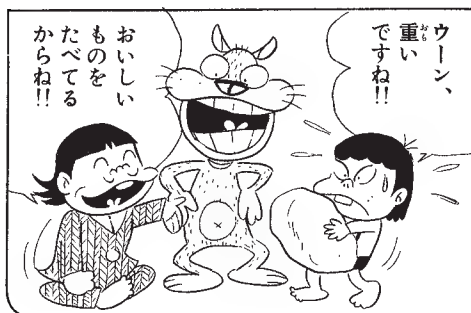


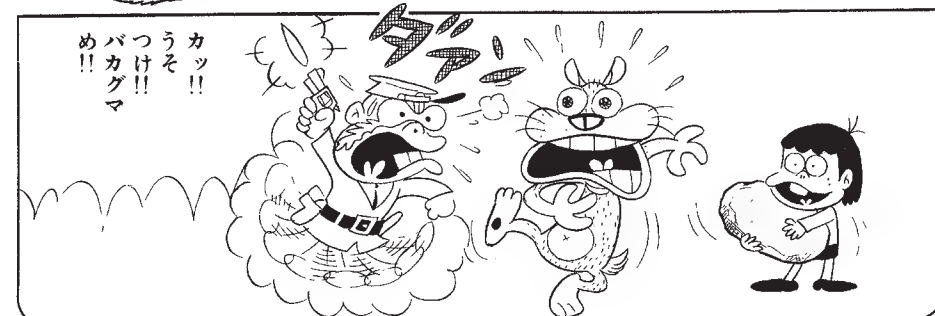
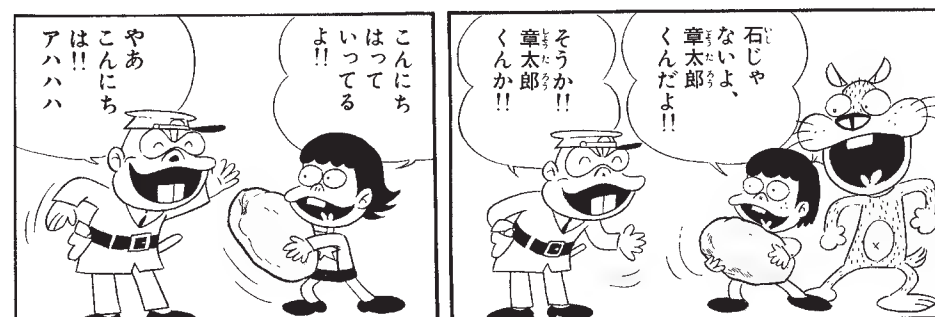
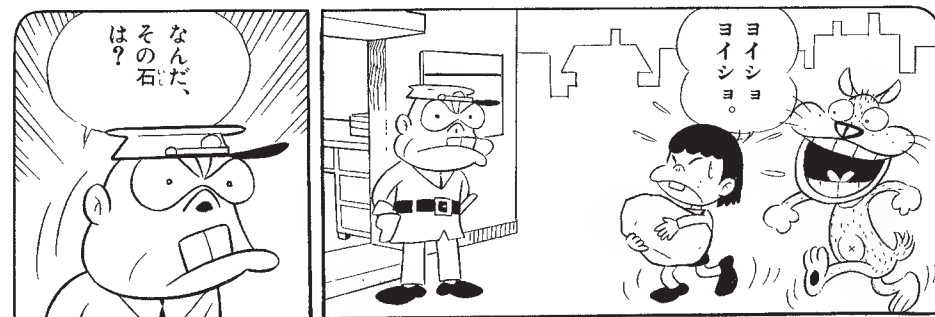
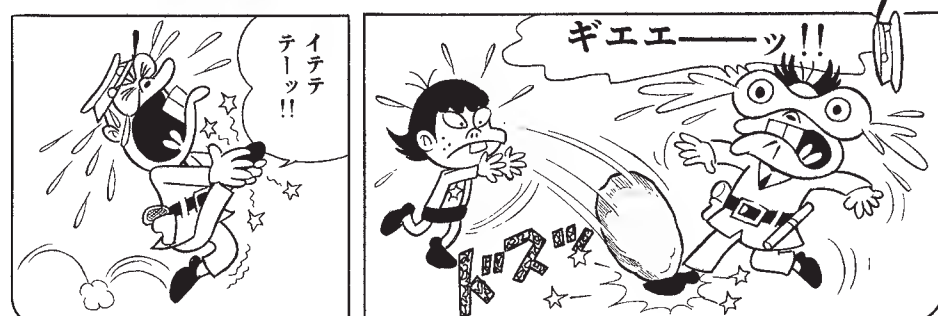
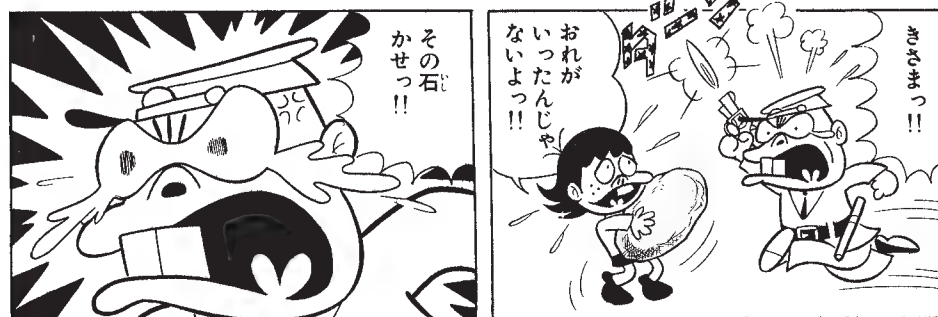
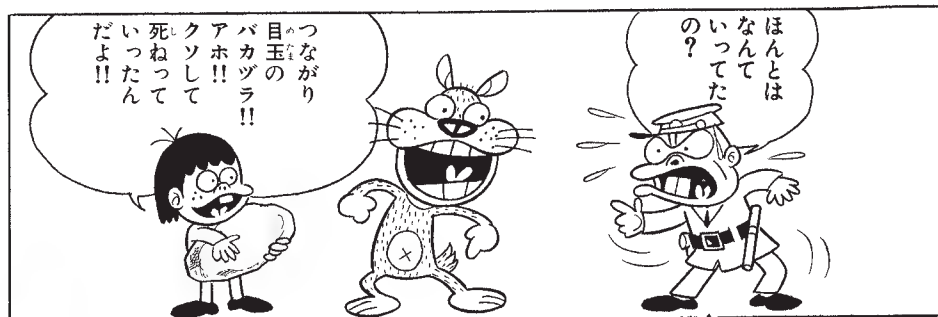
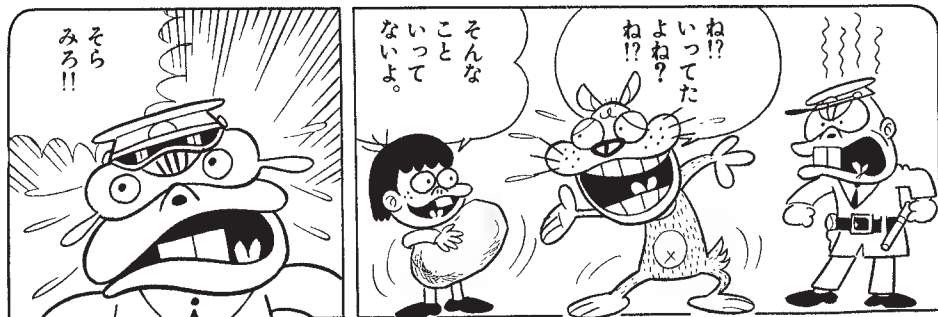
石息子

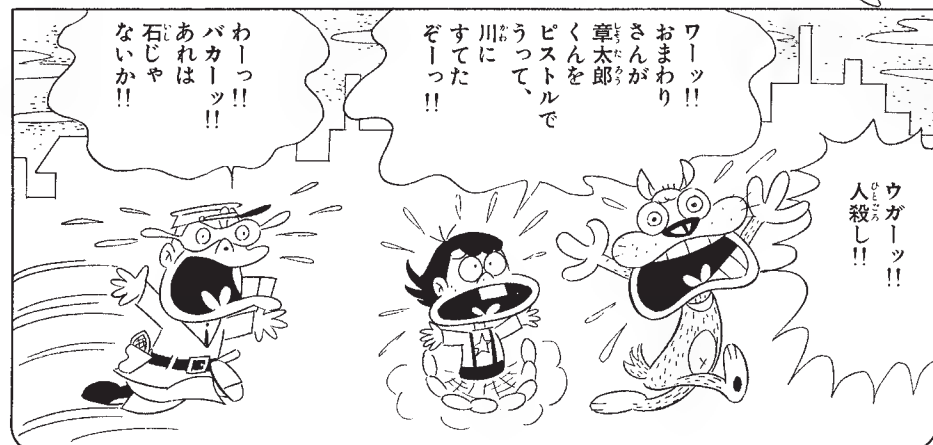
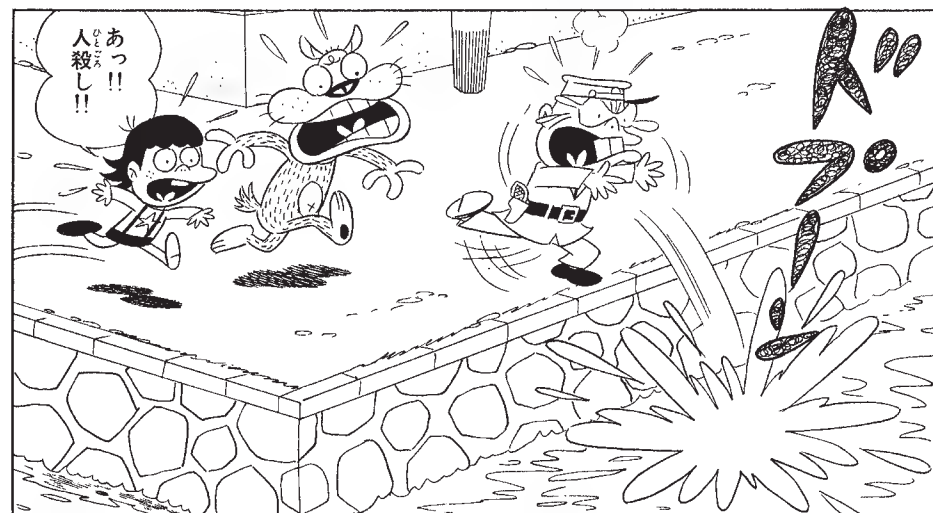
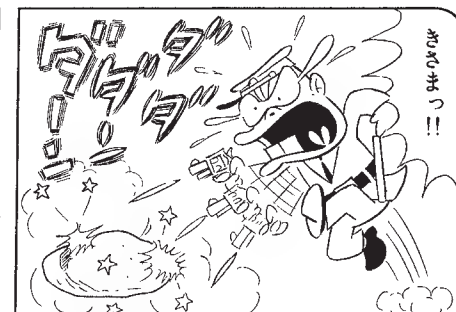
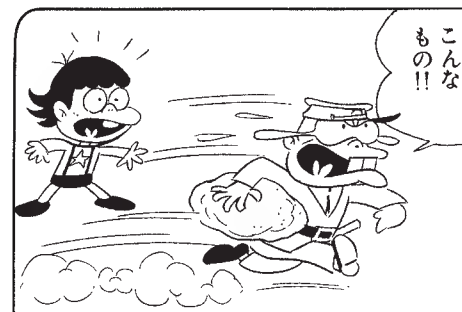
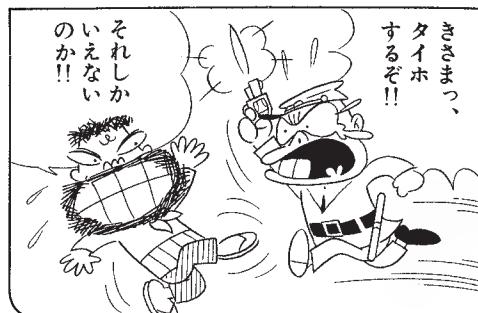


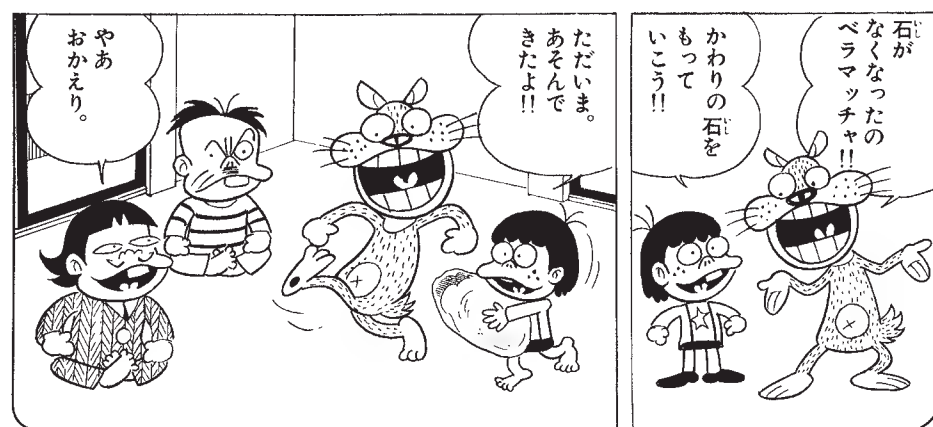
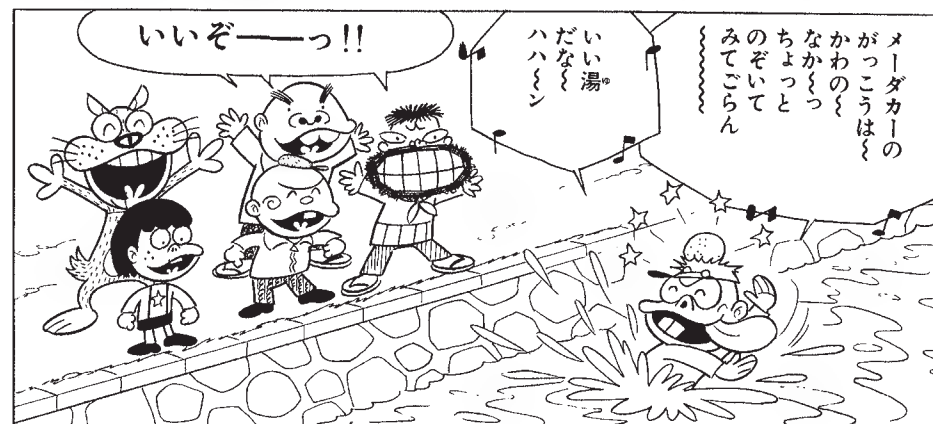
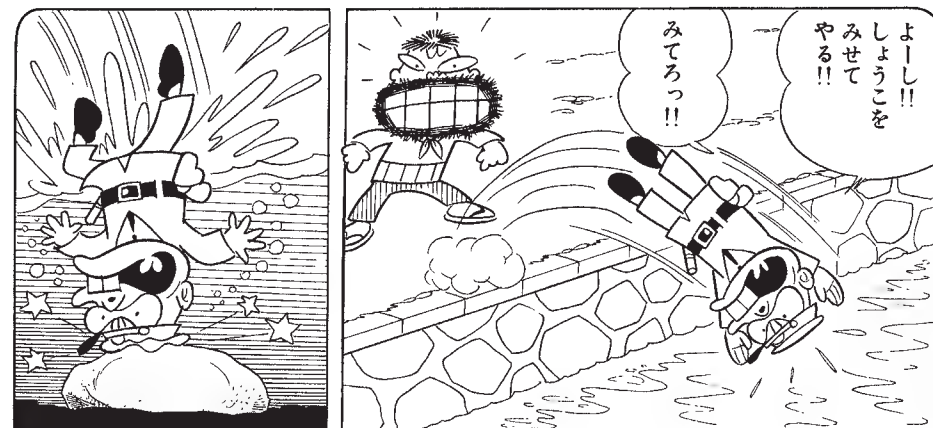
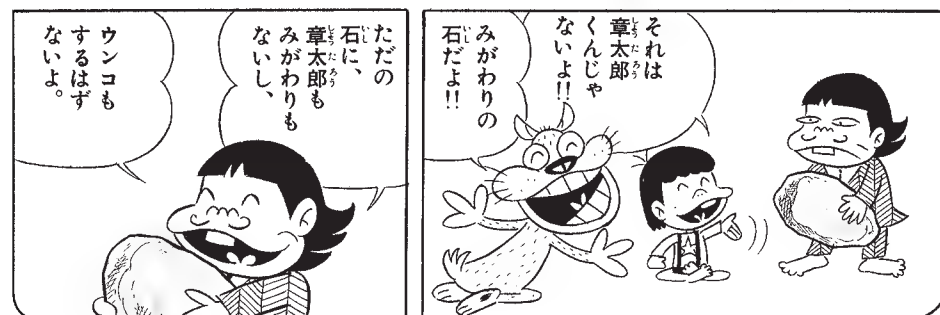
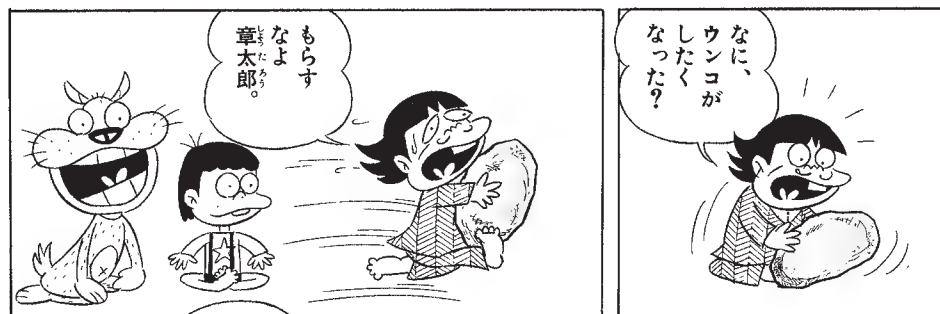
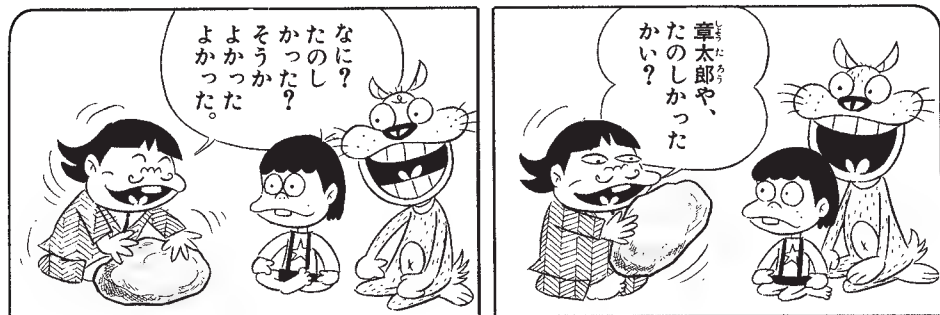








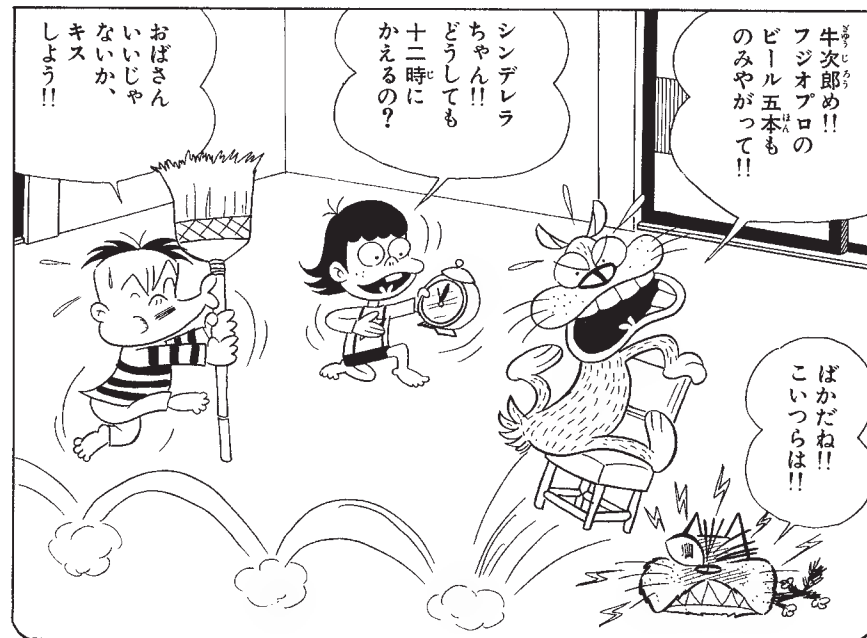
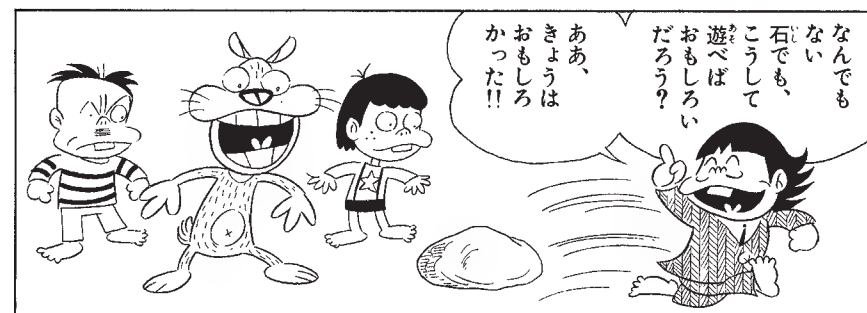
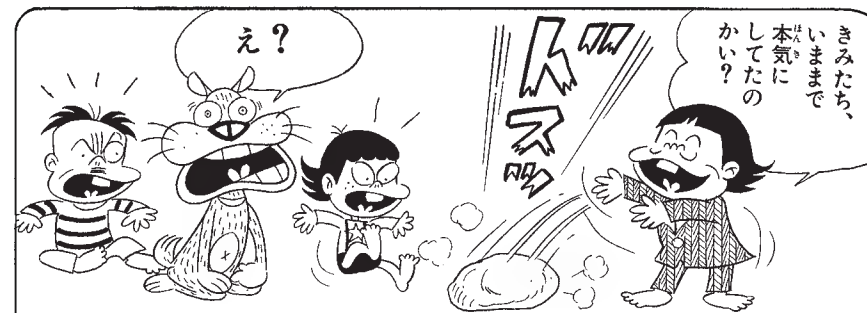
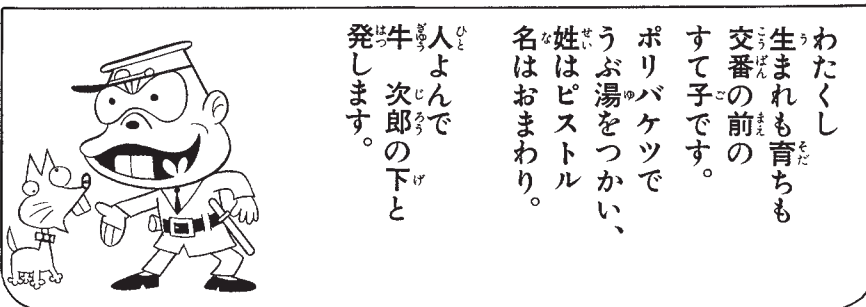
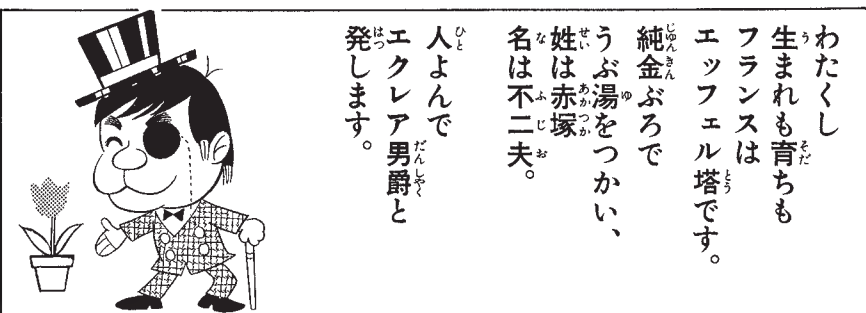
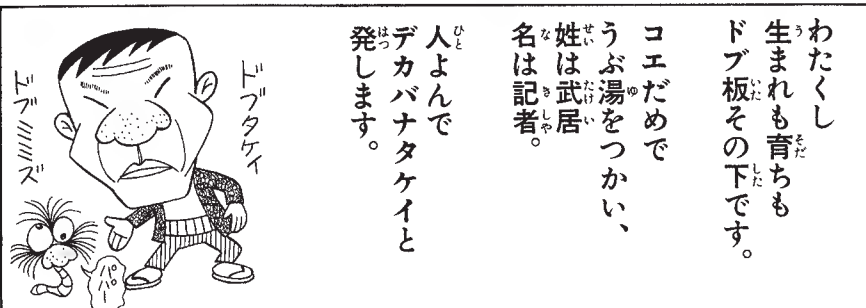


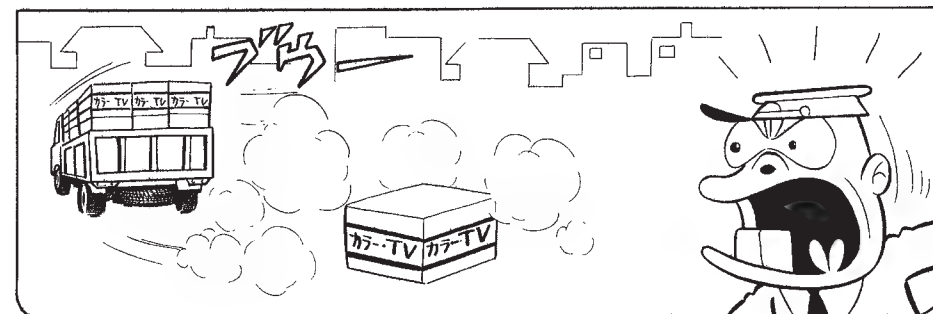
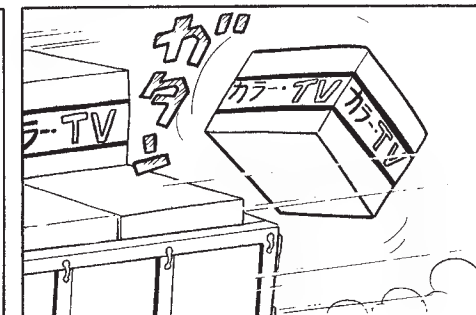
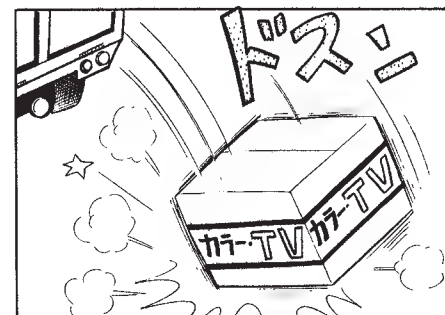
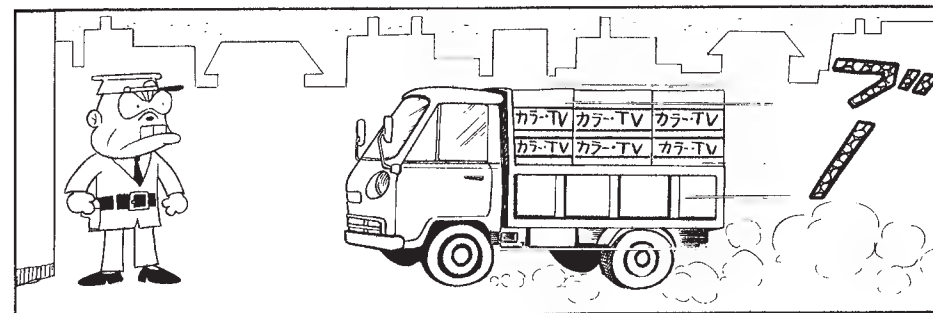
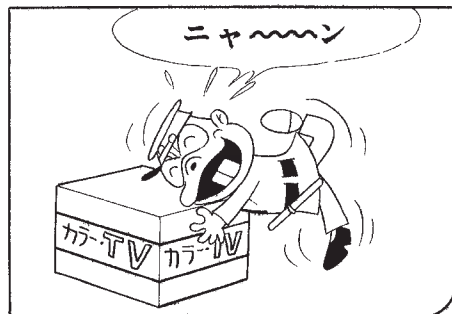
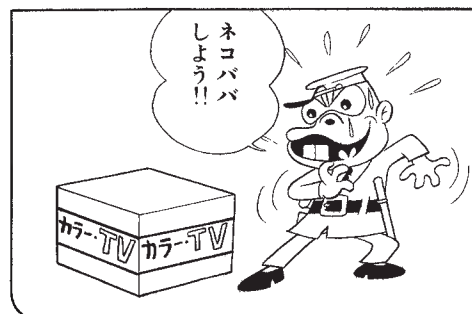
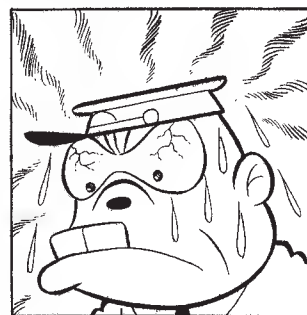
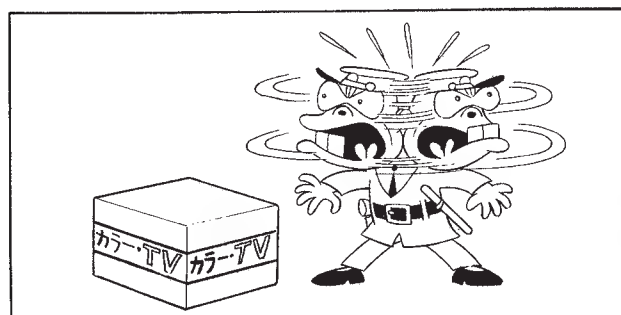
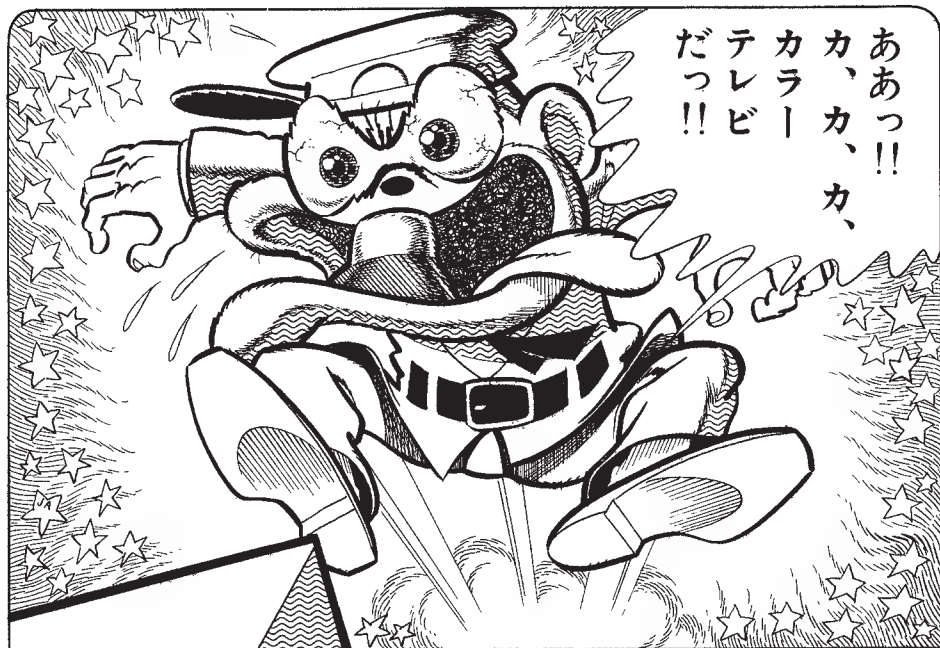


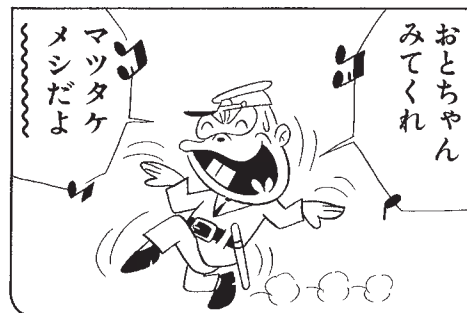
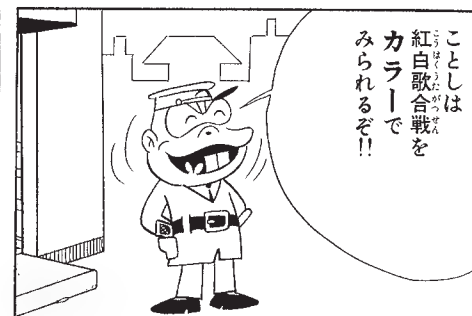
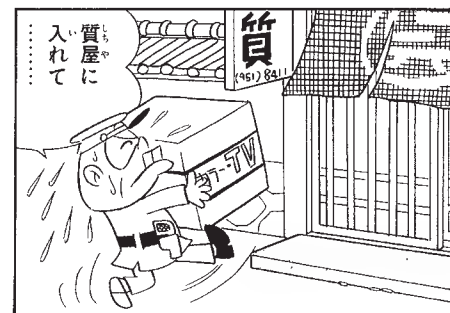
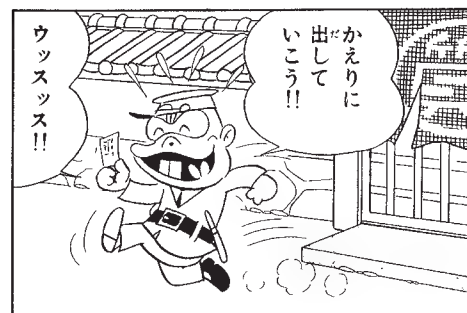
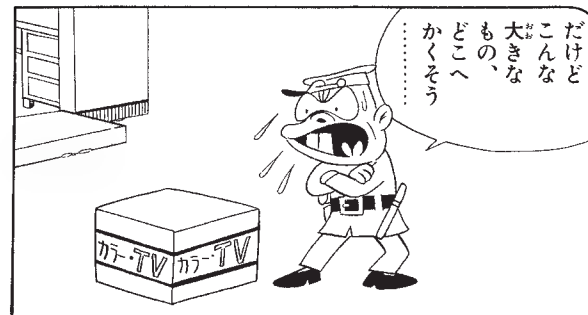
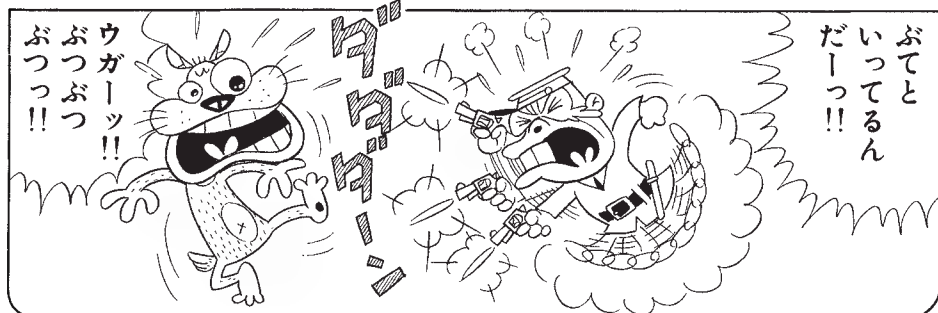
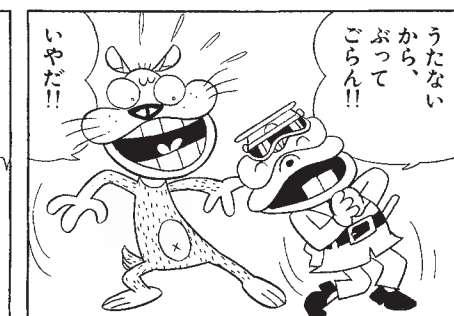
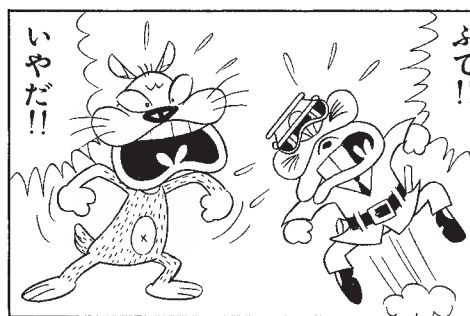
レッツラ・ゴバン

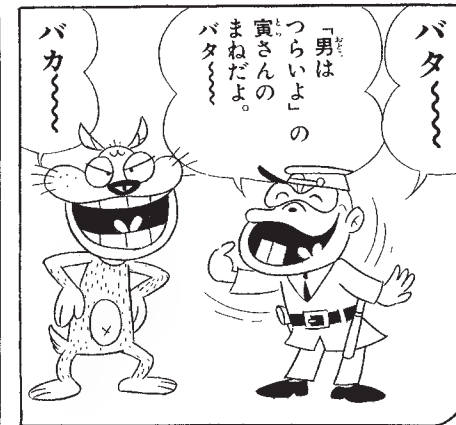
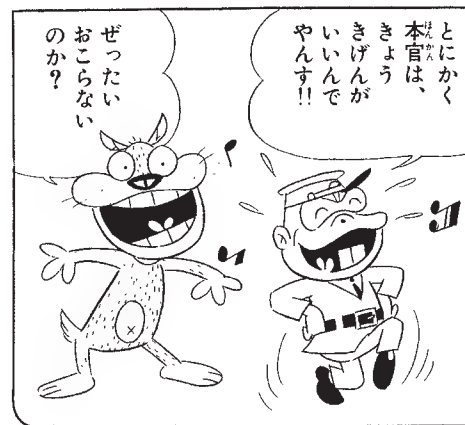
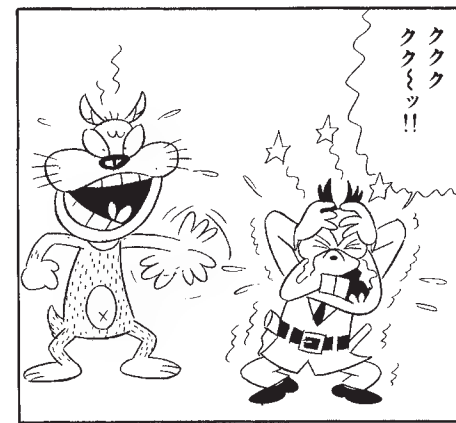
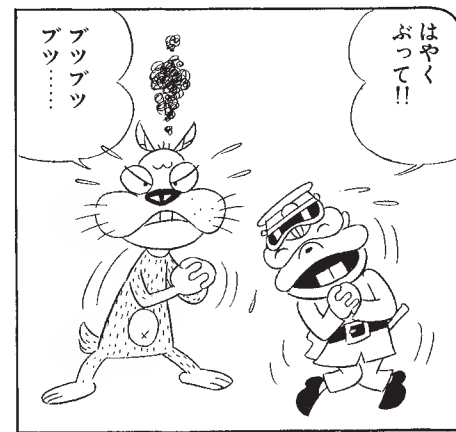
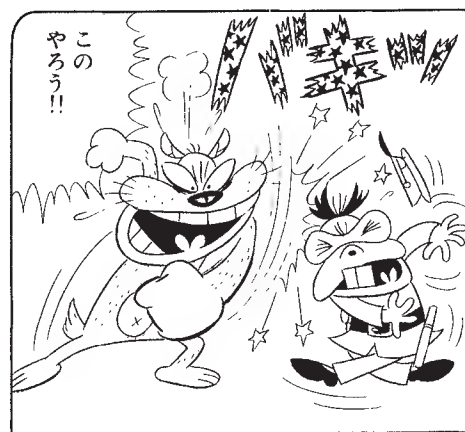
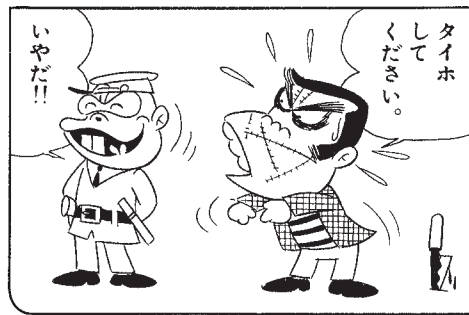
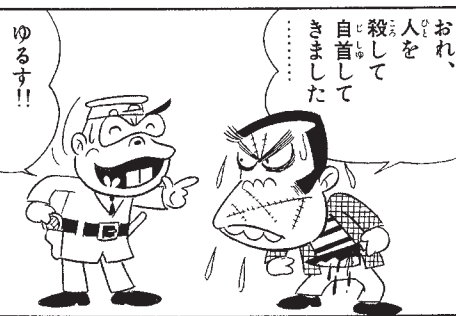
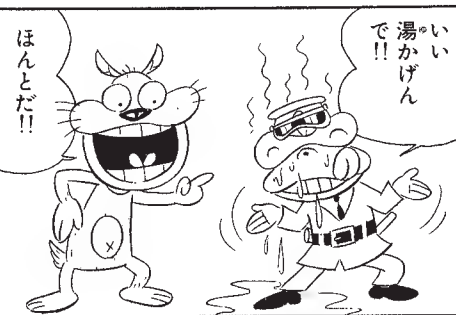
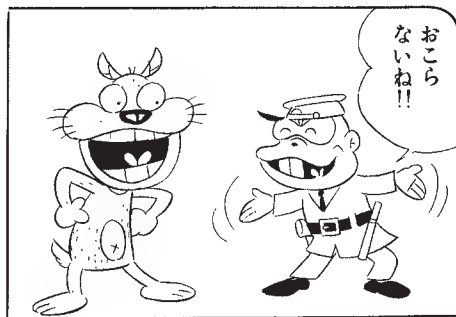
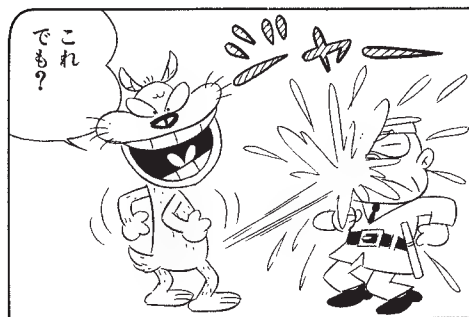
男はつらいよ

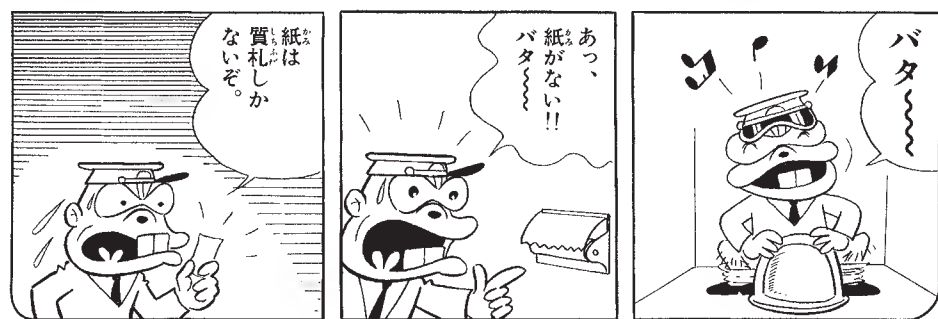
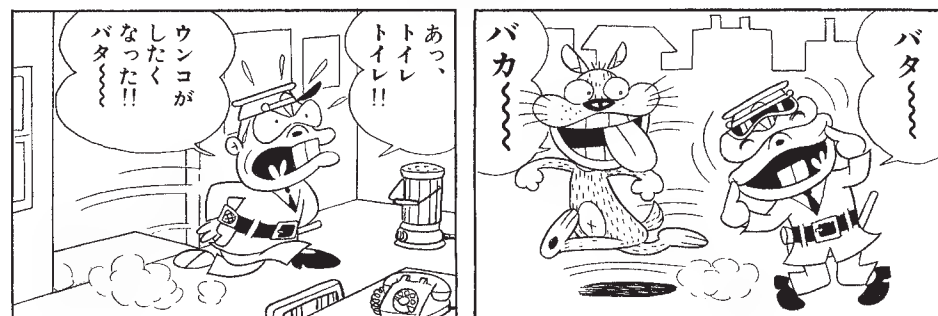
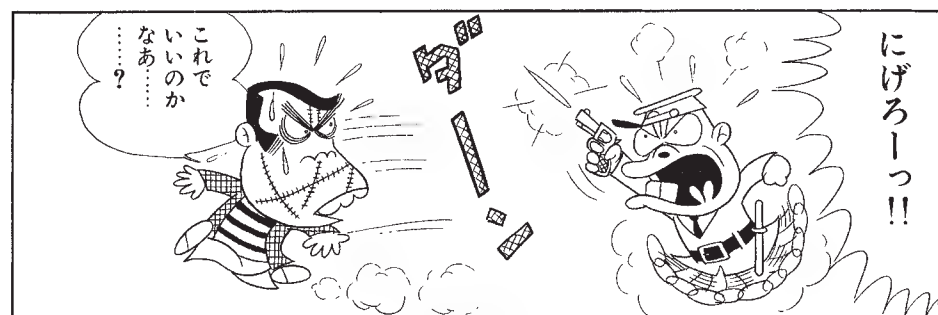
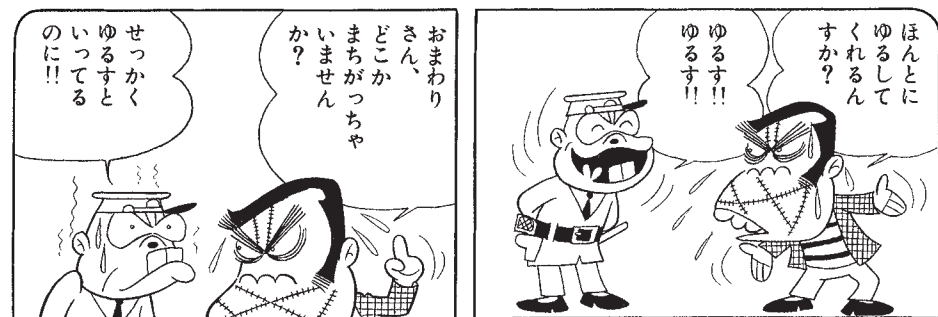
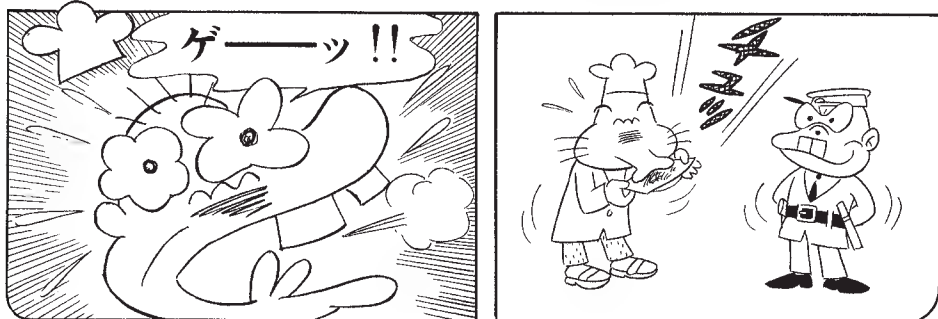
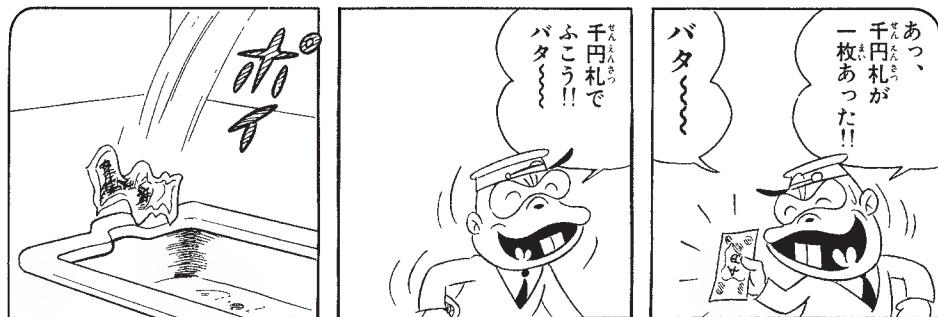
やま だ よう じ さく
山田洋次・作ではない

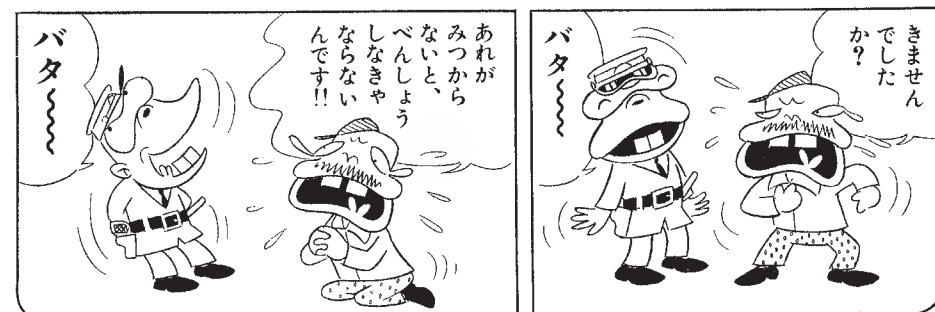
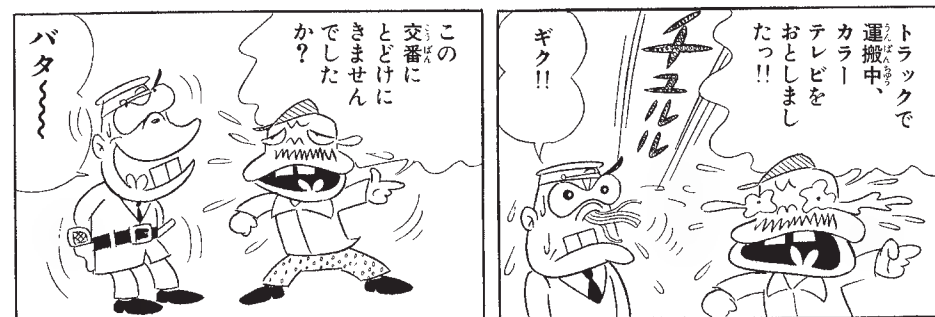
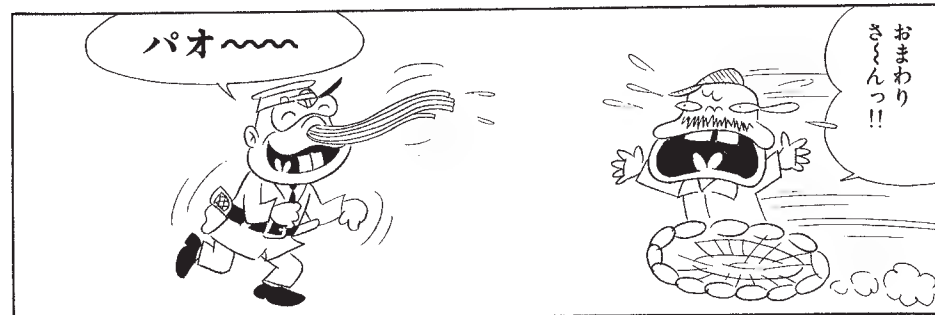
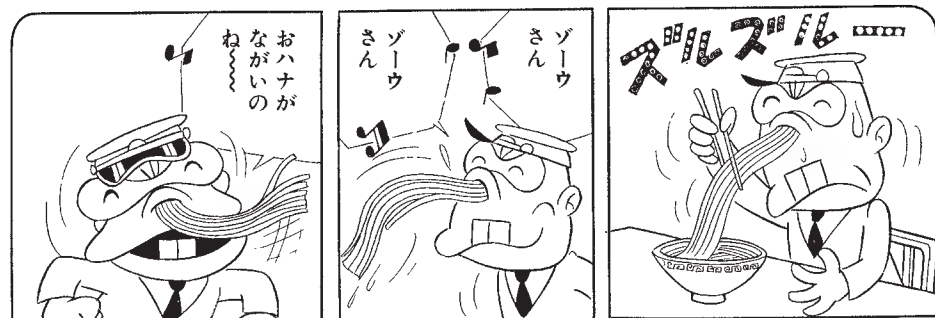
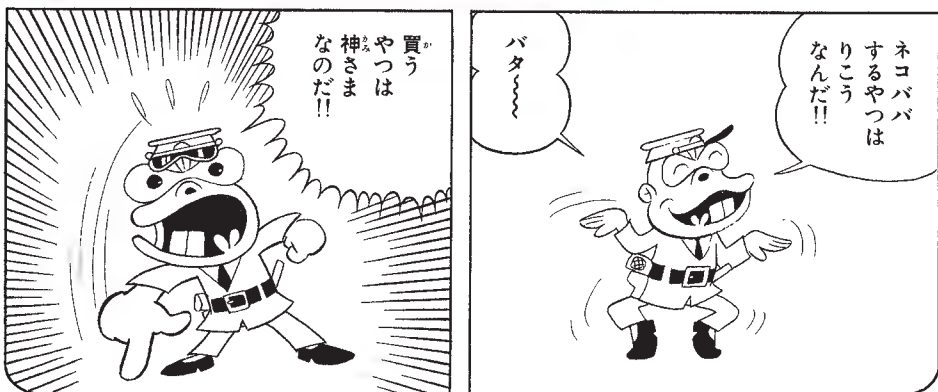
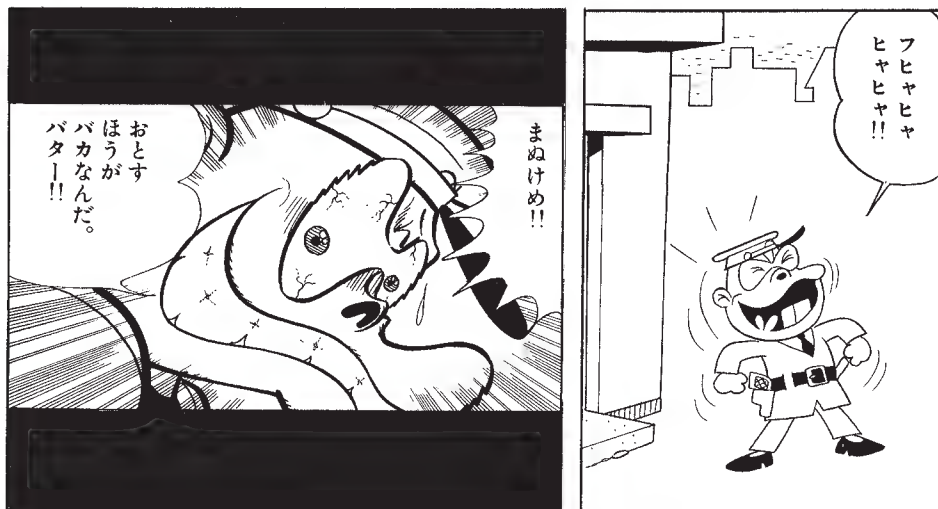
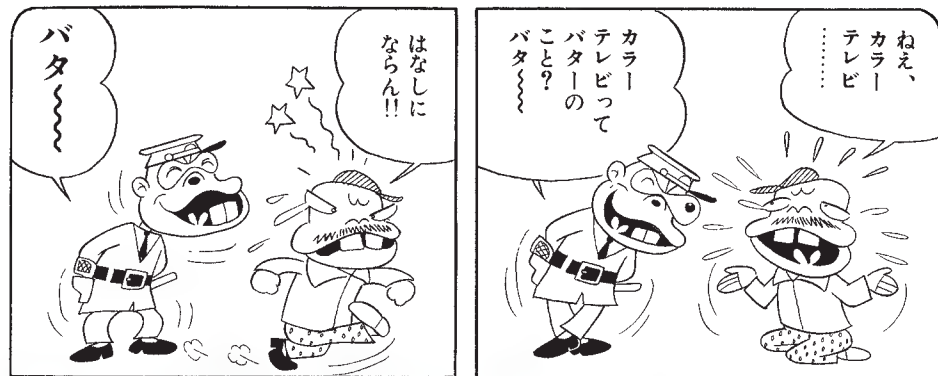


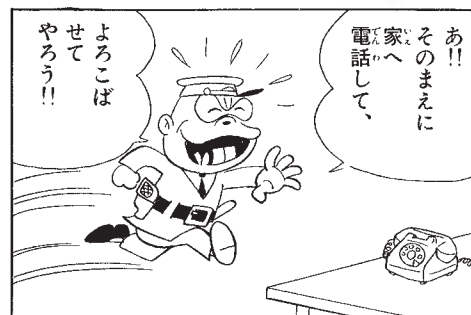
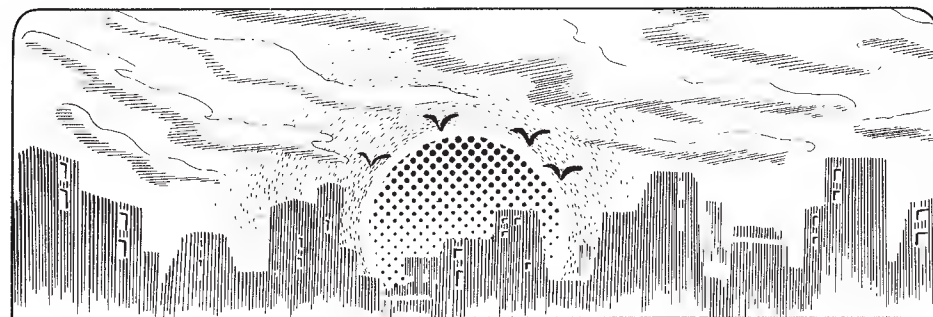
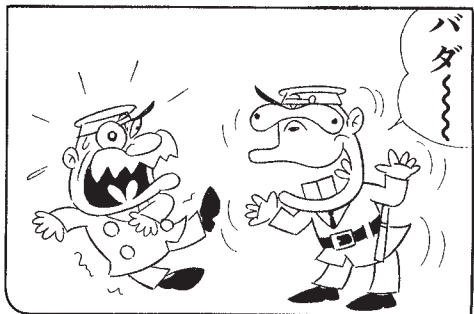
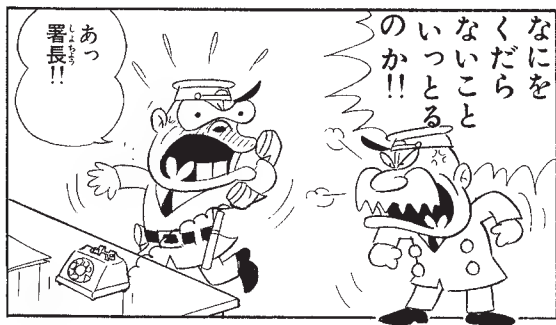


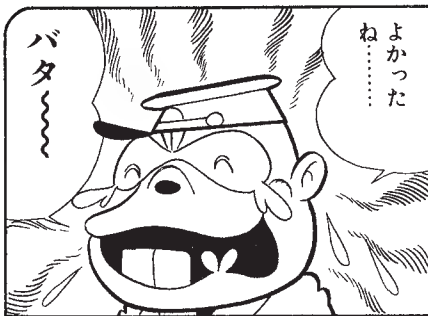












よかった
ね……

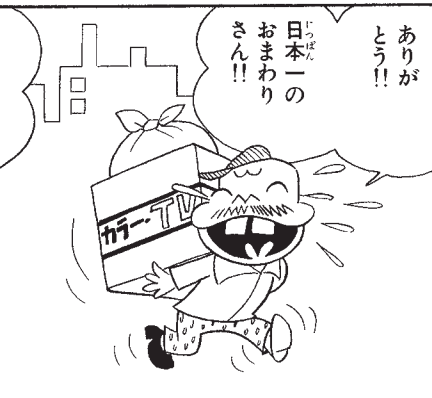


おれは
もう
あきらめて、
べんしよう
する
お金を
つくり
質屋へ
いくとこ
だったん
です!!

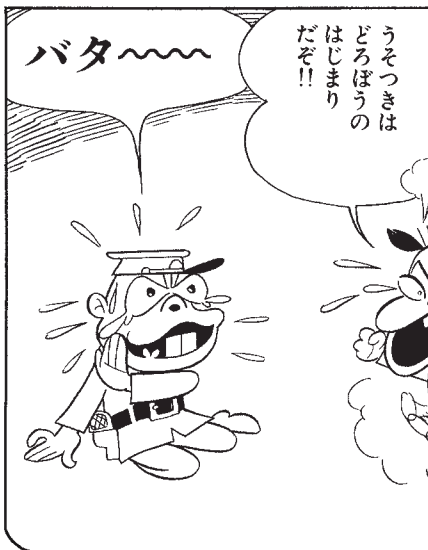


正義の
味方だ!!
よい人だ!!

いやいや!!
警察官は
常に
民衆の
味方だ!!



ありがとう!!
日本一の
おまわり
さん!!

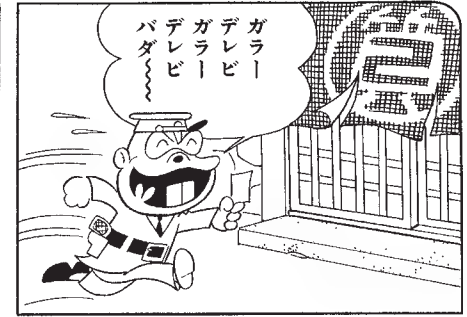
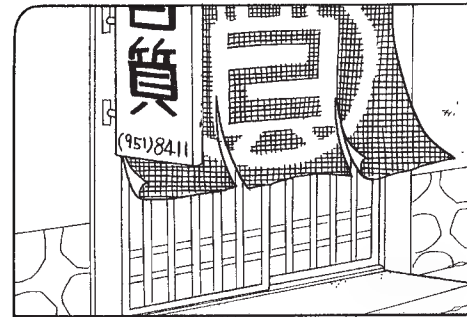


バタ〜

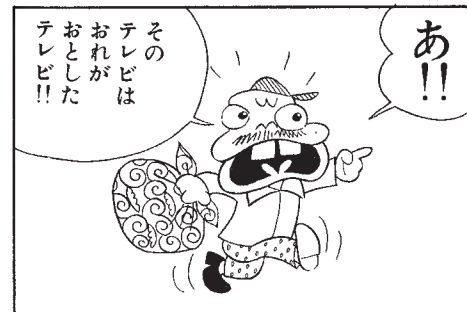
うそつきは
どろぼうの
はじまり
だぞ!!



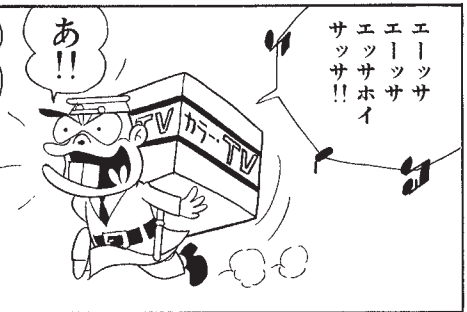
ウソつき!!
お化粧して、
ごちそう
つくって、
まてたのに!!
平巡査!!
ろくでなし!!
低能!!



ガラー
ガラー
バダ〜
テレビ



その
テレビは
おれが
おとした
テレビ!!



あ!!

あ!!

エーッサ
エーッサ
エッサ
エッサ
エッサ!!

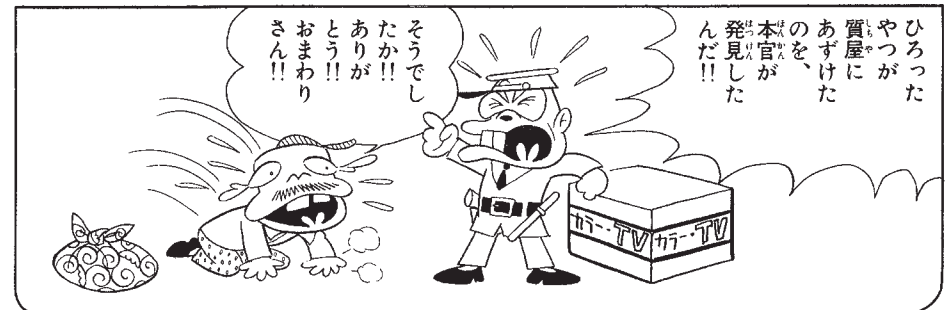


バタもの!!
ぬすんだん
じゃ
ない!!



それを
どうして
おまえ……
いや、
おまわり
さんが
ぬすんで?

そ、そうだよ。



そうでし
たか!!
ありが
とう!!
おまわり
さん!!

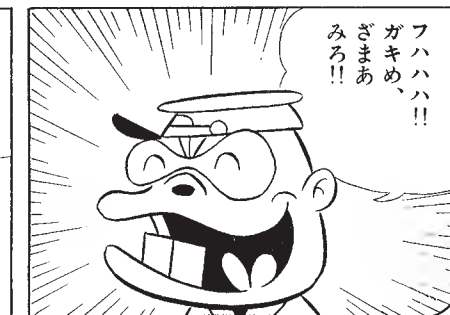
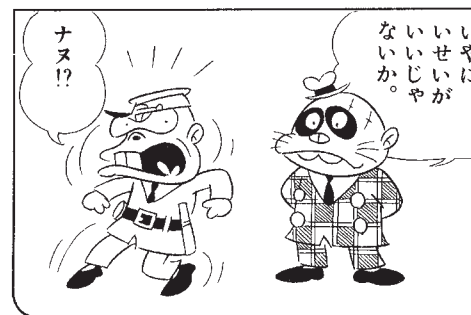
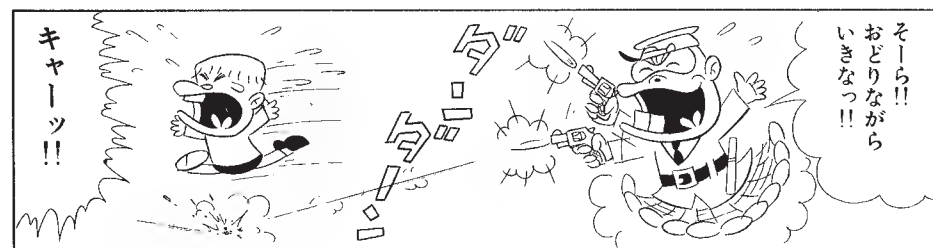
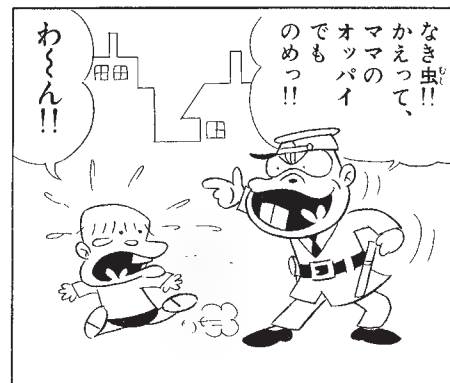
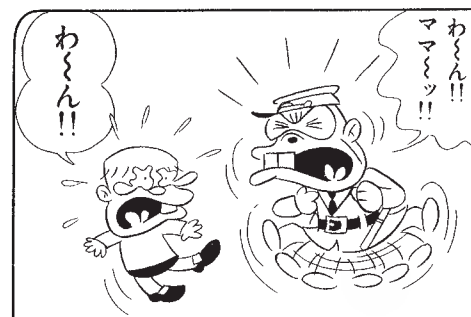
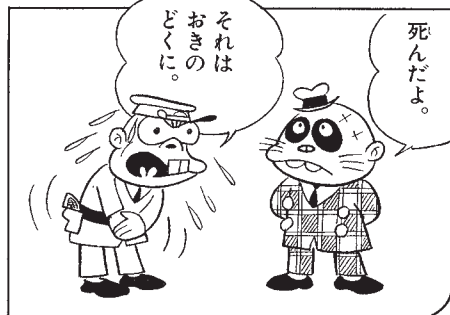
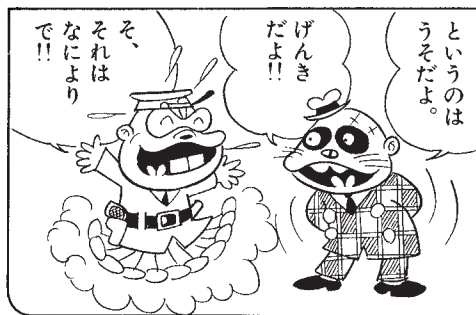
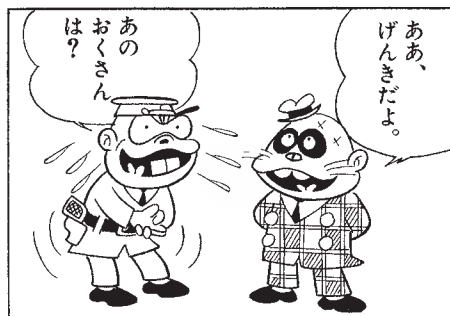
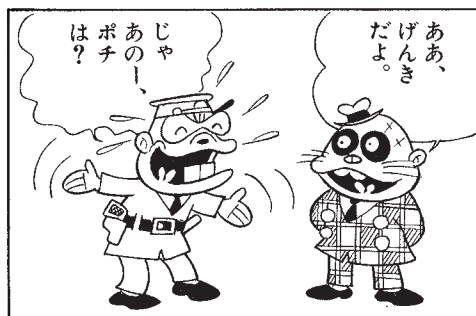
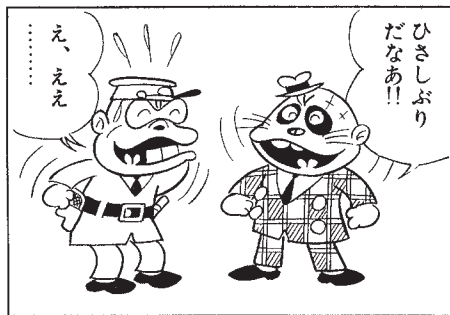
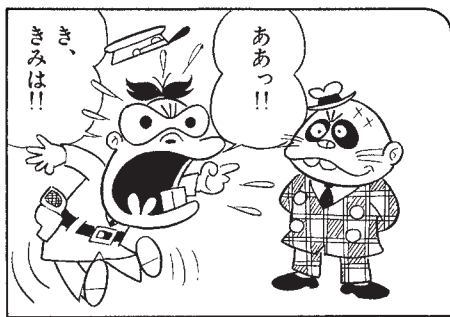
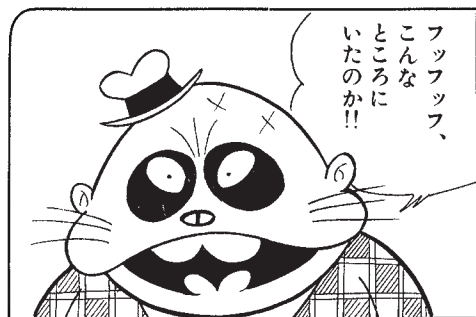
ひろった
やつが
質屋に
あずけた
のを、
本官が
発見した
んだ!!

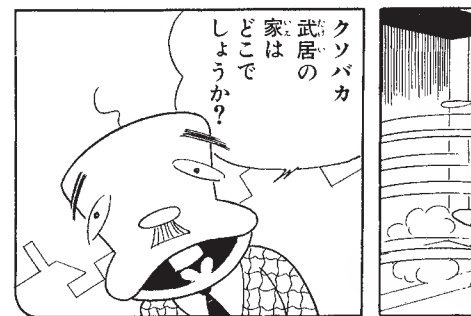
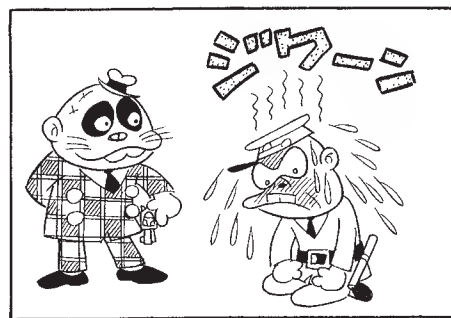
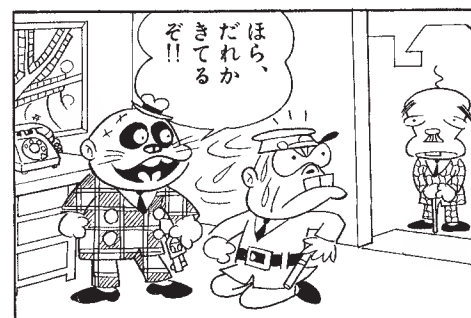
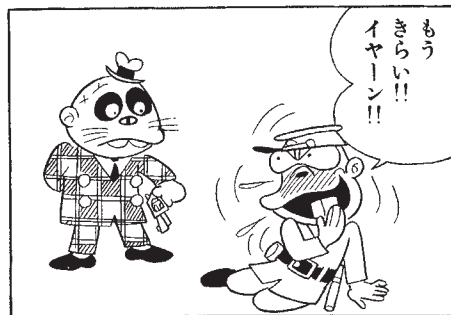
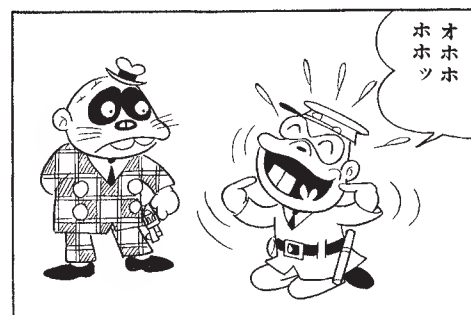
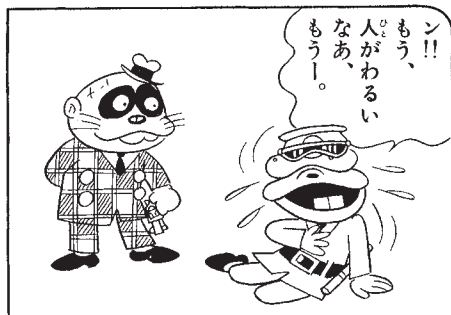
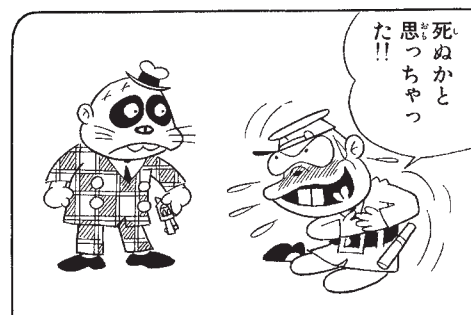
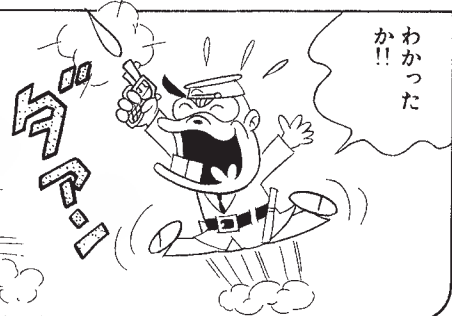
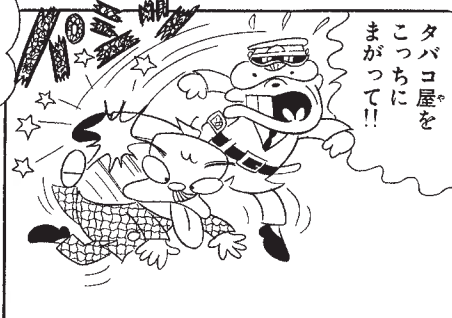
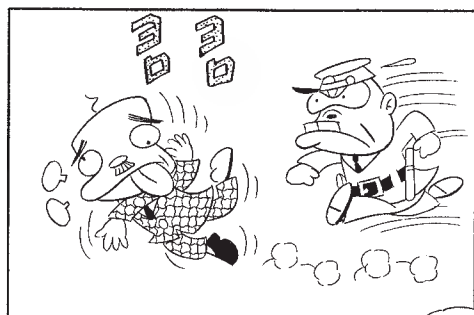


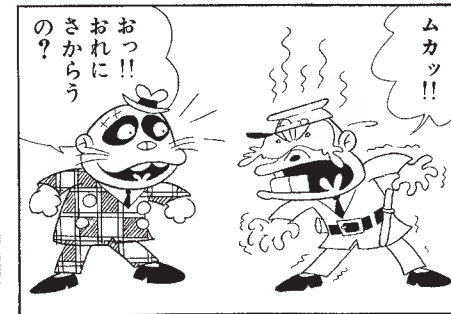
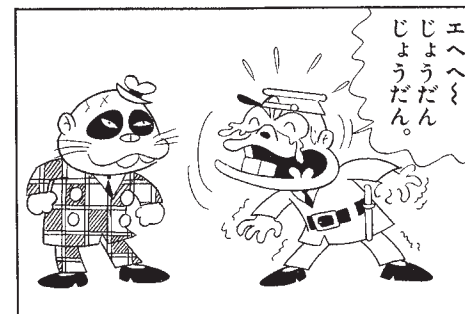
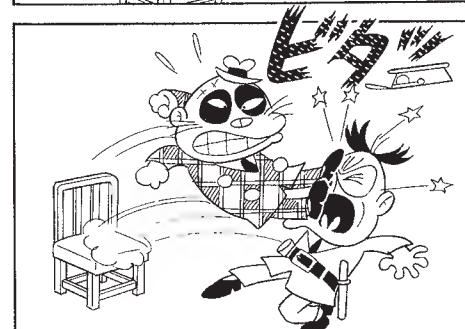
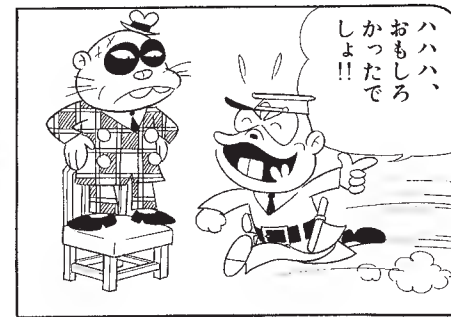
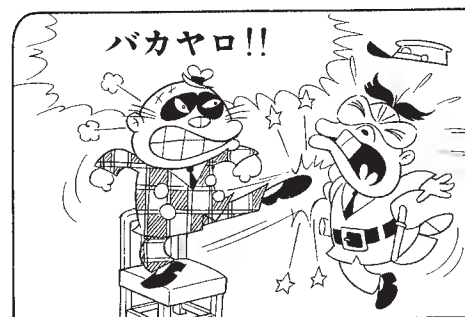
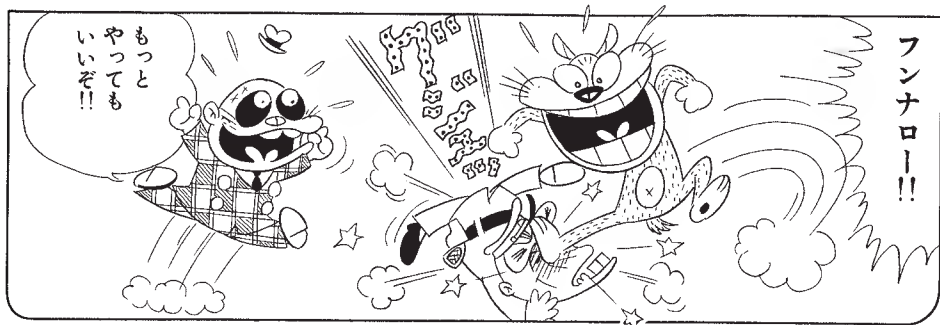
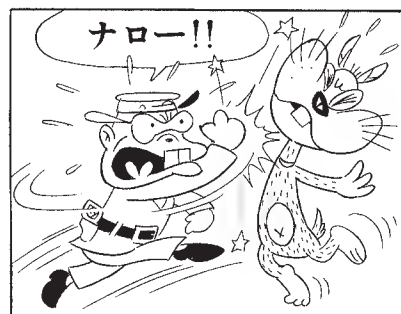
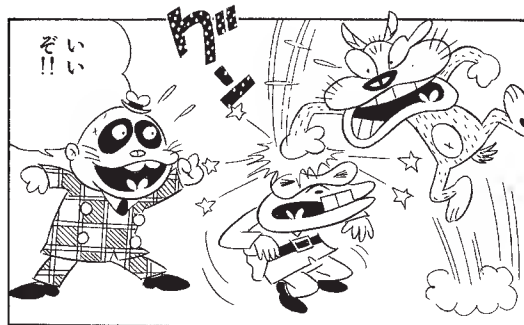
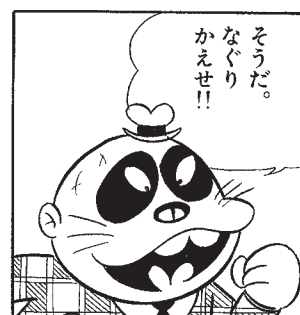
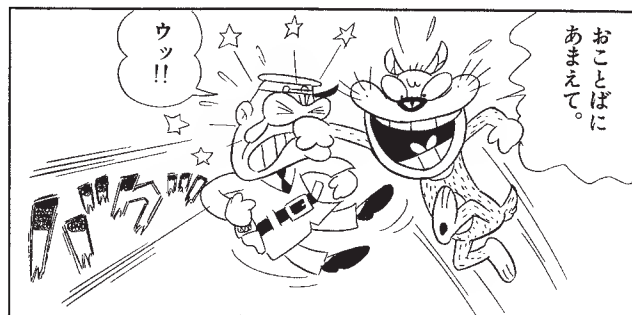
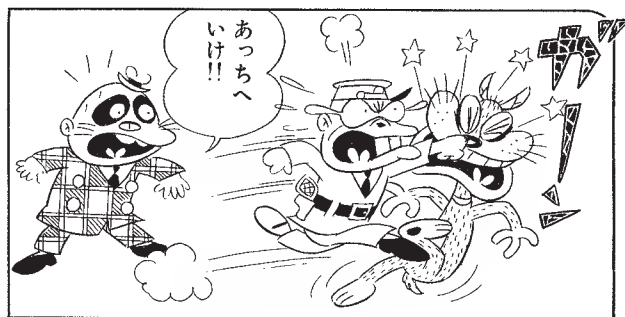
警察日記

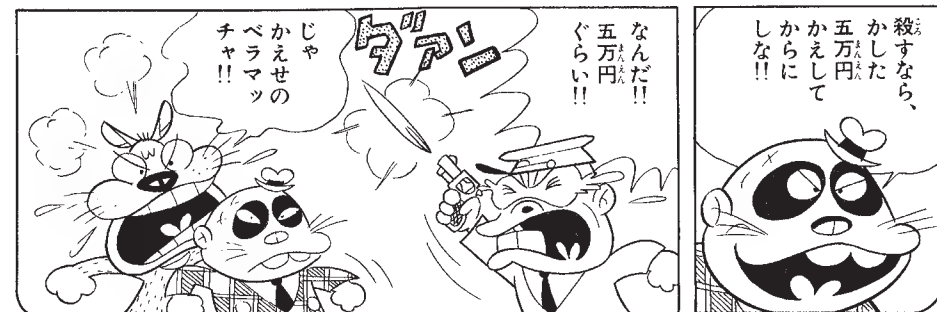
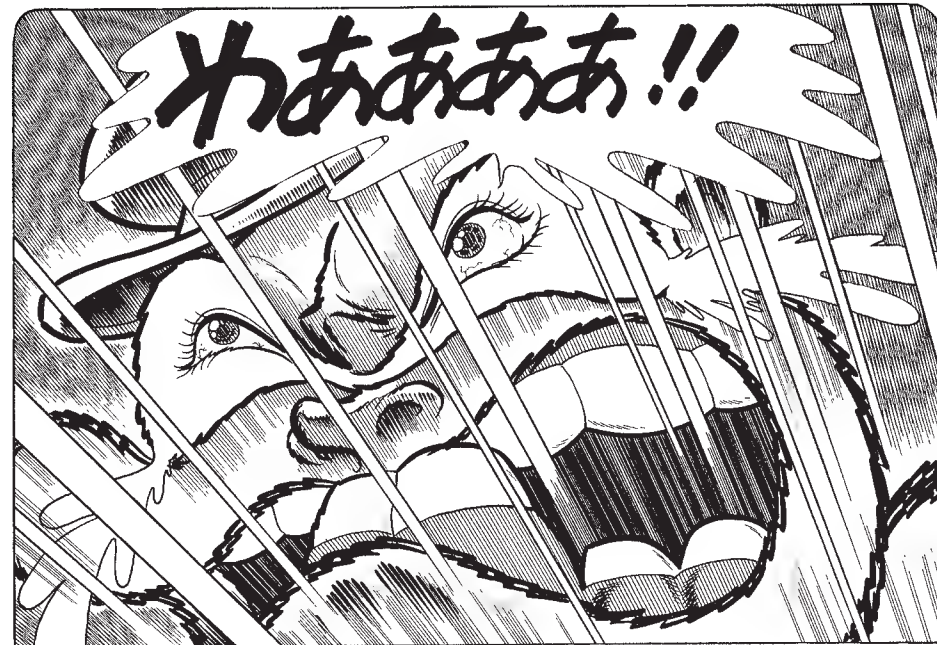
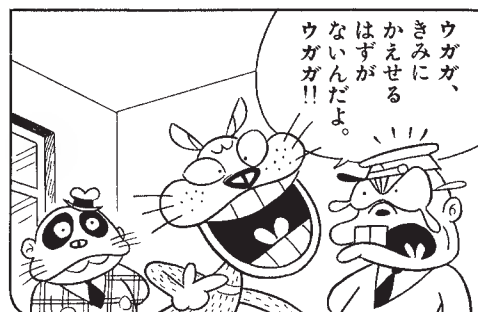
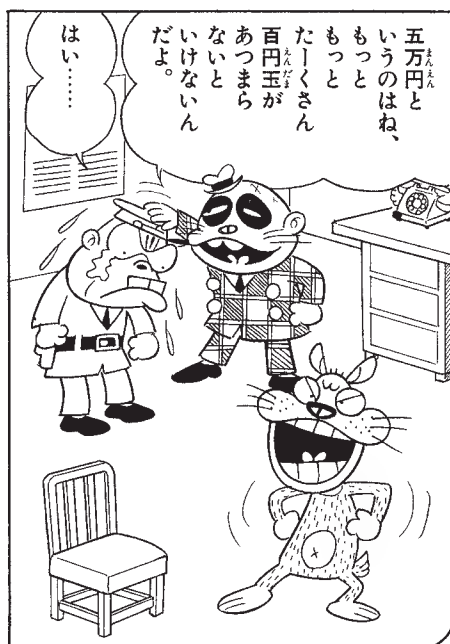
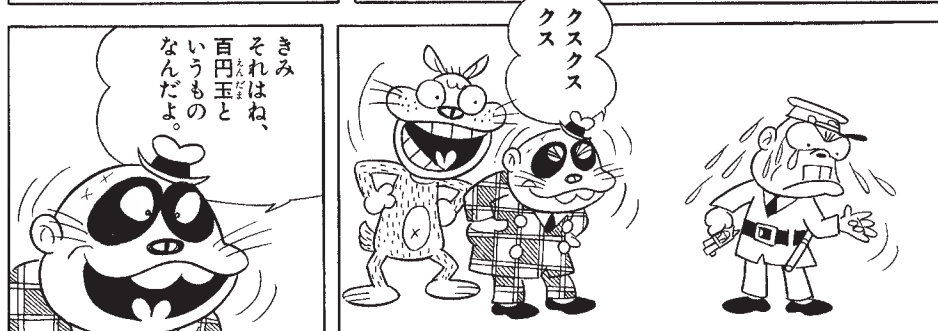
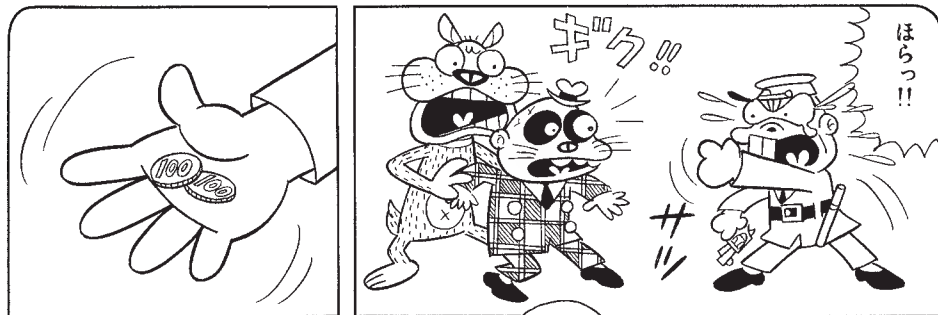
十一月十五日 どんより曇った晴れ
独房の小さな窓から富士山が見える。
きょうも雨だ。
ここ北海道の網走刑務所に
来てから早いもので、もう百年
たってしまった。
オレ、武居記者は、このつめたい
壁のへやで、反省の日びをおくって
いる——と思うだろうが、トンデモ
ハッパン走って10分、反省の色など
茶色もない!! 白だ!!
赤塚の親子丼にオレのくさい
クツ下をつっこみ、こねくりまわして
タイホされてから、もう何日たった
だろうか? ちようど三日めだ。
あすは死刑執行の日だ。
もうジタバタすまい。オレも女だ!!
よし、死んだら赤塚のところへ
ばけて出よう。赤塚くん、その時は
あたたかく迎えてくれよ。
一八一四年 六月四日(ムシバ予防デーに)

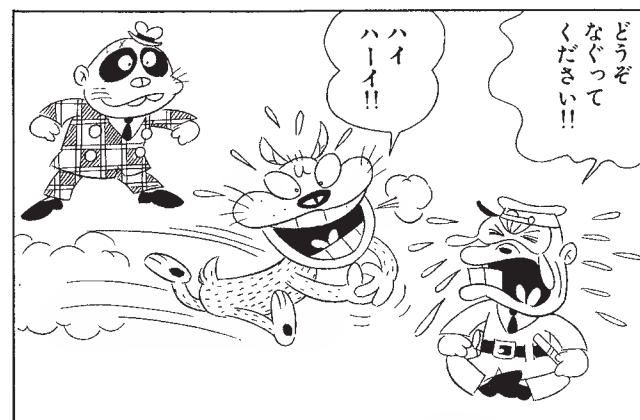
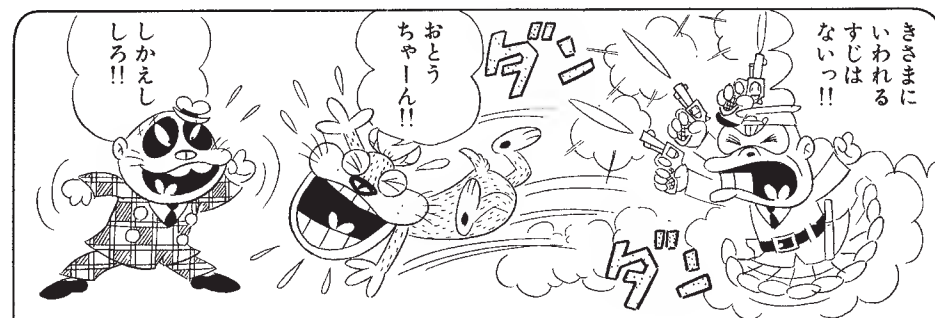
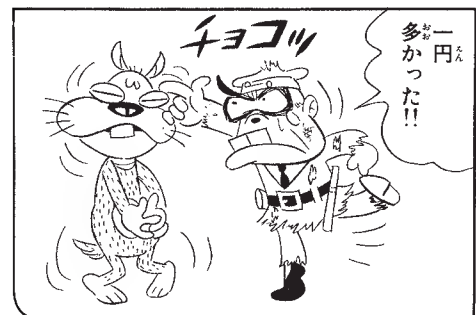
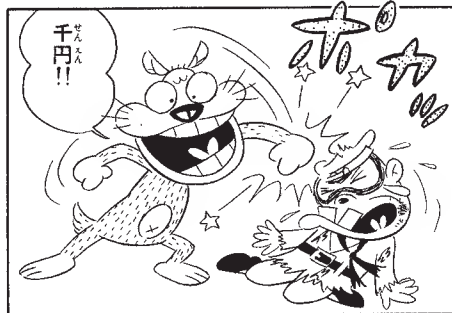
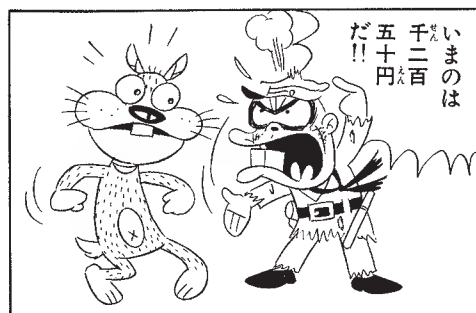
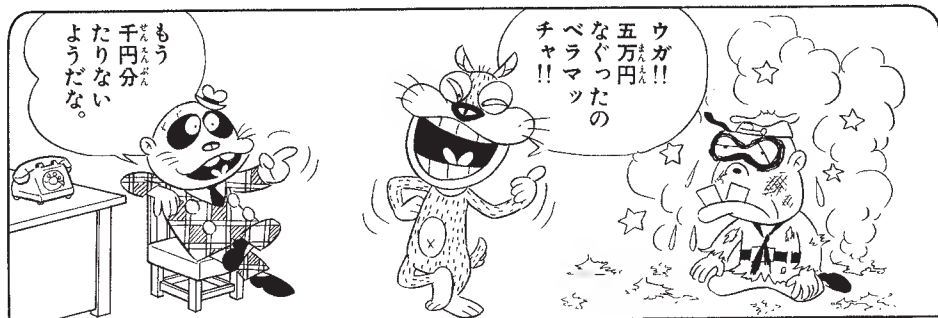


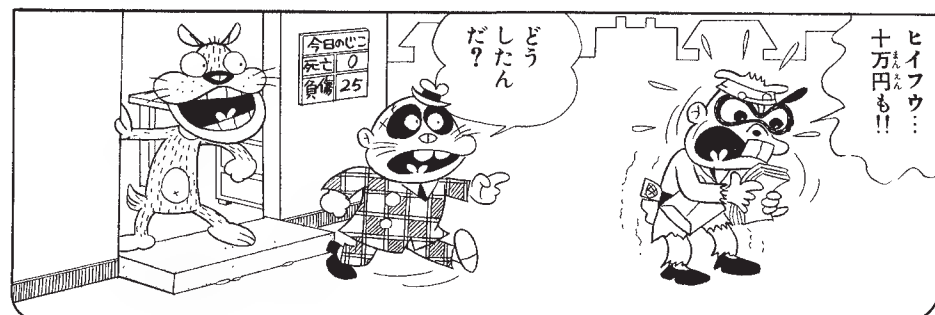
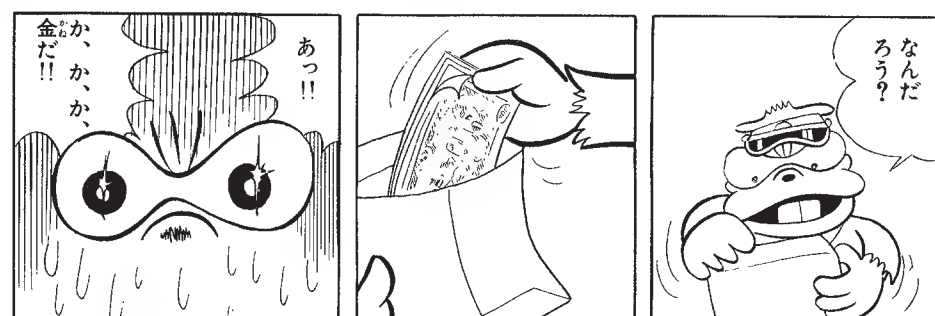
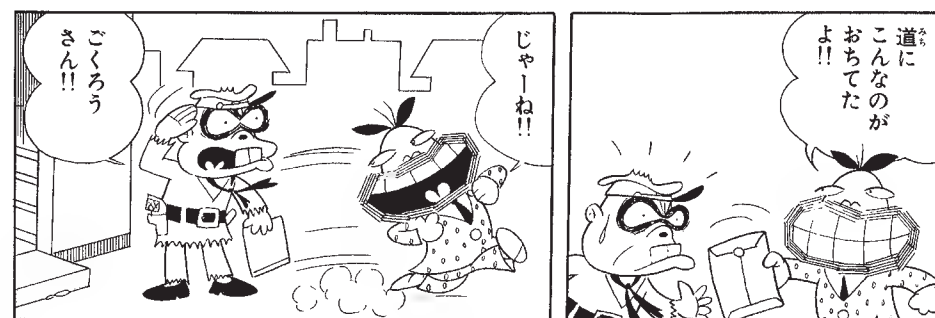
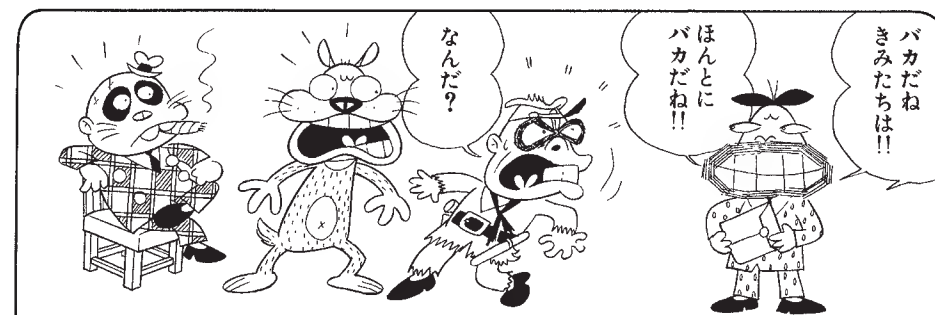
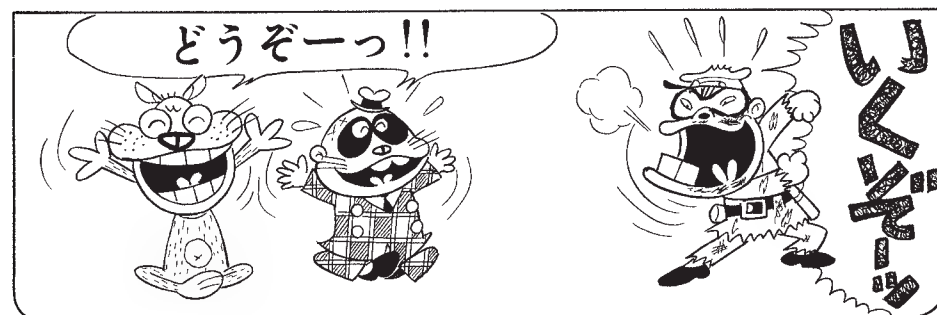
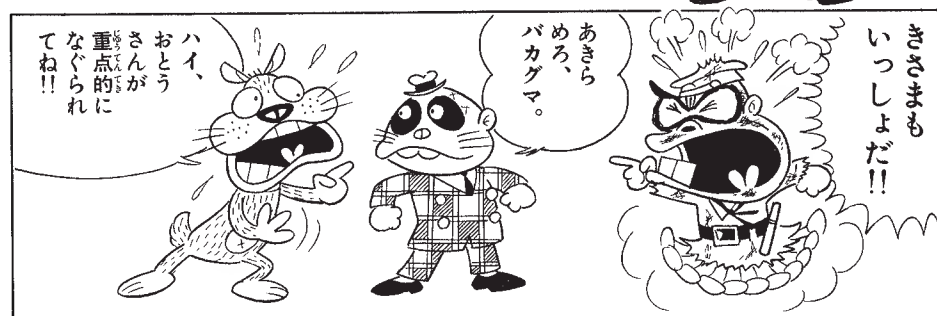
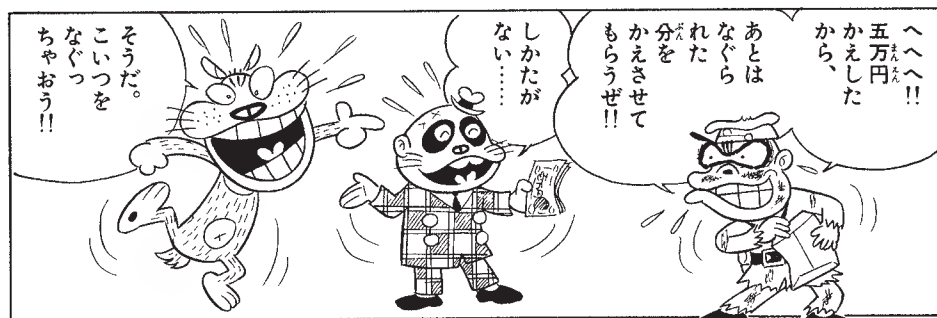
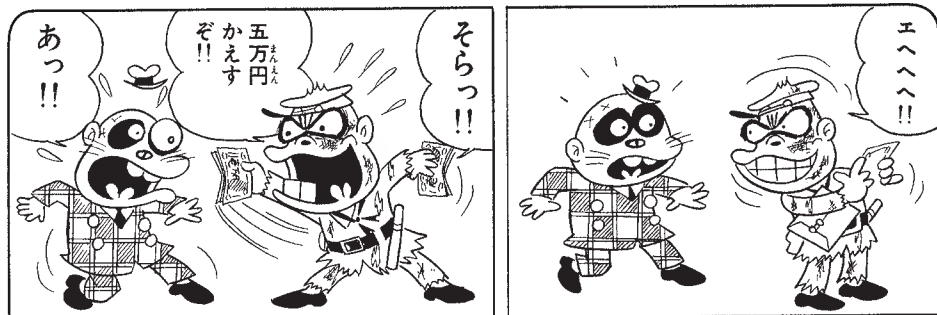


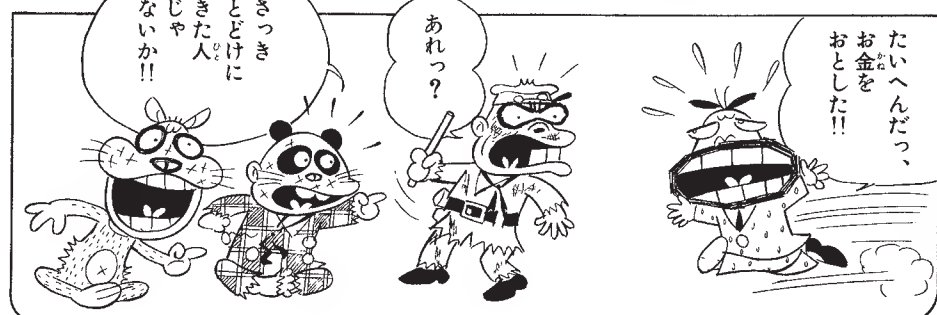
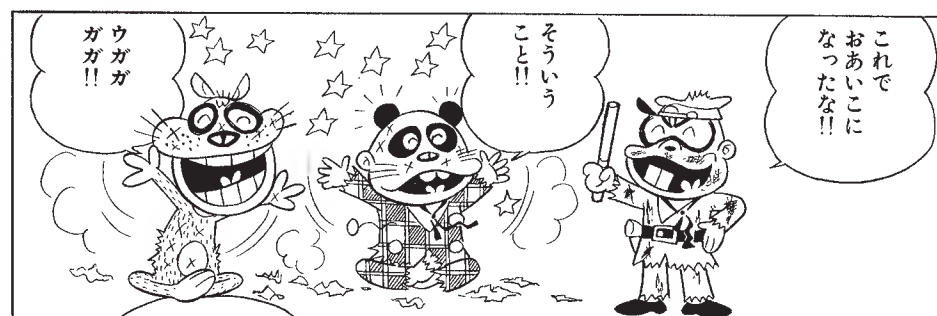
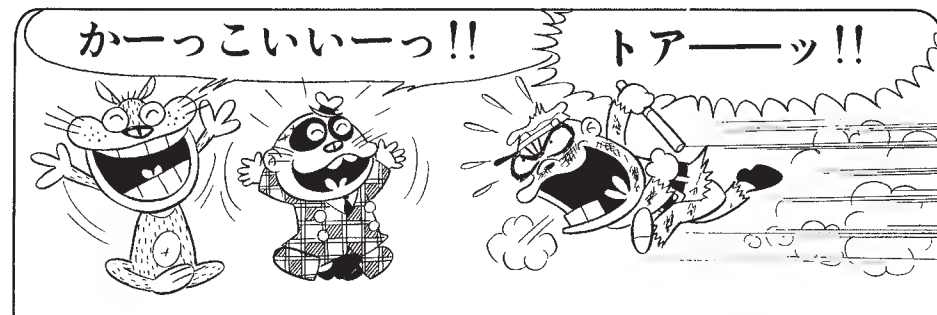
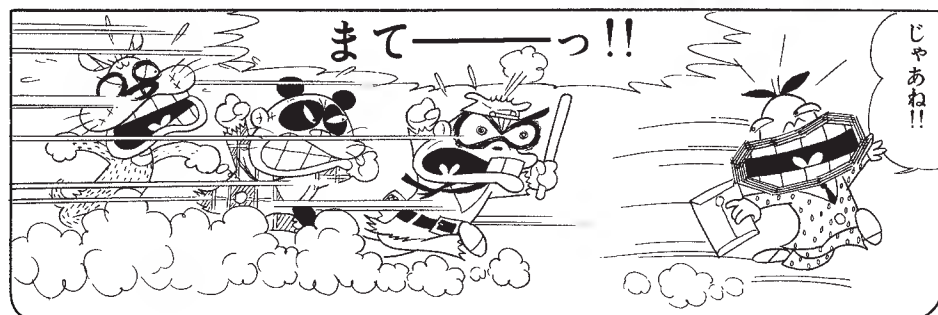
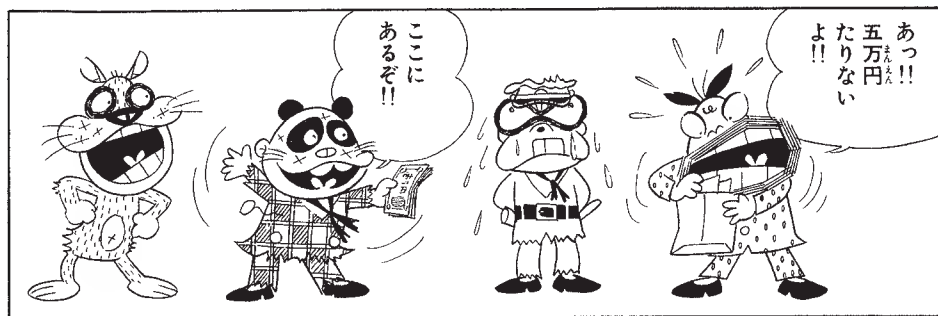
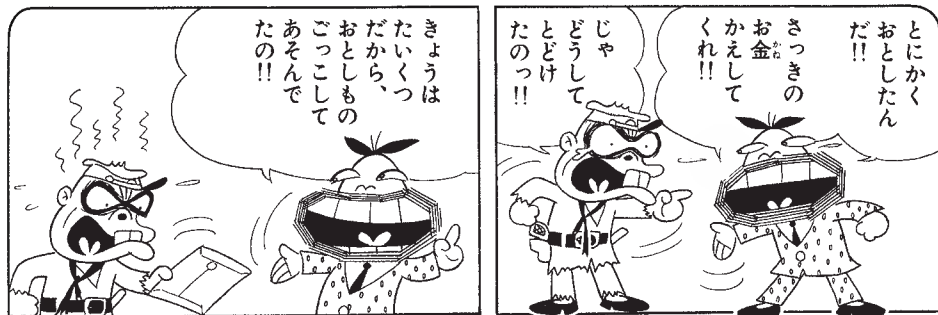


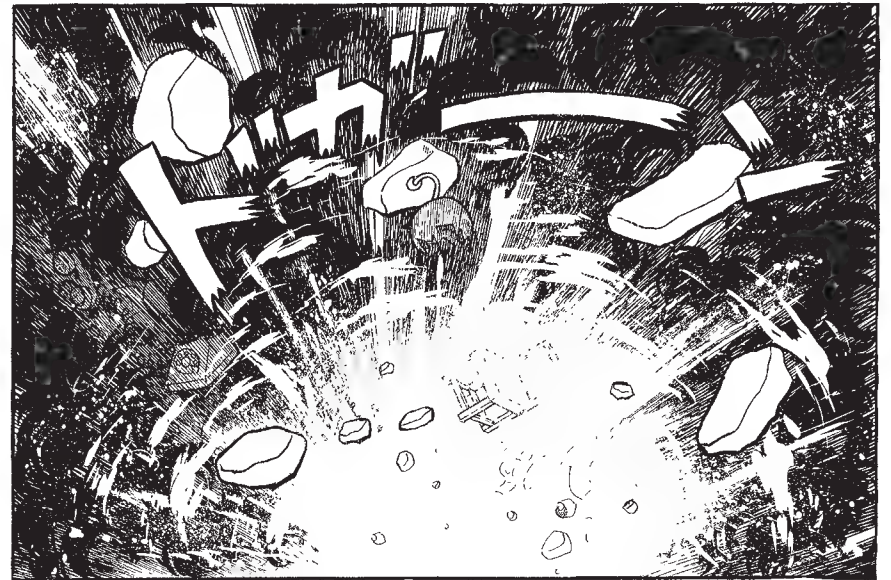
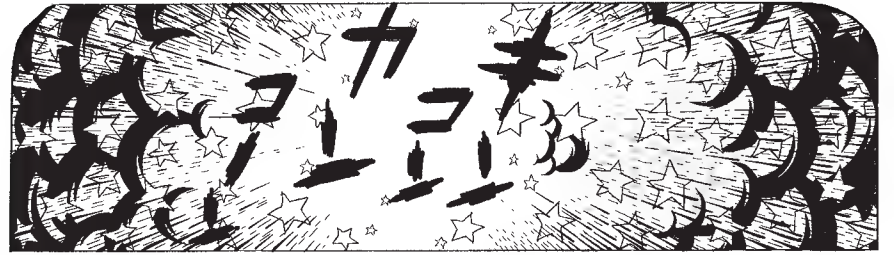












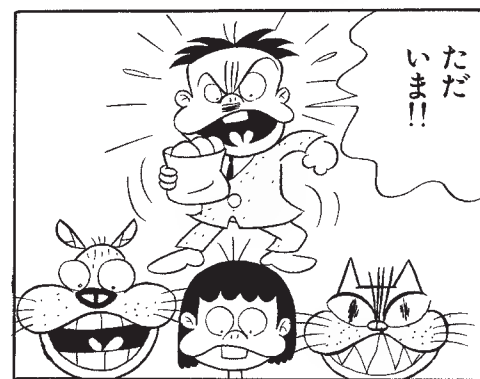
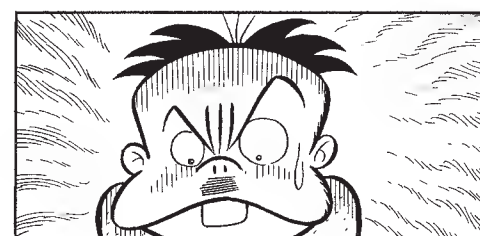
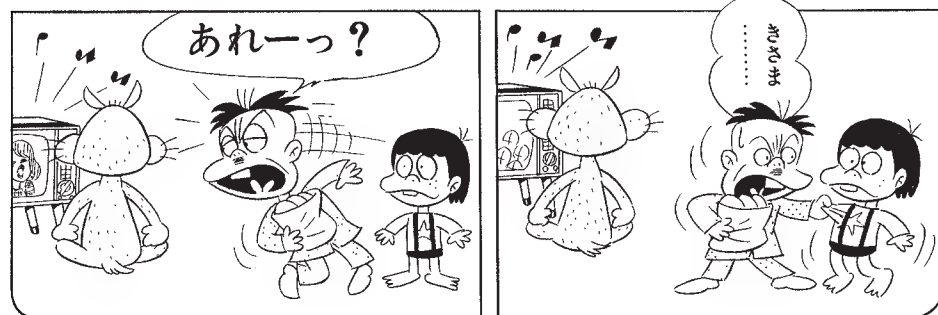
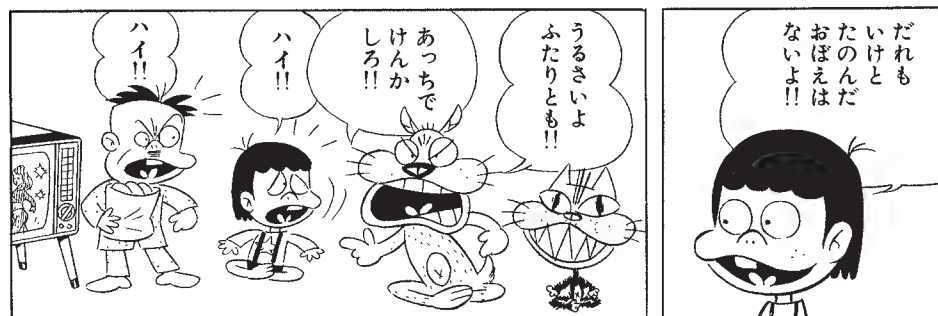
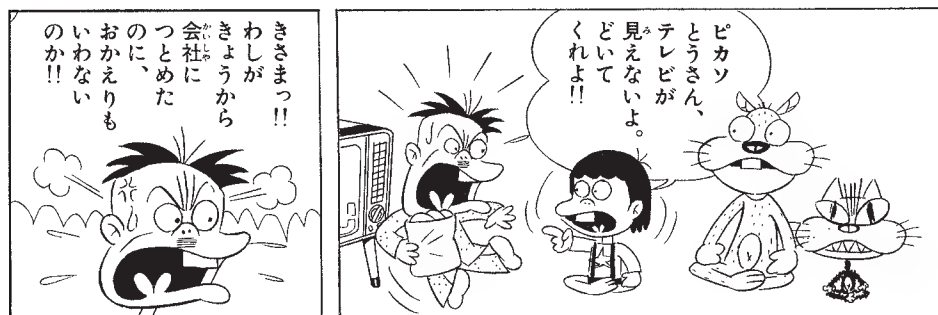
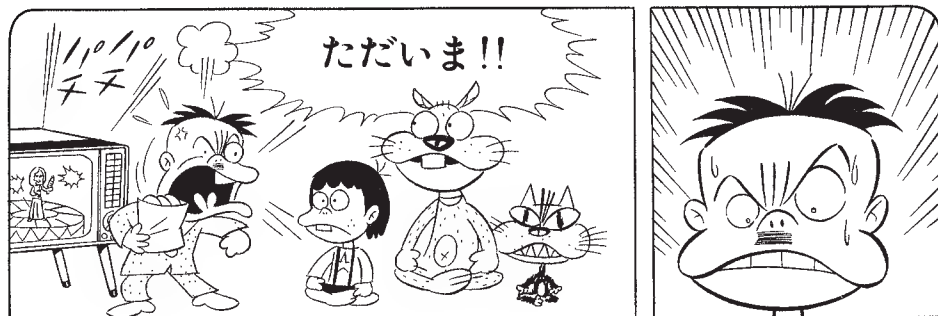
どういわけか交番が爆発して「警察日記」はおしまい!!

レッツラ・ゴン純愛小説まんが

スベールの日曜日

赤塚不二夫

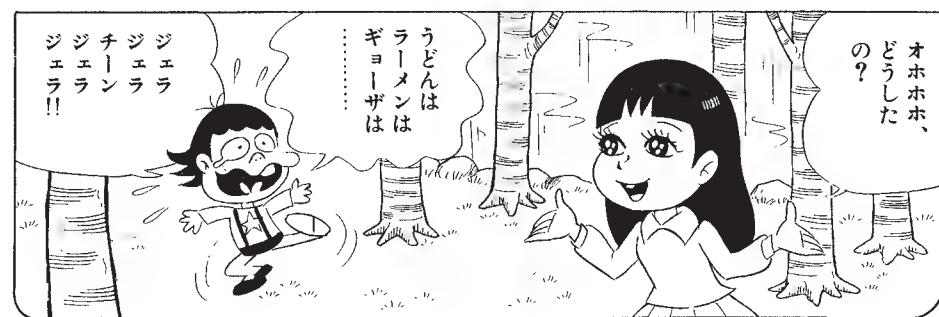
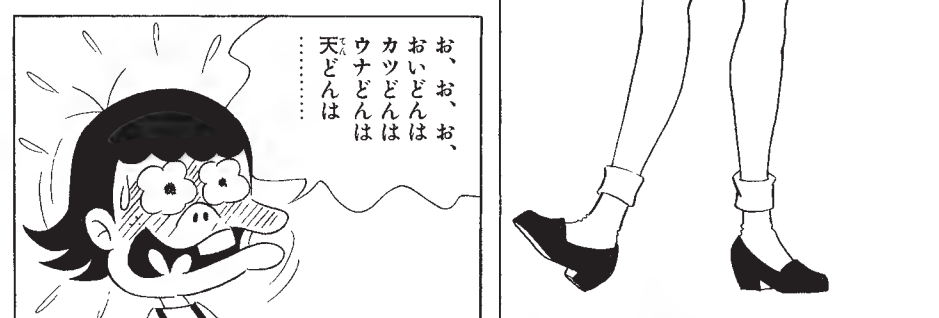
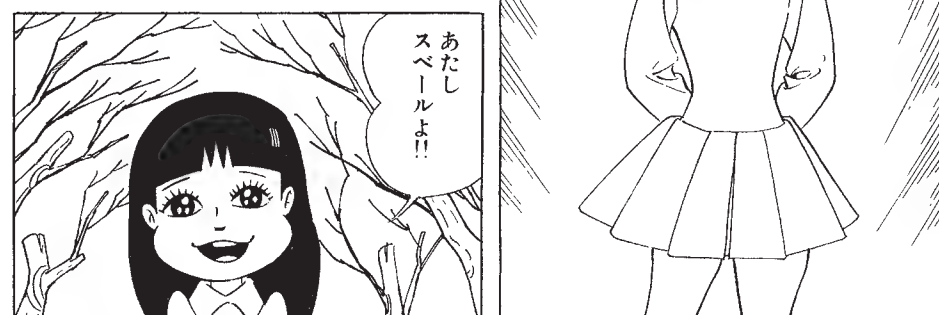
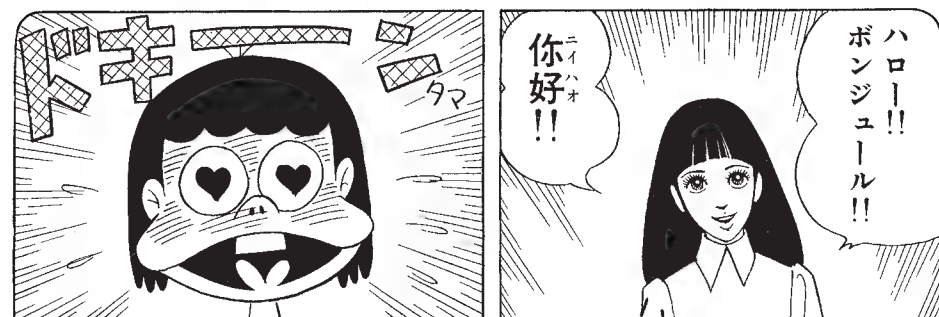
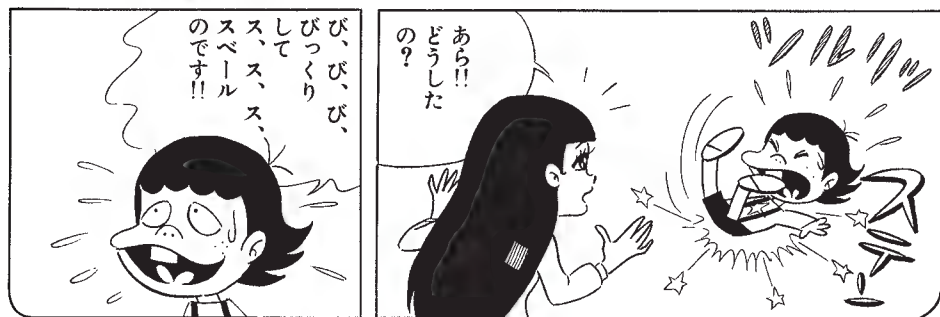
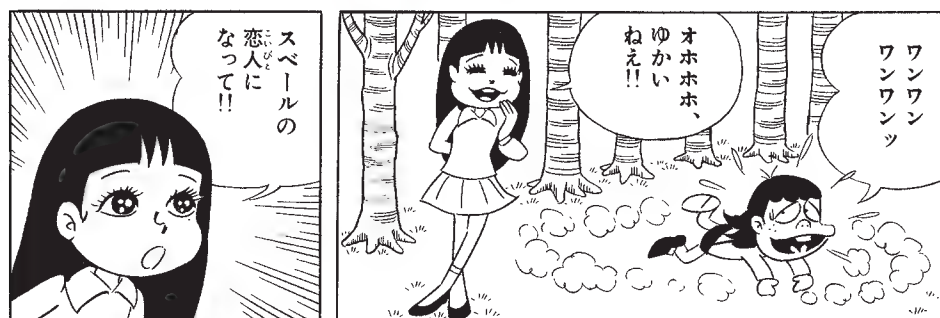
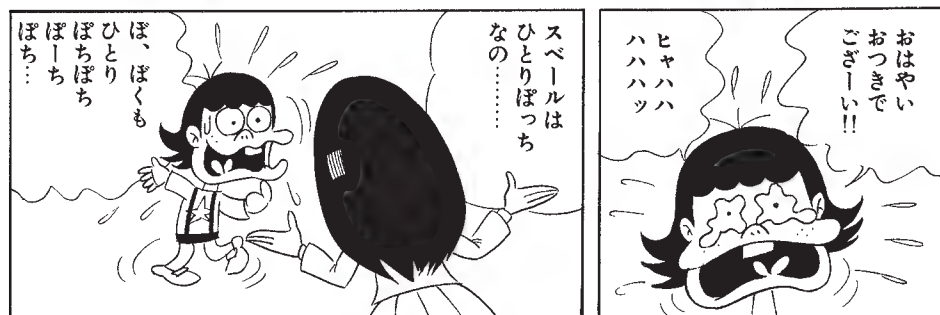
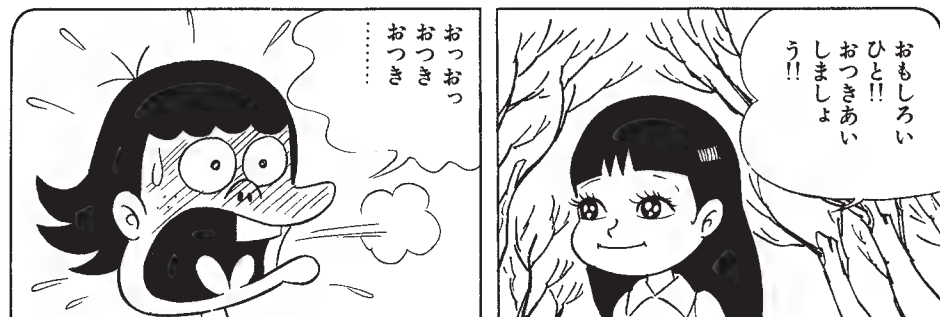
わがはいはゴンである。名まえはジエール
である。ベラマツキヤの名まえはポールであ
る。とうちゃんの名まえはピカソである。イ
ラ公の名まえはミッキーマウスである。武居
の名まえはジャガバナお春である。めくる。

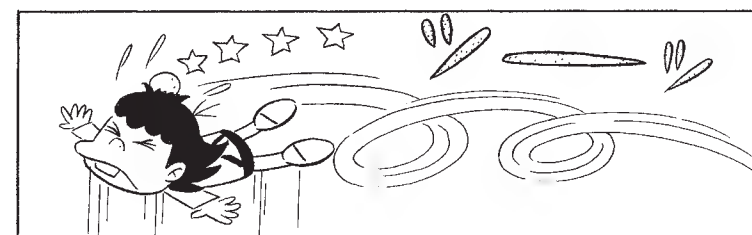
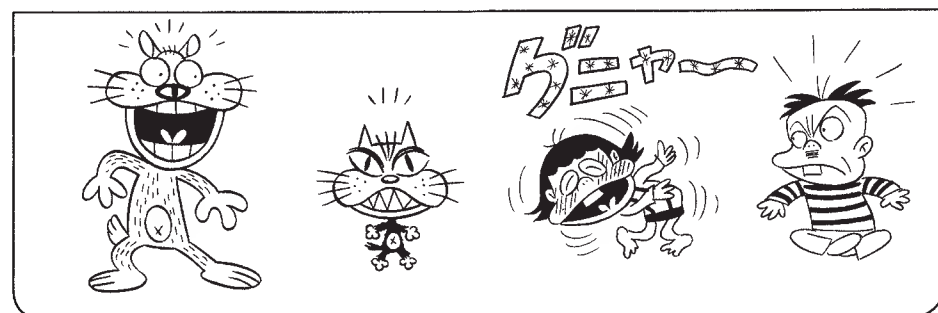
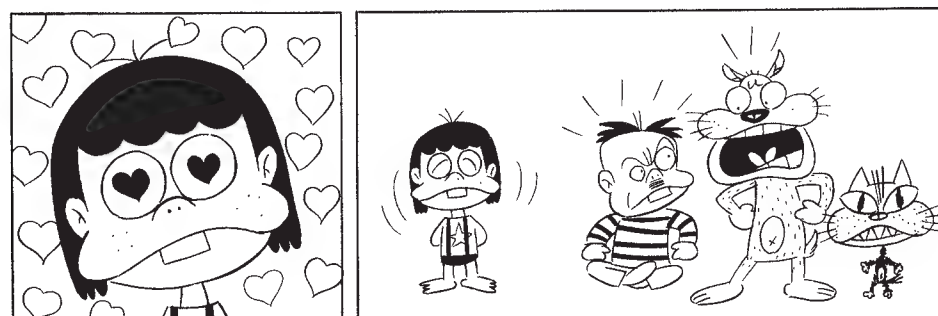
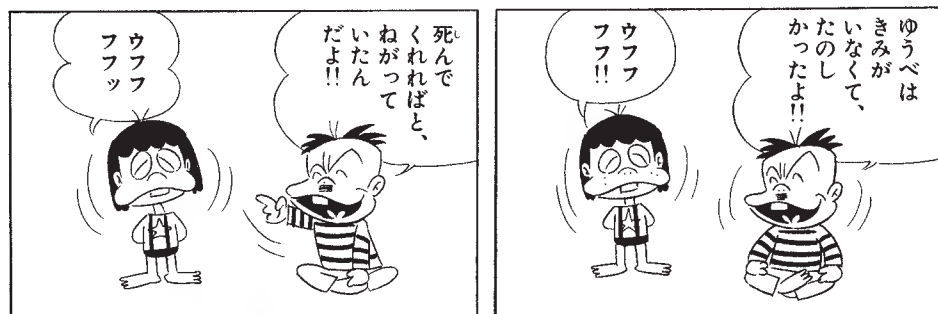


それは木枯の吹く寒い日曜日の朝のことであつた。ジエラールは、ゆうべから家に帰つていなかった。ゆうべおーるやピカソやミッキーマウスたちとけんかしたのだ。原因はつぎのようなことだつた。



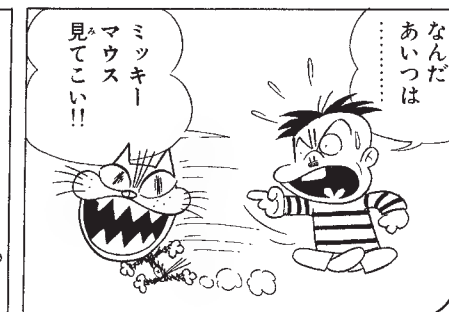
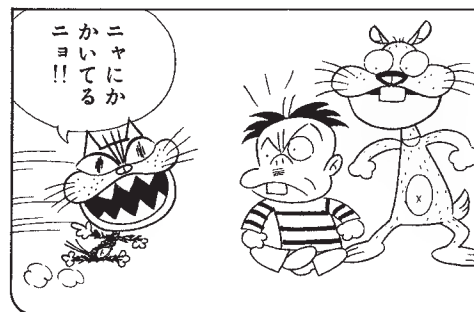
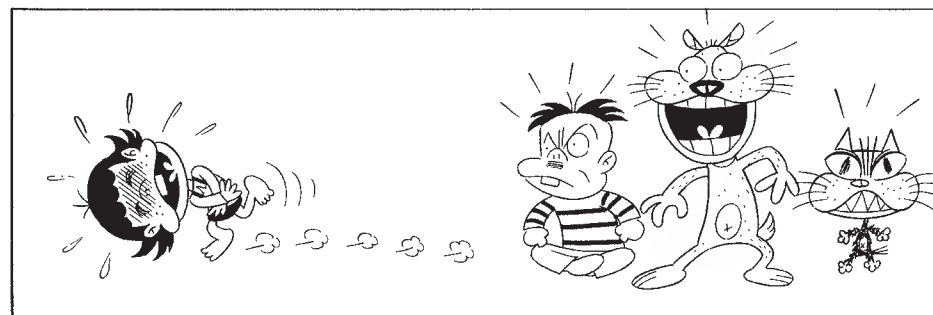
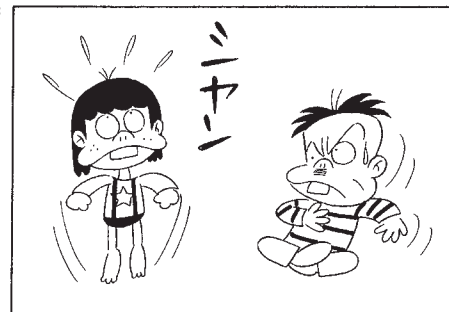
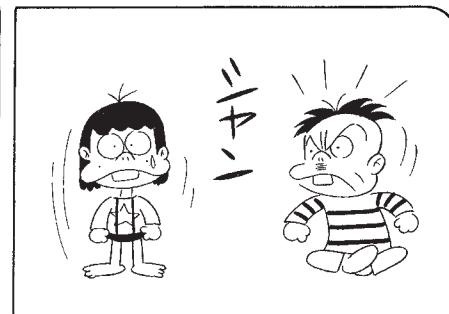
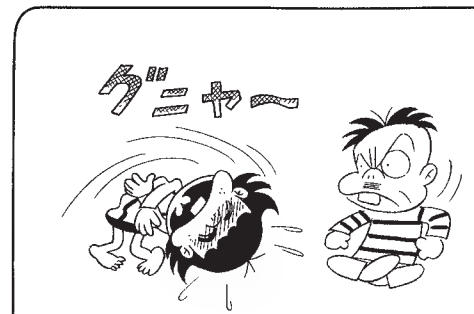
と、いうわけだった。ジエラールは「ぼくにはだれも味方がいないんだ!! そうさ、どうせぼくはひとりぼっちさ」と大声でつぶやいた。するとそこにイカすスケが「あいや、かわいい少女が足で立っていた。手もついて立っていたらイヌである。ヘビは腹で立つのです。だからヘビはいつも腹を立てているのです。とにかく少女が足で立っていた。厳密にいえば足にクツ下をはいて、クツ下がクツをはいていた。そして立っていたのだった。

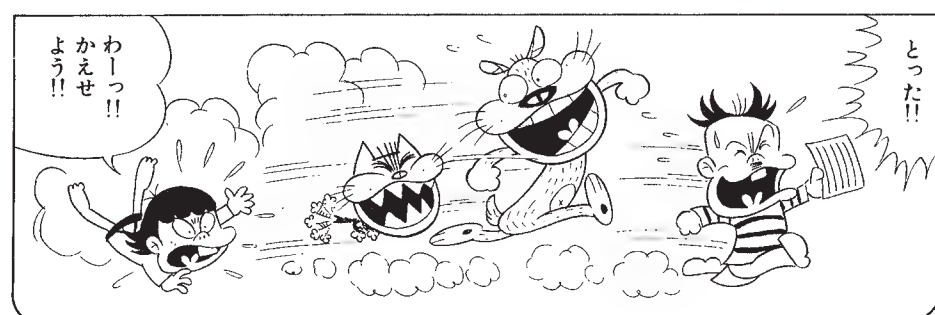
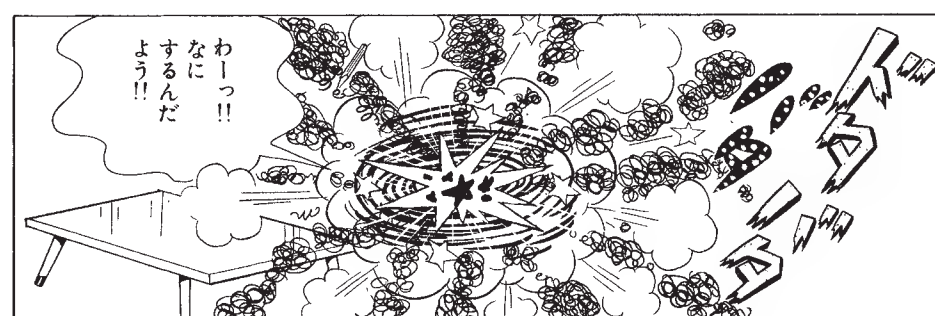
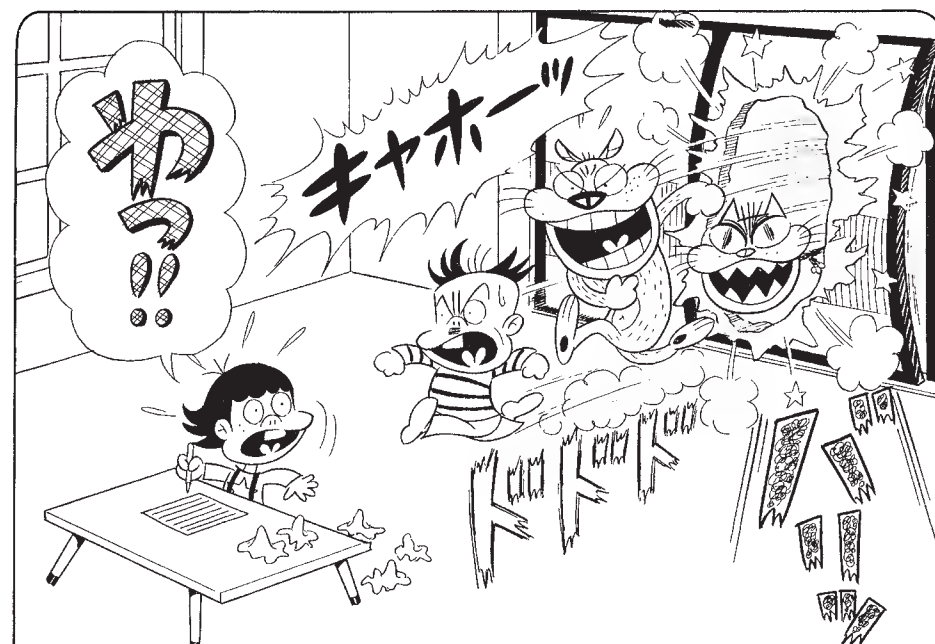
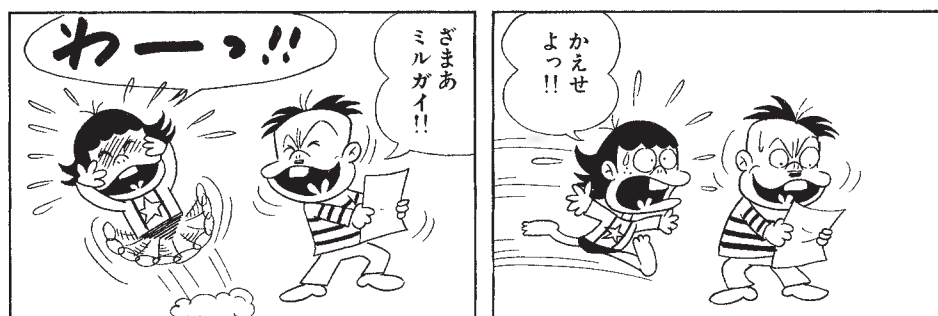
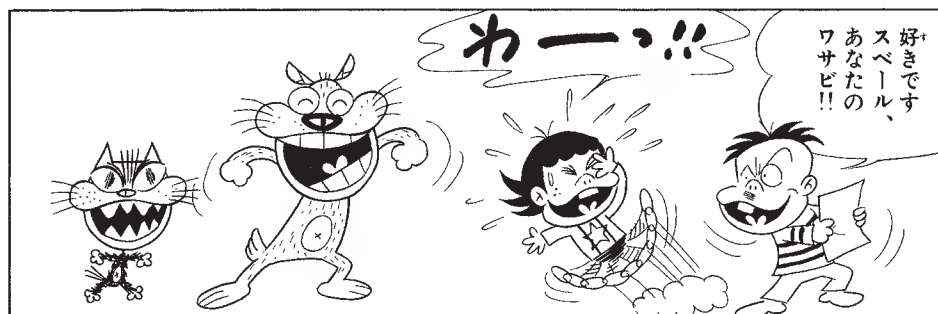




ジェラールはあまりのうれしさに池へ飛び込んだ。しかし……

愛するスベール!! 黒い瞳。りんごの花ほこ
 るび川面にかすみたち、君なき里にもネコは
 しのびよりぬ。走れトロイカ、トロイカは
 すし屋のものを走るわけがない。トロイカが
 走ったらウニだ。走れるはずだ!! カンポウ
 巻も走るだろう。みんなで走るとだれが勝つ
 か? ぼくはミル貝のにぎりが勝つと思う。ミ
 ル貝は「ガミルガイ」とさけぶだろう。
 好きですスベール!! オシニコ巻より好きだ!!
 こんだの日曜日デートしてちよんまげ。
 あなたのウサビシエールより







その手紙を受けとったスベールは、笑って
スベールでアメリカへ引っ越して行った。
ジェラールはスベールを追って海を泳いで
行ったが、スベールの乗った飛行機にはかな
わなかった。

よ 読み切り傑作大衆文学小説絵物語

続あゝ無情

こ、こ、こ、
これは
レ、レ、レ、
「レッツラゴン」第5巻に
掲載された
「あゝ無情」の続編である。
お、お、おーお、お、
男トトトブス
水島牛次郎は、
性格もやさしく
悪い人間でも
ないのに、
たた顔がドトト
トブスのために、
あらゆる物から
さらわれるという
物語である――



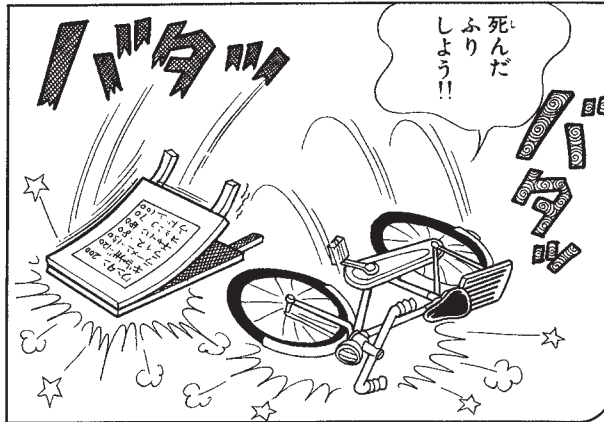
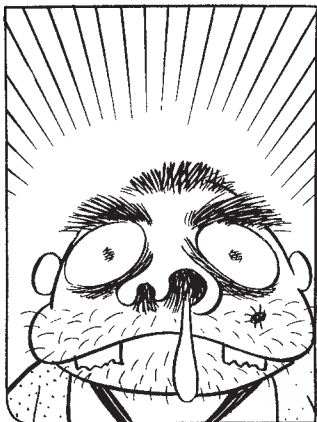
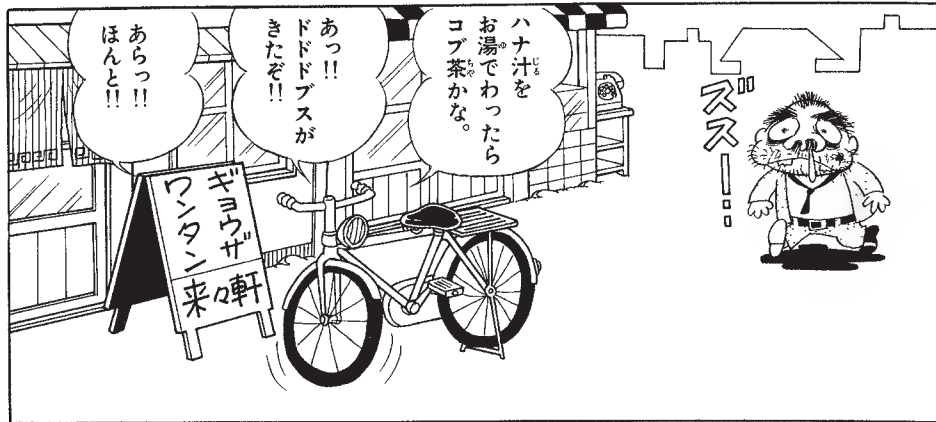
ぶんごう 文豪 シタ切リスズメ・作 さく まんごう 漫豪 赤塚不二夫・訳

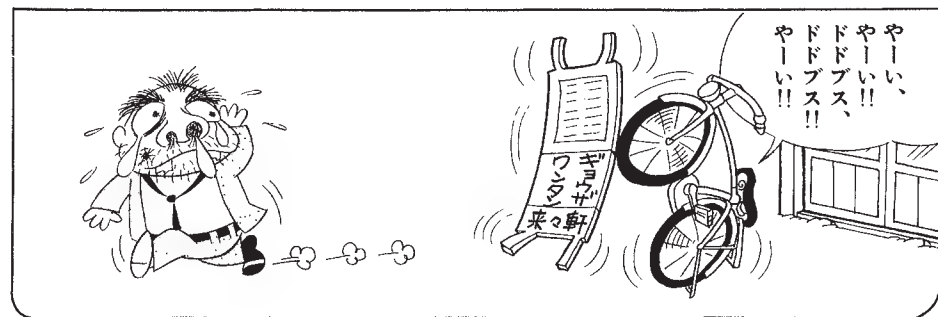
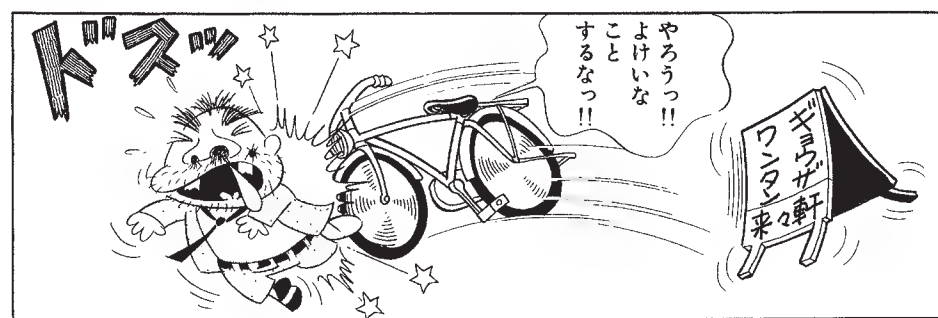
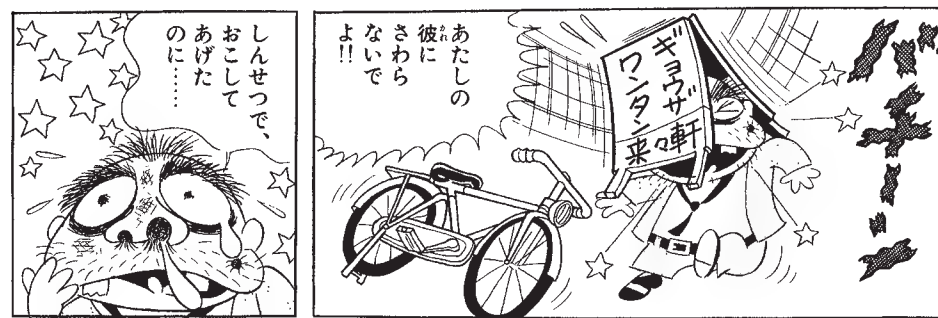
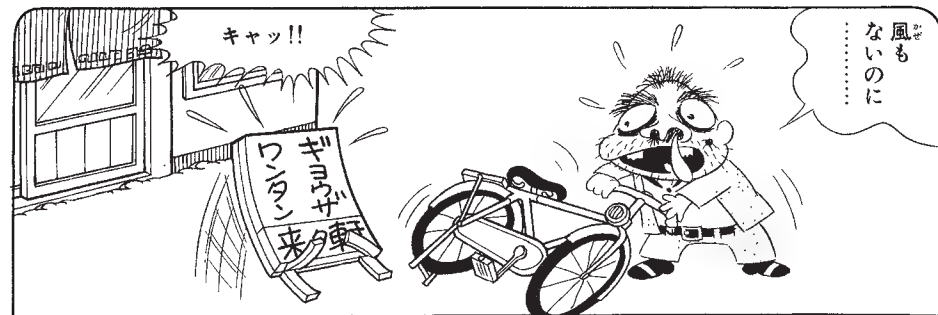
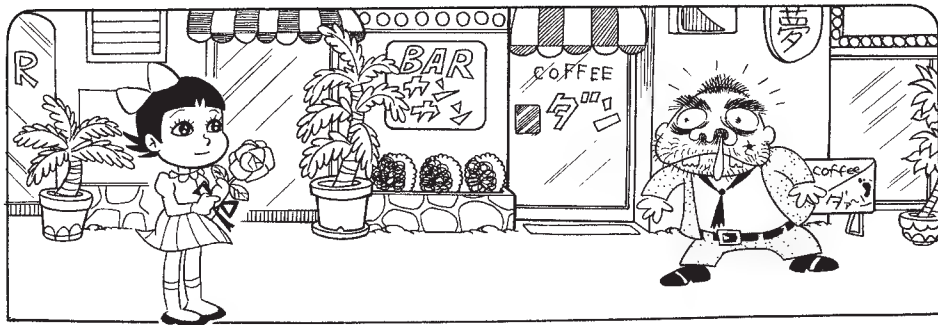
解説 武居記者(家事評論家)

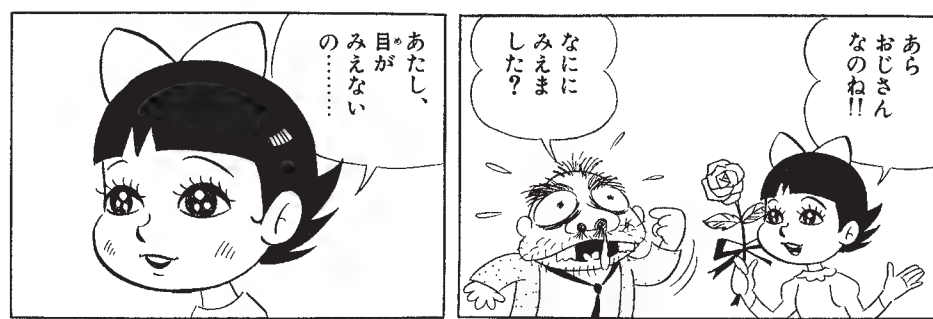
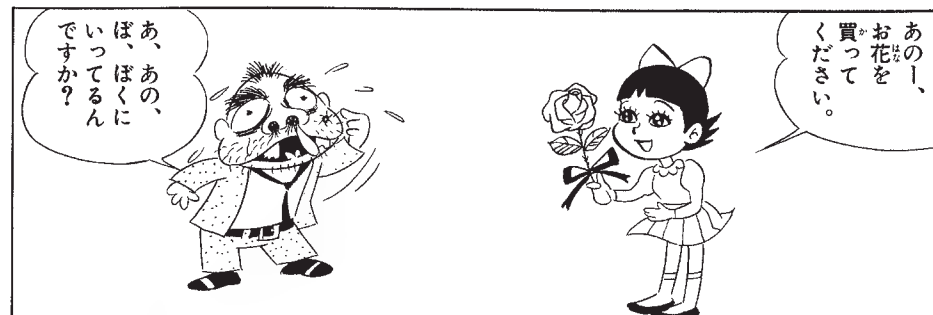
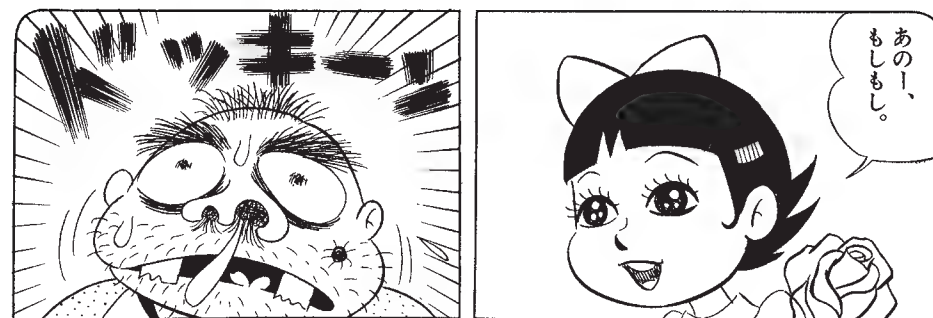
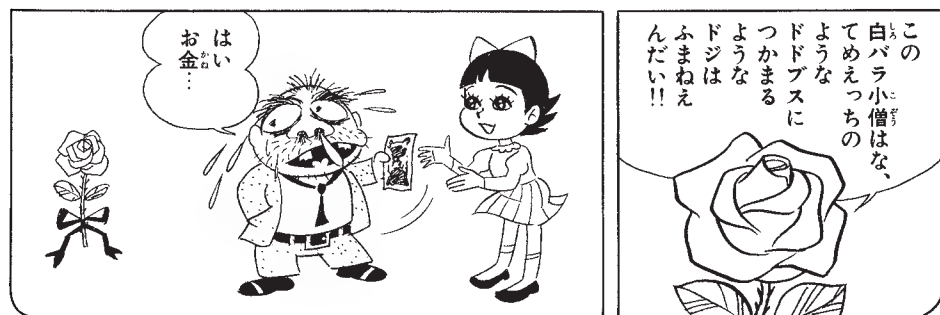
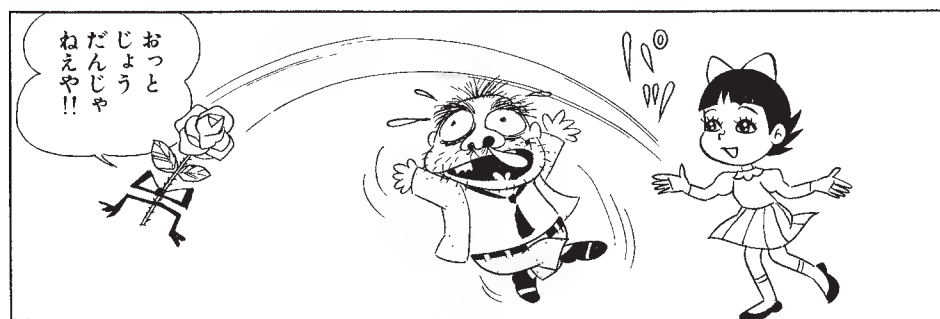
一九七二年、赤塚不二夫は、天才ハカボンに続く六年の沈黙の後、この作品を発表した。

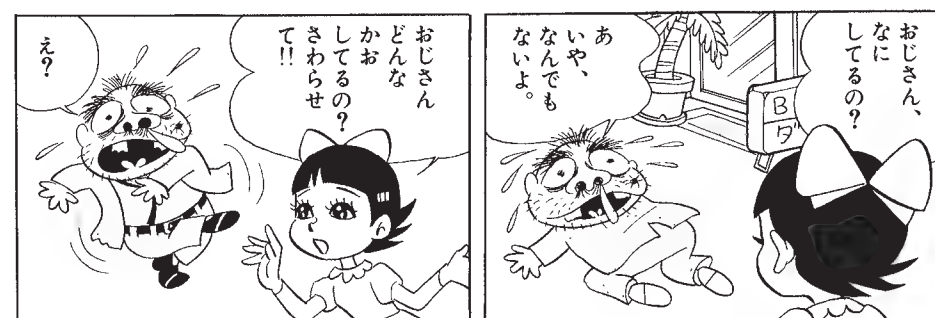
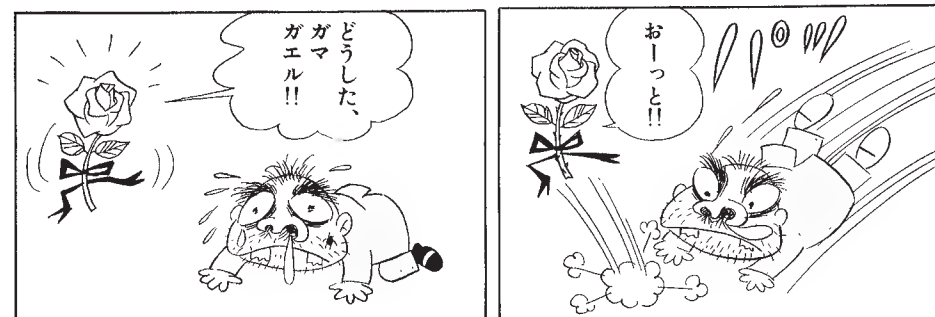
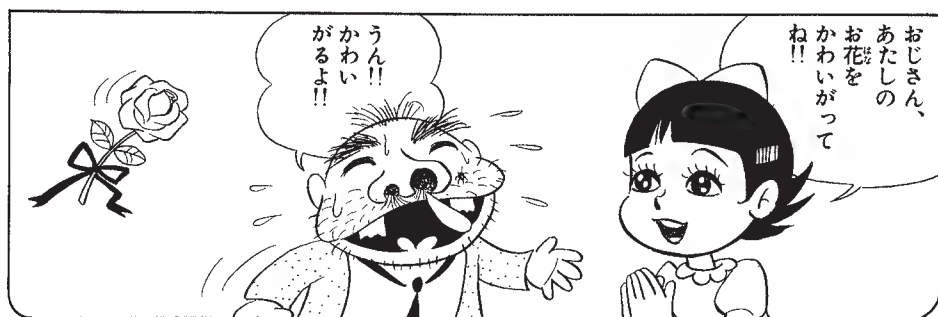
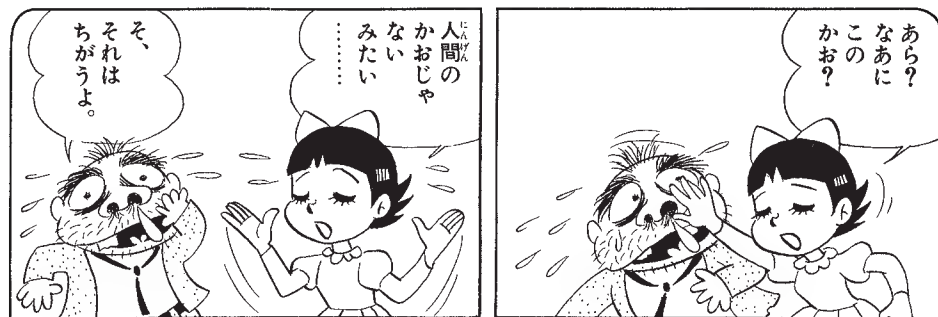
それまで、チャップリン、いや、赤塚不二夫のまんが本来の味は、孤独で貧しい者に注ぐ「愛と涙」の間喜劇と考えられてきた常識を破って、これは、今までになく消極的で斬新な文明批評であり、その点、赤塚作品として、平凡な作品といえる。

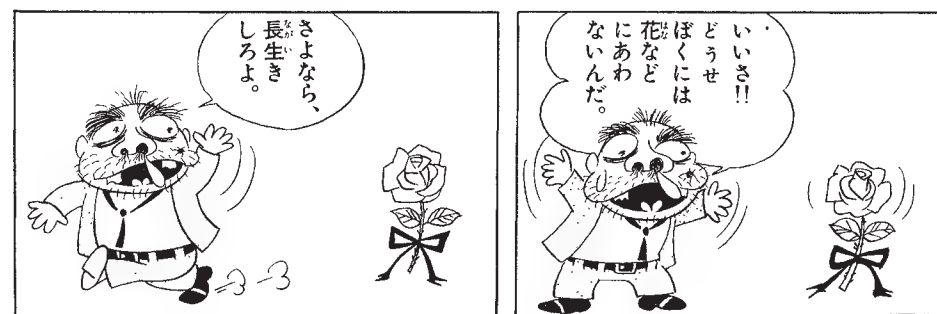
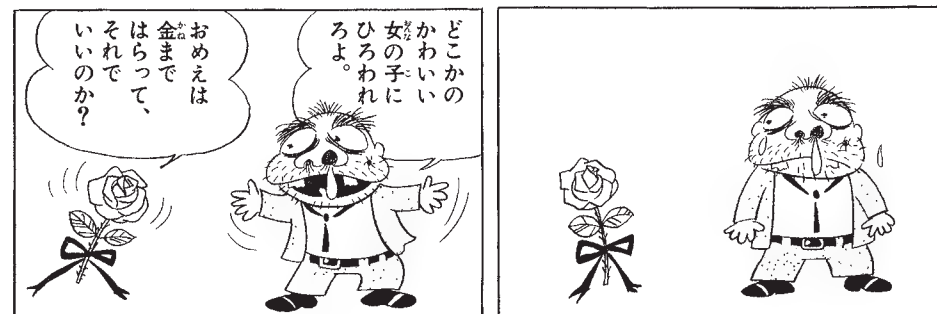
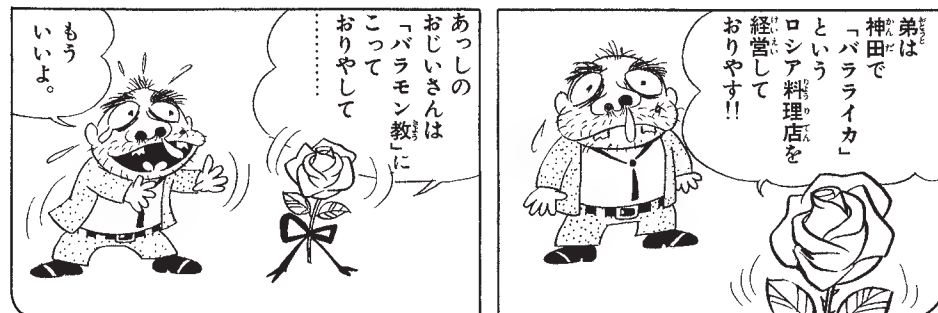
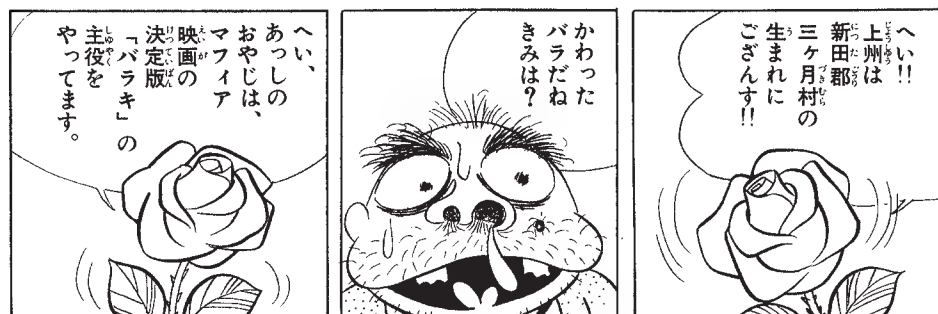
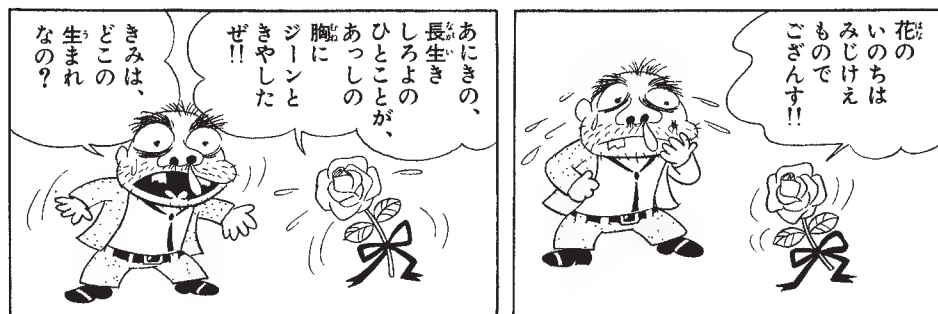
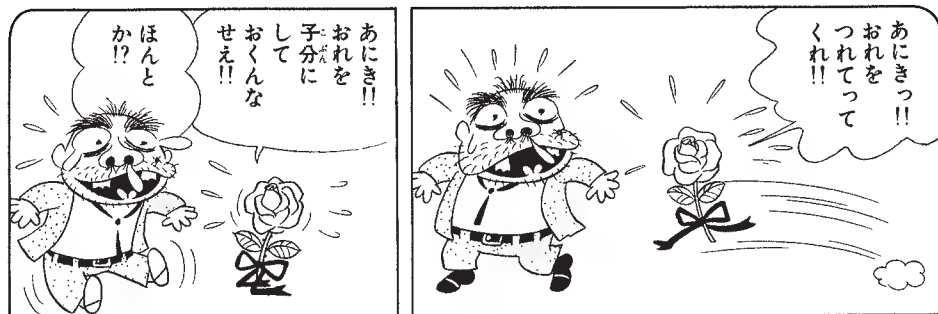
なお、赤塚はこの作品によって、今年度の歌謡大賞を受けるというイヤラシイ結果となったことを、ここにつつしんでおわびすると同時に、きょうのこの良き日を祝い、幸多かれと祈ることをもって、簡単なあいさつにかえさせていただきます。

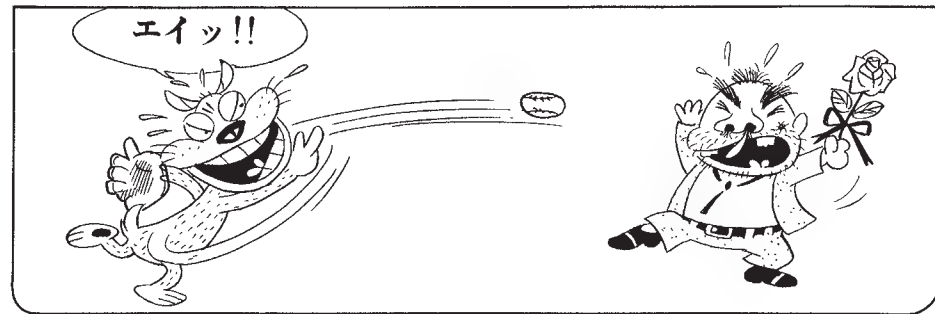
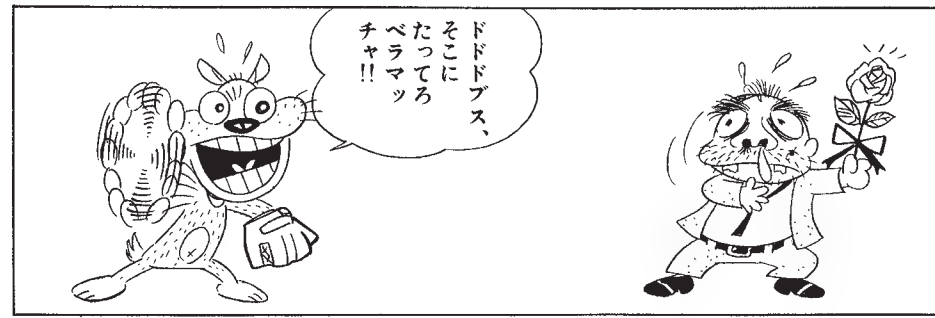
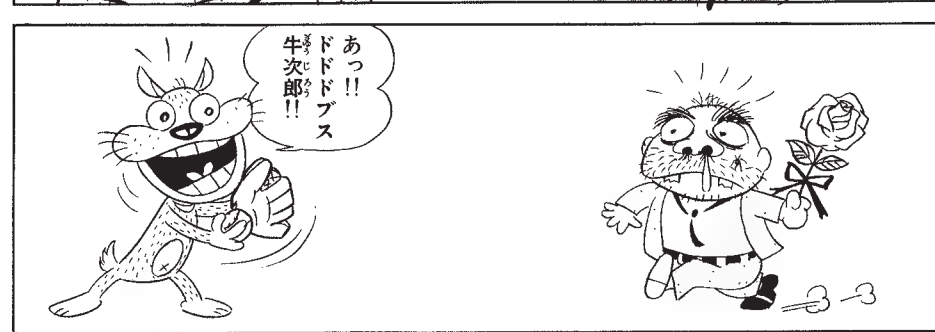
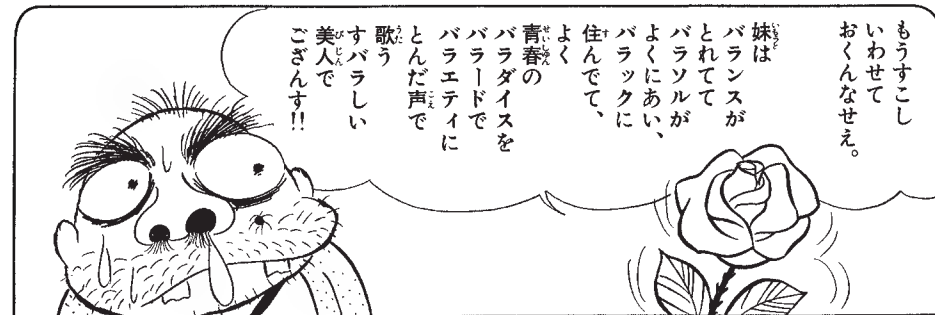
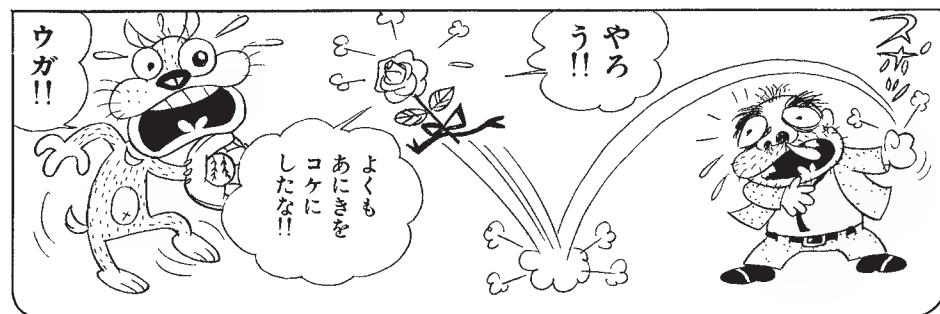
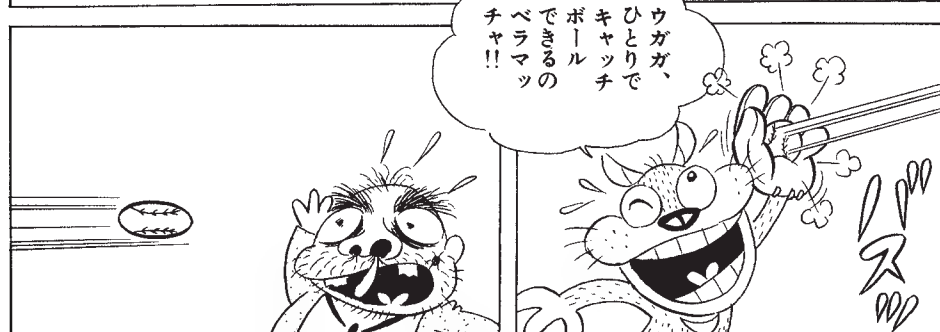
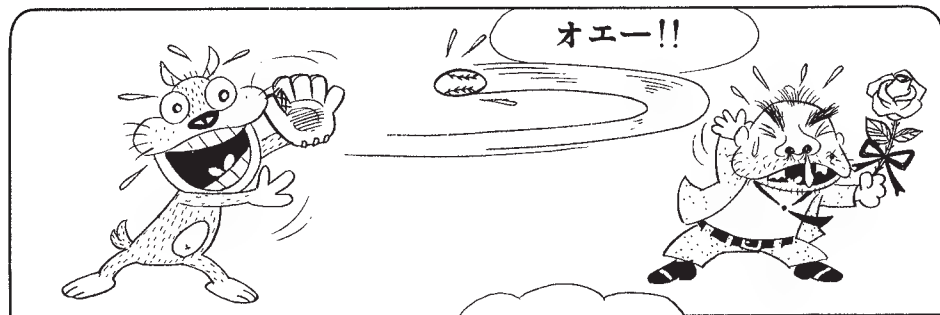


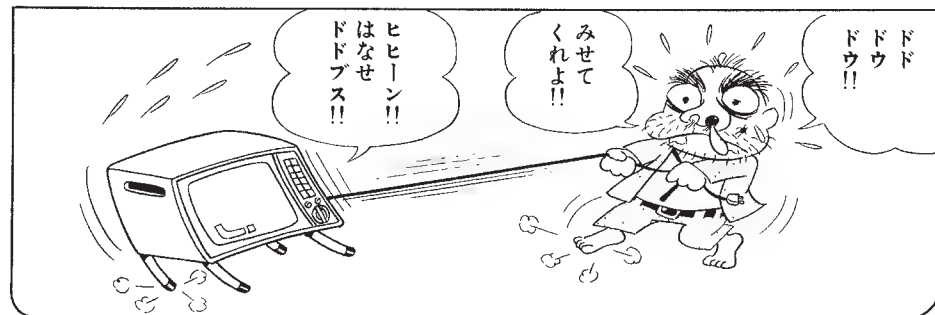
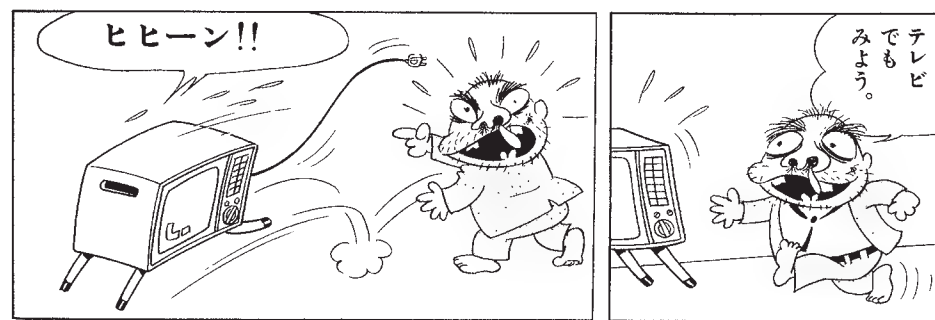
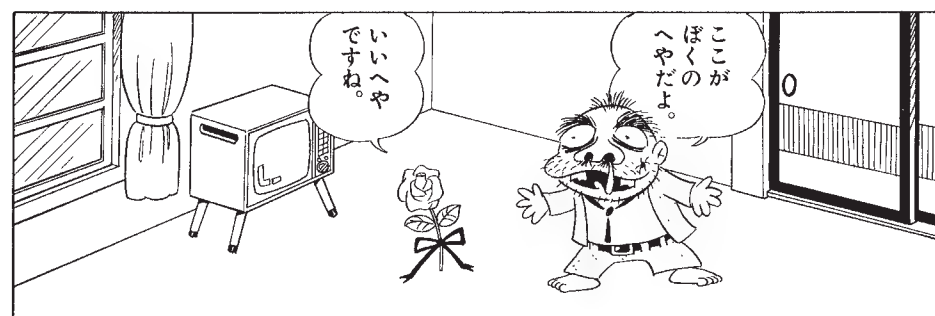
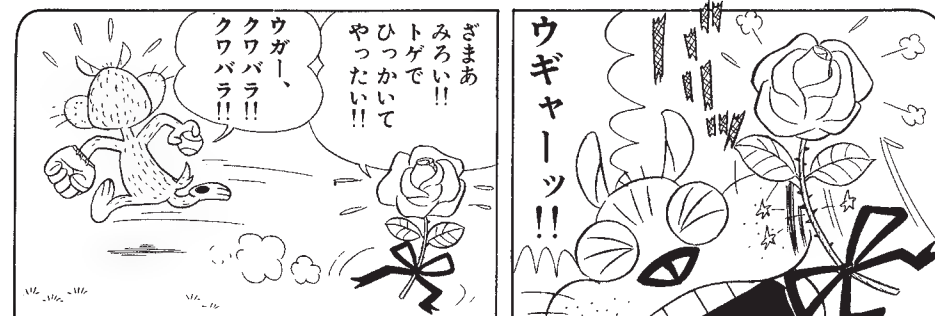
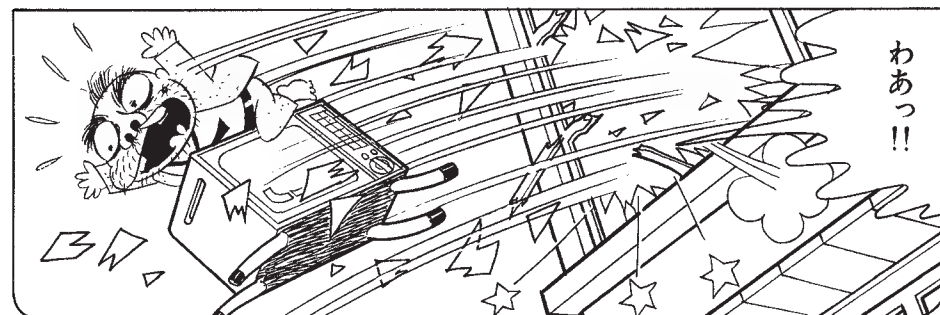
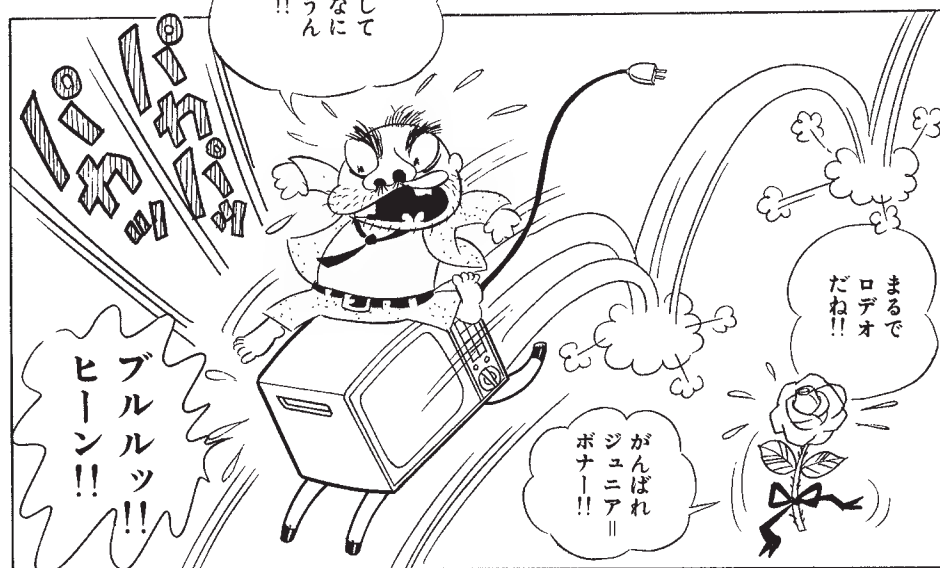
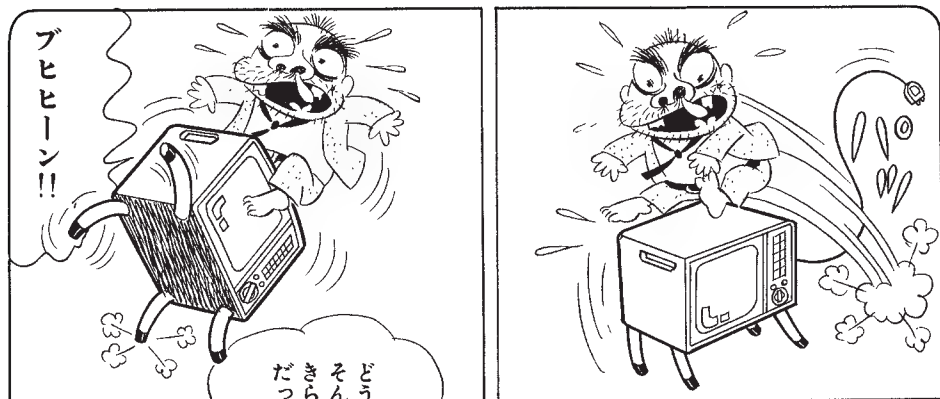












レッ ツ ラ ゴ ン 衆議院選挙

きたる
十二月十日の
投票日には
かならず
武居!! 武居に
清き一票を
入れないで
ください!!

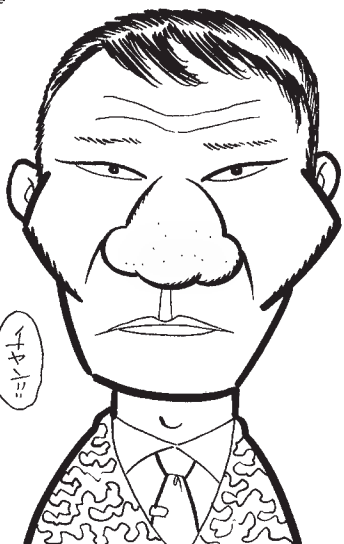
全国の
有権者の
少年の
みなさま!!

衆議院議員候補者
デカバナ党公認(東京23区)
公約

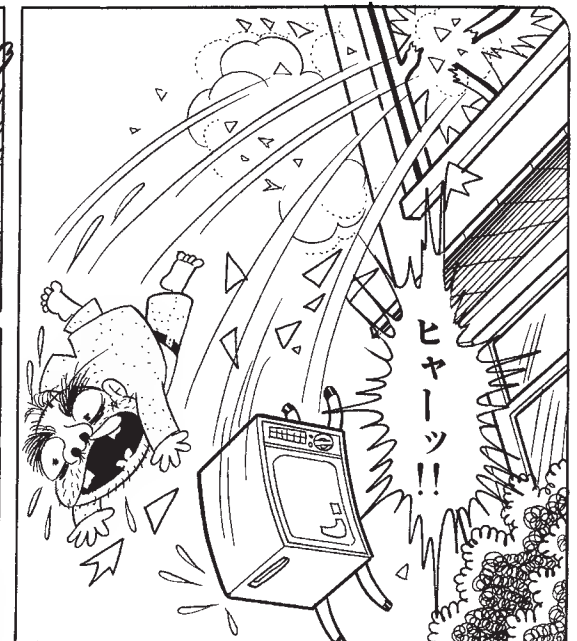
わたしは、このみにくいデカバナと細い目を
整形し、日本のみなさまが気持ちよく
住める、赤塚のいない日本を
つくりまします。

略歴

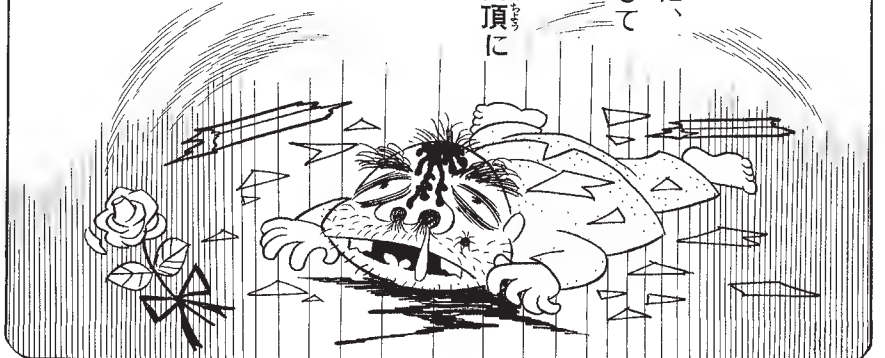
小学生の時おねしょ80回
中学生の時ねぐそ3回
大学生の時ねええ23回
さのうの朝おねしょぐそ1回
当選ナシ 31歳

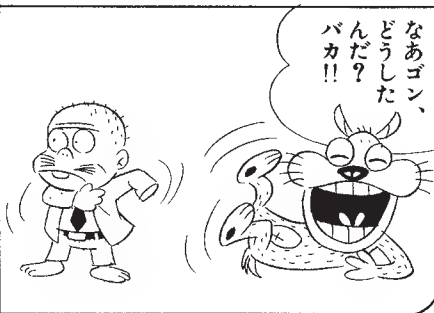
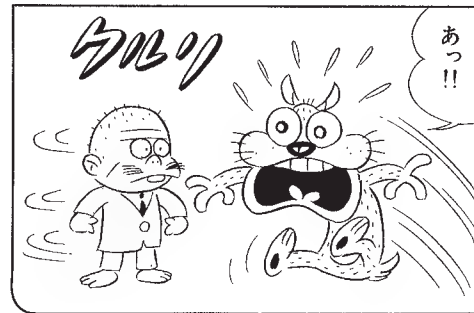
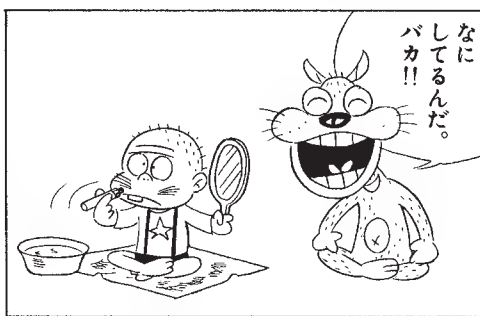
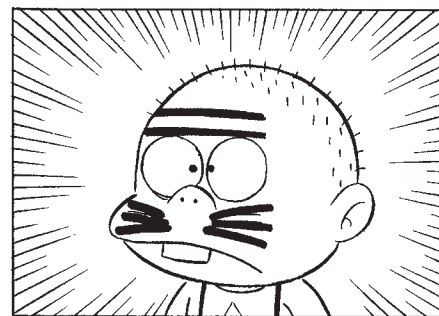
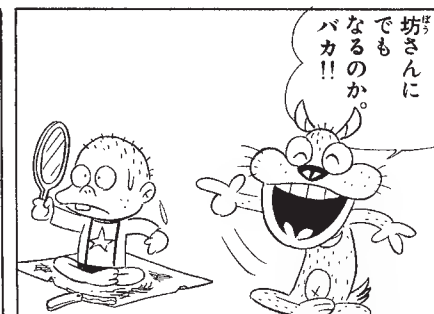
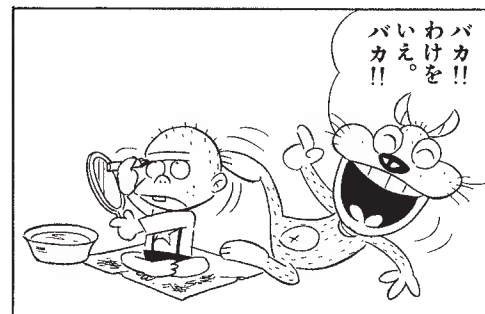
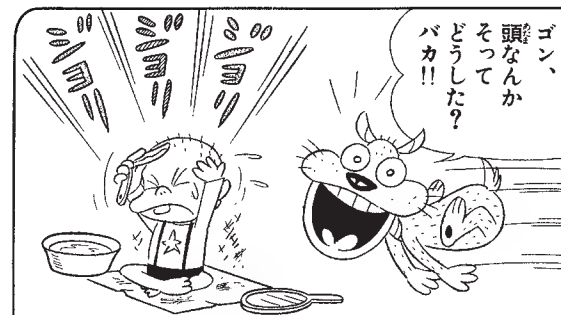
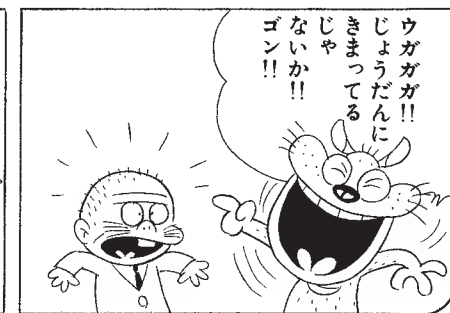
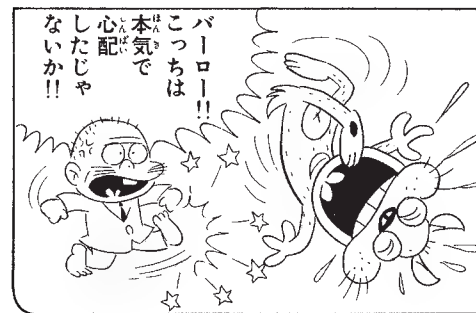
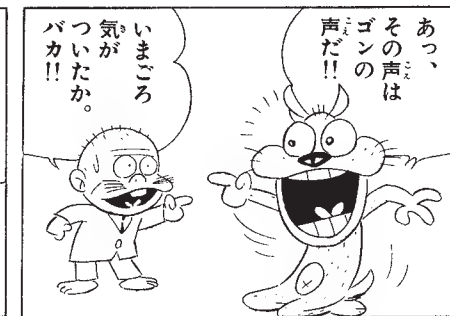
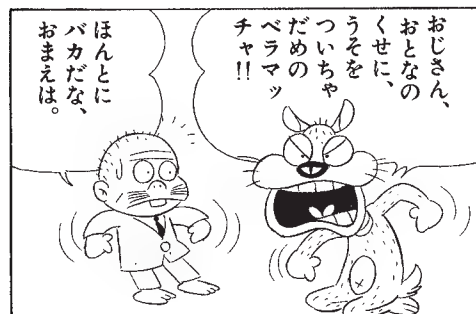
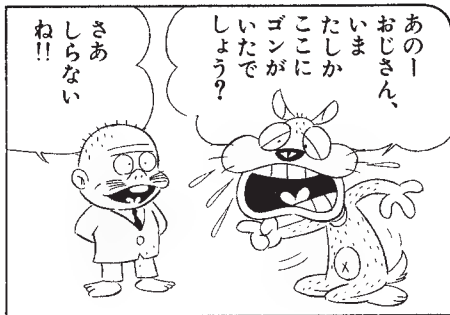
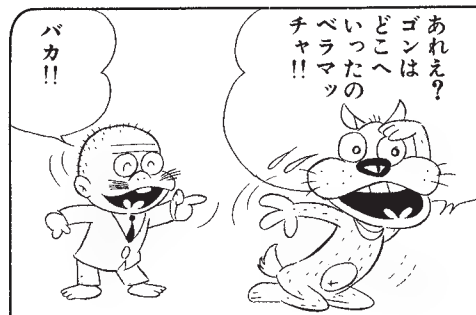


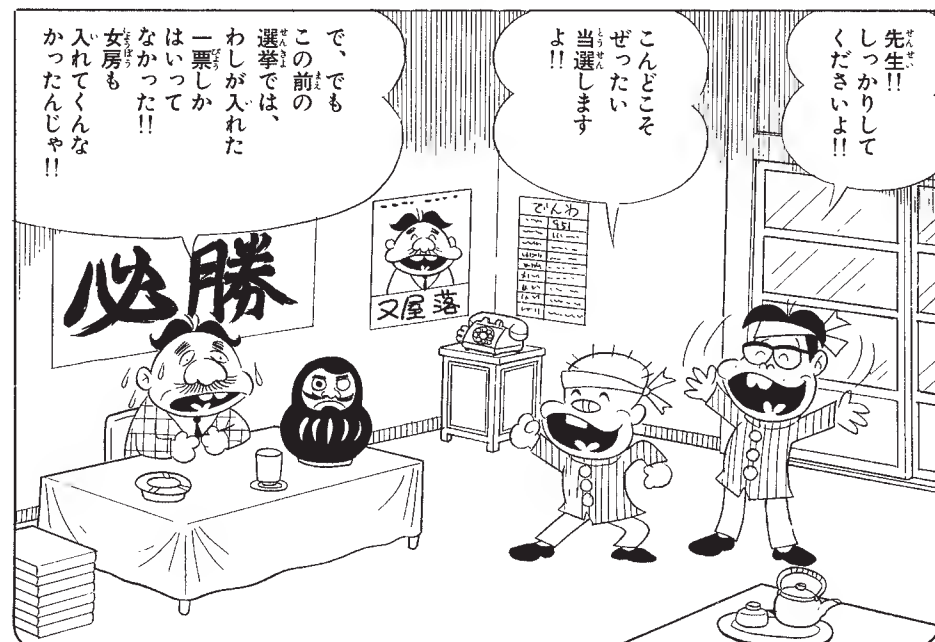
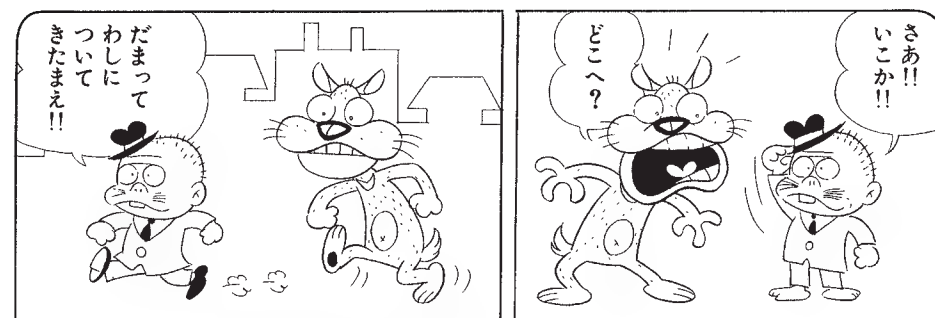
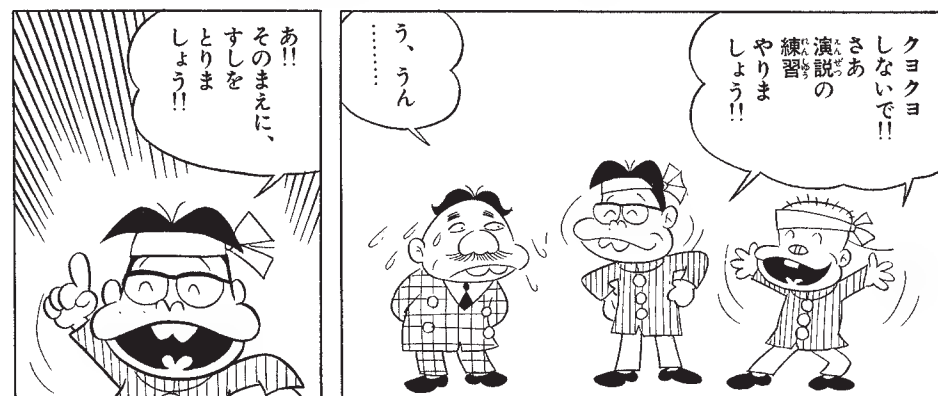
武居記者

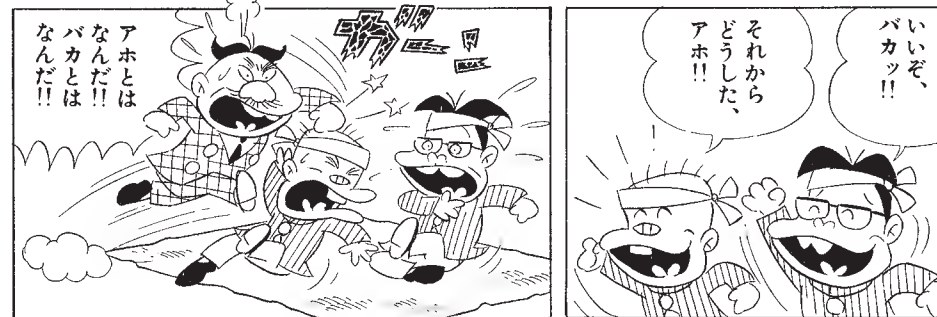
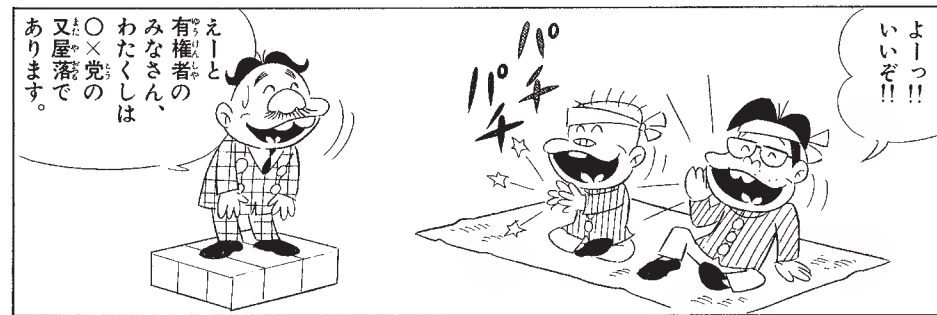
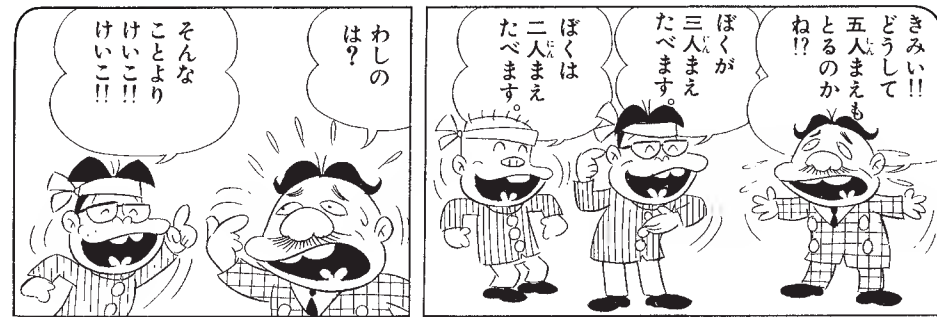
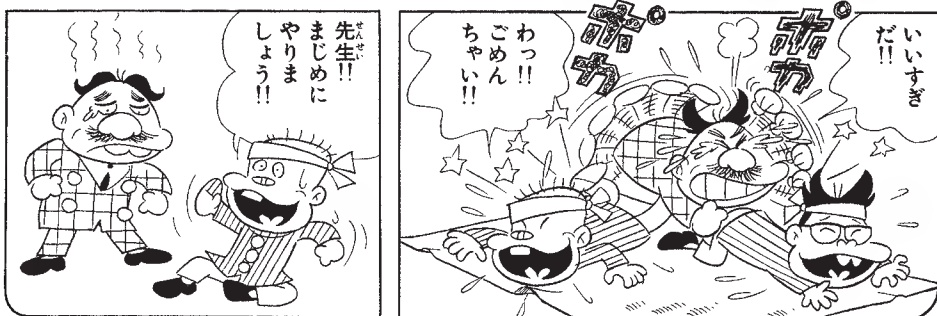
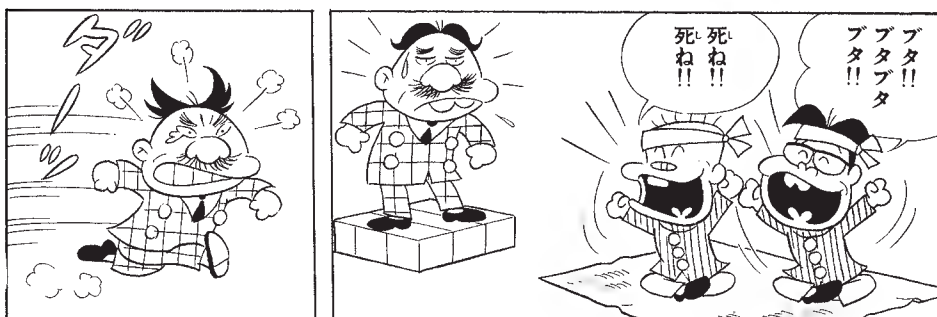
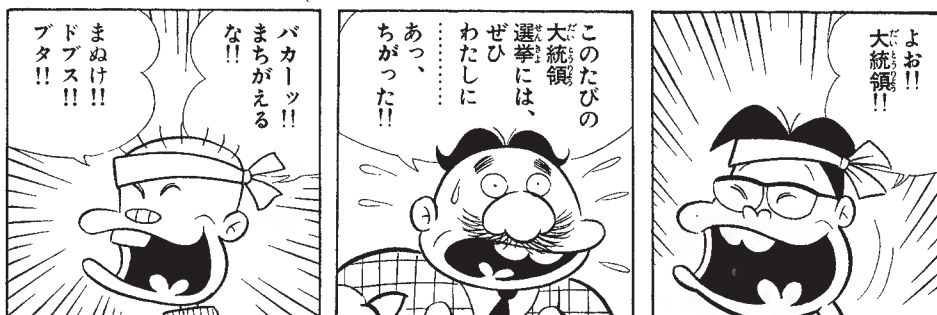
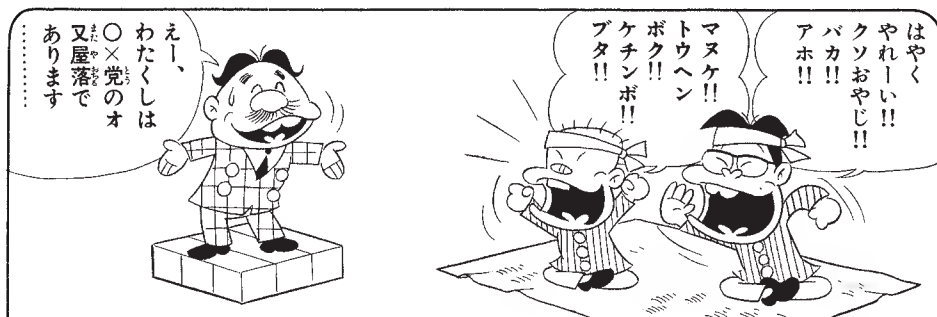


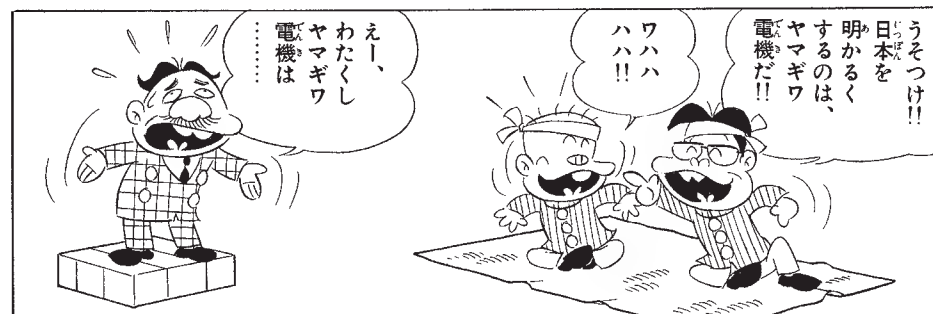
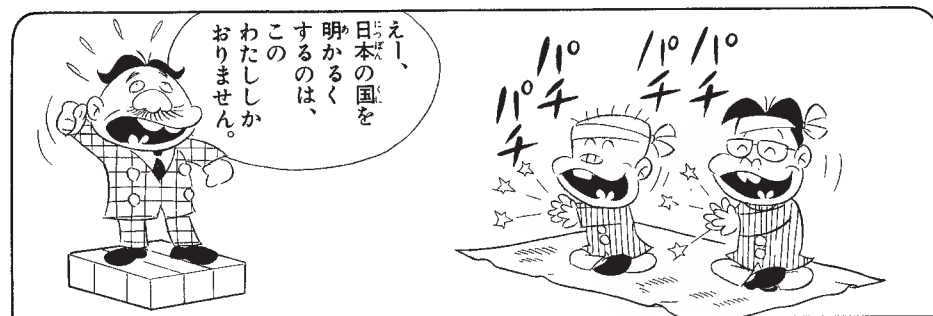
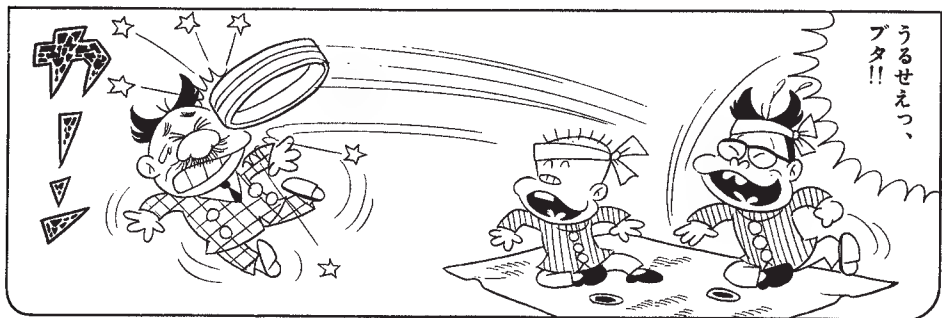
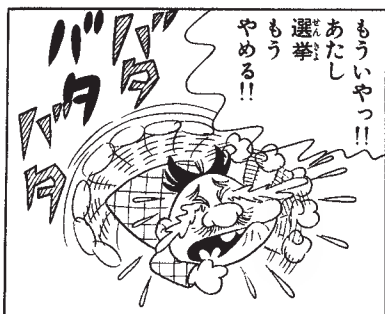
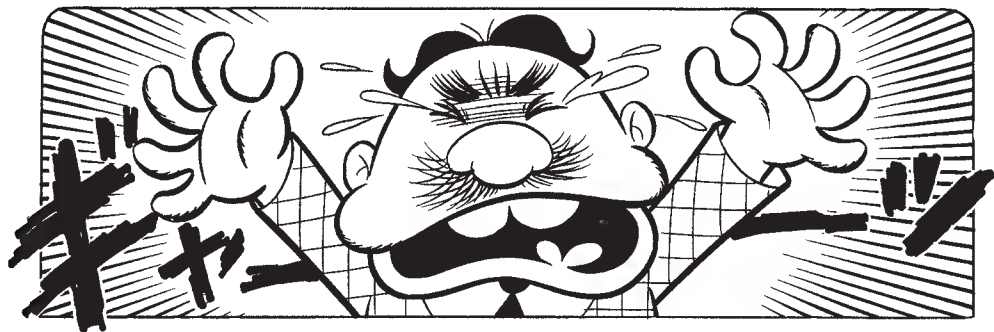
み、み、み、
水島牛次郎は
死んだ……
あまりにも
ドドドブスかゆえに、
その一生は、けつして
幸せとは
いえなかった。
キリマンジャロの山頂に
なぜか一匹の
ヒヨウの死体が
あったというが、
水島牛次郎の前にも
なぜバラの花が
一輪あつたのか……
その訳は誰も
知らない
永遠の謎として
人々に語りつがれる
であろう……

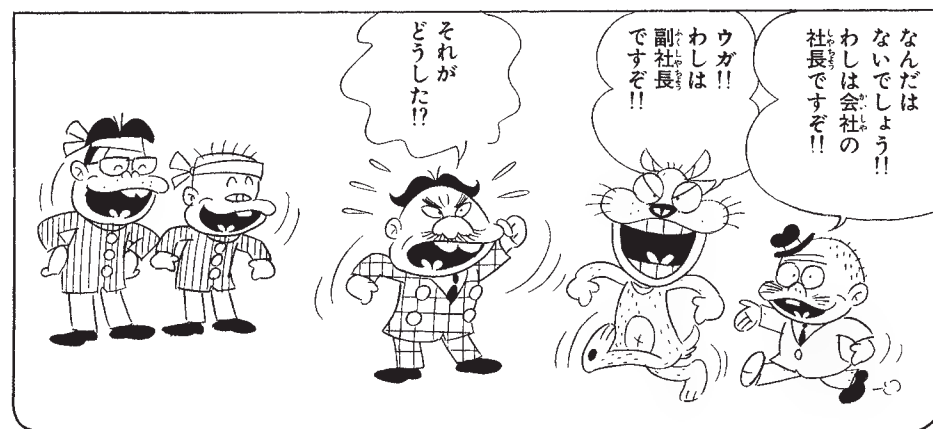
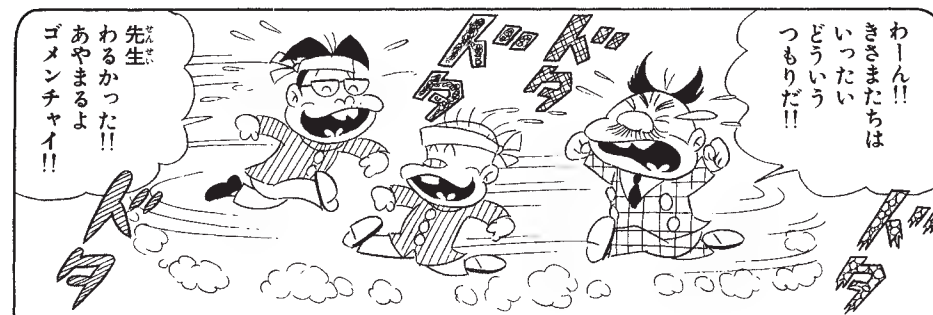
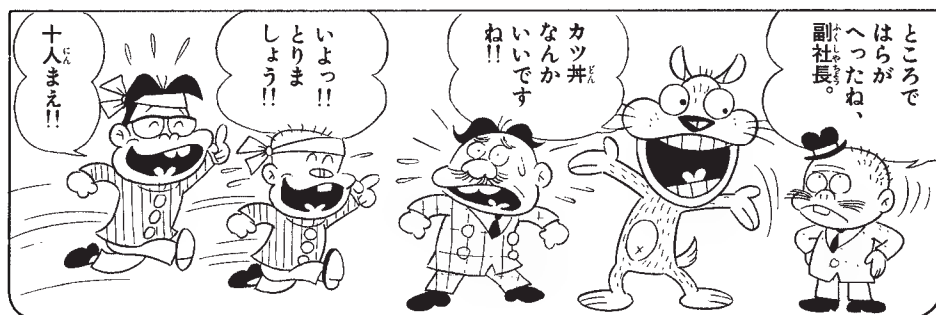
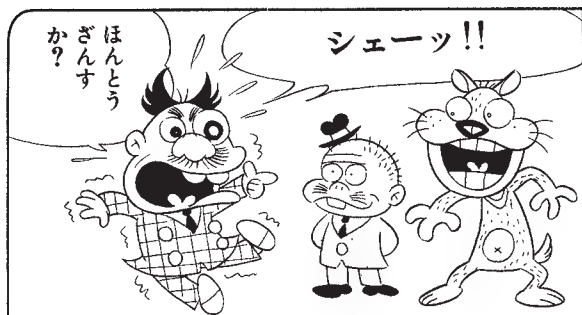


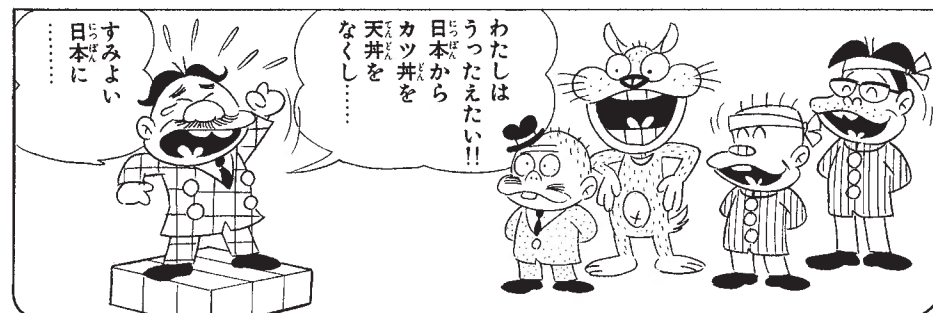
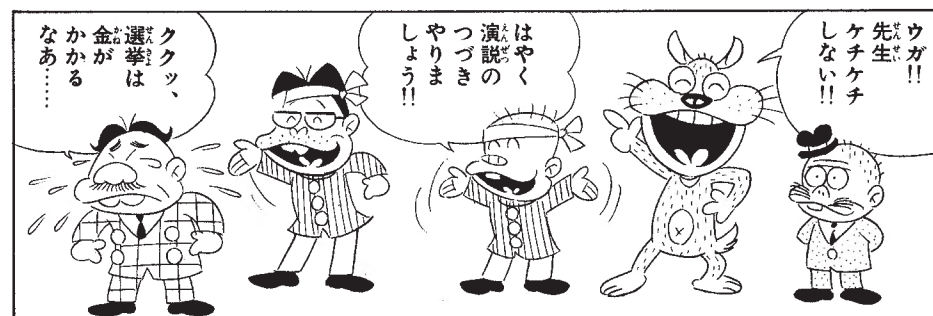
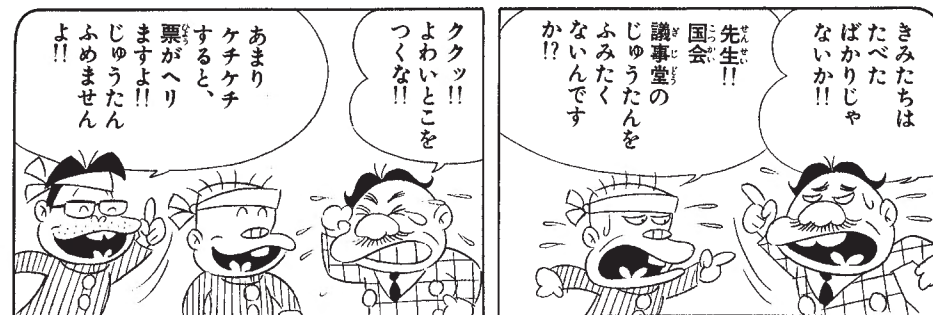
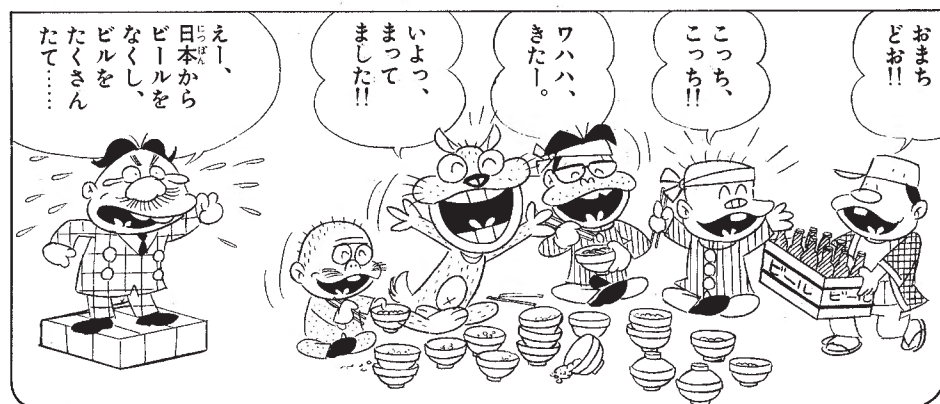
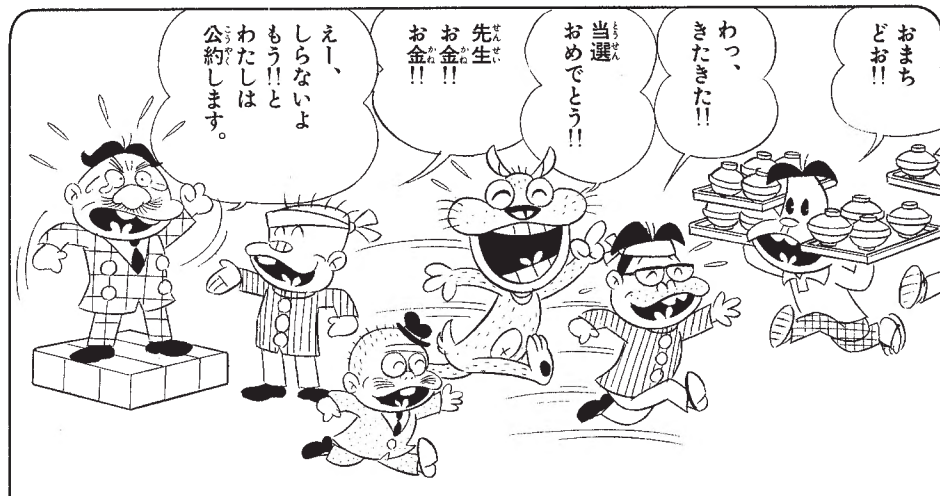


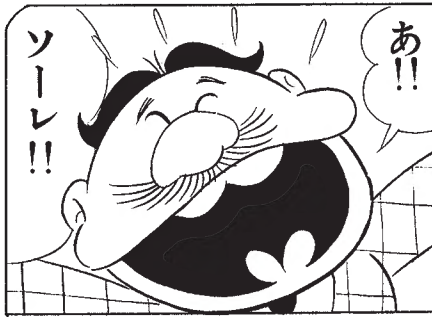












ソーレ!!

あ!!



おどります!!

○×党公認
又屋落!!



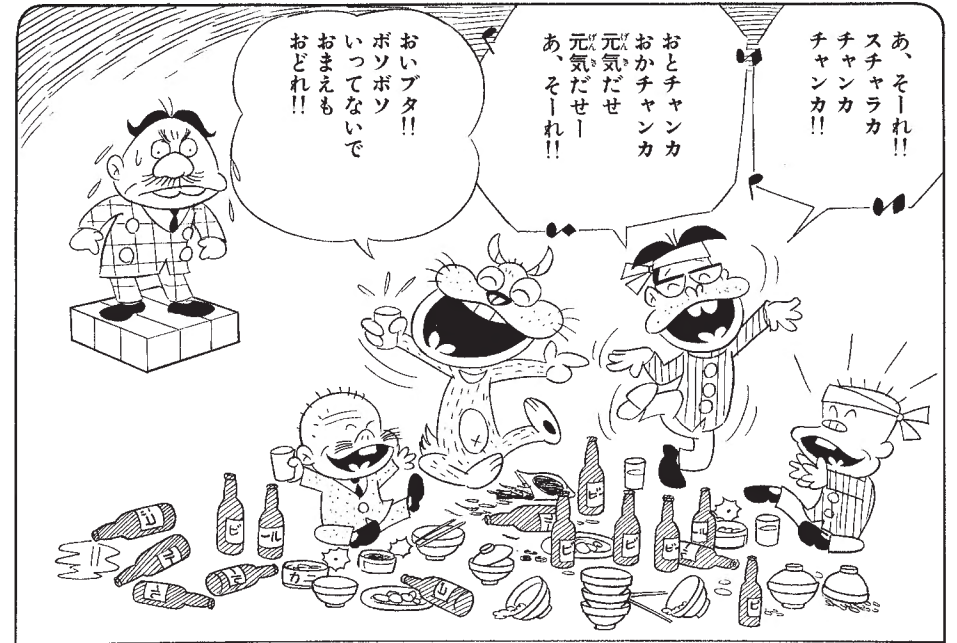
いいぞー!!

ワハハハ!!
演説より
うまいぞ
プタ!!

落選確定
バンザイ!!

つきがアー
でったでーたア
つきがア
でたつと
ヨイショ!!

又屋落のことばのとおり、やはり又屋落はまたや落選した。得票はゼロだった。それにつけてもつけものをつけてもあまり塩をきかすなと、ばあちゃんはやったというわさを信じちゃいけないよ。リンダちゃん、もうパンダちゃんを見ましたか? おめでとう!! 武居もこの暮れのNHK紅白歌合戦にはぜひ舞台でいっしょにしたいと思います。とあれ、選挙のむずかしさというものは、まんがなどではとても上映できない!!



おいブタ!!
ボソボソ
いつてないで
おまえも
おどれ!!

おとチャンカ
おかチャンカ
元気だせ
元気だせー
あ、そーれ!!

あ、そーれ!!
スチャラカ
チャンカ
チャンカ!!



やめた!!

ギ—ッ!!
も—う!!

「赤塚不二夫漫画大全集」の作品のなかには、ギャグ漫画の性質上、今日の人権擁護の精神に照らせば不当、不適切と思われる語句や表現が用いられている箇所も見受けられます。

当編集部では、発行する出版物に関して、常に人権に配慮した表現を心掛けていますが、本作品が差別を助長する意図をもって描かれたものではないこと、また作品発表時の時代背景を鑑みて、作者の了解を得た上で、一部を編集部の責任において改めるにとどめました。

これらの点をご賢察いただき、赤塚ギャグの世界をお楽しみいただければ幸いです。

AKATSUKA FUJIO'S MANGA
COMPLETE WORKS ON DVD-ROMS



SHOGAKUKAN